

元総社蒼海遺跡群(27)

前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴う

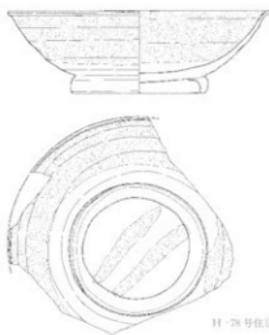
埋蔵文化財発掘調査報告書

2010.3

前橋市埋蔵文化財発掘調査団

元総社蒼海遺跡群 (27)

前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書



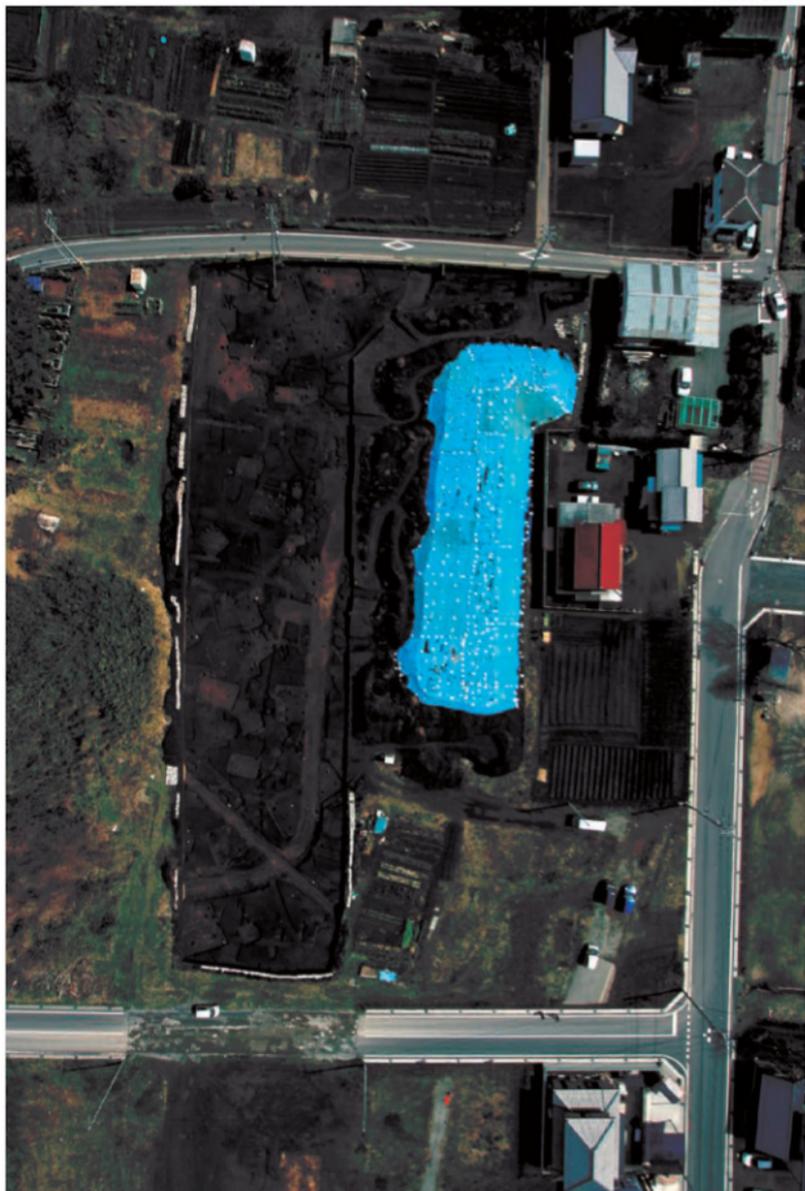
11-28号住居跡出土灰釉陶器

2010.3

前橋市埋蔵文化財発掘調査団



元郷辻若海部跡群 (27) 全景 (東から)



元総社蒼海道跡群 (27) 全景 (上が東)

はじめに

前橋市は、関東平野の北西部に位置し、名山赤城山を背に利根川や広瀬川が市街地を貫流する、四季折々の風情に溢れる県都です。市域は豊かな自然環境に恵まれ、2万年前から人々が生活を始めました。そのため市内のいたる所から、人々の息吹を感じられる遺跡や史跡、多くの歴史遺産が存在します。

古代において前橋台地には、広大に分布する穀倉地帯を控え、前橋天神山古墳などの初期古墳をはじめ、王山古墳・天川二子山古墳といった首長墓が連綿と築かれ、上毛野国の中心地として栄えました。また、続く律令時代になってからは総社・元総社地区に山王廃寺、国分僧寺、国分尼寺、国府など上野国の中枢をなす施設が次々に造られました。

中世になると、戦国武將の長尾氏、上杉氏、武田氏、北条氏が鎬をけずった地として知られ、近世においては、譜代大名の酒井氏、松平氏が居城した関東三名城の一つに数えられる厩橋城が築かれました。

やがて近代になると、生糸の一大生産地であり、横浜港から前橋シルクの名前で遠く海外に輸出され日本の発展の一翼を担いました。

今回、報告書を上梓する元総社蒼海遺跡群（27）は古代上野国の中枢地域の調査であります。上野国府推定地域に隣接することから、調査成果に多くの注目を集めております。今回の調査では、国府に関連する可能性を窺わせる2棟の掘立柱建物跡、古墳・平安時代の多くの竪穴住居跡や中世蒼海城の堀跡を検出しました。

今は一本の糸に過ぎない調査成果も織り上げて行けば、国府や国府のまちの姿を再現できるものと考えております。

残念ながら、現状のままでの保存が無理なため、記録保存という形になりましたが、今後、地域の歴史・前橋の歴史を解明する上で、貴重な資料を得ることができました。

最後になりましたが、この調査事業を円滑に進められたのは、関係機関や各方面のご配慮の結果といえます。また、寒風の中、直接調査に携わってくださった担当者・作業員のみなさんに厚くお礼申しあげます。

本報告書が斯学の発展に少しでも寄与できれば幸いに存じます。

平成22年3月

前橋市埋蔵文化財発掘調査団
団 長 戸 塚 良 明

例 言

1. 本報告書は、前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴う元総社蒼海遺跡群(27)発掘調査報告書である。
2. 調査主体は、前橋市埋蔵文化財発掘調査団である。
3. 発掘調査の要項は次のとおりである。

調 査 場 所 群馬県前橋市元総社町1813、1814-1番、1814-2番、1815-5番、1817-1番、1817-2番

遺 跡 コ ー ド 21 A 130-27

発 掘 調 査 期 間 平成21年10月24日～平成22年1月29日

整 理 ・ 報 告 書 作 成 期 間 平成22年2月1日～平成22年3月12日

発 掘 ・ 整 理 担 当 者 日沖剛史・有山径世・(有限会社毛野考古学研究所)

4. 本遺跡に関わる遺構測量に関しては、小出拓磨(有限会社毛野考古学研究所)が担当した。
5. 本書の編集は日沖(有限会社毛野考古学研究所)が行った。原稿執筆はIを神宮 聡(前橋市教育委員会)、VIを山本千春(有限会社毛野考古学研究所)、他を日沖が担当した。なお、出土遺物の実測・観察表作成・写真撮影は土井道昭(石器・石製品)・山本(古墳時代)・柴田洋孝(平安時代、その他)(有限会社毛野考古学研究所)が行った。
6. 発掘調査・整理作業に関わった方々は次のとおりである。

【発掘調査】秋間直人・井口ヒロ子・一場友香里・内山久男・奥野末廣・笠原基徳・狩野友好・川崎祥子・川島陸好・小関泰洋・斉藤清一・鈴木若葉・住谷孝子・竹生正明・勸使川原幸枝・友永 茂・永井述史・西山勝久・萩原秀子・橋元裕児・村磯光子・森山恵子・森山孝男

【整理作業】有田真紋・石原理久子・一場友香里・内田恵美子・大塚規子・尾堤小春・樺沢美枝・合田幸子・武士久美子・竹中美保子・永井祐二・永島美和子・伴場りく・深谷道子・真下弘美・山口昌子・渡辺博子

7. 発掘調査で出土した遺物及び、図面等の資料は、前橋市教育委員会文化財保護課で保管されている。
8. 以下の諸氏・機関に有益な御指導・御協力を賜った。記して感謝の意を表したい。(順不同、敬称略)
安生素明・井浦 崇・大木紳一郎・小川卓也・熊谷 満・坂口 一・佐野良平・鈴木徳雄・早田 勉
都木真澄・田口一郎・中島直樹・中村岳彦・三浦京子・水谷貴之・三宅敦気・向出博之・茂木孝行
山口逸弘・山崎一男・吉田有里・元総社町自治会・山下工業株式会社・J・T空撮

凡 例

1. 遺構図の縮尺は、平面図及び土層断面図を1/60縮尺で表現することを基本として掲載し、挿入図にはスケールを付してある。また、図中の北方位は座標北であり、座標値は日本測地系に基づいている。
2. 遺物実測図の縮尺は、1/1～1/6縮尺の範囲で掲載し、図中にスケールを付してある。遺物写真は遺物実測図とはほぼ同縮尺である。
3. 遺物実測図に使用しているトーンは次の意味を表す。
 灰軸  緑軸  煤  赤彩  黒色処理  溶解物
4. 遺構及び遺構施設の略称は、次のとおりである。
H：住居跡 W：溝跡 D：土坑 P：ピット T：堅穴状遺構 B：掘立柱建物跡 I：井戸
5. 遺構及び土器の色調観察は『新版 標準土色帖』(農林水産省技術会議事務局 財団法人日本色彩研究所監修 2006)に従っている。

目次

口絵写真

はじめに

例言・凡例

目次・図版目次・表目次・写真図版目次

I	調査に至る経緯	1
II	遺跡の位置と環境	2
1	地理的環境	2
2	歴史的環境	3
III	調査方針と経過	8
1	調査方針	8
2	調査経過	8
IV	標準堆積土層	9
V	遺構と遺物	9
1	遺跡の概要	9
2	住居跡	10
3	溝	30
4	土坑	34
5	ピット	36
6	竪穴状遺構	36
7	井戸	37
8	焼土跡	37
9	掘立柱建物跡	38
10	遺構外出土遺物	38
VI	まとめ	137

写真図版

抄録

奥付

図版目次

Fig. 1	調査区域図	1	Fig. 45	遺構実測図 (39)	77
Fig. 2	元総社蒼海遺跡群位置図	2	Fig. 46	遺構実測図 (40)	78
Fig. 3	遺跡分布図	4	Fig. 47	遺構実測図 (41)	79
Fig. 4	蒼海城縄張り図	6	Fig. 48	遺構実測図 (42)	80
Fig. 5	標準堆積土層	9	Fig. 49	遺構実測図 (43)	81
Fig. 6	全体図	11	Fig. 50	遺構実測図 (44)	82
Fig. 7	遺構実測図 (1)	39	Fig. 51	遺構実測図 (45)	83
Fig. 8	遺構実測図 (2)	40	Fig. 52	遺構実測図 (46)	84
Fig. 9	遺構実測図 (3)	41	Fig. 53	遺構実測図 (47)	85
Fig. 10	遺構実測図 (4)	42	Fig. 54	遺構実測図 (48)	86
Fig. 11	遺構実測図 (5)	43	Fig. 55	遺構実測図 (49)	87
Fig. 12	遺構実測図 (6)	44	Fig. 56	遺構実測図 (50)	88
Fig. 13	遺構実測図 (7)	45	Fig. 57	遺構実測図 (51)	89
Fig. 14	遺構実測図 (8)	46	Fig. 58	遺構実測図 (52)	90
Fig. 15	遺構実測図 (9)	47	Fig. 59	遺構実測図 (53)	91
Fig. 16	遺構実測図 (10)	48	Fig. 60	遺構実測図 (54)	92
Fig. 17	遺構実測図 (11)	49	Fig. 61	遺物実測図 (1)	93
Fig. 18	遺構実測図 (12)	50	Fig. 62	遺物実測図 (2)	94
Fig. 19	遺構実測図 (13)	51	Fig. 63	遺物実測図 (3)	95
Fig. 20	遺構実測図 (14)	52	Fig. 64	遺物実測図 (4)	96
Fig. 21	遺構実測図 (15)	53	Fig. 65	遺物実測図 (5)	97
Fig. 22	遺構実測図 (16)	54	Fig. 66	遺物実測図 (6)	98
Fig. 23	遺構実測図 (17)	55	Fig. 67	遺物実測図 (7)	99
Fig. 24	遺構実測図 (18)	56	Fig. 68	遺物実測図 (8)	100
Fig. 25	遺構実測図 (19)	57	Fig. 69	遺物実測図 (9)	101
Fig. 26	遺構実測図 (20)	58	Fig. 70	遺物実測図 (10)	102
Fig. 27	遺構実測図 (21)	59	Fig. 71	遺物実測図 (11)	103
Fig. 28	遺構実測図 (22)	60	Fig. 72	遺物実測図 (12)	104
Fig. 29	遺構実測図 (23)	61	Fig. 73	遺物実測図 (13)	105
Fig. 30	遺構実測図 (24)	62	Fig. 74	遺物実測図 (14)	106
Fig. 31	遺構実測図 (25)	63	Fig. 75	遺物実測図 (15)	107
Fig. 32	遺構実測図 (26)	64	Fig. 76	遺物実測図 (16)	108
Fig. 33	遺構実測図 (27)	65	Fig. 77	遺物実測図 (17)	109
Fig. 34	遺構実測図 (28)	66	Fig. 78	遺物実測図 (18)	110
Fig. 35	遺構実測図 (29)	67	Fig. 79	遺物実測図 (19)	111
Fig. 36	遺構実測図 (30)	68	Fig. 80	遺物実測図 (20)	112
Fig. 37	遺構実測図 (31)	69	Fig. 81	遺物実測図 (21)	113
Fig. 38	遺構実測図 (32)	70	Fig. 82	遺物実測図 (22)	114
Fig. 39	遺構実測図 (33)	71	Fig. 83	遺物実測図 (23)	115
Fig. 40	遺構実測図 (34)	72	Fig. 84	遺物実測図 (24)	116
Fig. 41	遺構実測図 (35)	73	Fig. 85	遺物実測図 (25)	117
Fig. 42	遺構実測図 (36)	74	Fig. 86	遺物実測図 (26)	118
Fig. 43	遺構実測図 (37)	75	Fig. 87	遺物実測図 (27)	119
Fig. 44	遺構実測図 (38)	76	Fig. 88	蒼海城における新段階・古段階の堀	140

表目次

Tab. 1 周辺遺跡一覧表	5	Tab. 12 出土遺物観察表 (7)	126
Tab. 2 土坑一覧表 (1)	34	Tab. 13 出土遺物観察表 (8)	127
Tab. 3 土坑一覧表 (2)	35	Tab. 14 出土遺物観察表 (9)	128
Tab. 4 土坑一覧表 (3)	36	Tab. 15 出土遺物観察表 (10)	129
Tab. 5 ビット一覧表	36	Tab. 16 出土遺物観察表 (11)	130
Tab. 6 出土遺物観察表 (1)	120	Tab. 17 出土遺物観察表 (12)	131
Tab. 7 出土遺物観察表 (2)	121	Tab. 18 出土遺物観察表 (13)	132
Tab. 8 出土遺物観察表 (3)	122	Tab. 19 出土遺物観察表 (14)	133
Tab. 9 出土遺物観察表 (4)	123	Tab. 20 出土遺物観察表 (15)	134
Tab. 10 出土遺物観察表 (5)	124	Tab. 21 出土遺物観察表 (16)	135
Tab. 11 出土遺物観察表 (6)	125	Tab. 22 出土遺物観察表 (17)	136

写真図版目次

P L . 1	H-13 号住居跡カマド全景	H-30 号住居跡全景
遺跡遠景	H-14 号住居跡全景	H-33 号住居跡全景
1区全景	H-15 号住居跡全景	H-66 号住居跡全景
P L . 2	H-15 号住居跡工具痕確認状態	H-66 号住居跡カマド全景
2区全景	H-16 号住居跡全景	P L . 9
H-1・100 号住居跡 1 住側全景	H-16 号住居跡カマド全景	H-68 号住居跡全景
H-1・100 号住居跡 1 住側	H-17 号住居跡全景	H-68 号住居跡カマド全景
遺物出土状態	P L . 6	H-71 号住居跡全景
H-1・100 号住居跡 100 住側全景	H-17 号住居跡カマド全景	H-71 号住居跡カマド全景
H-2 号住居跡全景	H-18 号住居跡全景	H-74 号住居跡全景
P L . 3	H-19 号住居跡全景	H-75 号住居跡全景
H-3 号住居跡全景	H-20 号住居跡全景	H-76 号住居跡全景
H-4 号住居跡全景	H-20 号住居跡カマド全景	H-76 号住居跡カマド全景
H-5 号住居跡全景	H-21 号住居跡全景	P L . 10
H-5 号住居跡カマド全景	H-21 号住居跡カマド全景	H-77 号住居跡全景
H-7 号住居跡全景	H-22 号住居跡全景	H-77 号住居跡カマド全景
H-7 号住居跡カマド土層断面	P L . 7	H-78 号住居跡全景
H-8 号住居跡全景	H-23 号住居跡全景	H-78 号住居跡カマド全景
H-9 号住居跡全景	H-23 号住居跡カマド全景	H-86 号住居跡全景
P L . 4	H-24 号住居跡全景	H-86 号住居跡カマド全景
H-9 号住居跡カマド全景	H-25 号住居跡全景	H-88 号住居跡全景
H-10 号住居跡全景	H-25 号住居跡カマド全景	H-88 号住居跡カマド全景
H-10 号住居跡カマド全景	H-26 号住居跡全景	P L . 11
H-11 号住居跡全景	H-27 号住居跡全景	H-89 号住居跡全景
H-11 号住居跡カマド全景	H-28 号住居跡全景	H-89 号住居跡カマド全景
H-12 号住居跡全景	P L . 8	H-90 号住居跡全景
H-12 号住居跡カマド全景	H-28 号住居跡カマド全景	H-90 号住居跡カマド全景
H-12 号住居跡遺物出土状態	H-29 号住居跡全景	H-91 号住居跡全景
P L . 5	H-29 号住居跡旧カマド全景	H-91 号住居跡カマド全景
H-13 号住居跡全景	H-29 号住居跡新カマド全景	H-92 号住居跡全景

H-92 号住居跡カマド全景

P L . 12

H-93・98 号住居跡全景

H-93 号住居跡カマド全景

H-94 号住居跡全景

H-94 号住居跡カマド全景

H-95・97 号住居跡全景

H-96 号住居跡全景

H-96 号住居跡カマド全景

H-97 号住居跡遺物出土状態

P L . 13

H-99 号住居跡全景

W-1 号溝土層断面

W-2 号溝土層断面

W-1 号溝全景

W-2 号溝全景

W-3 号溝全景

P L . 14

D-2 号土坑全景

T-1 号塹穴状遺構検出状態

T-1 号塹穴状遺構検出状態

T-1 号塹穴状遺構全景

T-1 号塹穴状遺構 P 2

柱痕確認状態

T-1 号塹穴状遺構 P 2

土層断面

T-6 号塹穴状遺構全景

1 号焼土跡確認状態

P L . 15

B-1 号掘立柱建物跡全景

B-2 号掘立柱建物跡全景

P L . 16

出土遺物①

P L . 17

出土遺物②

P L . 18

出土遺物③

P L . 19

出土遺物④

P L . 20

出土遺物⑤

P L . 21

出土遺物⑥

P L . 22

出土遺物⑦

P L . 23

出土遺物⑧

P L . 24

出土遺物⑨

P L . 25

出土遺物⑩

P L . 26

出土遺物⑪

P L . 27

出土遺物⑫

P L . 28

出土遺物⑬

P L . 29

出土遺物⑭

P L . 30

出土遺物⑮

P L . 31

出土遺物⑯

P L . 32

出土遺物⑰

I 調査に至る経緯

本発掘調査は、前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴い実施され、10年目にあたる。本調査地は、周辺で埋蔵文化財調査が長年にわたって行われていることから、遺跡地であることが確認されている。

平成21年8月5日付けで前橋市長 高木政夫（区画整理第二課）より前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査の依頼が前橋市教育委員会に提出された。前橋市教育委員会ではこれを受け、内部組織である前橋市埋蔵文化財発掘調査団 団長 戸塚良明（以下「調査団」という。）に発掘調査実施について協議を行った。しかし、調査団では既に直営による発掘調査を実施しており、調査団直営による調査の実施が困難であるため、民間調査組織に業務を委託したいとの回答をした。民間調査組織の導入については、依頼者である前橋市の合意も得られ、平成21年9月4日付けで前橋市と調査団との間で発掘調査業務契約を締結し、その後、9月11日付けで調査団と民間調査組織である有限会社毛野考古学研究所 取締役 長井正欣との間で発掘調査業務契約を締結し、発掘調査を開始した。

なお、遺跡名称「元総社蒼海遺跡群 (27)」（遺跡コード:21A130-27)の「元総社蒼海」は区画整理事業名を採用し、数字の「(27)」は過年度に実施した調査と区別するために付したものである。

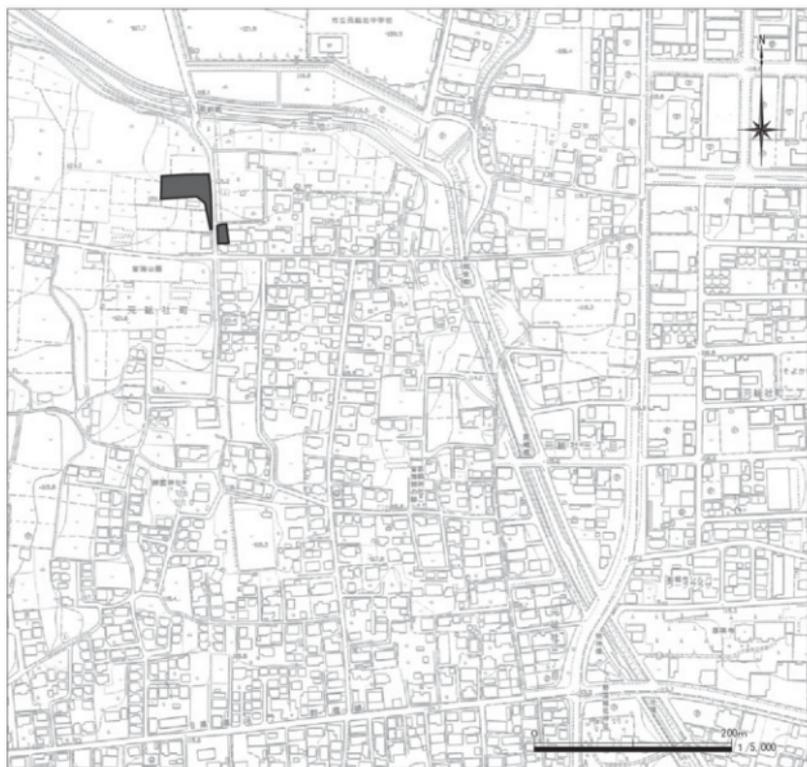


Fig. 1 調査区域図（前橋市役所発行『前橋市現形図 52-1・52-3』1/2,500を50%縮小）

II 遺跡の位置と環境

1 地理的環境 (Fig. 2)

元総社蒼海遺跡群が立地する前橋市は、群馬県の中央からやや南東寄りに位置し、北の渋川市、東の桐生市・伊勢崎市、西の高崎市・吉岡町・榛東村、南の玉村町と境を接し、周囲を見わたすと北東に赤城山、北に子持山・小野子山、北西に榛名山、西に妙義山・浅間山を望むことができる。市城の西側には、榛名山麓を源とする幾つもの小河川を集める利根川が南流しており、同河川を中心として数々の文化が栄えている。利根川の現流路は15世紀後半頃に定まったものとされており、それ以前は、前橋市大手町の北側で現流路から逸れて、南東流していたことが確認されている。なお、旧利根川の流路は、現在の広瀬川に一致するものとされている。

元総社蒼海遺跡群は、前橋市の西端に位置し、遺跡の西2.4 kmには群馬県庁、南南東1.9 kmには関越自動車道前橋インターが立地している。また、地形的な要因を加味すると本遺跡周辺は、榛名山麓より広がる相馬ヶ原扇状地の末端部にあたる。なお、相馬ヶ原扇状地は、榛名山の陣場岩層なだれに起因するものとされており、その範囲は榛名山南東麓の大部分にわたる。陣場岩層なだれは、A s-Y P (浅間板鼻黄色軽石: 13,000 ~ 14,000 年前降下: y b p) と A s-S r (浅間白糸軽石: 18,000 年前降下) の間に起きていることが発掘調査等で説明されていることから、相馬ヶ原扇状地の形成も両軽石降下間と言えよう。扇状地の形成は河川の流路にも影響を及ぼし、扇状地形が開ける方向へ河川も流下する状況が窺える。本遺跡周辺にも榛名山麓より南東流する染谷川・牛池川・八幡川等の河川が見られ、遺跡の占地に影響を与えている。元総社蒼海遺跡群は、染谷川と牛池川に挟まれた台地上に立地しており、同じ台地上には代表的な遺跡として上野国府・国分僧寺・国分尼寺・蒼海城等の痕跡が捉えられている。

現在、元総社蒼海遺跡の周辺は上野国府や蒼海城の地割りが残っており、特に蒼海城に関しては、土塁や埋没した堀の痕跡を部分的に見ることができる。

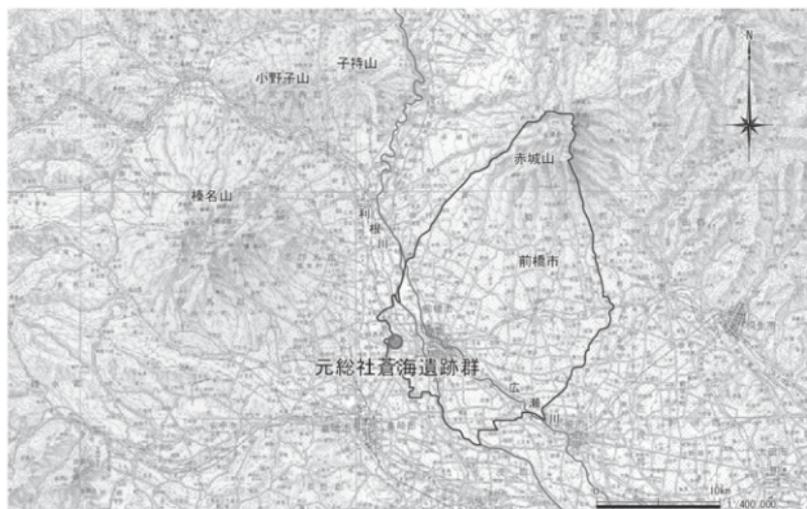


Fig. 2 元総社蒼海遺跡群位置図 (国土地理院発行『宇都宮』・『長野』1/200,000を50%縮小)

2 歴史的環境 (Fig. 3・4, Tab. 1)

本遺跡が立地する元総社周辺は、古くから上野国府・国分僧寺・国分尼寺・山王廃寺等が建立され、群馬県内において中枢をなす地域として広く知られている。また、中世になると上野国府の地割りを利用して造られたとされる蒼海城の存在も周知であろう。このような状況から、本遺跡周辺は奈良・平安時代及び中世の遺跡が目立つ地域となっているが、周辺遺跡を見わたすと、人々が残した痕跡が縄文時代より連続と続いている状況を確認することができる。ここでは、各時代ごとの遺跡の分布状況について概観してみたいと思う。

縄文時代の遺跡は、牛池川と染谷川に挟まれた微高地上に集中する傾向にあり、前期後半及び中期後半の集落が近年の開発と共に確認されつつある。同台地上では元総社小見遺跡【35】で諸磯b式期・加曾利E3式期の住居跡が検出されているのを始め、元総社蒼海遺跡群(13)【28】で諸磯c式期の住居跡が確認されており、床面から板状土偶の出土も認められている。このように元総社周辺の遺跡からは、前期後半・中期後半における集落・遺物の確認が多いように思われるが、近年調査が行われた元総社北川遺跡【25】で、A-s-C痕土層下の河道から晩期の注口土器が出土し、元総社蒼海遺跡群(9)【38】では該期の堅穴住居跡も検出されている。なお、元総社周辺において草創期～前期前半の集落等は確認されていない。これは、浅間総社軽石(A-s-Sj:11,000年前)降下以後に本地域の地形を改変させた度重なる洪水(総社砂層)によるものと推測されよう。

弥生時代の遺跡数は極めて少ない状況にあり、確認された遺構のほとんどは後期の樽式期にあたるものである。該期の住居跡は、桜ヶ丘遺跡【2】・下東西遺跡【4】・上野国分僧寺・尼寺中間地域【27】・日高遺跡【60】で確認されている。このうち、日高遺跡では浅間C軽石(A-s-C:3世紀後半～4世紀初頭)下の水田跡が検出されており、弥生時代後期から古墳時代前期にかけて継続して営まれた水田として捉えられている。弥生時代後期以外確認は先述したとおり希少で、遺構に伴わないものの元総社北川遺跡【25】で甕見町式の壺が出土している。

古墳時代になると遺跡数は増大の傾向をたどる。利根川右岸には遠見山古墳【11】を始めとして、王山古墳【32】・稲荷山古墳【23】・総社二子山古墳【6】・愛宕山古墳【10】・宝塔山古墳【13】・蛇穴山古墳【12】が築造され、このうち稲荷山古墳を除く古墳は総社古墳群に属するものである。なお、宝塔山古墳の石棺と蛇穴山古墳の石室に見られる石造技術は、約900m南西に建立された山王廃寺【18】の石造物と同系統の技術であることから、これらの古墳は仏教色の強いものとされている。集落は縄文時代と同様で、牛池川と染谷川に挟まれた台地上に多く分布しているが、前期～中期の住居跡は散見されるほどで、後期からの集落増加が目立つ地域と言えよう。集落に伴う島・水田等の生産域は八幡川・牛池川・染谷川に沿って形成された後背湿地に集中し、総社甲稲荷塚大道西IV遺跡【30】・総社関泉明神北遺跡【38】・元総社西川遺跡【33】で島跡、元総社北川遺跡【25】・総社関泉明神北遺跡・総社関泉明神北遺跡V【38】・元総社明神遺跡I～13【50】・元総社寺田遺跡I～III【51】で水田跡が確認されている。なお、本遺跡【1】では、前期及び後期の集落が確認されており、特に前期の集落に関しては、元総社北川遺跡【25】で検出された灌漑水路の開発集団とも考えられよう。

奈良・平安時代の元総社は、上野国府・国分僧寺【61】・国分尼寺【62】が置かれ、古代上野国の中枢を担う地域へと変化を遂げていく。現在、上野国府の範囲・建物については不明瞭な部分が多いものの、元総社蒼海遺跡群(7)(9)(10)【38】・関泉稲遺跡【39】で東西方向、元総社明神遺跡【50】で南北方向の大溝が確認されており、国府域における北及び東外郭線が推定されることとなった。国府域推定域内には、元総社宅地遺跡【41】・元総社寺田遺跡【51】・元総社小学校校庭遺跡【53】など国府関連の様相を示す遺跡が確認されており、元総社宅地遺跡・元総社小学校校庭遺跡では掘立柱建物跡、元総社寺田遺跡では「厨厨」「曹司」「国」「色厨」などが書かれた墨書土器や人形の出土が確認されている。なお、本遺跡である元総社蒼海遺跡群(27)【1】も国府域推定域内よりはみ出しているものの、8世紀代と想定される掘立柱建物跡が確認されており、国府との関連性が指摘されている。国分僧寺・国分尼寺は必然的に上野国府周辺に置かれており、国分僧寺については昭和55年より本格的な調査が行われ、主要伽藍の礎石・築垣・塀などが捉えられている。国分尼寺に関しては、昭

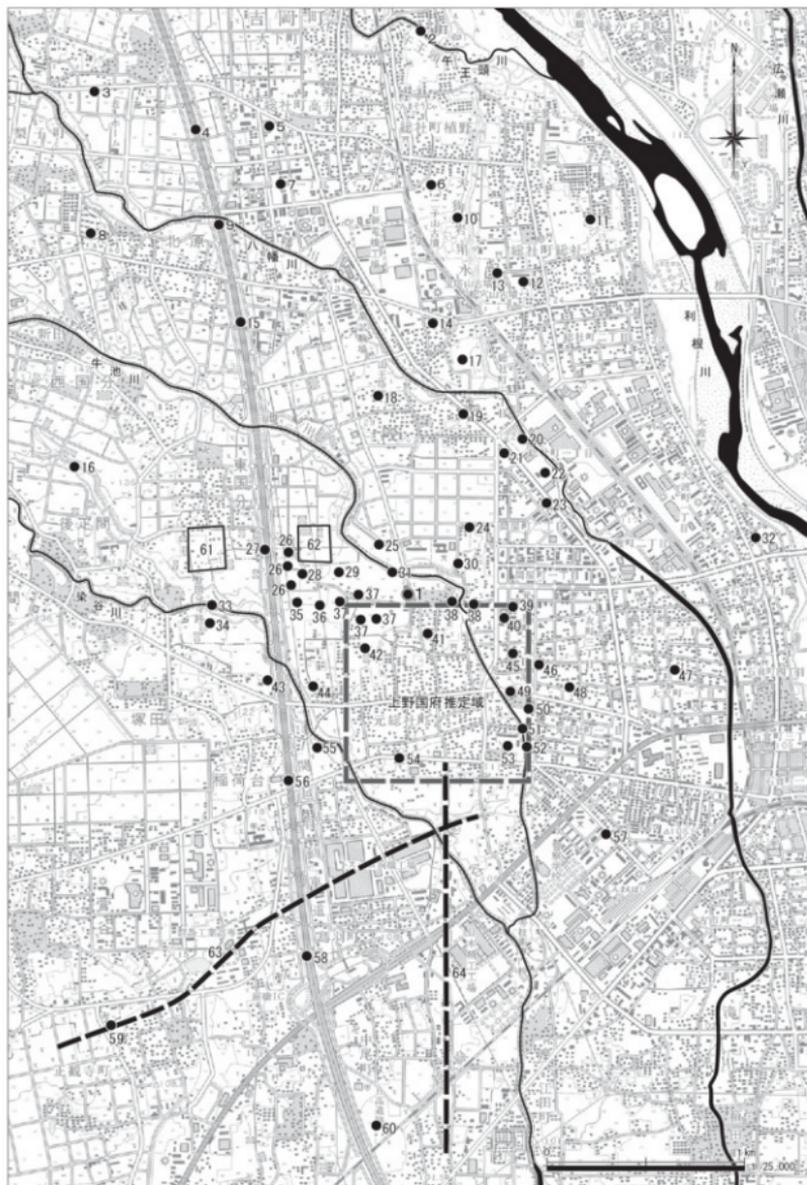


Fig. 3 遺跡分布図 (国土地理院発行『前橋』1/25,000)

Tab. 1 周辺道路一覧表

番号	道路名	時代						番号	道路名	時代					
		縄文	弥生	古墳	奈良・平安	中世	近世			縄文	弥生	古墳	奈良・平安	中世	近世
1	元総社普海遺跡群 (27)			●	●	●		31	元総社小見内VI遺跡			●	●		
	桜ヶ丘遺跡		●						元総社小見内VII遺跡			●	●		
	総社桜ヶ丘遺跡・II遺跡				●				元総社普海遺跡群 (12)			●	●		
3	清里南部遺跡群・III		●					32	玉山古墳			●	●		
4	下東西遺跡	●	●	●				33	元総社西川遺跡			●	●		
5	中島遺跡				●			34	上野因分寺参道遺跡			●	●		
6	総社二子山古墳			●				35	元総社小見遺跡		●	●			
7	橋本遺跡・II遺跡				●			36	元総社小見III遺跡	●		●			
8	熊野谷遺跡		●						元総社草作V遺跡		●	●			
	熊野谷II・III遺跡				●			37	元総社小見内IV遺跡			●	●		
9	北原遺跡	●		●					元総社小見内V遺跡			●	●		
10	受岩山古墳			●					元総社小見内IX・X遺跡		●	●			
11	遠見山古墳			●					元総社普海遺跡群 (2) (6)		●	●			
12	蛇穴山古墳			●					元総社普海遺跡群 (11)		●	●			
13	宝塔山古墳			●				38	総社関皇明神北遺跡			●	●		
14	村東遺跡			●	●	●			総社関皇明神北II遺跡			●	●		
15	国分塚遺跡			●	●	●			総社関皇明神北V遺跡			●	●		
	国分塚II遺跡			●	●	●			元総社普海遺跡群 (7)			●	●		
	国分塚III遺跡			●	●	●			元総社普海遺跡群 (9) (10)			●	●		
16	後定期遺跡I～III			●	●	●		39	関皇稲遺跡			●	●		
17	大屋敷遺跡I～VI	●		●	●	●		40	関皇稲南遺跡			●	●		
18	山王原寺跡			●				41	元総社宅地遺跡1～23					●	
19	昌葉寺御向遺跡・II遺跡					●			トレンチ						
20	産業道路東遺跡		●					42	草作遺跡			●	●		
21	産業道路西遺跡		●					43	塚田村東遺跡			●	●		
22	稲荷塚東遺跡			●	●			44	元総社普海遺跡群 (8)			●	●		
23	稲荷山古墳			●	●			45	屋敷遺跡・II遺跡			●	●		
24	総社甲稲荷塚大道西遺跡			●	●		●	46	榎塚II遺跡			●	●		
	総社甲稲荷塚大道西II遺跡			●	●		●	47	大友宅地跡遺跡			●	●		
25	総社関皇明神北IV遺跡・元総社牛池川遺跡・元総社北川遺跡・元総社小見内V遺跡	●	●	●		●	●	48	榎塚遺跡			●	●		
26	元総社小見II遺跡	●		●		●		49	大友屋敷II・III遺跡		●	●			
	元総社小見IV・V遺跡	●		●	●	●		50	元総社明神遺跡1～13					●	
	元総社小見VI・VII遺跡	●		●	●	●		51	元総社寺田遺跡1～III			●	●		
	元総社普海遺跡群 (4)	●		●		●		52	寺田遺跡			●	●		
27	上野因分僧寺・尼寺中間地域	●	●	●		●		53	元総社小学校校庭遺跡			●	●		
28	元総社普海遺跡群 (13)	●		●		●		54	天神遺跡・II遺跡			●	●		
29	元総社小見内III遺跡	●		●		●		55	弥羽遺跡・II遺跡		●	●			
	元総社普海遺跡群 (1) (5)	●		●		●		56	鳥羽遺跡			●	●		
30	総社甲稲荷塚大道西III遺跡			●	●			57	元総社稲葉遺跡	●		●	●		
	総社関皇明神北III遺跡	●		●	●			58	中尾遺跡			●	●		
	総社甲稲荷塚大道西IV遺跡			●		●		59	正観寺遺跡1～IV		●	●	●		

※ 本表の遺跡番号は本文・Fig. 3の『遺跡分布図』の番号と一致している。

和44・45年にトレンチ調査が行われたことにより伽藍配置の推測が可能となり、この結果を基に前橋市埋蔵文化財発掘調査団が、平成12年に寺域確認調査を行っている。この調査の結果、南東・南西隅の築垣とそれに並走する溝、道路状遺構を捉えるに至っている。なお、上野国府・国分僧寺・国分尼寺に関連する遺構も周辺で確認されている。上野国分僧寺・尼寺中間地域【27】で、大規模な集落・掘立柱建物跡群が検出されているのを始めとして、鳥羽遺跡【56】で神社遺構、中尾遺跡【58】で工房跡が見られ、周辺地域における調査の重要性を再認識させられるものと言えよう。また、東山道（国府ルート）【63】・日高道【64】の存在も明らかになりつつあり、当時の交通事情や流通を知る貴重な手がかりになるものと考えられる。

一方、公的な建物以外である一般的な集落を概観すると、やはり牛池川と染谷川に挟まれた台地上に立地して

くるが、国府推定域の中心部における分布は疎となっている。これは、当然ながら国府城と居住域の区分けがなされていたことを示すものであろう。このような衛星的な集落は古墳時代の集落分布と比べるとさらに多く、確認された集落のほとんどで、8～11世紀代の堅穴住居跡が所狭しと重複する状況を顕著に見ることができる。無数に分布する集落遺跡に対し、本遺跡周辺の生産遺跡は少なく、元総社北川遺跡【25】・元総社甲稻荷塚大道西三遺跡【30】などで確認されている畠跡に留まっている。水田跡は、本遺跡より南へ2.3kmほど離れた日高遺跡【60】で確認されている。

中世の元総社には、上野国府の地割りを利用した蒼海城が築かれる。蒼海城は牛池川と染谷川に挟まれた径1,200m程の範囲を縄張りとする広大な面積を要する城で、千葉介常胤によって鎌倉時代に築かれたと言われて



Fig. 4 蒼海城縄張り図 (山崎 一 1978『群馬県古城遺址の研究 上巻』より 1/8,000)

いる。千葉介常胤については「上毛伝説雑記拾遺」の「総社記」に記されており、「長元戊辰年（1028年）六月、上総介平忠常下総国より引移らる。其の嫡子下総介常重、其の長子千葉介常胤、此の時城鎮護の爲に、五智の如來を城の四方に教箇寺を建立有って安置す。」とある。

時は下って、蒼海城は永享元年（1429年）に総社長尾氏によって修築を受けることとなる。なお、蒼海城の修築は、長尾景行によって行われたとされているが、景行の子である長尾忠房（賢昌）によるものと説もある。長尾忠房は上野国府の地割りを利用して築かれた蒼海城を居住には不便であると判断し石倉城を築いて移り住んだが、その石倉城は利根川に崩落してしまつたため、再び蒼海城へ戻ることとなったとされている。以後、守護である上杉氏とともに総社長尾氏は守護代として栄えるが、長尾顕方の時、勃興してきた北条氏綱に服属し、さらには長尾顕方の跡を継いだ長尾顕景は箕輪城主長野信業と親橋城主長野方業に攻められ、長野氏に屈服したようである。永禄九年（1566年）には、主力を石倉城へ移していたものの、一部は蒼海城に残っていたこともあり武田信玄に攻略されることとなる。

天正十八年（1590年）小田原城が落とされ、関東地方は徳川家康の支配下に置かれることになるが、その時蒼海城に諏訪頼忠が入り、城の北東部に長屋を構えて居住したとされている。そこで、諏訪頼忠は頼永を授かるが、諏訪頼永はその後先祖の地である信濃高島城へ移ることとなる。慶長六年（1601年）には、諏訪頼永に変わり秋元長朝が蒼海へ入るが、蒼海城は荒廃していたためであろうか、植野に総社城を築城し移り住んだとされる。なお、総社城の築城までは時間を要したため、秋元長朝は蒼海城の東に位置する八日市場城を仮の地として身を置くこととなったようである。秋元長朝が総社城へ移った後は、蒼海城は城としての役割を終え廢城を迎えることとなる。

蒼海城関連の遺構は本遺跡【1】と元総社蒼海遺跡群【1】29・（5）29・（6）37、元総社小見内Ⅷ遺跡【37】で確認されている。このうち、本遺跡で改修前と後の2時期にわたる堀、元総社蒼海遺跡群（6）で南北方向に走行する上端幅11mの堀が検出されている。

参考文献

- 山崎 一 ほか 1979 『日本城郭大系 第4巻 茨城・栃木・群馬』 新人物往来社
近藤義雄 1986 『国説・前橋の歴史 群馬県の歴史シリーズ①』 あかぎ出版
群馬県史編さん委員会 1989 『群馬県史 通史編3 中世』 群馬県
山崎 一 1978 『群馬県古城遺址の研究 上巻』 群馬県文化事業振興会
前橋市史編さん委員会 1971 『前橋市史 第一巻』 前橋市
秋本太郎 ほか 2008 『史跡箕輪城跡Ⅷ』 高崎市教育委員会
早田 勉 ほか 2008 『更新世の地形発達史と遺跡群の形成』 岩宿博物館・岩宿フォーラム実行委員会
群馬県史編さん委員会 1990 『群馬県史 通史編1 原始古代1』 群馬県
大崎和久 ほか 2006 『元総社蒼海遺跡群（6）』 前橋市埋蔵文化財発掘調査団
坂口 一 ほか 2007 『総社関東明神北Ⅳ遺跡・元総社牛池川遺跡・元総社北川遺跡・元総社小見内Ⅴ遺跡』（財）群馬県埋蔵文化財調査事業団
櫻井和哉 ほか 2008 『元総社蒼海遺跡群（16）』 前橋市埋蔵文化財発掘調査団
阿久澤真一 ほか 2008 『元総社蒼海遺跡群（13）』 前橋市埋蔵文化財発掘調査団
長谷川一郎 ほか 2001 『元総社小見内遺跡』 前橋市埋蔵文化財発掘調査団
長谷川一郎 ほか 2003 『元総社小見Ⅲ遺跡・元総社草作Ⅴ遺跡』 前橋市埋蔵文化財発掘調査団
梅沢克典 ほか 2008 『元総社蒼海遺跡群（15）』 前橋市埋蔵文化財発掘調査団
近藤雅典 ほか 2006 『元総社蒼海遺跡群（2）』 前橋市埋蔵文化財発掘調査団
梅沢克典 ほか 2007 『元総社蒼海遺跡群（12）』 前橋市埋蔵文化財発掘調査団
近藤雅典 ほか 2008 『元総社蒼海遺跡群（14）・元総社蒼海遺跡群（19）』 前橋市埋蔵文化財発掘調査団
金子正人 ほか 2008 『元総社蒼海遺跡群（17）』 前橋市埋蔵文化財発掘調査団

Ⅲ 調査方針と経過

1 調査方針

委託調査箇所は、前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴う道路用地で、調査総面積は1,572㎡である。調査区は2つの地点に分かれており、1・2区と名称を付した。調査は、1区で蒼海城関連の深い堀が検出されることが予想されていたことから、1区の調査を最優先とし、1区の調査終了を受けて、2区の調査へ取り掛かることとした。調査区に被せる方眼は2000年に行われた上野国分尼寺寺域確認調査から用いられている4mごとの方眼（日本測地系）を基準とし、近隣調査との整合性を取りやすくした。グリッドは北西杭の名称を使用し、西から東へX：170、X：171、X：172・・・、北から南へY：107、Y：108、Y：109・・・、と設定した。本遺跡のX：175、Y：110の公共座標は以下のとおりである。

・元総社蒼海遺跡群（27） 測点 X：175 Y：110

日本測地系：X = 43560.000 Y = 71500.000 世界測地系：X = 43914.9040 Y = 71791.7592

調査方法は、基本的に表土除去→遺構確認→遺構検出→断面観察→遺構完掘の順に行い、測量及び写真撮影による記録保存は、調査の進捗に合わせて随時行っている。表土除去は0.45バックホーで遺構確認面であるA s - Cが混入する黒褐色土層（IV層上面）まで掘り下げることとした。遺構確認は重複が激しいことから困難を極めた。このため、調査区を4mごとの方眼に区画し、区画ラインをベルトとして、各区画ごとに遺構の詳細を捉えられるまで、ジョレンを使用して掘り下げることとした。確認された遺構は基本的に移植ゴテを使用して掘り下げたが、堀に限り、壁面・底面付近及び遺物集中部分を除きスコップを使用した。遺構の検出過程では、ベルトないし半載により遺構の埋没状況を確認し、出土遺物は可能な限りトータルステーションで出土位置及び標高を記録した後に取り上げを行った。

検出された遺構の記録保存は、平面・断面測量及び写真撮影で対応している。遺構図面は平面・断面図とも基本1/20縮尺で作成し、いずれもトータルステーションで測量している。遺構写真は、35mm白黒・35mmカラーリバーサルフィルムを使用して撮影し、補助として1,000万画素相当のデジタルカメラも利用した。また、完掘後はラジコンヘリコプターによる空撮も行っている。

2 調査経過

現地での発掘調査は平成21年10月24日から平成22年1月29日まで、整理業務は平成22年2月1日～同年3月12日まで行った。調査経過は以下のとおりである。

平成21年10月24日：プレハブ・簡易トイレ・発掘器材の搬入。10月27日：1区の表土除去開始。10月29日：2区の表土除去開始。11月2日：発掘補助員動員。遺構確認・検出作業を開始。W-1号溝を確認。11月12日：1区の遺構検出を終了。2区の調査を開始。11月20日：W-2号溝確認し、検出作業に取り掛かる。11月23日：遺構の重複が激しいことから、調査区を4m方眼に区切り、各方眼ごとに調査を進めることとする。11月27日：T-1号堅穴状遺構を確認し、検出したところ、多量の石製品が出土。12月14日：1区の空撮を行う。12月17日：1区の埋め戻し開始。12月18日：1区の埋め戻し完了。平成22年1月8日：調査区の約半分程の遺構検出を終了する。1月15日：B-1・2号掘立柱建物跡を確認する。1月25日：2区の遺構検出を終了する。1月27日：2区の空撮を行う。空撮の終了を受けて埋め戻しを行う。1月29日：2区の埋め戻し完了。発掘器材・プレハブ・簡易トイレの撤収を行い、現地における全ての調査を終了する。2月1日：出土遺物の洗浄・注記・接合を開始。2月8日：図面修正・写真整理開始。2月12日：遺構原稿執筆及び遺物実測開始。2月17日：遺物・遺構トレース開始。2月24日：版組み。2月26日：入稿・校正。3月9日：印刷・製本。3月12日：報告書納品。

IV 標準堆積土層

本遺跡は染谷川と牛池川に挟まれた台地上に立地している。今回の調査では、現地表面より約3mの深さまで堆積土層を確認しており、最深部の土層は度重なる洪水により形成されたものと考えられる総社砂層（VI層）である。なお、その厚さは2.5m以上にも及んでいる。今回の調査では確認できなかったものの、総社砂層の下にはAs-Sj（浅間-総社軽石：11,000年前降下：yb p）、さらにはAs-YP（浅間-板鼻黄褐色軽石：13,000～14,000年前降下：yb p）が堆積しているものと推測される。As-Sjは前橋泥炭層中に含まれており、As-Sj降下時（縄文時代早期）の本遺跡周辺は、湿地であったことを示していると言えよう。なお、本遺跡周辺が台地化するのには、洪水を起源とする総社砂層の度重なる堆積によるものと考えられ、台地形成後に集落が形成されるのは、縄文時代前期後半あたりと推測されている。

VI層より上位に堆積する土は、上からAs-A（浅間A軽石：1,783年降下）の混入が見られる現表土（I層）、旧耕作土（II層）、As-B（浅間B軽石：1,108年降下）が混入する暗灰色土（III層）、As-C（浅間C軽石：3世紀後半降下）が混入する黒褐色土（IV層）、IV層とVI層の漸移層と考えられるに黄褐色土（V層）が認められる。このほか、遺構の埋没土中には部分的にHr-FA（榛名山-二ッ岳洪川テフラ：6世紀初頭降下）の混入が確認されているが、一次堆積層としての確認には及んでいない。また、III層および遺構の埋没土中にはAs-C軽石の混入が顕著に見られるが、これも一次堆積層を捉えるには至っていない。このような状況から、本遺跡内では度重なる攪拌が行われていたものと考えられ、徐々にAs-CやHr-FAの一次堆積層が失われていったものと推測される。

今回の調査では、IV層上面を遺構確認面として、古墳時代から中世の遺構を捉えることに努めた。調査を進めている。例外として、遺構の重複が激しく、IV層上面での遺構確認が困難な場合は、V層上面まで遺構確認面を下げた調査を進めることとした。

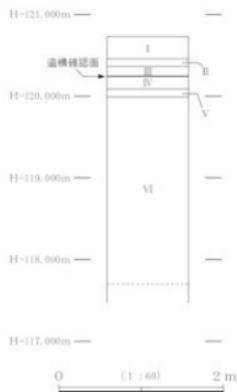


Fig. 5 標準堆積土層

V 遺構と遺物

1 遺跡の概要 (Fig. 6, P.L. 1・2)

本遺跡の調査では、堅穴住居跡51軒（H-6号住居跡は欠番、H-1号住居跡とH-100号住居跡は同一遺構として判断）・溝17条（W-3号溝とW-15号溝は同一遺構として判断）・土坑49基・ピット3基・堅穴状遺構4基・井戸1基・焼土跡1基・掘立柱建物跡2棟が検出されている。堅穴住居跡は4・5・6・7・9・10・11世紀代に帰属するもので構成されており、8世紀代の住居跡は見られない状況にあった。なお総体的に本遺跡を概観すると、確認されるAs-C・Hr-FAの一次堆積層が見られない状況を窺うことができる。このため、本遺跡は集落域として栄える一方、畠の耕作等も顕著に行われていたと言えよう。

堅穴住居跡で特筆すべき事項として、7世紀代の堅穴住居跡の埋没状況が挙げられる。該期の住居跡の埋没は、人為的な埋め戻し、または焼失によるものが多く見受けられる。8世紀代の本遺跡周辺は、国府域として機能し始める時期にあたり、国府の開発に伴って前段階にあたる一般的な集落は撤去させられた可能性が考えられよう。

溝はW-1・2・5・6号溝が蒼海城に関連するものと考えられ、W-1号溝は、現在考えられている本丸西側を南北方向に走行する堀の北側延長線上に位置するものである。W-2・5・6号溝は並走関係にあるもので、W-2号溝の埋没土中からは中世陶磁器等の出土が認められている。

土坑は49基確認されているうち、21基(D-32~34・36・37・41・44・46・48・49・52・54・55・60・62・63・65・71~74号土坑)がB-1ないし2号掘立柱建物跡の柱穴として捉えられているものである。

竪穴状遺構はT-1号竪穴状遺構が、中世に帰属するもので、宝篋印塔などの石製品が多量に投げ込まれている状況が捉えられており、蒼海城との関連性が指摘されるものである。

掘立柱建物跡は、T-1号掘立柱建物跡が7世紀後半の住居跡であるH-96号住居跡より新しく、T-2号掘立柱建物跡が10世紀前半の住居跡であるH-77号住居跡より古いものであることが判明している。掘立柱建物跡自体からは、明確な時期を示す遺物の出土は確認されていないものの、住居跡の切り合い関係や柱穴の平面形態から上野国府に関連する遺構となる可能性を有するものと言えよう。

2 住居跡

H-1・100号住居跡 (遺構: Fig. 7、P.L. 2 / 遺物: Fig. 61、Tab. 6、P.L. 16)

※H-1号住居跡とH-100号住居跡は発掘調査段階で、別遺構として扱っていたが、整理調査の段階で、出土遺物が同時期であることや掘り込み深度が同じであることなどから同一遺構と判断した。

位置: X: 181、Y: 118・119 グリッド。**主軸方位:** N-12°-W。**重複:** H-99号住居跡と重複し、出土遺物・埋没土層の観察から本住居跡は、H-99号住居跡より古い。**形状:** 方形ないし長方形を呈するものと想定される。

規模: 6.12 m × (1.39) m。**残存深度:** 0.61 m。**面積:** (8.51) m²。**床面の状態:** 多少の凸凹が見られるものの比較的平坦で、全体的にややしる。住居跡東壁やや北寄りに東西方向に走行する長さ0.80 m、幅0.14 mの溝状を呈する掘り込みが確認されている。**カマド:** 検出部分においては確認されていない。住居跡の北壁付近の埋没土(5・7層)に白色粘土の混入が見られることから、カマドは住居跡北壁に付設されているものと推測される。**貯蔵穴:** 確認されていない。**柱穴:** 確認されていない。**貼床:** A s-C・ローム粒を含み、しまりを有する暗褐色土により構築されている。**遺構埋没状態:** A s-C・ロームブロック・ローム粒・炭化粒を含む黒褐色ないし暗褐色を主体とした土による自然埋没と想定される。**遺物出土状態:** 住居跡の北東コーナー付近に良好な状態で土師器甕、南東コーナー付近で多量の編物石が床面直上より出土している。**時期:** 6世紀中頃と想定される。

H-2号住居跡 (遺構: Fig. 7、P.L. 2 / 遺物: Fig. 61、Tab. 6、P.L. 16)

位置: X: 181・182、Y: 116 グリッド。**主軸方位:** N-56°-W。**重複:** W-2号溝と重複し、出土遺物・埋没土層の観察から本住居跡は、W-2号溝より古い。**形状:** 方形ないし長方形を呈するものと想定される。**規模:** (3.10) m × (1.65) m。**残存深度:** 0.38 m。**面積:** (5.12) m²。**床面の状態:** 多少の凸凹が見られ、住居跡中央に向かうにつれやや窪む。全体的にややしる。カマド: 検出部分においては確認されていない。**貯蔵穴:** 確認されていない。**柱穴:** 確認されていない。**貼床:** A s-C・ローム粒を含み、しまりを有する暗褐色土により構築されている。**遺構埋没状態:** A s-C・ロームブロック・炭化粒を含む黒褐色を主体とした土による自然埋没と想定される。**遺物出土状態:** 住居跡中央やや西寄りと想定される部分より、凝灰岩・土師器甕・環が床面より40 cmほど浮いた状態で出土している。なお、出土した凝灰岩はカマドの構築材と推測されるものである。**時期:** 6世紀中頃と想定される。

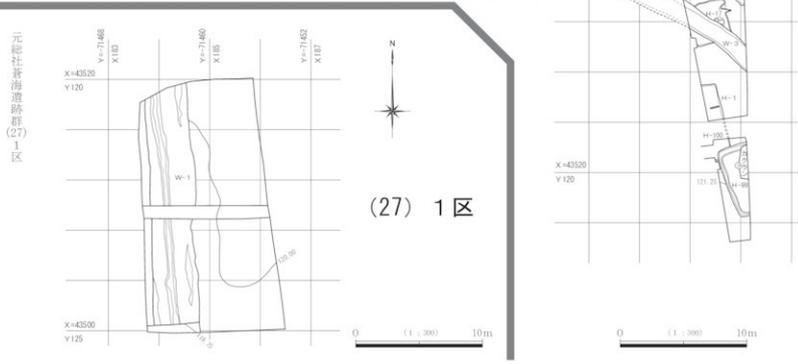
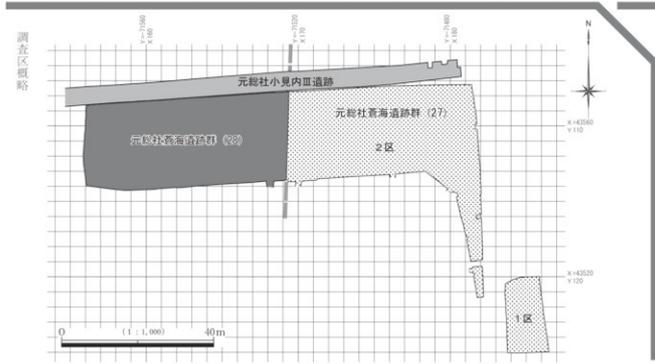
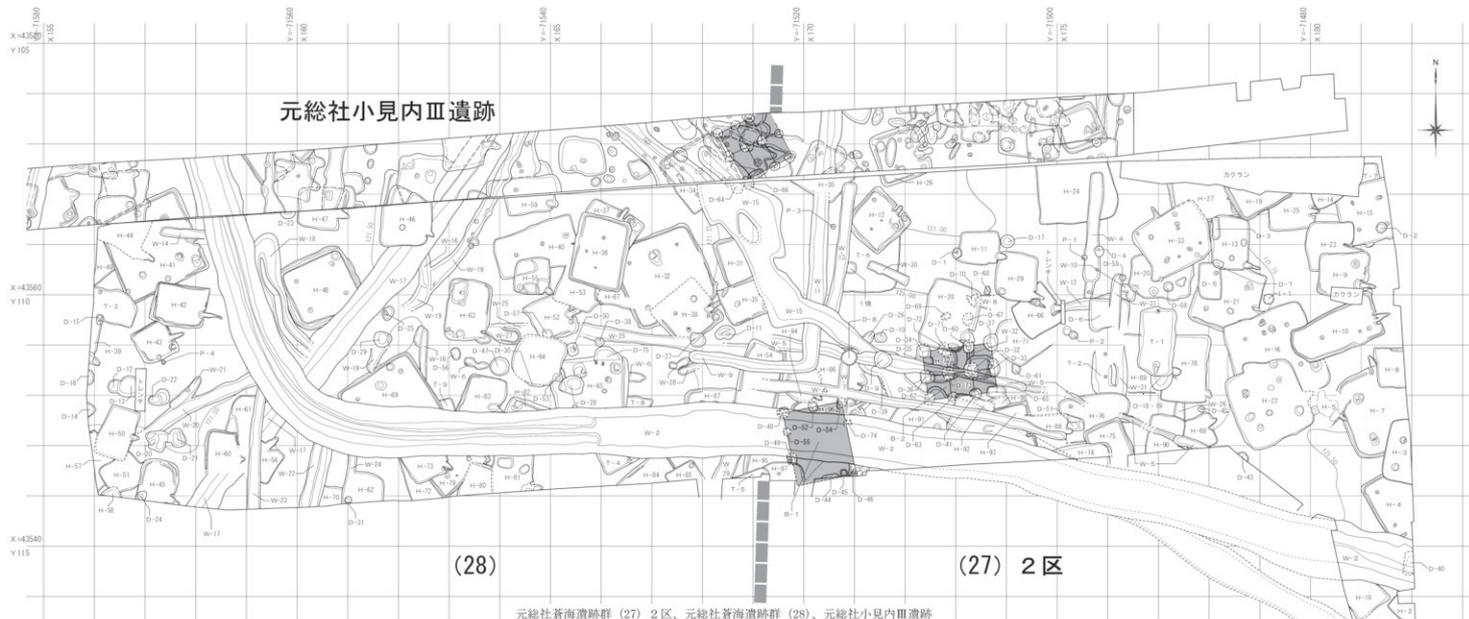


Fig. 6 全体図

H-3号住居跡 (遺構: Fig. 8、P.L. 61 / 遺物: Fig. 6、Tab.、P.L. 16)

位置: X: 181、Y: 112・113 グリッド。主軸方位: N-9°-E。重複: H-4・7号住居跡と重複し、出土遺物・埋没土層の観察から本住居跡は、H-4・7号住居跡より新しい。形状: 方形ないし長方形を呈するものと想定される。規模: 4.99 m × (2.07) m。残存深度: 0.15 m。面積: (10.33) m²。床面の状態: 多少の凸凹が見られ、住居跡の壁跡および中央付近がやや窪む。全体的にややしる。カマド: 検出部分においては確認されていない。貯蔵穴: 確認されていない。柱穴: 推定範囲内に2基のピットが確認されている。各ピットの規模は、P1が平面0.61 m × 0.58 m、深さ0.41 m、P2が平面0.55 m × 0.52 m、深さ0.37 mを測る。P2における埋没土層から、柱痕の痕跡は確認されていないため、柱は抜き取られたものと想定される。貼床: 確認されていない。遺構埋没状態: A s-C・ロームブロック・ローム粒・炭化粒を含む黒褐色を主体とした土による自然埋没と想定される。遺物出土状態: 住居跡内に散在する状態で出土している。またP2の埋没土中より土師器片が1点出土している。時期: 7世紀前半と想定される。

H-4号住居跡 (遺構: Fig. 8・9、P.L. 3 / 遺物: Fig. 61、Tab. 6、P.L. 16)

位置: X: 181、Y: 113・114 グリッド。主軸方位: N-27°-W。重複: H-3号住居跡・W-2号溝と重複し、出土遺物・埋没土層の観察から本住居跡は、H-3号住居跡・W-2号溝より古い。形状: 方形ないし長方形を呈するものと想定される。規模: 5.19 m × (4.53) m。残存深度: 0.30 m。面積: (23.51) m²。床面の状態: 多少の凸凹が見られるが、比較的平坦である。壁周溝は、南壁で一部途切れる部分が見られるものの、ほぼ全周する。カマド: 検出部分においては確認されていない。貯蔵穴: 確認されていない。柱穴: 推定範囲内に2基のピットが確認されている。各ピットの規模は、P1が平面0.30 m × 0.28 m、深さ0.49 m、P2が平面0.30 m × 0.24 m、深さ0.68 mを測る。P1における埋没土層から、柱痕の痕跡は確認されていないため、柱は抜き取られたものと想定される。貼床: A s-C・ロームブロック・ローム粒を含み、しまりを有する暗褐色土により構築されている。遺構埋没状態: A s-C・ロームブロック・ローム粒・炭化粒を含む黒褐色を主体とした土による人為埋没と想定される。遺物出土状態: 住居跡内の床面直上に散在する状態で出土している。時期: 7世紀前半と想定される。

H-5号住居跡 (遺構: Fig. 9、P.L. 3 / 遺物: Fig. 62、Tab. 6、P.L. 16)

位置: X: 180、Y: 111・112 グリッド。主軸方位: N-56°-W。重複: H-7・16・22号住居跡と重複し、出土遺物・埋没土層の観察から本住居跡は、H-7・16・22号住居跡より新しい。形状: カマド周辺部分のみの検出に留まっているため不明。規模: (2.53) m × (1.94) m。残存深度: 0.10 m。面積: (4.91) m²。床面の状態: 多少の凸凹が見られるが、比較的平坦である。カマド正面から住居跡の中央付近と想定される部分で硬化面が確認されている。カマド: 住居跡の南東壁に付設されており、全長0.75 m・最大幅0.37 m・燃焼部幅0.33 m・主軸方位N-64°-Wを測る。横切断面形状は、皿状を呈し、A s-C・ロームブロック・ローム粒・焼土・炭化粒を含む黒褐色を主体とした土により埋没しており、最下層には灰が残る。また、カマドの正面から南方向に向けて厚さ1 cm程の炭化層が広がっている。焚き口は住居跡床面よりもやや窪む状態にある。貯蔵穴: 確認されていない。柱穴: 確認されていない。貼床: A s-C・ローム粒・焼土・炭化粒・白色粘土を含み、しまりを有する黒褐色土により構築されている。遺構埋没状態: A s-C・ローム粒・焼土・炭化粒を含む黒褐色を主体とした土による自然埋没と想定される。遺物出土状態: カマド底面より須恵器片が出土している。時期: 11世紀代と想定される。

H-6号住居跡

※発掘調査当初、住居跡と想定し掘り下げを行ったが、地形の窪みと判断されたため、欠番とした。

H-7号住居跡 (遺構: Fig. 9・10, P.L. 3/遺物: Fig. 62, Tab. 7, P.L. 17)

位置: X: 180・181, Y: 111・112・113 グリッド。主軸方位: N-21°-W。重複: H-3・5・8号住居跡と重複し、出土遺物・埋没土層の観察から本住居跡は、H-3・5・8号住居跡より古い。形状: 隅丸方形を呈するものと想定される。規模: 6.93 m × (6.70) m。残存深度: 0.26 m。面積: (46.43) m²。床面の状態: 多少の凸凹が見られるが、比較的平坦である。壁周溝はカマドの東側を除き、検出範囲内においては全周する。カマド: 住居跡の北壁ほぼ中央に付設されており、全長 1.50 m・最大幅 (0.48) m・主軸方位 N-25°-W を測る。横位断面形状は「U」状、縦位断面は煙道部分から燃焼部にかけて段差を有し、A s-C・ローム粒・焼土・炭化粒・白色粘土・灰を含む黒褐色を主体とした土により埋没している。袖は右袖が、H-8号住居跡により壊されているものの、左袖の残存は良好で白色粘土により構築されている。焚き口は住居跡床面よりもやや窪み状態にある。貯蔵穴: カマド東側で確認されている。規模は 0.60 m × 0.57 m、深さ 0.37 m を測り、円形状を呈する。埋没土は A s-C・ローム粒・焼土・炭化粒・白色粘土が混入する黒褐色ないし暗褐色の土で、底面よりやや浮いた状態で、カマドの構築材と推測される凝灰岩が出土している。柱穴: 推定範囲内で5基のピットが確認されている。各ピットの規模は、P1が平面 0.59 m × 0.45 m、深さ 0.39 m、P2が平面 0.55 m × 0.50 m、深さ 0.32 m、P3が平面 0.89 m × 0.84 m、深さ 0.39 m、P4が平面 0.67 m × 0.63 m、深さ 0.35 m、P5が平面 0.44 m × 0.41 m、深さ 0.12 m を測る。このうち、P1からP4までは柱穴と想定され、P1・P2では1箇所、P3・P4では2箇所の硬化が底面で確認されている。底面の硬化は円形状 (直径 17~26 cm) に見られ、これらの状況から硬化部分は柱そのものの加重がかかった部分と考えられる。また、隣接して硬化が見られることから、柱の据え替えを行っていたものと推測される。なお、P3については埋没土層の観察から、南側の硬化が認められる柱穴のほうが北側よりも新しい。貼床: A s-C・ロームブロック・ローム粒を含み、しまりを有する黒褐色土により構築されている。遺構埋没状態: A s-C・ロームブロック・ローム粒・焼土・炭化粒・白色粘土を含む黒褐色を主体とした土による人為埋没と想定される。遺物出土状態: 住居跡北西側で床面よりやや浮いた状態で遺物の集中が認められる。時期: 7世紀前半と想定される。

H-8号住居跡 (遺構: Fig. 11, P.L. 3/遺物: Fig. 62, Tab. 7, P.L. 17)

位置: X: 181, Y: 111 グリッド。主軸方位: N-5°-W。重複: H-7号住居跡と重複し、出土遺物・埋没土層の観察から本住居跡は、H-7号住居跡より新しい。形状: 方形ないし長方形を呈するものと想定される。規模: 3.21 m × (2.36) m。残存深度: 0.39 m。面積: (7.58) m²。床面の状態: 多少の凸凹が見られ、住居跡中央付近がやや高まる。壁周溝は住居跡北壁東側で確認されている。カマド: 検出範囲内においては確認されていない。貯蔵穴: 確認されていない。柱穴: 確認されていない。貼床: 確認されていない。遺構埋没状態: A s-C・ロームブロック・ローム粒・焼土・炭化粒を含む黒褐色ないし暗褐色を主体とした土による自然埋没と想定される。遺物出土状態: 散在する状態で出土している。1の土師器は紛れ込みと判断される。時期: 9世紀後半と想定される。

H-9号住居跡 (遺構: Fig. 11・12, P.L. 3・4/遺物: Fig. 62~64, Tab. 7・8, P.L. 17・18)

位置: X: 180・181, Y: 109 グリッド。主軸方位: N-88°-W。重複: H-10・23号住居跡および土坑1基と重複し、出土遺物・埋没土層の観察から本住居跡は、H-10・23号住居跡および土坑より新しい。形状: 長方形を呈する。規模: 3.92 m × 3.38 m。残存深度: 0.25 m。面積: 13.25 m²。床面の状態: 多少の凸凹が見られ、

住居跡中央付近がやや高まる。壁周溝は東壁の一部、南西コーナーで確認されている。**カマド**：住居跡の東壁やや南寄りに付設されており、全長1.79m・最大幅(0.77)m・燃焼部幅0.60m・主軸方位N-82°-Wを測る。横位断面形状は「U」状、縦位断面は煙道部分から燃焼部にかけて段差を有し、As-C・ローム粒・焼土・炭化粒・白色粘土・灰を含む黒褐色を主体とした土により埋没している。袖は白色粘土により構築されており、天井の構築材として丸瓦を使用している。焚き口は住居跡床面よりもやや窪む状態にある。**貯蔵穴**：確認されていない。**柱穴**：確認されていない。**貼床**：As-C・ロームブロック・ローム粒を含み、しまりを有する黒褐色土により構築されている。**遺構埋没状態**：As-C・ロームブロック・ローム粒・炭化粒を含む黒褐色を主体とした土による自然埋没と想定される。**遺物出土状態**：カマド内および周辺と住居跡北側に集中して出土している。住居跡北側で出土した遺物は、床面付近からの出土が多く見られるが、カマド内および周辺からの遺物は、出土位置の高さにばらつきが見られる。この状況は、カマドを人為的に壊したことを示すものと思われる。**時期**：10世紀前半と想定される。

H-10号住居跡(遺構:Fig.12・13, P.L. 4/遺物:Fig.64, Tab. 8, P.L. 18)

位置：X:179・180・181, Y:110・111グリッド。**主軸方位**：N-71°-E。**重複**：H-9・16号住居跡と重複し、出土遺物・埋没土層の観察から本住居跡は、H-16号住居跡より新しく、H-9号住居跡より古い。**形状**：長方形形状を呈するが、西壁のみ壁面が弧状となる。**規模**：7.16m×3.49m。**残存深度**：0.15m。**面積**：24.99㎡。**床面の状態**：多少の凸凹が見られるが、比較的平坦である。壁周溝は南壁の一部とカマド周辺を除き全周する。南壁における壁周溝の途絶えは、出入口の存在を想像されるものである。**カマド**：住居跡の東壁ほぼ中央に付設されており、全長1.41m・最大幅0.49m・燃焼部幅0.49m・主軸方位N-73°-Eを測る。横位断面形状は皿状、縦位断面は燃焼部から煙道部にかけて緩やかに立ち上がり、As-C・焼土・炭化粒・白色粘土・灰を含む黒褐色・暗褐色・暗灰黄色を主体とした土により埋没している。袖は白色粘土により構築されており、燃焼部には、平面0.19m×0.16m深さ0.19mの小ピットが見られる。この小ピットは支脚を抜き取った痕跡と想定される。焚き口は住居跡床面とほぼ同じ高さとなっている。**貯蔵穴**：確認されていない。**柱穴**：推定範囲内に3基のピットが確認されている。各ピットの規模は、P1が平面0.35m×0.34m、深さ0.50m、P2が平面0.26m×0.25m、深さ0.32m、P3が平面0.32m×0.30m、深さ0.31mを測る。これらのピットはAs-C・ロームブロック・ローム粒が混入する黒褐色の土により埋没しており、柱痕は確認されていない。**貼床**：As-C・ロームブロック・ローム粒を含み、しまりを有する黒褐色土により構築されている。**遺構埋没状態**：As-C・ロームブロック・ローム粒・焼土・炭化粒を含む黒褐色・暗褐色を主体とした土による自然埋没と想定される。**遺物出土状態**：住居跡中央付近からの遺物出土が顕著に見られるが、出土する高さについてはばらつきを有する。**時期**：7世紀中頃と想定される。

H-11号住居跡(遺構:Fig.13・14, P.L. 4/遺物:Fig.64・65, Tab. 8, P.L. 18)

位置：X:173, Y:108・109グリッド。**主軸方位**：N-90°。**重複**：H-29号住居跡、D-1号土坑と重複し、出土遺物・埋没土層の観察から本住居跡は、H-29号住居跡より新しく、D-1号土坑より古い。**形状**：長方形形状を呈する。**規模**：3.23m×2.70m。**残存深度**：0.14m。**面積**：8.72㎡。**床面の状態**：多少の凸凹が見られ、南側がやや窪む。**カマド**：住居跡の東壁やや南寄りに付設されており、全長0.94m・最大幅0.50m・燃焼部幅0.47m・主軸方位N-84°-Wを測る。横位断面形状は皿状、縦位断面は燃焼部から煙道部にかけて緩やかに立ち上がり、As-C・ローム粒・焼土・炭化粒・白色粘土・灰を含む黒褐色・暗褐色を主体とした土により埋没している。焚き口は住居跡床面よりもやや窪む状態にある。**貯蔵穴**：確認されていない。**柱穴**：確認されていない。**貼床**：As-Cを含み、しまりを有する黒褐色土により構築されている。**遺構埋没状態**：As-C・ローム

粒・炭化粒・白色粘土を含む黒褐色・暗褐色を主体とした土による自然埋没と想定される。**遺物出土状態**：住居跡西側に集中する傾向にあり、出土する高さについてはばらつきを有する。**時期**：11世紀前半と想定される。

H-12号住居跡（遺構：Fig.14、P.L. 4／遺物：Fig.65、Tab. 8・9、P.L. 19）

位置：X：170・171・172、Y：107・108・109グリッド。**主軸方位**：N-43°-E。**重複**：W-13号溝と重複し、出土遺物・埋没土層の観察から本住居跡は、W-13号溝より古い。**形状**：正方形を呈する。**規模**：4.10m×4.04m。**残存深度**：0.43m。**面積**：16.56㎡。**床面の状態**：多少の凸凹が見られるが、比較的平坦である。壁溝は幅広く、カマド部分を除き全周する。**カマド**：住居跡の北東壁やや南寄りに付設されており、全長0.82m・最大幅0.27m・燃焼部幅0.27m・主軸方位N-40°-Eを測る。横位断面形状は「U」字状、縦位断面は煙道部が鋭角に立ち上がり、ローム粒・焼土・白色粘土・灰を含む黒褐色・暗褐色・灰黄褐色・暗灰色を主体とした土により埋没している。焚き口は住居跡床面よりもやや窪む状態にある。構築材として凝灰岩・白色粘土が使用されている。**貯蔵穴**：住居跡東コーナーで確認されている。規模は0.45m×0.37m、深さ0.53mを測り、長方形を呈する。埋没土はAs-C・ロームブロック・ローム粒・炭化粒・白色粘土が混入する黒褐色ないし暗褐色の土となっている。貯蔵穴周辺の床面は、貯蔵穴の形状に併せて窪んでいることから、蓋が存在していたものと推測される。**柱穴**：推定範囲内に4基のピットが確認されている。各ピットの規模は、P1が平面0.45m×0.40m、深さ0.66m、P2が平面0.34m×0.30m、深さ0.13m、P3が平面0.15m×0.11m、深さ0.22m、P4が平面0.18m×0.16m、深さ0.20mを測る。これらのピットはAs-C・ロームブロック・ローム粒・焼土・炭化粒が混入する黒褐色ないし暗褐色の土により埋没しており、柱痕はP1で確認されている。なお、P1周辺の床面はやや高まる状態にある。**貼床**：As-C・ロームブロックを含み、しまりを有する黒褐色土により構築されている。**遺構埋没状態**：As-C・ローム粒・炭化粒・白色粘土を含む黒褐色・暗褐色を主体とした土による自然埋没と想定される。**遺物出土状態**：住居跡中央から南側に集中する傾向にあり、床面直上からの遺物出土は見られない。出土する高さは、壁面に近いほど高位で、中央に近づくにつれ低い位置での出土となっている。これらの出土遺物は、埋没過程において投棄されたものと想定される。**時期**：6世紀後半と想定される。

H-13号住居跡（遺構：Fig.15、P.L. 5／遺物：Fig.66、Tab. 9、P.L. 19）

位置：X：178、Y：108・109グリッド。**主軸方位**：N-88°-W。**重複**：H-19・21・27号住居跡、D-3・5号土坑と重複し、出土遺物・埋没土層の観察から本住居跡は、H-19・21・27号住居跡より新しく、D-3・5号土坑より古い。**形状**：長方形を呈する。**規模**：4.27m×3.10m。**残存深度**：0.35m。**面積**：13.24㎡。**床面の状態**：多少の凸凹が見られ、住居跡中央および壁面付近がやや窪む。**カマド**：住居跡の南東コーナーに付設されており、全長1.32m・最大幅0.42m・燃焼部幅0.42m・主軸方位N-75°-Wを測る。横位断面形状は「U」字状、縦位断面は燃焼部から煙道部にかけて段差を有し、煙道部は緩やかに立ち上がり、As-C・ロームブロック・ローム粒・焼土・炭化粒・白色粘土・灰を含む黒褐色・暗褐色・灰白色を主体とした土により埋没している。焚き口は住居跡床面よりもやや窪む状態にある。カマド周辺には礫の散見が見られ、構築材として使用されていたものと推測される。**貯蔵穴**：確認されていない。**柱穴**：推定範囲内に2基のピットが確認されている。各ピットの規模は、P1が平面0.42m×0.39m、深さ0.18m、P2が平面0.59m×0.46m、深さ0.25mを測る。これらのピットはAs-C・ローム粒が混入する黒褐色の土により埋没しているが、柱痕は確認されていない。**貼床**：As-C・ロームブロックを含み、しまりを有する黒褐色土により構築されている。**遺構埋没状態**：As-C・ロームブロック・ローム粒・炭化粒・白色粘土を含む黒褐色を主体とした土による自然埋没と想定される。**遺物出土状態**：住居跡東側で散在した状態で出土しており、床面より浮いた状態で出土が目立つ。**時期**：10世紀後半～11世紀前半と想定される。

H-14号住居跡 (遺構: Fig.15, P.L. 5/遺物: Fig.66, Tab. 9, P.L. 19)

位置: X: 180, Y: 108 グリッド。主軸方位: N-68°-E。重複: H-15・25号住居跡と重複し、出土遺物・埋没土層の観察から本住居跡は、H-15・25号住居跡より新しい。形状: 方形ないし長方形を呈するものと想定される。規模: (2.35) m × (1.30) m。残存深度: 0.31 m。面積: (3.06) m²。床面の状態: 多少の凸凹が見られるが、比較的平坦である。カマド: 検出範囲内においては確認されていない。貯蔵穴: 確認されていない。柱穴: 確認されていない。貼床: A s-C・ロームブロックを含み、しまりを有する黒褐色土により構築されている。遺構埋没状態: A s-C・ローム粒を含む黒褐色を主体とした土による自然埋没と想定される。遺物出土状態: 床面よりやや浮いた状態で、散在して出土している。時期: 7世紀後半と想定される。

H-15号住居跡 (遺構: Fig.16, P.L. 5/遺物: Fig.66, Tab. 9, P.L. 19)

位置: X: 180・181, Y: 107・108 グリッド。主軸方位: N-13°-W。重複: H-14・23号住居跡、D-2号土坑、T-7号壑穴状遺構と重複し、出土遺物・埋没土層の観察から本住居跡は、H-14・23号住居跡、D-2号土坑より古い。T-7号壑穴状遺構との新旧関係は不明。なお、検出こそかなわなかったものの、断面において本住居跡上位には、さらに2軒の住居跡が重複している。形状: 方形ないし長方形を呈するものと想定される。規模: 4.81 m × (4.12) m。残存深度: 0.44 m。面積: (19.82) m²。床面の状態: 多少の凸凹が見られ、東側がやや低い状態にある。カマド: 検出範囲内においては確認されていないが、住居跡断面の東側には、カマドの構築材と想定される白色粘土やカマド内で発生したと思われる炭化粒や灰の混入が多く見られることから、カマドは東壁に付設されているものと推測される。貯蔵穴: 確認されていない。柱穴: 推定範囲内に4基のピットが確認されている。各ピットの規模は、P1が平面0.40 m × 0.34 m、深さ0.46 m、P2が平面0.53 m × 0.34 m、深さ0.42 m、P3が平面0.37 m × 0.19 m、深さ0.27 m、P4が平面0.33 m × 0.30 m、深さ0.36 mを測る。これらのピットはA s-C・ロームブロックが混入する黒褐色の土により埋没しており、柱材が抜かれているものと想定される。なお、P2の壁面は良好な状態で残存しており、掘削時の工具痕が確認されている。貼床: A s-C・ロームブロックを含み、しまりを有する暗褐色土により構築されている。遺構埋没状態: A s-C・ロームブロック・ローム粒・焼土・炭化粒・白色粘土を含む黒褐色・暗褐色を主体とした土による人為埋没と想定される。遺物出土状態: 床面から約30 cm程高い位置に散在した状態で出土している。時期: 10世紀後半の遺物が出土しているが、住居跡の形状から古墳時代に帰属するものと想定される。

H-16号住居跡 (遺構: Fig.16・17・18, P.L. 5/遺物: Fig.66, Tab. 9, P.L. 19)

位置: X: 178・179・180, Y: 110・111 グリッド。主軸方位: N-67°-E。重複: H-5・10・21・22号住居跡と重複し、出土遺物・埋没土層の観察から本住居跡は、H-21号住居跡より新しく、H-5・10・22号住居跡より古い。形状: 正方形を呈する。規模: 7.26 m × 6.70 m。残存深度: 0.35 m。面積: 48.64 m²。床面の状態: 多少の凸凹が見られるが、比較的平坦である。カマド: 住居跡の東壁やや南寄りに付設されており、全長0.42 m・最大幅0.70 m・燃焼部幅0.39 m・主軸方位N-70°-Eを測る。横切断面形状は皿状、縦切断面は焚き口が住居跡床面よりやや窪む状態にあり、A s-C・ローム粒・焼土・炭化粒・白色粘土を含む黒褐色・ないし暗褐色を主体とした土により埋没している。構築材として白色粘土が使用されている。貯蔵穴: カマド南脇で確認されている。規模は1.11 m × 0.89 m、深さ0.55 mを測り、楕円形状を呈する。埋没土はA s-C・ローム粒・焼土・白色粘土が混入する黒褐色ないし暗褐色の土となっている。貯蔵穴周辺の床面は、貯蔵穴の形状に併せて窪んでいることから、蓋が存在していたものと推測される。柱穴: 推定範囲内に8基のピットが確認されている。各ピットの規模は、P1が平面0.65 m × 0.52 m、深さ0.25 m、P2が平面0.40 m × 0.34 m、深さ0.39 m、P3が平面0.61 m × 0.50 m、深さ0.21 m、P4が平面0.35 m × 0.31 m、深さ0.43 m、P5が平面0.30

m×0.26 m、深さ0.48 m、P 6が平面0.41 m×0.33 m、深さ0.56 m、P 7が平面0.45 m×0.33 m、深さ0.10 m、P 8が平面0.69 m×0.45 m、深さ0.28 mを測る。これらのピットはA s-C・ローム粒・白色粘土が混入する黒褐色ないし暗褐色の土により埋没している。ピットの配列から主柱穴はP 4～P 7と想定されるが、柱痕は抜き取られたためか確認されていない。貼床：A s-C・ローム粒・焼土・白色粘土を含み、しまりを有する黒褐色土により構築されている。遺構埋没状態：A s-C・ロームブロック・ローム粒・焼土・炭化粒・白色粘土を含む黒褐色・暗褐色・灰黄褐色を主体とした土による自然埋没と想定される。壁面付近には、焼土・炭化物が多く見られることから、焼失住居と考えられ、さらに炭化物の上位に焼土が重なる状態も確認されていることから、上屋構造に土を葺いていたことが推測される。遺物出土状態：カマド付近および住居跡西側にやや集中する傾向にあり、床面直上からの出土が目立つ。時期：6世紀末～7世紀初頭と想定される。

H-17号住居跡（遺構：Fig.18・19、P.L. 5・6／遺物：Fig.66、Tab. 9、P.L. 19）

位置：X：180・181、Y：116・117 グリッド。主軸方位：N-75°-E。重複：W-3号溝と重複し、出土遺物・埋没土層の観察から本住居跡は、W-3号溝より古い。形状：正方形を呈する。規模：3.31 m×(3.18) m。残存深度：0.26 m。面積：(10.53) m²。床面の状態：多少の凸凹が見られるが、比較的平坦である。カマド：住居跡の東壁や北寄りに付設されており、全長0.92 m・最大幅0.26 m・主軸方位N-81°-Eを測る。横位断面形状は皿状、縦位断面は煙道部が鋭角に立ち上がり、A s-C・焼土・炭化粒・白色粘土を含む黒褐色を主体とした土により埋没している。焚き口は住居跡床面よりもやや窪む状態にある。構築材として白色粘土が使用されている。貯蔵穴：確認されていない。柱穴：確認されていない。貼床：A s-C・ロームブロックを含み、しまりを有する黒褐色・暗褐色の土により構築されている。床面の下には平面1.01 m×0.74 m、深さ0.12 mの不整形長方形を呈する土坑(D 1)が掘り込まれており、A s-C・ロームブロック・ローム粒・焼土・白色粘土を含む黒褐色の土により埋没している。遺構埋没状態：A s-C・ローム粒・焼土・炭化粒を含む黒褐色を主体とした土による自然埋没と想定される。遺物出土状態：カマド周辺からの出土が多く見られ、床面直上ないしやや浮いた状態で出土している。時期：7世紀前半と想定される。

H-18号住居跡（遺構：Fig.19、P.L. 6／遺物：Fig.67、Tab. 9・10、P.L. 20）

位置：X：180・181、Y：115・116 グリッド。主軸方位：N-50°-E。重複：W-2号溝と重複し、出土遺物・埋没土層の観察から本住居跡は、W-2号溝より古い。形状：方形ないし長方形を呈するものと想定される。規模：2.92 m×(2.35) m。残存深度：0.40 m。面積：(6.86) m²。床面の状態：多少の凸凹が見られるが、比較的平坦である。カマド：検出部分においては確認されていない。貯蔵穴：確認されていない。柱穴：確認されていない。貼床：A s-C・ロームブロック・ローム粒を含み、しまりを有する黒褐色土により構築されている。遺構埋没状態：A s-C・ローム粒・炭化粒・白色粘土を含む黒褐色を主体とした土による自然埋没と想定される。遺物出土状態：住居跡東側に集中する傾向にあり、床面直上からの遺物出土が目立つ。時期：7世紀前半と想定される。

H-19号住居跡（遺構：Fig.19、P.L. 6／遺物：Fig.67、Tab.10、P.L. 20）

位置：X：178・179、Y：107・108 グリッド。主軸方位：N-60°-E。重複：H-13・25・27号住居跡と重複し、出土遺物・埋没土層の観察から本住居跡は、H-25・27号住居跡より新しく、H-13号住居跡より古い。形状：方形ないし長方形を呈するものと想定される。規模：4.36 m×(3.03) m。残存深度：0.65 m。面積：(13.21) m²。床面の状態：多少の凸凹が見られ、東側向かうにつれ低く傾斜する。壁周溝は、残存部分に限り全周する。カマド：検出部分においては確認されていない。貯蔵穴：確認されていない。柱穴：確認されていない。貼床：確認されていない。遺構埋没状態：A s-C・ロームブロック・ローム粒・焼土・炭化粒・白色粘土を含む黒褐色・暗褐

色を主体とした土による人為埋没と想定される。**遺物出土状態**：散在した状態で出土しており、床面より浮いた状態での出土が目立つ。**時期**：7世紀前半と想定される。

H-20号住居跡（遺構：Fig.20・21、P.L. 6／遺物：Fig.67・68、Tab.10、P.L. 20）

位置：X:176・177、Y:109・110グリッド。**主軸方位**：N-85°-W。**重複**：H-33号住居跡、D-58号土坑と重複し、出土遺物・埋没土層の観察から本住居跡は、H-33号住居跡、D-58号土坑より新しい。**形状**：長方形を呈する。**規模**：4.80 m×3.24 m。**残存深度**：0.26 m。**面積**：15.55 m²。**床面の状態**：多少の凸凹が見られるが、比較的平坦である。**カマド**：住居跡の南東コーナーに付設されており、全長0.63 m・主軸方位N-48°-Wを測る。横位断面形状は皿状、縦位断面は煙道部が鋭角に立ち上がり、A s-C・ローム粒・焼土・炭化粒・白色粘土を含む黒褐色を主体とした土により埋没している。焚き口は住居跡床面よりもやや窪む状態にある。**貯蔵穴**：確認されていない。**柱穴**：推定範囲内に3基のピットが確認されている。各ピットの規模は、P1が平面0.85 m×0.77 m、深さ0.10 m、P2が平面0.76 m×0.68 m、深さ0.49 m、P3が平面0.58 m×0.46 m、深さ0.11 mを測る。これらのピットはA s-C・ローム粒・焼土・炭化粒が混入する黒褐色の土により埋没しているが、柱痕は確認されていない。**貼床**：A s-C・ロームブロック・ローム粒・炭化粒を含み、しまりを有する黒褐色土により構築されている。**遺構埋没状態**：A s-C・ローム粒・焼土・炭化粒・白色粘土を含む黒褐色を主体とした土による自然埋没と想定される。**遺物出土状態**：埋没土中に散在する状態で出土している。**時期**：10世紀後半と想定される。

H-21号住居跡（遺構：Fig.21・22、P.L. 6／遺物：Fig.68、Tab.10、P.L. 20）

位置：X:177・178、Y:109・110グリッド。**主軸方位**：N-75°-W。**重複**：H-13・16号住居跡、D-5・7号土坑と重複し、出土遺物・埋没土層の観察から本住居跡は、H-13・16号住居跡、D-5・7号土坑より古い。**形状**：正方形を呈するものと想定される。**規模**：(5.38) m×5.06 m。**残存深度**：0.49 m。**面積**：(27.22) m²。**床面の状態**：多少の凸凹が見られるが、比較的平坦である。壁周溝は南壁部分のみで確認されている。**カマド**：住居跡の東壁やや南寄りに付設されており、全長(1.03) m・最大幅(0.98) m・燃焼部幅(0.55) m・主軸方位N73°-Wを測る。横位断面形状は「U」字状、縦位断面は焚き口部分がやや窪んでいる。袖は左袖のみの残存で、白色粘土を用いて構築されている。なお、カマドの周囲には凝灰岩が散在していることから、白色粘土以外に凝灰岩も構築材として使用されていたことが推測される。**貯蔵穴**：確認されていない。**柱穴**：推定範囲内に5基のピットが確認されている。各ピットの規模は、P1が平面0.70 m×0.61 m、深さ0.53 m、P2が平面0.34 m×0.30 m、深さ0.40 m、P3が平面0.55 m×0.45 m、深さ0.62 m、P4が平面0.41 m×0.37 m、深さ0.41 m、P5が平面0.56 m×0.46 m、深さ0.19 mを測る。これらのピットはA s-C・ロームブロック・ローム粒・焼土・炭化粒が混入する黒褐色ないし暗褐色の土により埋没しており、主柱穴はP1～P4と想定される。**貼床**：A s-C・ロームブロックを含み、しまりを有する黒褐色土により構築されている。**遺構埋没状態**：A s-C・ローム粒・炭化粒・白色粘土を含む黒褐色・暗褐色を主体とした土による自然埋没と想定される。**遺物出土状態**：住居跡全体に散在し、床面直上またはやや浮いた状態での遺物出土が見られる。床面よりやや浮いた状態で出土する遺物は、壁面に近いほど高位で、中央に近づくにつれ低い位置での出土となっている。これらの出土遺物は、埋没過程において投棄されたものと想定される。**時期**：6世紀後半と想定される。

H-22号住居跡（遺構：Fig.22・23、P.L. 6／遺物：Fig.68・69、Tab.11、P.L. 21）

位置：X:178・179、Y:111・112グリッド。**主軸方位**：N-66°-E。**重複**：H-5・16号住居跡と重複し、出土遺物・埋没土層の観察から本住居跡は、H-16号住居跡より新しく、H-5号住居跡より古い。**形状**：隅

丸長形状を呈する。規模：6.28 m × 5.75 m。残存深度：0.31 m。面積：36.11 m²。床面の状態：多少の凸凹が見られるが、比較的平坦である。カマド：確認されていないが、住居跡東壁中央付近の埋没土中に焼土・炭化粒・灰・白色粘土の混入が顕著に見られることから、同部分に付設されていたものと推測される。なお、カマド自体は、H-5号住居跡により壊されたものと想定される。貯蔵穴：確認されていない。柱穴：推定範囲内に8基のピットが確認されている。各ピットの規模は、P1が平面0.53 m × 0.46 m、深さ0.15 m、P2が平面0.81 m × 0.60 m、深さ20 m、P3が平面0.80 m × 0.71 m、深さ35 m、P4が平面0.47 m × 0.37 m、深さ0.46 m、P5が平面0.66 m × 0.51 m、深さ0.55 m、P6が平面0.69 m × 0.62 m、深さ0.17 m、P7が平面0.55 m × 0.46 m、深さ41 m、P8が平面0.67 m × 0.57 m、深さ0.21 mを測る。これらのピットはA s-C・ローム粒・炭化粒・白色粘土が混入する黒褐色ないし暗褐色の土により埋没しており、P3～P5・P7は主柱穴と想定される。貼床：A s-C・ローム粒・焼土・炭化粒・灰・白色粘土を含み、しまりを有する黒褐色ないし暗褐色土により構築されている。造構埋没状態：A s-C・ロームブロック・ローム粒・焼土・炭化粒・灰・白色粘土を含む黒褐色を主体とした土による自然埋没と想定される。壁面付近には、焼土・炭化物が多く見られることから、焼失住居と考えられ、さらに炭化物の上位に焼土が重なる状態も確認されていることから、上層構造に土を葺いていたことが推測される。遺物出土状態：住居跡全体に散在し、床面直上からの出土が目立つ。時期：7世紀前半と想定される。

H-23号住居跡（遺構：Fig.24、P.L. 7／遺物：Fig.69、Tab.11、P.L. 21）

位置：X：180、Y：108・109 グリッド。主軸方位：N-89°-E。重複：H-9・15・25号住居跡と重複し、出土遺物・埋没土層の観察から本住居跡は、H-15・25号住居跡より新しく、H-9号住居跡より古い。形状：正方形を呈する。規模：3.94 m × 3.80 m。残存深度：0.35 m。面積：14.97 m²。床面の状態：多少の凸凹が見られるが、比較的平坦である。カマド：住居跡の東壁や南寄り付設されており、全長1.69 m・最大幅（0.66）m・燃焼部幅（0.53）m・主軸方位N-88°-Eを測る。横断面形状は「U」字状、縦断面は煙道が鋭角に立ち上がり、A s-C・ローム粒・焼土・炭化粒・灰・白色粘土・凝灰岩を含む黒褐色・ないし暗褐色を主体とした土により埋没している。焚き口は住居跡床面よりもやや窪む状態にある。袖は左袖のみの残存で、構築材として白色粘土が使用されている。また、埋没土中には構築材として使用されていたものと想定される凝灰岩の混入が顕著に見られる。貯蔵穴：確認されていない。柱穴：確認されていない。貼床：A s-C・ロームブロック・ローム粒を含み、しまりを有する黒褐色土により構築されている。造構埋没状態：A s-C・ローム粒・焼土・炭化粒・白色粘土を含む黒褐色を主体とした土による自然埋没と想定される。遺物出土状態：カマド付近および住居跡北側に集中する傾向にあり、カマド周辺以外の遺物については、床面直上からの出土が目立つ。時期：10世紀前半と想定される。

H-24号住居跡（遺構：Fig.25、P.L. 7／遺物：Fig.69、Tab.11、P.L. 21）

位置：X：174・175・176、Y：107・108 グリッド。主軸方位：N-5°-W。重複：W-4号溝と重複し、出土遺物・埋没土層の観察から本住居跡は、W-4号溝より古い。形状：方形ないし長方形を呈するものと想定される。規模：6.25 m × 4.80 m。残存深度：0.14 m。面積：30.00 m²。床面の状態：多少の凸凹が見られるが、比較的平坦である。炉跡：検出範囲内においては確認されていない。貯蔵穴：確認されていない。柱穴：確認されていない。貼床：A s-C・ローム粒・焼土を含み、しまりを有する黒褐色ないし暗褐色土により構築されている。造構埋没状態：A s-C・ローム粒を含む黒褐色・暗褐色を主体とした土による自然埋没と想定される。他住居跡の埋没土と比較するとA s-Cの含有量が著しく多い。遺物出土状態：床面直上に散在する状態で出土している。時期：4世紀前半と想定される。

H-25号住居跡（遺構：Fig.25・26、P.L. 7／遺物：Fig.70、Tab.11・12、P.L. 21）

位置：X：179・180、Y：108グリッド。主軸方位：N-86°-E。重複：H-14・19・23号住居跡と重複し、出土遺物・埋没土層の観察から本住居跡は、H-14・19・23号住居跡より古い。形状：方形ないし長方形を呈するものと想定される。規模：3.69m×(2.98)m。残存深度：0.50m。面積：(11.00)m²。床面の状態：多少の凸凹が見られるが、比較的平坦である。カマド：住居跡の東壁に付設されており、全長0.91m・最大幅0.42m・燃焼部幅0.34m・主軸方位N-90°を測る。横位断面形状は「U」字状、縦位断面は煙道部が鋭角に立ち上がり、As-C・ローム粒・焼土・炭化粒・白色粘土・灰を含む黒褐色・暗褐色・灰黄褐色を主体とした土により埋没している。焚き口は住居跡床面よりもやや窪む状態にある。構築材として白色粘土が使用されている。貯蔵穴：確認されていない。柱穴：確認されていない。貼床：As-C・ロームブロックを含み、しまりを有する暗褐色土により構築されている。遺構埋没状態：As-C・ロームブロック・ローム粒・焼土・炭化粒・白色粘土を含む黒褐色を主体とした土による人為埋没と想定される。カマド周辺の床面直上には灰の散在も見られる。遺物出土状態：住居跡中央から南西側に集中する傾向にあるが、出土する高さにはばらつきが見られる。時期：5世紀後半と想定される。

H-26号住居跡（遺構：Fig.26、P.L. 7）

位置：X：170・171、Y：107グリッド。主軸方位：N-70°-E。重複：重複は見られない。形状：方形ないし長方形を呈するものと想定される。規模：3.12m×(0.98)m。残存深度：0.65m。面積：(3.06)m²。床面の状態：多少の凸凹が見られるが、比較的平坦である。西壁及び南壁で壁周溝が確認されている。カマド：検出範囲内においては確認されていない。貯蔵穴：確認されていない。柱穴：確認されていない。貼床：As-C・ロームブロックを含み、しまりを有する黒褐色土により構築されている。遺構埋没状態：As-C・Hr-F・A・ローム粒・炭化粒を含む黒褐色・暗褐色を主体とした土による人為埋没と想定される。遺物出土状態：遺物の出土は見られない。時期：攪拌されたHr-F・Aが埋没土中に混入することから6世紀初頭以降と想定される。

H-27号住居跡（遺構：Fig.26・27、P.L. 7／遺物：Fig.70、Tab.12、P.L. 22）

位置：X：177・178、Y：107・108グリッド。主軸方位：N-82°-E。重複：H-13・19・33号住居跡、D-3号土坑と重複し、出土遺物・埋没土層の観察から本住居跡は、H-13・19・33号住居跡、D-3号土坑より古い。形状：方形ないし長方形を呈するものと想定される。規模：(5.66)m×(3.31)m。残存深度：0.53m。面積：(18.73)m²。床面の状態：多少の凸凹が見られるが、比較的平坦である。壁周溝は検出範囲内においては全周する。住居跡南壁西寄りで南北方向に走行する長さ0.80m、幅0.23m、深さ0.09mの溝状の掘り込みが確認されている。カマド：検出範囲内においては検出されていない。貯蔵穴：住居跡南東コーナーで確認されている。規模は0.77m×0.65m、深さ0.80mを測り、長方形を呈する。埋没土はAs-C・ロームブロック・ローム粒が混入する黒褐色・暗褐色・灰黄褐色の土となっている。貯蔵穴周辺の床面は、貯蔵穴の形状に併せて窪んでいることから、蓋が存在していたものと推測される。柱穴：推定範囲内に4基のピットが確認されている。各ピットの規模は、P1が平面0.61m×0.59m、深さ0.64m、P2が平面0.24m×0.21m、深さ0.58m、P3が平面0.11m×0.10m、深さ0.16m、P4が平面0.09m×0.08m、深さ0.06mを測る。これらのピットはAs-C・ロームブロック・ローム粒・焼土が混入する黒褐色の土により埋没しており、主柱穴はP1・2と想定される。なお、柱痕はP1で確認されている。P3・4は貯蔵穴周辺に配置されており、貯蔵穴の蓋材に関連するものの可能性を有するものである。貼床：As-C・ロームブロック・ローム粒を含み、しまりを有する黒褐色土・暗褐色土により構築されている。遺構埋没状態：As-C・ロームブロック・ローム粒・炭化粒を含む黒褐色・暗褐色・にぶい黄褐色土を主体とした土による人為埋没と想定される。遺物出土状態：散在する状態

で出土している。出土の高低差はまばらである。**時期**：6世紀後半と想定される。

H-28号住居跡（遺構：Fig.27・28、P.L. 7・8／遺物：Fig.70、Tab.12、P.L. 22）

位置：X：172・173、Y：109・110・111グリッド。**主軸方位**：N-78°-W。**重複**：H-77号住居跡・B-2号掘立柱建物跡・D-67・69・70号土坑、W-8号溝と重複し、出土遺物・埋没土層の観察から本住居跡は、H-77号住居跡、B-2号掘立柱建物跡・D-67・69・70号土坑、W-8号溝より新しい。**形状**：長方形を呈する。**規模**：5.45 m×4.20 m。**残存深度**：0.35 m。**面積**：22.89 m²。**床面の状態**：多少の凸凹が見られるが、比較的平坦である。**カマド**：住居跡の東壁やや南寄りに付設されており、全長1.19 m・最大幅0.80 m・燃焼部幅0.80 m・主軸方位N-55°-Wを測る。横位断面形状は「U」字状、縦位断面は煙道部が緩やかに立ち上がり、A s-C・ローム粒・焼土・炭化粒・白色粘土・灰を含む黒褐色・暗褐色・灰色・褐色を主体とした土により埋没している。焚き口は住居跡床面よりもやや窪む状態にある。構築材として白色粘土が使用されている。**貯蔵穴**：住居跡南東コーナーで確認されている。規模は0.89 m×0.54 m、深さ0.50 mを測り、楕円形状を呈する。埋没土はA s-C・ローム粒が混入する黒褐色の土となっている。**柱穴**：確認されていない。**貼床**：A s-C・ロームブロックを含み、しまりを有する黒褐色土により構築されている。**遺構埋没状態**：A s-C・ローム粒・焼土・炭化粒・白色粘土を含む黒褐色を主体とした土による自然埋没と想定される。**遺物出土状態**：床面直上に散在する状態で出土している。**時期**：10世紀後半と想定される。

H-29号住居跡（遺構：Fig.28・29、P.L. 8／遺物：Fig.71、Tab.12、P.L. 22）

位置：X：173・174、Y：109・110グリッド。**主軸方位**：N-87°-W。**重複**：H-11・66号住居跡と重複し、出土遺物・埋没土層の観察から本住居跡は、H-66号住居跡より新しく、H-11号住居跡より古い。**形状**：長方形を呈する。**規模**：3.85 m×3.30 m。**残存深度**：0.45 m。**面積**：12.71 m²。**床面の状態**：多少の凸凹が見られ、住居跡中央付近がやや窪む。住居跡南西コーナー付近に規模0.64 m×0.51 m、深さ0.66 mの楕円形状を呈する土坑（D1）が存在する。**カマド**：住居跡の南東コーナーに新旧2基のカマドが付設される。新カマドは全長0.99 m・最大幅0.53 m・燃焼部幅0.43 m・主軸方位N-72°-Wを測る。横位断面形状は「U」字状、縦位断面は煙道部が緩やかに立ち上がり、A s-C・ローム粒・焼土・炭化粒・白色粘土・灰を含む黒褐色・暗褐色・灰黄褐色・灰色を主体とした土により埋没している。焚き口は住居跡床面よりもやや窪む状態にある。構築材として白色粘土・凝灰岩が使用されている。旧カマドは全長1.26 m・最大幅0.58 m・燃焼部幅（0.56）m・主軸方位N-61°-Wを測る。横位断面形状は「U」字状、縦位断面は燃焼部から煙道部にかけてテラスを持ちながら緩やかに立ち上がり、A s-C・ローム粒・焼土・炭化粒・白色粘土・灰・凝灰岩を含む黒褐色・暗褐色・灰黄褐色を主体とした土により埋没している。カマド内部の壁面には構築材として凝灰岩が設置されている。**貯蔵穴**：確認されていない。**柱穴**：確認されていない。**貼床**：A s-C・ロームブロックを含み、しまりを有する暗褐色土により構築されている。**遺構埋没状態**：A s-C・ロームブロック・ローム粒・白色粘土を含む黒褐色を主体とした土による自然埋没と想定される。**遺物出土状態**：住居跡南壁付近の床面からまとまった状態で出土している。2の灰軸陶器皿は紛れ込みの可能性を有する。**時期**：10世紀後半と想定される。

H-30号住居跡（遺構：Fig.29、P.L. 8／遺物：Fig.71、Tab.13、P.L. 22）

位置：X：169・170、Y：107・108グリッド。**主軸方位**：N-29°-E。**重複**：W-11・13号溝と重複し、出土遺物・埋没土層の観察から本住居跡は、W-11・13号溝より古い。**形状**：方形ないし長方形を呈する。**規模**：3.82 m×（2.21）m。**残存深度**：0.55 m。**面積**：（8.44）m²。**床面の状態**：多少の凸凹が見られるが、比較的平坦である。**炉跡**：検出範囲内においては確認されていない。**貯蔵穴**：確認されていない。**柱穴**：確認されていない。

貼床: A s - C・ロームブロックを含み、しまりの弱い暗褐色土により構築されている。**遺構埋没状態:** A s - C・H r - F A・ロームブロック・ローム粒を含む黒褐色・暗褐色・暗灰色を主体とした土による自然埋没と想定される。**遺物出土状態:** 床面直上付近から散在して出土している。**時期:** 4世紀前半と想定される。

H-33号住居跡 (遺構: Fig. 20・21, P.L. 8 / 遺物: Fig. 71, Tab. 13, P.L. 22)

位置: X: 176・177, Y: 108・109 グリッド。**主軸方位:** N-32°-W。**重複:** H-20・27号住居跡と重複し、出土遺物・埋没土層の観察から本住居跡は、H-27号住居跡より新しく、H-20号住居跡より古い。**形状:** 長方形形状を呈する。**規模:** 5.67 m × 4.65 m。**残存深度:** 0.45 m。**面積:** 26.37 m²。**床面の状態:** 多少の凸凹が見られ、北側へ向かうにつれやや低くなる。**カマド:** 住居跡の北西壁ほぼ中央に付設されており、全長 1.03 m・最大幅 0.44 m・主軸方位 N-34°-W を測る。横位断面形状は「U」字状、縦位断面は煙道部が緩やかに立ち上がり、A s - C・ローム粒・焼土・白色粘土・灰を含む黒褐色・暗灰色を主体とした土により埋没している。**貯蔵穴:** 確認されていない。**柱穴:** 推定範囲内に 12 基のピットが確認されている。各ピットの規模は、P 1 が平面 0.42 m × 0.38 m、深さ 0.16 m、P 2 が平面 0.38 m × 0.32 m、深さ 0.37 m、P 3 が平面 0.48 m × 0.28 m、深さ 0.35 m、P 4 が平面 0.54 m × 0.35 m、深さ 0.20 m、P 5 が平面 0.27 m × 0.23 m、深さ 0.30 m、P 6 が平面 0.41 m × 0.35 m、深さ 0.63 m、P 7 が平面 0.40 m × 0.39 m、深さ 0.31 m、P 8 が平面 0.30 m × 0.29 m、深さ 0.33 m、P 9 が平面 0.39 m × 0.35 m、深さ 0.56 m、P 10 が平面 0.30 m × 0.28 m、深さ 0.30 m、P 11 が平面 0.23 m × 0.18 m、深さ 0.06 m、P 12 が平面 0.25 m × 0.23 m、深さ 0.19 m を測る。これらのピットは A s - C・ロームブロック・ローム粒が混入する黒褐色ないし暗褐色の土により埋没しており、主柱穴は P 1 ~ P 4 と想定される。**貼床:** A s - C・ロームブロック・ローム粒を含み、しまりを有する黒褐色土により構築されている。**遺構埋没状態:** A s - C・ロームブロック・ローム粒・焼土・炭化粒・白色粘土を含む黒褐色・暗褐色を主体とした土による自然埋没と想定される。**遺物出土状態:** 床面よりやや浮いた状態で、散在して出土している。**時期:** 10世紀前半と想定される。

H-66号住居跡 (遺構: Fig. 30, P.L. 8 / 遺物: Fig. 71・72, Tab. 13, P.L. 23)

位置: X: 174・175, Y: 109・110 グリッド。**主軸方位:** N-56°-E。**重複:** H-29・71号住居跡、W-12号溝と重複し、出土遺物・埋没土層の観察から本住居跡は、H-71号住居跡より新しく、H-29号住居跡、W-12号溝より古い。**形状:** 長方形形状を呈する。**規模:** 3.58 m × 3.09 m。**残存深度:** 0.08 m。**面積:** 11.06 m²。**床面の状態:** 多少の凸凹が見られるが、比較的平坦である。壁間溝は見られない。**カマド:** 住居跡の北東壁やや南東寄りに付設されており、全長 (0.80) m・最大幅 0.57 m・燃焼部幅 0.53 m・主軸方位 N-86°-E を測る。横位断面形状は皿状を呈し、A s - C・ローム粒・焼土・炭化粒・白色粘土を含む暗褐色を主体とした土により埋没している。焚き口は住居跡床面よりもやや窪み状態にある。構築材として縄・白色粘土が使用されている。**貯蔵穴:** 確認されていない。**柱穴:** 確認されていない。**貼床:** A s - C・ロームブロック・ローム粒を含み、しまりを有する黒褐色土により構築されている。**遺構埋没状態:** 観察漏れのため不明。**遺物出土状態:** カマド周辺に集中する傾向にあるが、その他に関しては全体的にまばらな状態で出土している。なお、出土する高さにはばらつきが見られる。4の灰軸陶器碗、6・7の羽釜は紛れ込みの可能性を有する。**時期:** 10世前後半と想定される。

H-68号住居跡 (遺構: Fig. 31, P.L. 9 / 遺物: Fig. 72・73, Tab. 13・14, P.L. 23・24)

位置: X: 177・178, Y: 112・113 グリッド。**主軸方位:** N-68°-E。**重複:** H-90号住居跡、W-5号溝と重複し、出土遺物・埋没土層の観察から本住居跡は、H-90号住居跡、W-5号溝より古い。**形状:** 方形形状を呈する。**規模:** 2.55 m × 2.30 m。**残存深度:** 0.18 m。**面積:** 5.87 m²。**床面の状態:** 多少の凸凹が見られ、南側の床面がやや窪む。

壁周溝は見られない。**カマド**:住居跡の東壁や北寄りに付設されており、全長0.93 m・最大幅0.37 m・燃焼部幅0.37 m・主軸方位N-64°-Eを測る。横位断面形状は皿状、縦位断面は煙道部が鋭角に立ち上がり、As-C・ローム粒・焼土・炭化粒・白色粘土・灰を含む黒褐色を主体とした土により埋没している。焚き口は住居跡床面よりもやや窪み状態にある。構築材として川原石・白色粘土が使用されている。**貯蔵穴**:確認されていない。**柱穴**:確認されていない。**貼床**:As-C・ロームブロック・ローム粒を含み、しまりを有する黒褐色土により構築されている。**遺構埋没状態**:As-C・ローム粒を含む黒褐色・暗褐色を主体とした土による自然埋没と想定される。**遺物出土状態**:カマド周辺及び住居跡南東側に集中する傾向にある。出土する高さには多少のばらつきが見られる。**時期**:10世紀後半と想定される。

H-71号住居跡(遺構:Fig.30・31, P.L. 9/遺物:Fig.73・74, Tab.14, P.L. 24)

位置:X:173・174・175, Y:110・111グリッド。**主軸方位**:N-54°-E。**重複**:H-66号住居跡、D-37・61号土坑、P-2と重複し、出土遺物・埋没土層の観察から本住居跡は、D-37・61号土坑より新しく、H-66号住居跡、P-2より古い。**形状**:不整長方形形状を呈するものと想定される。**規模**:(5.45) m×2.95 m。**残存深度**:0.20 m。**面積**:(16.08) m²。**床面の状態**:多少の凸凹が見られ、住居跡東側がやや高まる。壁周溝は見られない。**カマド**:住居跡の東コーナーに付設されており、全長(0.62) m・最大幅0.74 m・燃焼部幅0.74 m・主軸方位N-73°-Wを測る。横位断面形状は皿状を呈する。As-C・焼土・白色粘土・灰を含む黒褐色・暗褐色・灰黄褐色・褐色を主体とした土により埋没している。焚き口は住居跡床面よりもやや窪み状態にある。埋没土の状態から構築材として白色粘土を使用しているものと推測される。**貯蔵穴**:確認されていない。**柱穴**:確認されていない。**貼床**:As-C・ロームブロック・ローム粒を含み、しまりを有する黒褐色土により構築されている。**遺構埋没状態**:As-C・ローム粒・炭化粒を含む黒褐色・暗褐色を主体とした土による自然埋没と想定される。**遺物出土状態**:埋没土中に散在する状態で出土している。**時期**:10世紀後半と想定される。

H-74号住居跡(遺構:Fig.32, P.L. 9)

位置:X:174・175・176, Y:113グリッド。**主軸方位**:N-80°-E。**重複**:H-75号住居跡、W-2・15号溝と重複し、出土遺物・埋没土層の観察から本住居跡は、H-75号住居跡より新しく、W-2・15号溝より古い。**形状**:方形ないし長方形形状を呈するものと想定される。**規模**:5.83 m×(1.20) m。**残存深度**:0.88 m。**面積**:(7.00) m²。**床面の状態**:多少の凸凹が見られるが、比較的平坦である。壁周溝は東壁で確認されている。**カマド**:検出範囲内においては確認されていない。**貯蔵穴**:確認されていない。**柱穴**:確認されていない。**貼床**:As-C・ロームブロック・ローム粒を含み、しまりを有する暗褐色土により構築されている。**遺構埋没状態**:As-C・ロームブロック・ローム粒・焼土・炭化粒・白色粘土を含む黒褐色・暗褐色を主体とした土による人為埋没と想定される。**遺物出土状態**:遺物の出土は見られない。**時期**:遺構の切り合いから7世紀後半～平安時代と想定される。

H-75号住居跡(遺構:Fig.32, P.L. 9/遺物:Fig.74, Tab.14, P.L. 24)

位置:X:175・176, Y:112・113グリッド。**主軸方位**:N-68°-E。**重複**:H-74・76号住居跡と重複し、出土遺物・埋没土層の観察から本住居跡は、H-76号住居跡より新しく、H-74号住居跡より古い。**形状**:長方形形状を呈するものと想定される。**規模**:(3.35) m×3.24 m。**残存深度**:0.50 m。**面積**:(10.85) m²。**床面の状態**:多少の凸凹が見られるが、比較的平坦である。壁周溝は、検出部分に限り全周する。**カマド**:検出範囲内においては確認されていない。**貯蔵穴**:確認されていない。**柱穴**:確認されていない。**貼床**:As-C・ロームブロック・ローム粒を含み、しまりを有する暗褐色土により構築されている。**遺構埋没状態**:As-C・ロームブロッ

ク・ローム粒・炭化粒を含む黒褐色・暗褐色を主体とした土による人為埋没と想定される。**遺物出土状態**:埋没土中に散在する状態で出土している。**時期**:7世紀中頃と想定される。

H-76号住居跡 (遺構:Fig.33, P.L. 9/遺物:Fig.74, Tab.14, P.L. 24)

位置:X:175・176, Y:112グリッド。**主軸方位**:N-85°-E。**重複**:H-75・88号住居跡、T-2号竪穴状遺構、D-51号土坑、W-5・31号溝と重複し、出土遺物・埋没土層の観察から本住居跡は、T-2号竪穴状遺構より新しく、H-75・88号住居跡、D-51号土坑、W-5・31号溝より古い。**形状**:隅丸長方形形状を呈する。**規模**:5.57 m×3.60 m。**残存深度**:0.28 m。**面積**:20.05 m²。**床面の状態**:多少の凸凹が見られるが、比較的平坦である。壁周溝は見られない。**カマド**:住居跡の東壁に付設されており、全長(1.19) m・最大幅0.60 m・燃焼部幅0.49 m・主軸方位N-83°-Eを測る。横位断面形状は皿状、縦位断面は煙道部が鋭角に立ち上がり、A s-C・ローム粒・焼土・炭化粒・白色粘土・灰を含む黒褐色・暗褐色・灰黄褐色を主体とした土により埋没している。焚き口は住居跡床面よりもやや窪む状態にある。構築材として硬・白色粘土が使用されている。**貯蔵穴**:確認されていない。**柱穴**:推定範囲内に1基のピット(P1)が確認されており、規模は平面0.30 m×0.28 m、深さ0.17 mを測る。**貼床**:A s-C・ロームブロック・ローム粒を含み、しまりを有する暗褐色土により構築されている。**遺構埋没状態**:A s-C・ロームブロック・ローム粒・焼土・白色粘土を含む黒褐色・暗褐色を主体とした土による自然埋没と想定される。**遺物出土状態**:埋没土中に散在する状態で出土している。**時期**:6世紀後半～7世紀代と想定される。

H-77号住居跡 (遺構:Fig.34, P.L. 10/遺物:Fig.74, Tab.14・15, P.L. 24)

位置:X:172, Y:111グリッド。**主軸方位**:N-83°-E。**重複**:H-28号住居跡、D-34・35・36・71・72・73号土坑、W-5号溝と重複し、出土遺物・埋没土層の観察から本住居跡は、D-34・35・36・71・72・73号土坑より新しく、H-28号住居跡、W-5号溝より古い。**形状**:隅丸長方形形状を呈するものと想定される。**規模**:(2.93) m×2.52 m。**残存深度**:0.19 m。**面積**:(7.38) m²。**床面の状態**:多少の凸凹が見られるが、比較的平坦である。壁周溝は見られない。**カマド**:住居跡の東壁やや南寄りに付設されており、全長0.99 m・最大幅0.67 m・燃焼部幅0.66 m・主軸方位N-84°-Eを測る。横位断面形状は皿状、縦位断面は煙道部が緩やかに立ち上がり、A s-C・ローム粒・焼土・炭化粒・白色粘土・灰を含む黒褐色・暗褐色・暗灰色・褐色を主体とした土により埋没している。焚き口は住居跡床面よりもやや窪む状態にある。構築材として川原石・白色粘土が使用されている。**貯蔵穴**:確認されていない。**柱穴**:確認されていない。**貼床**:A s-C・ロームブロック・ローム粒を含み、しまりを有する黒褐色土により構築されている。**遺構埋没状態**:A s-C・ロームブロック・ローム粒を含む黒褐色を主体とした土による自然埋没と想定される。**遺物出土状態**:カマド内及び埋没土中に散在する状態で出土している。**時期**:10世紀前半と想定される。

H-78号住居跡 (遺構:Fig.35, P.L. 10/遺物:Fig.74・75, Tab.15, P.L. 24・25)

位置:X:177・178, Y:110・111・112グリッド。**主軸方位**:N-88°-W。**重複**:H-89号住居跡、T-1号竪穴状遺構、D-18・19号土坑、W-26号溝と重複し、出土遺物・埋没土層の観察から本住居跡は、H-89号住居跡、T-1号竪穴状遺構、D-18・19号土坑、W-26号溝より古い。**形状**:長方形形状を呈するものと想定される。**規模**:5.42 m×(3.63) m。**残存深度**:0.19 m。**面積**:(19.67) m²。**床面の状態**:多少の凸凹が見られるが、比較的平坦である。壁周溝は見られない。**カマド**:住居跡の東壁南端に付設されており、全長0.51 m・最大幅(0.67) m・燃焼部幅0.57 m・主軸方位N-89°-Wを測る。横位断面形状は皿状、縦位断面は煙道部が鋭角に立ち上がり、A s-C・ローム粒・焼土・炭化粒を含む黒褐色・暗灰色を主体とした土により埋没している。焚き口は住居跡

床面よりもやや窪む状態にある。カマド周辺の埋没土には白色粘土の混入が見られることから、白色粘土は構築材として使用されていたものと推測される。**貯蔵穴**：確認されていない。**柱穴**：確認されていない。**貼床**：A s - C ・ ロームブロック ・ ローム粒を含み、しまりを有する黒褐色土により構築されている。**遺構埋没状態**：A s - C ・ ロームブロック ・ ローム粒 ・ 焼土 ・ 炭化粒 ・ 白色粘土を含む黒褐色 ・ 暗褐色を主体とした土による自然埋没と想定される。**遺物出土状態**：カマド周辺に集中する傾向にある。**時期**：9世紀第3四半期と想定される。

H-86号住居跡（遺構：Fig.36、P.L.10／遺物：Fig.75・76、Tab.15・16、P.L.25）

位置：X:170・171、Y:111グリッド。**主軸方位**：N-87°-E。**重複**：H-94・96号住居跡、D-8号土坑、W-5・6・7・9・11号溝と重複し、出土遺物・埋没土層の観察から本住居跡は、H-96号住居跡より新しく、H-94号住居跡、D-8号土坑、W-5・6・7・9・11号溝より古い。**形状**：長方形を呈するものと想定される。**規模**：(4.73) m × (3.58) m。**残存深度**：0.25 m。**面積**：(16.93) m²。**床面の状態**：多少の凸凹が見られるが、比較的平坦である。壁周溝は見られない。**カマド**：住居跡の東壁や南寄りに付設されており、全長0.68 m・最大幅0.75 m・燃焼部幅0.73 m・主軸方位N-66°-Wを測る。横位断面形状は皿状、縦位断面は煙道部が緩やかに立ち上がり、A s - C ・ 焼土 ・ 炭化粒 ・ 白色粘土 ・ 灰を含む黒褐色 ・ 暗褐色を主体とした土により埋没している。焚き口は住居跡床面よりもやや窪む状態にある。構築材として川原石・白色粘土が使用されている。**貯蔵穴**：確認されていない。**柱穴**：確認されていない。**貼床**：A s - C ・ ロームブロック ・ ローム粒を含み、しまりを有する黒褐色土により構築されている。**遺構埋没状態**：A s - C ・ ローム粒 ・ 焼土 ・ 炭化粒を含む黒褐色を主体とした土による自然埋没と想定される。**遺物出土状態**：カマド周辺に集中する傾向にある。**時期**：10世紀前半と想定される。

H-88号住居跡（遺構：Fig.37、P.L.10／遺物：Fig.76・77、Tab.16、P.L.25・26）

位置：X:174・175、Y:112グリッド。**主軸方位**：N-87°-E。**重複**：H-74・76・93号住居跡、D-51号土坑、W-2・6号溝と重複し、出土遺物・埋没土層の観察から本住居跡は、H-76・93号住居跡、D-51号土坑より新しく、H-74号住居跡、W-2・6号溝より古い。**形状**：方形ないし長方形を呈するものと想定される。**規模**：(3.20) m × (2.70) m。**残存深度**：0.23 m。**面積**：(8.64) m²。**床面の状態**：多少の凸凹が見られるが、比較的平坦である。壁周溝は見られない。**カマド**：住居跡の東壁に付設されており、全長0.68 m・最大幅0.45 m・燃焼部幅0.45 m・主軸方位N-87°-Wを測る。横位断面形状は皿状、縦位断面は煙道部がほぼ直角に立ち上がり、A s - C ・ ローム粒 ・ 焼土 ・ 炭化粒 ・ 白色粘土を含む黒褐色 ・ 暗褐色を主体とした土により埋没している。焚き口は住居跡床面よりもやや高まる状態にある。構築材として凝灰岩・川原石・瓦・白色粘土が使用されている。**貯蔵穴**：確認されていない。**柱穴**：確認されていない。**貼床**：A s - C ・ ロームブロック ・ ローム粒を含み、しまりを有する暗褐色土により構築されている。**遺構埋没状態**：A s - C ・ ロームブロック ・ ローム粒 ・ 焼土 ・ 炭化粒を含む黒褐色 ・ 暗褐色を主体とした土による自然埋没と想定される。**遺物出土状態**：カマド内及び周辺に集中する傾向にある。カマド及び周辺以外の出土遺物に関しては、床面直上からの出土が見られないことから、埋没過程で投棄されたものと想定される。**時期**：10世紀後半と想定される。

H-89号住居跡（遺構：Fig.38、P.L.11／遺物：Fig.77、Tab.16、P.L.26）

位置：X:176・177、Y:110・111グリッド。**主軸方位**：N-89°-E。**重複**：H-78号住居跡、T-1号竪穴状遺構、D-18・19号土坑、W-31号溝と重複し、出土遺物・埋没土層の観察から本住居跡は、H-78号住居跡より新しく、T-1号竪穴状遺構、D-18・19号土坑、W-31号溝より古い。**形状**：方形ないし長方形を呈するものと想定される。**規模**：4.78 m × (3.85) m。**残存深度**：0.45 m。**面積**：(18.40) m²。**床面の状態**：多少の凸凹が見られるが、比較的平坦である。壁周溝は見られない。**カマド**：住居跡の東壁や南寄りに付設されて

おり、全長0.88m・最大幅0.66m・燃焼部幅0.66m・主軸方位N-87°-Eを測る。横位断面形状は「U」字状、縦位断面は煙道部が鋭角に立ち上がり、As-C・ローム粒・焼土・炭化粒・白色粘土・灰を含む黒褐色・暗灰色を主体とした土により埋没している。構築材として凝灰岩・白色粘土が使用されている。貯蔵穴：確認されていない。柱穴：確認されていない。貼床：As-C・ローム粒を含み、しまりを有する暗褐色土により構築されている。遺構埋没状態：観察漏れのため不明。遺物出土状態：カマド内からのみの確認となっている。時期：10世紀代と想定される。

H-90号住居跡（遺構：Fig.38・39、P.L. 11／遺物：Fig.77、Tab.16、P.L. 26）

位置：X：176・177、Y：112・113グリッド。主軸方位：N-82°-W。重複：H-68号住居跡、W-5・26号溝と重複し、出土遺物・埋没土層の観察から本住居跡は、H-68号住居跡より新しく、W-5・26号溝より古い。形状：長方形を呈するものと想定される。規模：(3.15)m×2.87m。残存深度：0.30m。面積：(9.04)m²。床面の状態：多少の凸凹が見られるが、比較的平坦である。壁周溝は見られない。カマド：住居跡の東壁に付設されており、全長0.71m・最大幅(0.38)m・燃焼部幅(0.30)m・主軸方位N-84°-Wを測る。横位断面形状は皿状、縦位断面は煙道部が緩やかに立ち上がり、As-C・ローム粒・焼土・炭化粒・白色粘土・灰を含む黒褐色・暗褐色・暗灰色を主体とした土により埋没している。焚き口は住居跡床面よりもやや窪む状態にある。構築材として川原石・白色粘土が使用されている。貯蔵穴：確認されていない。柱穴：確認されていない。貼床：As-C・ローム粒を含み、しまりを有する黒褐色土により構築されている。遺構埋没状態：As-C・ローム粒・炭化粒・白色粘土を含む黒褐色・暗褐色を主体とした土による自然埋没と想定される。遺物出土状態：カマド周辺及び住居跡北側に集中する傾向にある。時期：11世紀前半と想定される。

H-91号住居跡（遺構：Fig.39・40、P.L. 11／遺物：Fig.77、Tab.16・17、P.L. 26）

位置：X：171・172、Y：112グリッド。主軸方位：N-59°-W。重複：H-92・98号住居跡、W-2・6・15号溝と重複し、出土遺物・埋没土層の観察から本住居跡は、H-92・98号住居跡より新しく、W-2・6・15号溝より古い。形状：方形ないし長方形を呈するものと想定される。規模：(4.48)m×(1.53)m。残存深度：0.28m。面積：(6.85)m²。床面の状態：多少の凸凹が見られるが、比較的平坦である。壁周溝は、見られない。カマド：住居跡の東壁に付設されており、燃焼部の窪みのみ残存している。燃焼部の窪みは0.70m×(0.68)m、深さ0.11mを測り、As-C・ロームブロック・ローム粒・焼土・炭化粒・白色粘土・灰を含む暗褐色・暗灰色を主体とした土により埋没している。構築材として白色粘土を使用していたものと想定される。貯蔵穴：確認されていない。柱穴：確認されていない。貼床：As-C・ロームブロック・ローム粒を含み、しまりを有する暗褐色土により構築されている。遺構埋没状態：As-C・ロームブロック・ローム粒を含む暗褐色を主体とした土による自然埋没と想定される。住居跡西側の床面直上から数点の土器片が出土している。時期：10世紀後半と想定される。

H-92号住居跡（遺構：Fig.40、P.L. 11／遺物：Fig.77、Tab.17、P.L. 26）

位置：X：172・173、Y：112グリッド。主軸方位：N-76°-W。重複：H-92・93・98号住居跡、D-41・63号土坑、W-2・6・15号溝と重複し、出土遺物・埋没土層の観察から本住居跡は、H-93・98号住居跡、D-41・63号土坑より新しく、H-91号住居跡、W-2・6・15号溝より古い。形状：方形ないし長方形を呈するものと想定される。規模：(3.15)m×(3.14)m。残存深度：0.38m。面積：(9.89)m²。床面の状態：多少の凸凹が見られるが、比較的平坦である。壁周溝は見られない。カマド：住居跡の東壁に付設されており、燃焼部の窪みのみ残存している。燃焼部の窪みは、(1.02)m×0.56m、深さ0.11mを測る。貯蔵穴：確認されていない。

柱穴：確認されていない。**貼床**：A s-C・ロームブロック・ローム粒を含み、しまりを有する暗褐色土により構築されている。**遺構埋没状態**：A s-C・ローム粒・炭化粒を含む黒褐色・暗褐色を主体とした土による自然埋没と想定される。**遺物出土状態**：カマド内及び床面直上から数点の土器が出土している。**時期**：10世紀前半と想定される。

H-93号住居跡（遺構：Fig.41・42、P.L. 12／遺物：Fig.77・78、Tab.17、P.L. 26・27）

位置：X：173・174、Y：112・113グリッド。**主軸方位**：N-78°-E。**重複**：H-88・92・98号住居跡、W-2・6・15号溝と重複し、出土遺物・埋没土層の観察から本住居跡は、H-98号住居跡より新しく、H-88・92号住居跡、W-2・6・15号溝より古い。**形状**：長方形を呈するものと想定される。**規模**：6.18m×4.01m。**残存深度**：0.60m。**面積**：24.78㎡。**床面の状態**：多少の凸凹が見られるが、比較的平坦である。壁周溝は、カマド部分・未検出範囲を除き全周する。**カマド**：住居跡の東壁ほぼ中央に付設されており、全長0.93m・最大幅0.72m・燃焼部幅0.69m・主軸方位N-76°-Eを測る。横位断面形状は「U」字状、縦位断面は煙道部が鋭角に立ち上がり、A s-C・ローム粒・焼土・炭化粒・白色粘土・灰を含む黒褐色・暗褐色を主体とした土により埋没している。焚き口は住居跡床面よりもやや窪み状態にある。構築材として白色粘土が使用されている。**貯蔵穴**：確認されていない。**柱穴**：推定範囲内に3基のピットが確認されている。各ピットの規模は、P1が平面0.34m×0.30m、P2が平面0.44m×0.40m、P3が平面0.40m×0.33m、深さ0.15mを測る。**貼床**：A s-C・ロームブロック・ローム粒を含み、しまりを有する暗褐色土により構築されている。**遺構埋没状態**：A s-C・ロームブロック・ローム粒・焼土・炭化粒・白色粘土を含む暗褐色を主体とした土による人為埋没と想定される。**遺物出土状態**：少数ではあるが、床面全体に散在する状態で出土している。鉄製品の出土が目立つ。4・5の遺物はH-98号住居跡に帰属する可能性を有する。**時期**：7世紀後半と想定される。

H-94号住居跡（遺構：Fig.42、P.L. 12／遺物：Fig.78・79、Tab.17、P.L. 27・28）

位置：X：169・170、Y：111・112グリッド。**主軸方位**：N-75°-W。**重複**：H-86・96号住居跡、W-6・9・11号溝と重複し、出土遺物・埋没土層の観察から本住居跡は、H-86・96号住居跡より新しく、W-6・9・11号溝より古い。**形状**：隅丸方形を呈するものと想定される。**規模**：(2.82)m×2.74m。**残存深度**：0.20m。**面積**：(7.73)㎡。**床面の状態**：多少の凸凹が見られるが、比較的平坦である。壁周溝は見られない。**カマド**：住居跡の東壁や南寄り付設されており、全長0.81m・最大幅0.50m・燃焼部幅0.50m・主軸方位N-55°-Wを測る。横位断面形状は「U」字状、縦位断面は煙道部が鋭角に立ち上がり、A s-C・ローム粒・焼土・炭化粒・白色粘土・灰を含む暗褐色を主体とした土により埋没している。焚き口は住居跡床面よりもやや窪み状態にある。構築材として川原石・瓦・白色粘土が使用されている。**貯蔵穴**：確認されていない。**柱穴**：確認されていない。**貼床**：A s-C・ロームブロック・ローム粒を含み、しまりを有する暗褐色土により構築されている。**遺構埋没状態**：A s-C・ロームブロック・ローム粒を含む黒褐色・暗褐色を主体とした土による自然埋没と想定される。**遺物出土状態**：カマド内に集中する状態で出土している。**時期**：11世紀前半と想定される。

H-95号住居跡（遺構：Fig.43・44、P.L. 12／遺物：Fig.79、Tab.18、P.L. 28）

位置：X：168・169、Y：113グリッド。**主軸方位**：N-85°-W。**重複**：H-97号住居跡、T-5号竅穴状遺構、D-49号土坑、W-2号溝と重複し、出土遺物・埋没土層の観察から本住居跡は、D-49号土坑より新しく、H-97号住居跡、T-5号竅穴状遺構、W-2号溝より古い。**形状**：方形ないし長方形を呈するものと想定される。**規模**：(3.38)m×(1.38)m。**残存深度**：0.15m。**面積**：(4.66)㎡。**床面の状態**：多少の凸凹が見られるが、比較的平坦である。壁周溝は西壁で確認されている。**カマド**：検出範囲内においては確認されていない。**貯蔵穴**：

確認されていない。柱穴：確認されていない。貼床：As-C・ロームブロック・ローム粒を含み、しまりを有する暗褐色土により構築されている。遺構埋没状態：As-C・ロームブロック・ローム粒・炭化粒を含む黒褐色・暗褐色を主体とした土による自然埋没と想定される。遺物出土状態：埋没土中に散在する状態で出土している。時期：10世紀後半と想定される。

H-96号住居跡（遺構：Fig.44・45、P.L. 12／遺物：Fig.80、Tab.18、P.L. 28）

位置：X：169・170・171、Y：111・112グリッド。主軸方位：N-54°-E。重複：H-86・94号住居跡、D-52・54・74号土坑、W-2・6・7号溝と重複し、出土遺物・埋没土層の観察から本住居跡は、H-86・94号住居跡、D-52・54・74号土坑、W-2・6・7号溝より古い。形状：長方形を呈するものと想定される。規模：4.71m×4.20m。残存深度：0.43m。面積：19.78㎡。床面の状態：多少の凸凹が見られるが、比較的平坦である。壁周溝は、カマド部分・貯蔵穴部分を除き残存範囲内において全周する。カマド：住居跡の東壁やや南寄りに付設されており、全長1.42m・最大幅0.41m・燃焼部幅0.39m・主軸方位N-62°-Eを測る。横位断面形状は「U」字状、縦位断面は煙道部が鋭角に立ち上がり、As-C・ロームブロック・ローム粒・焼土・炭化粒・白色粘土・灰を含む暗褐色・灰黄褐色・暗灰色を主体とした土により埋没している。焚き口は住居跡床面よりもやや窪み状態にある。構築材として白色粘土が使用されている。貯蔵穴：住居跡南東コーナーで確認されている。規模は0.54m×0.46m、深さ0.38mを測り、楕円形状を呈する。埋没土はAs-C・Hr-F・A・ロームブロック・ローム粒・白色粘土が混入する黒褐色の土となっている。貯蔵穴の西側には、上端幅0.17m、深さ0.11mの浅い溝が南北方向に掘られており、同貯蔵穴と一連のものと想定される。柱穴：推定範囲内に1基のピット（P1）が確認されている。規模は、平面0.43m×0.40m、深さ0.43mを測る。貼床：As-C・ロームブロック・ローム粒を含み、しまりを有する暗褐色土により構築されている。遺構埋没状態：As-C・ロームブロック・ローム粒・焼土・灰・白色粘土を含む黒褐色・暗褐色を主体とした土による人為埋没と想定される。遺物出土状態：床面直上・埋没土中に散在する状態で出土している。5・6の須臾器蓋は紛れ込みの可能性を有する。時期：7世紀後半と想定される。

H-97号住居跡（遺構：Fig.43・44、P.L. 12／遺物：Fig.80、Tab.18、P.L. 28）

位置：X：169、Y：113グリッド。主軸方位：N-82°-E。重複：H-95号住居跡、T-5号竪穴状遺構、D-49号土坑と重複し、出土遺物・埋没土層の観察から本住居跡は、H-95号住居跡、D-49号土坑より新しく、T-5号竪穴状遺構より古い。形状：隅丸方形ないし隅丸長方形を呈するものと想定される。規模：(2.67)m×(1.45)m。残存深度：0.50m。面積：(3.87)㎡。床面の状態：多少の凸凹が見られるが、比較的平坦である。壁周溝は見られない。カマド：検出範囲内においては確認されていない。貯蔵穴：確認されていない。柱穴：推定範囲内に1基のピット（P1）が確認されている。規模は、平面0.25m×0.23m、深さ0.47mを測り、As-C・ローム粒が混入する黒褐色の土により埋没している。貼床：As-C・ロームブロック・ローム粒を含み、しまりを有する暗褐色土により構築されている。遺構埋没状態：As-C・ロームブロック・ローム粒・炭化粒を含む黒褐色・暗褐色を主体とした土による自然埋没と想定される。遺物出土状態：床面よりやや浮いた状態で数点の土器・鉄製品が出土している。時期：11世紀前半と想定される。

H-98号住居跡（遺構：Fig.41・42、P.L. 12／遺物：Fig.80、Tab.18、P.L. 28）

位置：X：172・173・174、Y：112グリッド。主軸方位：N-62°-E。重複：H-91・92・93号住居跡、D-65号土坑、W-2・6・15号溝と重複し、出土遺物・埋没土層の観察から本住居跡は、H-91・92・93号住居跡、D-65号土坑、W-2・6・15号溝より古い。形状：方形ないし長方形を呈するものと想定される。

規模：5.25 m × (1.23) m。残存深度：0.63 m。面積：(6.46) m²。床面の状態：多少の凸凹が見られるが、比較的平坦である。壁溝は北壁の一部で確認されている。カマド：検出範囲内においては確認されていない。貯蔵穴：確認されていない。柱穴：確認されていない。貼床：A s - C・ロームブロック・ローム粒を含み、しまりを有する暗褐色土により構築されている。遺構埋没状態：A s - C・ロームブロック・ローム粒・炭化粒を含む黒褐色・暗褐色を主体とした土による人為埋没と想定される。壁面付近には、垂木と想定される炭化物が多く見られることから、焼失住居と考えられる。遺物出土状態：床面直上・埋没土中に散在する状態で出土している。本住居跡出土遺物がH-93号住居跡に帰属し、H-93号住居跡出土遺物5・6が本住居跡に帰属する可能性が高いものと想定される。時期：H-93号住居跡出土遺物5・6から7世紀前半と想定される。

H-99号住居跡(遺構：Fig.45、P.L.13/遺物：Fig.80、Tab.18、P.L.28)

位置：X：181・182、Y：119・120グリッド。主軸方位：N-70°-E。重複：H-100号住居跡と重複し、出土遺物・埋没土層の観察から本住居跡は、H-100号住居跡より新しい。形状：方形ないし長方形を呈するものと想定される。規模：5.63 m × (2.39) m。残存深度：0.58 m。面積：(13.46) m²。床面の状態：多少の凸凹が見られるが、比較的平坦である。壁溝は、検出範囲内に限り全周する。なお、壁溝は総体的に幅広く作られており、特に北壁は幅広となっている。カマド：検出範囲内においては確認されていない。貯蔵穴：確認されていない。柱穴：推定範囲内に1基のピット(P1)が確認されている。規模は、平面0.52 m × 0.50 m、深さ0.58 mを測り、A s - C・ロームブロック・ローム粒が混入する暗褐色・にぶい黄褐色の土により埋没している。なお、同ピットでは柱痕が確認されており、主柱穴と考えられる。貼床：A s - C・ロームブロック・ローム粒を含み、しまりを有する暗褐色土により構築されている。遺構埋没状態：A s - C・ロームブロック・ローム粒・炭化粒を含む黒褐色・暗褐色を主体とした土による人為埋没と想定される。遺物出土状態：床面直上から数点の土器が出土している。時期：7世紀前半と想定される。

3 溝

W-1号溝(遺構：Fig.46・47、P.L.13/遺物：Fig.80、Tab.19、P.L.28)

位置：X：183・184、Y：120～124グリッド。主軸方位：N-3°-W。重複：重複は見られない。規模：上端幅(3.05) m～(3.63) m、下端幅0.19 m～0.55 m。残存深度：2.54 m。断面形態：「V」字状を呈するものと想定される。底面の状態：平坦に保たれている。底面の標高は北から南に向けて減る状態にある。遺構埋没状態：A s - B・A s - C・総社砂層ブロック・炭化粒・砂粒・小礫を含む暗褐色・灰黄褐色を主体とした土による人為埋没と想定される。最下層には砂粒の混入が特徴的に見られることから、多少の流水があったものと想定される。また、埋没土中の混入物にA s - S j(浅間-総社軽石)やA s - Y Pが含まれていない状況と、本溝の掘削がA s - S jまで及んでいない状況等から、溝の脇に構築されていたものと推測される土塁を崩して埋め戻したものと考えられる。遺物出土状態：埋没土中から軟質陶器、底面付近から獣骨・木片が出土している。時期：16世紀前半と想定される。備考：本溝は、形状等から蒼海城に関連する堀と考えられ、現状から想定される本丸(山崎一1978『群馬古城址の研究 上巻』)の西側を南北方向に走行する堀の延長線上北側に位置するものである。

W-2号溝(遺構：Fig.49、P.L.13/遺物：Fig.81、Tab.19、P.L.28)

位置：X：158～181、Y：108～115グリッド。主軸方位：東から西へ向けてN-78°-W → N-89°-E → N-17°-W。重複：H-4・18・54・65・69・73・74・79・81・82・83・84・87・88・91・92・93・95・96・98号住居跡、T-4・8・9号壑穴状遺構、D-40・46・48・49・55・74号土坑、W-14・17・18・20・22・23・24・29号溝と重複し、出土遺物・埋没土層の観察から、本溝はH-4・18・54・65・69・73・74・79・81・

82・83・84・87・88・91・92・93・95・96・98号住居跡、T-4・8・9号堅穴状遺構、D-40・46・48・49・55・74号土坑、W-17・24・29号溝より新しい。W-14・18・20・23・22号溝との新旧関係は不明。規模：上端幅3.01m～4.45m、下端幅1.46m～2.90m。残存深度：1.08m。断面形態：逆台形状を呈する。底面の状態：平坦に保たれているが、西側においては、底面端部が楕状に窪む。底面の標高は西から東に向けて減ずる状態にある。遺構埋没状態：A s-B・A s-C・ロームブロック・ローム粒・焼土・炭化粒・白色粘土・砂粒を含む暗褐色・暗灰色を主体とした土による自然埋没と想定される。なお、砂粒の混入が顕著に見られることから、洪水により埋没したものと推測される。遺物出土状態：埋没土中から陶器・古銭・獣骨等の出土が見られる。時期：15世紀前半と想定される。

W-3・15号溝（遺構：Fig.48・49、P.L.13／遺物：Fig.81・82、Tab.19・20、P.L.29）

位置：X：168～182、Y：107～117グリッド。主軸方位：東から西へ向けてN-60°-W→N-28°-W。重複：H-17・31・34・35・74・86・88・91・92・93・98号住居跡、D-9・26・39・62（B-2号掘立柱建物跡）・63（B-2号掘立柱建物跡）・64・66号土坑、W-2・5・6・11・13号溝と重複し、出土遺物・埋没土層の観察から、本溝はH-17・31・34・35・74・86・88・91・92・93・98号住居跡、D-26・39・62（B-2号掘立柱建物跡）・63（B-2号掘立柱建物跡）・64・66号土坑、W-13号溝より新しく、D-9号土坑、W-2・5・6・11号溝より古い。規模：上端幅1.04m～4.92m、下端幅0.75m～4.30m。残存深度：0.48m。断面形態：不整形な皿状を呈する。底面の状態：凸凹が顕著に見られ、底面の標高は北西から南東に向けて減ずる状態にある。人工的に築かれた溝ではなく、洪水等による急激な水の流れによって作り出されたものと想定される。遺構埋没状態：少なくとも5度におよぶ洪水の痕跡が埋没土中で認められる。埋没土中には、A s-C・ロームブロック・ローム粒・焼土・炭化粒・灰・白色粘土・砂粒・小礫・鉄分を含む黒褐色・暗褐色・暗灰色を主体とした土による自然埋没（洪水による）と想定される。なお、5度におよぶ洪水のうち新しい洪水（4・5回目）の埋没土にはA s-Bが含まれる。遺物出土状態：埋没土中から古墳時代～平安時代の遺物が多量に出土している。時期：最初の洪水は10世紀後半～A s-B降下までの間に起こったものと想定される。

W-4号溝

位置：X：175、Y：107～110グリッド。主軸方位：N-4°-E。重複：H-24号住居跡、D-4号土坑、W-12号溝と重複し、出土遺物・埋没土層の観察から、本溝はH-24号住居跡より新しく、D-4号土坑、P-1より古い。W-12号溝との新旧関係は不明。規模：上端幅0.55m～1.35m、下端幅0.35m～1.01m。残存深度：0.35m。断面形態：不整形な皿状を呈する。底面の状態：凸凹が顕著に見られ、底面の標高はほぼ平坦となっている。遺構埋没状態：A s-C・ローム粒を含む黒褐色ないし暗褐色を主体とした土による自然埋没と想定される。遺物出土状態：遺物の出土は見られない。時期：4世紀～A s-B降下の間に構築されたものと想定される。

W-5号溝

位置：X：169～177、Y：110～113グリッド。主軸方位：東から西へ向けてN-69°-W→N-81°-W。なお、本溝はW-2・6号溝と並走する関係にある。重複：H-68・76・77・86・90号住居跡、D-8・9・35・39号土坑、B-2号掘立柱建物跡（D-32・33・36・73号土坑）、W-11・15号溝と重複し、出土遺物・埋没土層の観察から、本溝はH-68・76・77・86・90号住居跡、D-35・39号土坑、B-2号掘立柱建物跡（D-32・33・36・73号土坑）、W-15号溝より新しく、D-8・9号土坑、W-11号溝より古い。規模：上端幅0.34m～1.34m、下端幅0.11m～0.69m。残存深度：0.26m。断面形態：皿状を呈する。底面の状態：比較的近だからで、底面の標高は西

から東に向けて減ずる状態にある。遺構埋没状態：A s-B・A s-C・ローム粒を含む黒褐色を主体とした土による自然埋没と想定される。遺物出土状態：流れ込みと判断される古墳時代から平安時代の土器片が埋没土中から出土している。時期：埋没土中にA s-Bの一次堆積層が見られないことから、A s-B降下以降に帰属するものと想定される。

W-6号溝

位置：X：169～175、Y：111・112グリッド。主軸方位：東から西へ向けてN-74°-W → N-81°-W。なお、本溝はW-2・5号溝と並走する関係にある。重複：H-54・65・86・88・91・92・93・94・96号住居跡、D-51号土坑、B-2号掘立柱建物跡（D-62号土坑）、W-7・15号溝と重複し、埋没土層の観察から、本溝はH-54・65・86・88・91・92・93・94・96号住居跡、D-51号土坑、B-2号掘立柱建物跡（D-62号土坑）、W-15号溝より新しく、W-7号溝より古い。規模：上端幅0.40m～1.00m、下端幅0.20m～0.78m。残存深度：0.20m。断面形態：皿状を呈する。底面の状態：比較的なだらかで、底面の標高は西から東に向けて減ずる状態にある。遺構埋没状態：A s-B・A s-C・ローム粒・焼土を含む黒褐色を主体とした土による自然埋没と想定される。遺物出土状態：流れ込みと判断される古墳時代から平安時代の土器片が埋没土中から出土している。時期：埋没土中にA s-Bの一次堆積層が見られないことから、A s-B降下以降に帰属するものと想定される。

W-7号溝

位置：X：170、Y：111・112グリッド。主軸方位：N-3°-E。重複：H-86・96号住居跡、D-8号土坑、B-1号掘立柱建物跡（D-54号土坑）、W-6号溝と重複し、埋没土層の観察から、本溝はH-86・96号住居跡、B-1号掘立柱建物跡（D-54号土坑）、W-6号溝より新しく、D-8号土坑より古い。規模：上端幅0.72m～0.79m、下端幅0.40m～0.56m。残存深度：0.18m。断面形態：逆台形状を呈する。底面の状態：比較的なだらかで、底面の標高は南から北に向けて減ずる状態にある。遺構埋没状態：A s-B・ローム粒・炭化粒を含む黒褐色を主体とした土による自然埋没と想定される。遺物出土状態：流れ込みと判断される古墳時代から平安時代の土器片等が埋没土中から出土している。時期：埋没土中にA s-Bの一次堆積層が見られないことから、A s-B降下以降に帰属するものと想定される。

W-8号溝

位置：X：173、Y：110グリッド。主軸方位：N-81°-W。重複：H-28号住居跡、D-68号土坑と重複し、出土遺物・埋没土層の観察から、本溝はH-28号住居跡、D-63号土坑より古い。規模：上端幅0.91m～1.08m、下端幅0.72m～0.84m。残存深度：0.21m。断面形態：皿状を呈する。底面の状態：比較的なだらかである。遺構埋没状態：A s-C・ローム粒を含む黒褐色を主体とした土による自然埋没と想定される。遺物出土状態：底面直上から弥生時代後期の壺が完形の状態で出土している。時期：弥生時代後期から古墳時代前期と想定される。

W-9・11号溝（遺物：Fig.81、Tab.19、P.L. 29）

※W-9号溝とW-11号溝は発掘調査段階で、別遺構として扱っていたが、戦利調査の段階で、同一遺構と判断した。

位置：X：167～170、Y：107～111グリッド。主軸方位：W-9号溝（東西方向）：N-84°-W。W-11号溝（南北方向）：N-3°-E。重複：H-30・54・86・94号住居跡、W-5・15・25・28号溝と重複し、埋没土層

の観察から、本溝はH-30・54・86・94号住居跡、W-5・15・25・28号溝より新しい。規模：上端幅0.90m～1.46m、下端幅0.28m～1.04m。残存深度：0.35m。断面形態：逆台形状を呈する。底面の状態：比較的なだらかで、底面の標高は北から南、東から西に向けて減ずる状態にある。遺構埋没状態：As-B・As-C・ロームブロック・ローム粒・炭化粒を含む黒褐色を主体とした土による自然埋没と想定される。遺物出土状態：流れ込みと判断される古墳時代から平安時代の土器片等が埋没土中から出土している。時期：埋没土中にAs-Bの一次堆積層が見られないことから、As-B降下以降に帰属するものと想定される。

W-10号溝

位置：X：176、Y：109・110グリッド。主軸方位：南北方向：N-5°-E。東西方向：N-85°-W。重複：H-20号住居跡、W-31号溝と重複するが、新旧関係は不明。規模：上端幅0.63m～0.70m、下端幅0.39m～0.48m。残存深度：0.17m。断面形態：皿状を呈する。底面の状態：比較的なだらかである。遺構埋没状態：注記漏れのため不明。遺物出土状態：遺物の出土は見られない。時期：不明。

W-12号溝

位置：X：175・176、Y：110グリッド。主軸方位：N-82°-E。重複：H-66号住居跡、D-6号土坑、W-4・31号溝と重複し、D-6号土坑、W-31号溝より古い。H-66号住居跡、W-4号溝との新旧関係は不明。規模：上端幅0.60m～0.90m、下端幅0.25m～0.45m。残存深度：不明。断面形態：皿状を呈する。底面の状態：比較的なだらかである。遺構埋没状態：注記漏れのため不明。遺物出土状態：遺物の出土は見られない。時期：不明。

W-13号溝

位置：X：170、Y：107～110グリッド。主軸方位：N-5°-E～N-12°-E。重複：H-12・30号住居跡、T-6号堅穴状遺構、W-15号溝、1号焼土跡と重複し、埋没土層の観察から、本溝はH-12・30号住居跡、T-6号堅穴状遺構、W-15号溝、1号焼土跡より新しい。規模：上端幅0.88m～1.14m、下端幅0.56m～0.76m。残存深度：0.25m。断面形態：逆箱状を呈する。底面の状態：比較的なだらかで、底面の標高は中央付近が高く、南北方向に向けて低くなる状態にある。遺構埋没状態：As-B・As-C・ローム粒を含む黒褐色を主体とした土による自然埋没と想定される。遺物出土状態：遺物の出土は見られない。時期：埋没土中にAs-Bの一次堆積層が見られないことから、As-B降下以降に帰属するものと想定される。

W-26号溝

位置：X：177、Y：112グリッド。主軸方位：N-5°-E。重複：H-78・90号住居跡と重複し、埋没土層の観察から、本溝はH-78・90号住居跡より新しい。規模：上端幅0.69m～0.88m、下端幅0.45m～0.67m。残存深度：0.17m。断面形態：逆台形状を呈する。底面の状態：多少の凸凹が見られ、底面の標高は中央付近がやや窪む。遺構埋没状態：As-C・ローム粒を含む黒褐色・暗褐色を主体とした土による自然埋没と想定される。遺物出土状態：遺物の出土は見られない。時期：10世紀代以降からAs-B降下以前に帰属するものと想定される。

W-30号溝

位置：X：171・172、Y：109グリッド。主軸方位：N-67°-W。重複：T-6号堅穴状遺構と重複し、埋没土層の観察から、本溝はT-6号堅穴状遺構より新しい。規模：上端幅0.66m～0.82m、下端幅0.49m～0.60m。

残存深度：0.20 m。断面形態：皿状を呈する。底面の状態：多少の凸凹が見られ、底面の標高は東から西へ向けて標高を減ずる状態にある。遺構埋没状態：A s - C・ローム粒を含む黒褐色を主体とした土による自然埋没と想定される。遺物出土状態：遺物の出土は見られない。時期：A s - C降下以降からA s - B降下以前に帰属するものと想定される。

W-31号溝

位置：X：176、Y：109～111グリッド。主軸方位：N-1°-E～N-5°-E。重複：H-76・89号住居跡、T-2号竪穴状遺構、D-6・59号土坑、W-10・12号溝と重複し、埋没土層の観察から、本溝はH-76・86号住居跡、T-2号竪穴状遺構、D-6号土坑、W-12号溝より新しく、D-59号土坑より古い。W-10号溝との新旧関係は不明。規模：上端幅0.80 m～0.91 m、下端幅0.40 m～0.80 m。残存深度：0.27 m。断面形態：不整形な形状を呈する。底面の状態：凸凹が顕著に見られ、底面の標高は北から南へ向けて標高を減ずる状態にある。遺構埋没状態：A s - B・A s - C・ロームブロック・ローム粒を含む黒褐色を主体とした土による自然埋没と想定される。遺物出土状態：遺物の出土は見られない。時期：埋没土中にA s - Bの一次堆積層が見られないことから、A s - B降下以降に帰属するものと想定される。

W-32号溝

位置：X:173、Y:111グリッド。主軸方位：N-3°-W。重複：D-32・60号土坑と重複し、埋没土層の観察から、本溝はD-32・60号土坑より古い。規模：上端幅0.53 m～0.54 m、下端幅0.28 m～0.29 m。残存深度：0.29 m。断面形態：「U」字状を呈する。底面の状態：多少の凸凹が見られる。遺構埋没状態：注記漏れのため不明。遺物出土状態：遺物の出土は見られない。時期：A s - C降下以降から8世紀代の間に帰属するものと推測される。

4 土坑 (遺構：Fig.22・27・30・34・43・44・50～53、Tab. 2～4、P.L. 14/遺物：Fig.82、Tab.20、P.L. 29)

本遺跡内において土坑は49基(D-1～10・17～19・26・32～37・39～46・48・49・51・52・54・55・58～63・65・67～74号土坑)確認されている。調査の結果、D-44・46・48・49・52・54・55・74号土坑はB-1号掘立柱建物跡、D-32～34・36・37・41・60・62・63・65・71～73号土坑はB-2号掘立柱建物跡の柱穴であることが判明している。なお、これら掘立柱建物跡を構成する土坑から遺物の出土が見られるが、重複遺構からの流入である可能性が高いものと考えられる。

各土坑の計測値等はTab. 2～4に示してある。

Tab. 2 土坑一覧表(1)

遺構名	グリッド	規模(m)	深さ(m)	平面形態	遺物	備考
D-1号土坑	X 172・173、Y 109	0.84 × 0.73	0.25	楕円形	土師器片、灰釉陶	H-11号住居跡と重複し、本土坑が新しい。黒褐色の埋没土にA s - C・ローム粒・白色粘土混入。
D-2号土坑	X 181、Y 108	0.83 × 0.75	0.15	円形	—	H-13号住居跡と重複し、本土坑が新しい。黒褐色・黒褐色の埋没土にA s - C・ローム粒・灰化粒・白色粘土混入。底面に多量の灰化粒が観察されている。

Tab. 3 土坑一覧表(2)

遺構名	グラッド	規模 (m)	深さ (m)	平面形態	遺物	備考
D-3号土坑	X178, Y108	1.74 × 0.55	0.30	長方形	—	H-13・27号住居跡と重複し、本土坑が重複する全ての遺構より新しい。黒褐色の埴段土にA ₅ -C・ロームブロック・ローム粒・焼土・白色粘土土層。
D-4号土坑	X175, Y109	0.86 × 0.74	0.35	楕円形	—	W-4号溝と重複し、本土坑が新しい。黒褐色・暗褐色の埴段土にA ₅ -C・ロームブロック・ローム粒入。
D-5号土坑	X177・178, Y109	2.90 × 1.80	0.50	長方形	土師器、東表磁器、銅片	H-13・21号住居跡、D-7号土坑と重複し、H-13・21号住居跡、D-7号土坑より新しい。黒褐色の埴段土にA ₅ -B・A ₅ -C・ローム粒・白色粘土土層。
D-6号土坑	X175・176, Y110	2.47 × 2.26	0.25	(正方形)	土師器	W-12/31号溝と重複し、W-12号溝より新しく、W-31号溝より古い。黒褐色の埴段土にA ₅ -C・ロームブロック・ローム粒・白色粘土土層。
D-7号土坑	X178, Y109	0.82 × 0.58	0.23	楕円形	—	H-13/21号住居跡、D-5号土坑と重複し、D-5号土坑より古い。黒褐色・暗褐色の埴段土にA ₅ -C・ローム粒・灰化粒・白色粘土土層。
D-8号土坑	X179・171, Y111	1.22 × 1.20	0.26	円形	—	H-86号住居跡、W-5・7号溝と重複し、本土坑が重複する全ての遺構より新しい。黒褐色の埴段土にA ₅ -B・ロームブロック・ローム粒・白色粘土土層。
D-9号土坑	X171, Y111	1.40 × 1.35	0.40	不整形	—	D-39号土坑、W-5・15号溝と重複し、本土坑が重複する全ての遺構より新しい。黒褐色の埴段土にA ₅ -B・ロームブロック・ローム粒入。
D-10号土坑	X171, Y110	1.00 × 0.84	—	不整形	—	D-26号土坑と重複。
D-17号土坑	X173・174, Y108・109	1.70 × 0.98	0.35	円形	土師器・埴・黄褐色磁器	黒褐色・暗褐色の埴段土にA ₅ -C・ローム粒・ローム粒入。
D-18・19号土坑	X176・177, Y111	1.70 × 1.69	0.33	(楕円形)	土師器、黄褐色磁器、灰陶器	H-78・89号住居跡、T-1号型穴式遺構と重複し、H-78・89号住居跡より新しく、T-1号型穴式遺構より古い。暗褐色・褐色の埴段土にA ₅ -B・A ₅ -C・ローム粒・焼土・炭化粒・白色粘土土層。
D-26号土坑	X171, Y110	0.85 × 0.84	—	(楕円形)	—	D-10号土坑、W-15号溝と重複し、W-15号溝より古い。
D-32号土坑	X173, Y111	1.90 × 1.86	0.59	正方形	土師器・埴・黄褐色磁器・黄褐色磁器	2本の土坑で構成。B-2号独立柱建物跡跡、D-33号土坑、W-5・32号溝と重複し、W-32号溝より新しく、D-33号土坑、W-5号溝より古い。黒褐色・暗褐色の埴段土にA ₅ -C・ロームブロック・ローム粒入。
D-33号土坑	X173, Y111	1.41 × 0.85	0.30	楕円形	—	B-2号独立柱建物跡跡、D-32号土坑、W-5号溝と重複し、D-32号土坑より新しく、W-5号溝より古い。黒褐色・暗褐色の埴段土にA ₅ -C・ロームブロック・ローム粒・灰化粒入。
D-34号土坑	X172, Y110・111	1.60 × 1.10	0.28	正方形	—	B-2号独立柱建物跡跡、H-28・77号住居跡、D-35号土坑と重複し、本土坑が重複する全ての遺構より古い。黒褐色・暗褐色の埴段土にA ₅ -C・ロームブロック・ローム粒入。
D-35号土坑	X172, Y111	1.45 × 1.06	0.48	(楕円形)	—	H-77号住居跡、D-34号土坑、W-5号溝と重複し、D-34号土坑より新しく、H-77号住居跡、W-5号溝より古い。黒褐色の埴段土にA ₅ -C・ローム粒・灰化粒入。
D-36号土坑	X172, Y111	1.12 × 1.09	0.62	不整形	—	B-2号独立柱建物跡跡、H-77号住居跡、W-5号溝と重複し、本土坑が重複する全ての遺構より古い。黒褐色・暗褐色の埴段土にA ₅ -C・ロームブロック・ローム粒・灰化粒入。
D-37号土坑	X173, Y110・111	1.35 × 1.11	0.35	楕円形	土師器、黄褐色磁器、灰陶器	B-2号独立柱建物跡跡、H-71号住居跡と重複し、本土坑が古い。黒褐色・暗褐色の埴段土にA ₅ -C・ローム粒・灰化粒入。
D-39号土坑	X171, Y111	1.69 × 1.45	0.61	長方形	土師器・埴・黄褐色磁器・黄褐色磁器、瓦、鉄製品	D-9号土坑、W-5・15号溝と重複し、重複する全ての遺構より古い。黒褐色・暗褐色の埴段土にA ₅ -C・ロームブロック・ローム粒・灰化粒・白色粘土土層。
D-40号土坑	X181, Y115	1.90 × 0.84	0.45	(長方形)	—	W-2号溝と重複し、本土坑が古い。
D-41号土坑	X173, Y111・112	0.95 × 0.90	0.45	円形	—	B-2号独立柱建物跡跡、H-92号住居跡と重複し、本土坑が古い。黒褐色の埴段土にA ₅ -C・ロームブロック・ローム粒・白色粘土土層。
D-42号土坑	X177, Y112	0.50 × 0.47	0.19	円形	—	黒褐色・暗褐色の埴段土にA ₅ -C・ローム粒・灰化粒入。
D-43号土坑	X178, Y113	1.65 × 0.43	0.35	(円形)	土師器・埴・黄褐色磁器	黒褐色・黄褐色の埴段土にA ₅ -C・ロームブロック・ローム粒・灰化粒・白色粘土土層。埴段土中に炭化粒の混入が顕著な部分が見られる。
D-44号土坑	X179, Y113	1.39 × 0.26	0.35	(楕円形)	—	B-1号独立柱建物跡跡、黒褐色の埴段土にA ₅ -C・ロームブロック・ローム粒・灰化粒・白色粘土土層。
D-45号土坑	X176, Y113	0.53 × 0.50	0.20	円形	土師器	黒褐色の埴段土にA ₅ -C・ロームブロック・灰化粒入。
D-46号土坑	X179・171, Y113	1.00 × 0.73	0.84	楕円形	土師器・埴・黄褐色磁器、灰陶器	B-1号独立柱建物跡跡、W-2号溝と重複し、本土坑が古い。暗褐色・にじみ黄褐色の埴段土にA ₅ -C・ロームブロック・ローム粒・焼土・炭化粒・灰入。
D-48号土坑	X169, Y112	0.96 × 0.88	0.55	円形	—	B-1号独立柱建物跡跡、W-2号溝と重複し、本土坑が古い。黒褐色・暗褐色の埴段土にA ₅ -C・ロームブロック・ローム粒入。
D-49号土坑	X169, Y113	0.87 × 0.72	0.83	長方形	—	B-1号独立柱建物跡跡、H-95/97号住居跡、W-2号溝と重複し、本土坑が重複する全ての遺構より古い。黒褐色の埴段土にA ₅ -C・ロームブロック・ローム粒入。
D-51号土坑	X174・175, Y112	3.60 × 1.44	0.30	不整形	土師器・埴・黄褐色磁器	H-76/88号住居跡、W-6号溝と重複し、H-76号住居跡より新しく、H-88号住居跡、W-8号溝より古い。黒褐色・暗褐色の埴段土にA ₅ -C・ロームブロック・ローム粒入。
D-52号土坑	X176, Y112	0.74 × 0.70	0.28	正方形	—	B-1号独立柱建物跡跡、H-96号住居跡と重複し、本土坑が新しい。黒褐色の埴段土にA ₅ -C・ローム粒入。
D-54号土坑	X176, Y112	0.73 × 0.72	0.23	不整形	—	B-1号独立柱建物跡跡、H-96号住居跡、W-7号溝と重複し、H-96号住居跡より新しく、W-7号溝より古い。黒褐色・暗褐色の埴段土にA ₅ -C・ロームブロック・ローム粒入。
D-55号土坑	X169, Y112	0.60 × 0.57	0.07	正方形	土師器	B-1号独立柱建物跡跡、W-2号溝と重複し、本土坑が古い。黒褐色の埴段土にA ₅ -C・ローム粒入。

Tab. 4 土坑一覧表(3)

遺構名	グリッド	規模 (m)	深さ (m)	平面形状	遺物	備考
D-56号土坑	X 177, Y 109	0.73 × 0.70	0.16	円形	土師器類、灰 色磁器、灰釉 磁	H-29号住居跡と重複し、本土坑が古い。黒褐色の埋没土にA s-C・ローム粒・白色粘土混入。
D-59号土坑	X 176, Y 109	0.70 × 0.86	0.31	円形	土師器類	W-31号溝と重複し、本土坑が新しい。黒褐色・暗褐色・にぶい黄褐色の埋没土にA s-C・ロームブロック・ローム粒混入。
D-60号土坑	X 173, Y 110・111	0.95 × 0.90	0.37	楕円形	—	B-2号独立柱建物跡柱状、H-28号住居跡、W-32号溝と重複し、W-32号溝より新しく、H-28号住居跡より新しい。黒褐色・暗褐色の埋没土にA s-C・ロームブロック・ローム粒混入。
D-61号土坑	X 174, Y 111	0.85 × 0.66	0.20	不整形	土師器類	H-71号住居跡と重複し、本土坑が古い。黒褐色・暗褐色の埋没土にA s-C・ローム粒混入。
D-62号土坑	X 172, Y 111・112	1.00 × 0.76	0.30	楕円形	—	B-2号独立柱建物跡柱状、W-6・15号溝と重複し、本土坑が重複する全ての遺構より古い。黒褐色・暗褐色の埋没土にA s-C・ロームブロック・ローム粒・灰化土混入。
D-63号土坑	X 172・173, Y 111・112	0.84 × 0.66	0.22	楕円形	土師器類・硬 質土師器・硬 灰釉磁、瓦	B-2号独立柱建物跡柱状、H-92号住居跡、W-15号溝と重複し、本土坑が重複する全ての遺構より古い。暗褐色の埋没土にA s-C・ローム粒混入。
D-65号土坑	X 173, Y 111・112	1.40 × 0.93	0.32	長方形	土師器類	B-2号独立柱建物跡柱状、H-98号住居跡、W-5号溝と重複し、H-98号住居跡より新しく、W-5号溝より古い。黒褐色・暗褐色の埋没土にA s-C・ローム粒・焼土・灰化粒・白色粘土混入。
D-67号土坑	X 173, Y 110	0.94 × 0.75	0.23	楕円形	土師器類・硬 質土師器	H-28号住居跡と重複し、本土坑が古い。黒褐色・暗褐色・灰黄色の埋没土にA s-C・ローム粒・焼土・灰化粒・白色粘土混入。
D-68号土坑	X 173, Y 109	0.78 × 0.52	0.17	楕円形	—	W-8号溝と重複し、本土坑が新しい。暗褐色の埋没土にA s-C・ローム粒混入。
D-69号土坑	X 172, Y 110	0.72 × 0.47	0.21	楕円形	土師器類、灰 釉磁、瓦	H-29号住居跡と重複し、本土坑が古い。黒褐色・暗褐色の埋没土にA s-C・ロームブロック・ローム粒・灰化粒・焼土・白色粘土混入。
D-70号土坑	X 173, Y 109・110	1.10 × 0.83	0.14	不整形	—	H-28号住居跡と重複し、本土坑が古い。黒褐色の埋没土にA s-C・ロームブロック・ローム粒混入。
D-71号土坑	X 172, Y 111	0.80 × 0.96	0.32	(楕円形)	—	B-2号独立柱建物跡柱状、H-28・77号住居跡と重複し、本土坑が重複する全ての遺構より古い。黒褐色・暗褐色の埋没土にA s-C・ロームブロック・ローム粒・混入。
D-72号土坑	X 172, Y 110・111	0.80 × 0.70	0.45	不整形	—	B-2号独立柱建物跡柱状、H-28・77号住居跡と重複し、本土坑が重複する全ての遺構より古い。
D-73号土坑	X 172, Y 111	0.97 × 0.82	0.12	長方形	—	B-2号独立柱建物跡柱状、H-77号住居跡、W-5号溝と重複し、本土坑が重複する全ての遺構より古い。黒褐色・暗褐色の埋没土にA s-C・ロームブロック・ローム粒・灰化土混入。
D-74号土坑	X 170, Y 112	0.57 × 0.48	0.26	(正方形)	—	B-1号独立柱建物跡柱状、H-96号住居跡、W-2号溝と重複し、H-96号住居跡より新しく、W-2号溝より古い。

5 ビット (遺構: Tab. 5)

本遺跡内においてビットは3基(P-1~3)確認されている。各ビットの計測値等はTab. 5に示してある。

Tab. 5 ビット一覧表

遺構名	グリッド	規模 (m)	深さ (m)	平面形状	遺物	備考
P-1	X 173, Y 109	0.45 × 0.37	—	楕円形	—	—
P-2	X 173, Y 110	0.71 × 0.61	0.35	楕円形	—	H-71号住居跡と重複し本土坑が新しい。
P-3	X 170, Y 108	0.40 × 0.37	—	円形	—	—

6 堅穴状遺構

T-1号堅穴状遺構 (遺構: Fig. 53・54, P.L. 14 / 遺物: Fig. 82~84, Tab. 20, P.L. 29~31)

位置: X: 176・177, Y: 110・111 グリッド。主軸方位: N-2°-E。重複: H-78・89号住居跡、D-18・19号土坑と重複し、出土遺物・埋没土層の観察から本堅穴状遺構は、H-78・89号住居跡、D-18・19号土坑より新しい。形状: 長方形を呈する。規模: 5.53 m × 2.88 m。残存深度: 0.54 m。面積: 15.93 m²。底面の状態: 多少の凸凹が見られ、北側がやや高まる。部分的に白色粘土・炭化物の被覆が見られ、白色粘土の被覆は遺構北東側が顕著である。柱穴: 推定範囲内に2基のビットが確認されている。各ビットの規模は、P1が平面0.52 m × 0.40 m、深さ0.71 m、P2が平面0.97 m × 0.53 m、深さ0.73 mを測る。これらのビットはA s-B・A s-C・ロームブロック・ローム粒が混入する黒褐色・暗褐色ないしにぶい黄褐色の土により埋没しており、明確に残る柱痕や両ビットの位置関係から主柱穴と考えられる。遺構埋没状態: A s-B・A s-C・ローム粒・炭化粒・白色粘土を含む黒褐色ないし暗灰色を主体とした土による自然埋没と想定される。遺物出土状態: 遺構北西から中央に集中する状態で多量の石製品・縄が投げ込まれたような状態で出土している。その他、獣骨や陶磁器等の出土も見られる。なお、出土遺物のほとんどは床面直上からの出土となっている。時期: 15世紀後半と想定される。

T-2号竪穴状遺構（遺構：Fig.55／遺物：Fig.82、Tab.21、P.L. 31）

位置：X：175・176、Y：111グリッド。主軸方位：N-2°-W。重複：H-76号住居跡、W-31号溝と重複し、出土遺物・埋没土層の観察から本竪穴状遺構は、H-76号住居跡より新しく、W-31号溝より古い。形状：長方形形状ないし長楕円形状を呈するものと想定される。規模：3.35 m×(1.57) m。残存深度：0.40 m。面積：(5.26) m²。底面の状態：凸凹が顕著に見られ、北側がやや高まる。柱穴：推定範囲内に2基のピットが確認されている。各ピットの規模は、P1が平面0.26 m×0.25 m、深さ0.11 m、P2が平面0.24 m×0.23 m、深さ0.24 mを測る。遺構埋没状態：As-C・ロームブロック・ローム粒・炭化粒を含む黒褐色ないし暗褐色を主体とした土による自然埋没と想定される。遺物出土状態：埋没土中より平瓦が出土している。時期：7世紀代～As-B降下以前に帰属するものと想定される。

T-6号竪穴状遺構・1号焼土跡（遺構：Fig.56、P.L. 14）

位置：X：170・171、Y：108・109グリッド。主軸方位：N-1°-W。重複：H-12号住居跡、W-13・30号溝と重複し、出土遺物・埋没土層の観察から本竪穴状遺構は、H-12号住居跡、W-13・30号溝より古い。形状：方形ないし長方形形状を呈するものと想定される。規模：(4.87) m×(4.86) m。残存深度：0.09 m。面積：(23.67) m²。底面の状態：多少の凸凹が見られるが、比較的平坦である。柱穴：確認されていない。付属施設：本竪穴状遺構の底面を検出したところ、1号焼土が確認された。1号焼土は平面0.96 m×0.91 m、深さ0.10 mを測り、円形状を呈し、T-6号竪穴状遺構に伴うものと想定される。1号焼土跡の埋没土は焼土・炭化粒を含む黒褐色ないし暗褐色土が主体となっている。遺構埋没状態：ローム粒を少量含む黒褐色土により埋没している。埋没土中にAs-Cの混入が見られないことから、As-C降下前に埋没したものと想定される。遺物出土状態：埋没土中から古墳時代前期及び弥生時代後期の土器片が散在した状態で出土している。時期：弥生時代後期～古墳時代前期に帰属するものと想定される。

T-7号竪穴状遺構（遺構：Fig.56）

位置：X：181、Y：107グリッド。主軸方位：N-83°-E。重複：H-15号住居跡と重複するが、新旧関係は捉えられなかった。形状：方形ないし長方形形状を呈するものと想定される。規模：(1.45) m×(1.44) m。残存深度：0.24 m。面積：(2.09) m²。底面の状態：多少の凸凹が見られるが、比較的平坦である。柱穴：確認されていない。遺構埋没状態：確認漏れのため不明。遺物出土状態：遺物の出土は見られない。時期：不明。

7 井戸

1-1号井戸（遺構：Fig.56）

位置：X：179、Y：110グリッド。重複：重複は見られない。形状：円形状を呈する。規模：0.81 m×0.77 m。残存深度：1.15 m以上。断面形態：確認深度までにおいては円筒状を呈する。底面の状態：不明。遺構埋没状態：As-B・As-C・ロームブロック・ローム粒・炭化粒を含む暗灰色を主体とした土による自然埋没と想定される。遺物出土状態：遺物の出土は見られない。時期：As-B（1108年）降下以降と想定される。備考：元総社周辺の古代から中世の井戸を概観したところ、As-Y P層を掘り抜いているものがほとんどであるため、本井戸も同様と考えられる。なお、本井戸の検出は総社砂層の中位ほどで留めている。

8 焼土跡

1号焼土跡（遺構：Fig.56、P.L. 14）

位置：X：170・171、Y：109グリッド。重複：T-6号竪穴状遺構、W-13号溝と重複し、本焼土跡はW-13

号溝より古い。T-6号壑穴状遺構との新旧関係は不明であるが、埋没土の状態が類似することから、一連の遺構とも考えられる。形状：楕円形状を呈する。規模：0.97 m×0.90 m。残存深度：0.10 m。断面形態：浅い皿状を呈する。遺構埋没状態：黒褐色・暗褐色の埋没土にAs-C・焼土・炭化粒が混入する土により埋没している。なお、As-Cの混入は後世の動き込み等による流入と考えられ、本来埋没土中にはAs-Cは含まれていなかったものと考えられる。遺物出土状態：遺物の出土は見られない。時期：埋没土の状態からAs-C降下以前と想定される。なお、周辺からは弥生時代後期ないし古墳時代前期の土器片が散在する状態にある。

9 掘立柱建物跡

B-1号掘立柱建物跡（遺構：Fig.57・58、P.L. 15）

位置：X：169～171、Y：112・113グリッド。主軸方位：N-13°-W。重複：H-95・96・97号住居跡、W-2・7号溝と重複し、埋没土層の観察から、本掘立柱建物跡はH-96号住居跡より新しく、H-95・97号住居跡、W-2・7号溝より古い。形状：2軒×3軒以上の側柱建物跡と想定される。各柱穴の形状は、隅丸方形・長方形、円形、楕円形状を呈する。規模：南北方向（D-54号土坑からD-46号土坑の柱間距離）は5.90 m、東西方向（D-48号土坑からD-54号土坑の柱間距離）は4.73 mを測る。隣接する柱間の距離は、1.55 m～2.45 mで、平均の柱間距離は2.08 mとなっている。各柱穴（土坑）の規模についてはTab. 3・4を参照。柱痕：D-48・54号土坑の断面で確認されており、残存の太さは0.12 m～0.19 mを測る。遺物出土状態：D-36・37・63・65号土坑から古墳時代～平安時代の遺物出土が見られるが、重複遺構の遺物混入と考えられる。時期：重複遺構との関係から6世紀後半から10世紀代の間に構築されたものと想定される。

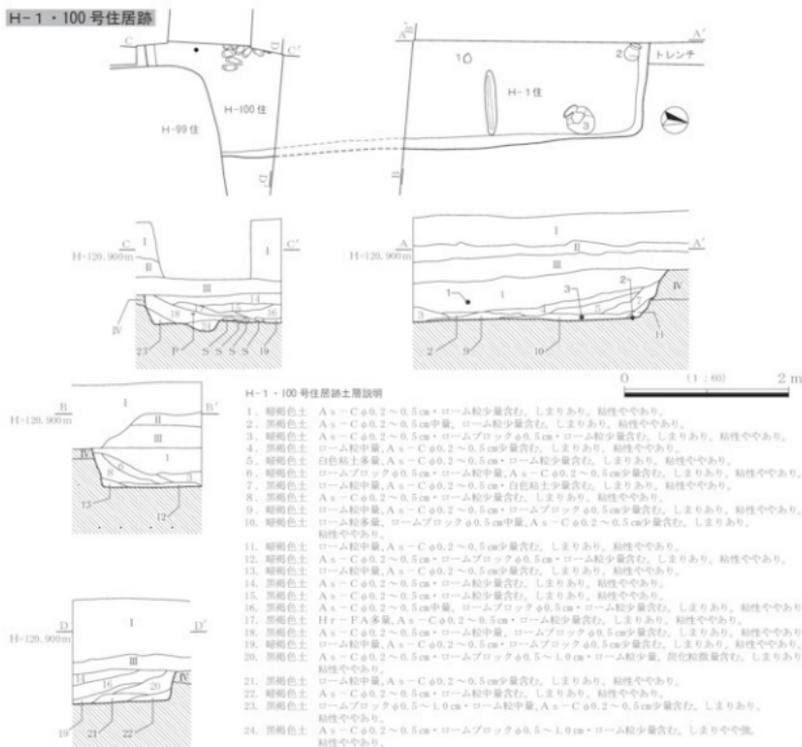
B-2号掘立柱建物跡（遺構：Fig.59・60、P.L. 15）

位置：X：172・173、Y：110～112グリッド。主軸方位：N-8°-W。重複：H-28・71・77・92・98号住居跡、D-35号土坑、W-5・6・15・32号溝と重複し、埋没土層の観察から、本掘立柱建物跡はH-98号住居跡、W-32号溝より新しく、H-28・71・77・92号住居跡、D-35号土坑、W-5・6・15号溝より古い。形状：2軒×3軒の総柱建物跡。各柱穴の形状は、隅丸方形・長方形、円形、楕円形状を呈する。規模：南北方向（D-34号土坑からD-62号土坑の柱間距離）は3.89 m、東西方向（D-34号土坑からD-37号土坑の柱間距離）は5.47 mを測る。隣接する柱間の距離は、1.79 m～2.03 mで、平均の柱間距離は1.87 mとなっている。各柱穴（土坑）の規模についてはTab. 3・4を参照。柱痕：柱痕の確認には至っていない。断面においても確認されていないことから、柱材の抜き取りが行われたものと推測される。遺物出土状態：D-32・36・37・63・65号土坑から古墳時代～平安時代の遺物出土が見られるが、重複遺構の遺物混入と考えられる。時期：重複遺構との関係から7世紀代から10世紀代の間に構築されたものと想定される。

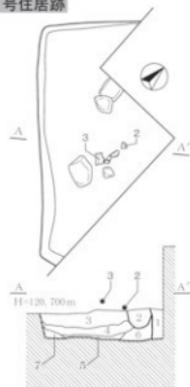
10 遺構外出土遺物（遺物：Fig.84～87、Tab.21・22、P.L. 31・32）

遺構外出土遺物として、52点の土器類及び石器類等を提示した。1～7は縄文土器、8は縄文時代晩期末～弥生時代前期に比定されるもの、9～12は弥生土器、13～18・23・24は土師器、19～21・25～31は須恵器、22は埴輪、32は灰釉陶器、33・34は緑釉陶器、35は古瀬戸の陶器、36・37は瓦、38は鉄製品、39～52は石器ないし石製品となっている。特筆すべきは、23・24の土師器環で、今回調査された住居跡の時期に含まれないものと考えられる。これらの環は9世紀第1四半期に比定されるものと想定され、上野国府が機能していた時期に該当するものと言える。

H-1・100号住居跡



H-2号住居跡

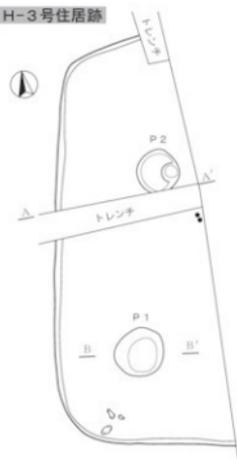


H-2号住居跡層説明

1. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm・ロームブロックφ0.5 cm少量含む。しりり強。粘性ややあり。炭粒。
2. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm中量。ロームブロックφ0.5 cm・炭化粒少量含む。しりりあり。粘性ややあり。ボツ埋没土。
3. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm中量。ロームブロックφ0.5 cm少量。炭化粒少量含む。しりりあり。粘性ややあり。
4. 暗褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm・ロームブロックφ0.5 cm少量。炭化粒少量含む。しりりあり。粘性ややあり。
5. 黒褐色土 ロームブロックφ0.5 cm中量, A s-C φ0.2~0.5 cm少量含む。しりりあり。粘性ややあり。
6. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm・ロームブロックφ0.5 cm中量含む。しりりあり。粘性ややあり。
7. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm・ロームブロックφ0.5 cm少量含む。しりりあり。粘性ややあり。

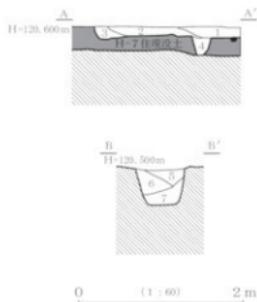
Fig. 7 遺構実測図(1)

H-3号住居跡



H-3号住居跡土層説明

1. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm・ロームブロックφ0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
2. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm・ロームブロックφ0.5 cm・炭化粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
3. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm少量。ロームブロックφ0.5 cm散在含む。しまりあり。粘性ややあり。
4. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
5. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
6. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒・炭化粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
7. 黒褐色土 ローム粒中量。A s-C φ0.2~0.5 cm・炭化粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。



H-4号住居跡

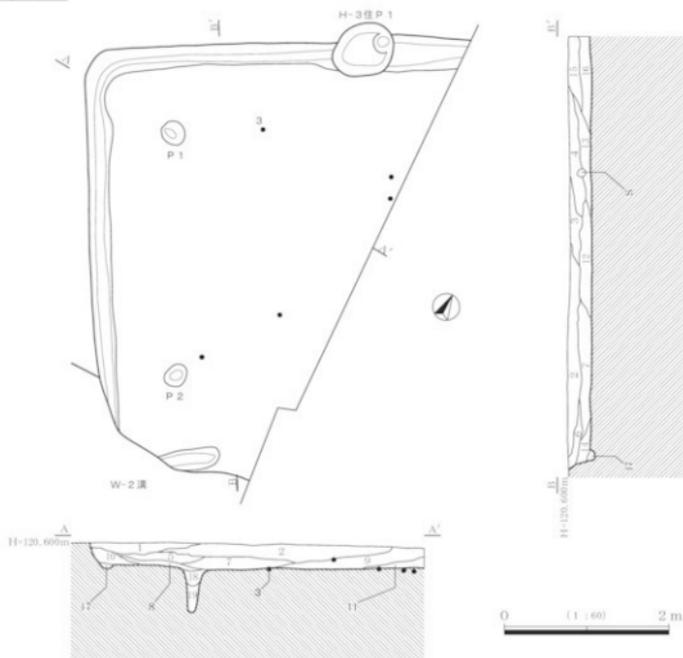


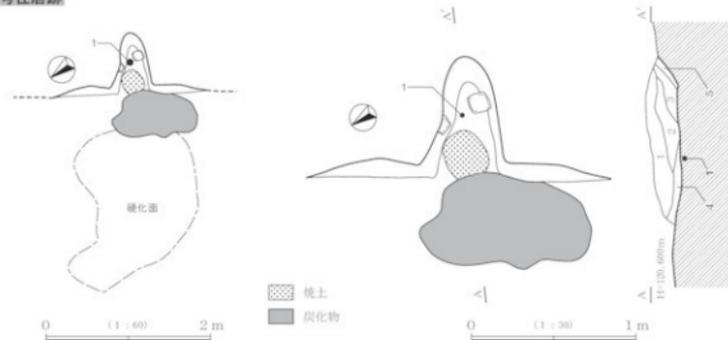
Fig. 8 遺構実測図(2)

H-4号住居跡 (土層説明)

H-4号住居跡土層説明

1. 黒褐色土 ロームブロックφ0.5～1.0cm中量, A_s-Cφ0.2～0.5cm少量含む。しまりあり, 粘性ややあり。
2. 黒褐色土 A_s-Cφ0.2～0.5cm・ロームブロックφ0.5～1.0cm中量, 炭化粒微量含む。しまりあり, 粘性ややあり。
3. 黒褐色土 A_s-Cφ0.2～0.5cm・ローム粒少量含む。しまりあり, 粘性ややあり。
4. 黒褐色土 A_s-Cφ0.2～0.5cm・ロームブロックφ0.5～1.0cm少量含む。しまりあり, 粘性ややあり。
5. 黒褐色土 A_s-Cφ0.2～0.5cm・ロームブロックφ0.5～3.0cm少量, 炭化粒微量含む。しまりあり, 粘性ややあり。
6. 黒褐色土 A_s-Cφ0.2～0.5cm中量, ロームブロックφ0.5cm少量含む。しまりあり, 粘性ややあり。
7. 黒褐色土 A_s-Cφ0.2～0.5cm・ローム粒中量, 炭化粒微量含む。しまりあり, 粘性ややあり。
8. 黒褐色土 A_s-Cφ0.2～0.5cm・ローム粒中量含む。しまりあり, 粘性ややあり。
9. 黒褐色土 A_s-Cφ0.2～0.5cm・ローム粒・白色粘土少量含む。しまりあり, 粘性ややあり。
10. 黒褐色土 ローム粒中量, A_s-Cφ0.2～0.5cm少量含む。しまりあり, 粘性ややあり。
11. 黒褐色土 A_s-Cφ0.2～0.5cm・ロームブロックφ0.5～2.0cm少量含む。しまりあり, 粘性ややあり。
12. 黒褐色土 A_s-Cφ0.2～0.5cm中量, ロームブロックφ0.5～2.0cm少量含む。しまりあり, 粘性ややあり。
13. 黒褐色土 A_s-Cφ0.2～0.5cm中量, ロームブロックφ0.5～1.0cm少量含む。しまりあり, 粘性ややあり。
14. 黒褐色土 A_s-Cφ0.2～0.5cm・ローム粒中量, 炭化粒少量含む。しまりあり, 粘性ややあり。
15. 黒褐色土 A_s-Cφ0.2～0.5cm中量, ローム粒少量含む。しまりあり, 粘性ややあり。
16. 黒褐色土 A_s-Cφ0.2～0.5cm・ローム粒少量含む。しまりあり, 粘性ややあり。
17. 暗褐色土 ローム粒中量, A_s-Cφ0.2～0.5cm微量含む。しまりやや別, 粘性ややあり。
18. 黒褐色土 A_s-Cφ0.2～0.5cm・ロームブロックφ0.5cm少量含む。しまりあり, 粘性ややあり。
19. 黒褐色土 A_s-Cφ0.2～0.5cm少量, ローム粒微量含む。しまりあり, 粘性ややあり。

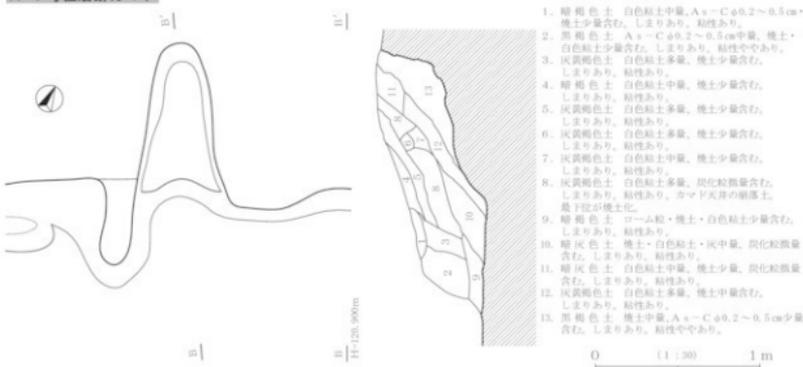
H-5号住居跡



H-5号住居跡カマド土層説明

1. 黒褐色土 A_s-Cφ0.2～0.5cm・ローム粒・焼土ブロックφ0.5～10.0cm・炭化粒少量含む。しまりあり, 粘性ややあり。
2. 黒褐色土 A_s-Cφ0.2～0.5cm・ロームブロックφ0.5～1.0cm・焼土少量, 炭化粒微量含む。しまりあり, 粘性ややあり。
3. 黒褐色土 焼土ブロックφ0.5～1.0cm中量, A_s-Cφ0.2～0.5cm少量含む。しまりあり, 粘性ややあり。
4. 黒褐色土 焼土ブロックφ0.5cm中量, 炭少量, A_s-Cφ0.2～0.5cm微量含む。しまりあり, 粘性やや別。
5. 褐色土 焼土ブロックφ0.5～1.0cm多量含む。しまりあり, 粘性ややあり。

H-7号住居跡カマド

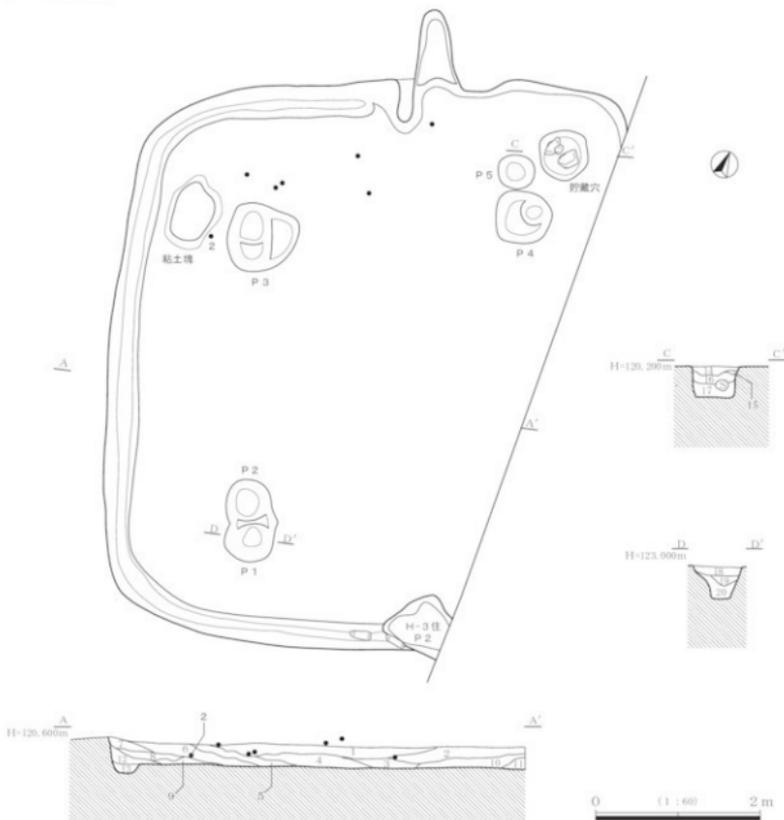


H-7号住居跡カマド土層説明

1. 暗褐色土 白色粘土中量, A_s-Cφ0.2～0.5cm・焼土少量含む。しまりあり, 粘性あり。
2. 暗褐色土 A_s-Cφ0.2～0.5cm中量, 焼土・白色粘土少量含む。しまりあり, 粘性ややあり。
3. 灰黄褐色土 白色粘土多量, 焼土少量含む。しまりあり, 粘性あり。
4. 暗褐色土 白色粘土中量, 焼土少量含む。しまりあり, 粘性あり。
5. 灰黄褐色土 白色粘土多量, 焼土少量含む。しまりあり, 粘性あり。
6. 灰黄褐色土 白色粘土多量, 焼土少量含む。しまりあり, 粘性あり。
7. 灰黄褐色土 白色粘土中量, 焼土少量含む。しまりあり, 粘性あり。
8. 灰黄褐色土 白色粘土多量, 炭化粒微量含む。しまりあり, 粘性あり。カマド天井の積層土。最下位が焼土化。
9. 暗褐色土 ローム粒・焼土・白色粘土少量含む。しまりあり, 粘性あり。
10. 暗褐色土 焼土・白色粘土・灰中量, 炭化粒微量含む。しまりあり, 粘性あり。
11. 暗褐色土 白色粘土中量, 焼土少量, 炭化粒微量含む。しまりあり, 粘性あり。
12. 灰黄褐色土 白色粘土多量, 焼土中量含む。しまりあり, 粘性あり。
13. 暗褐色土 焼土中量, A_s-Cφ0.2～0.5cm少量含む。しまりあり, 粘性ややあり。

Fig. 9 遺構実測図 (3)

H-7号住居跡

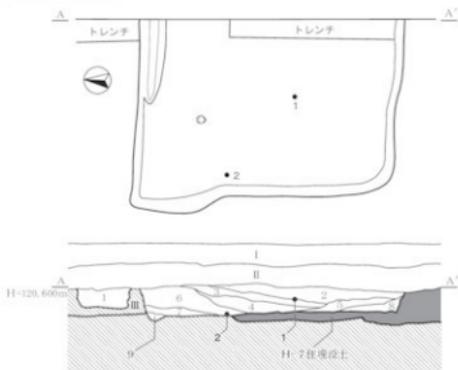


H-7号住居跡土層説明

1. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm中量, ロームブロックφ0.5~2.0 cm・ローム粒・焼土少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
2. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm中量, ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
3. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒少量, 焼土微量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
4. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒・焼土少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
5. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm中量, ローム粒・白色粘土少量, 焼土微量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
6. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
7. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒・炭化粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
8. 黒褐色土 ロームブロックφ0.5~2.0 cm, ローム粒中量, A s-C φ0.2~0.5 cm少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
9. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm・ロームブロックφ0.5~1.0 cm・ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
10. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm中量, ローム粒・白色粘土少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
11. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒・焼土・炭化粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
12. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
13. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm中量, ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
14. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm・焼土・炭化粒・白色粘土少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
15. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm・白色粘土少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
16. 暗褐色土 白色粘土中量, A s-C φ0.2~0.5 cm少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
17. 黒褐色土 ローム粒・炭化粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
18. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
19. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
20. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm・ロームブロックφ0.5センチ少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。

Fig.10 遺構実測図(4)

H-8号住居跡

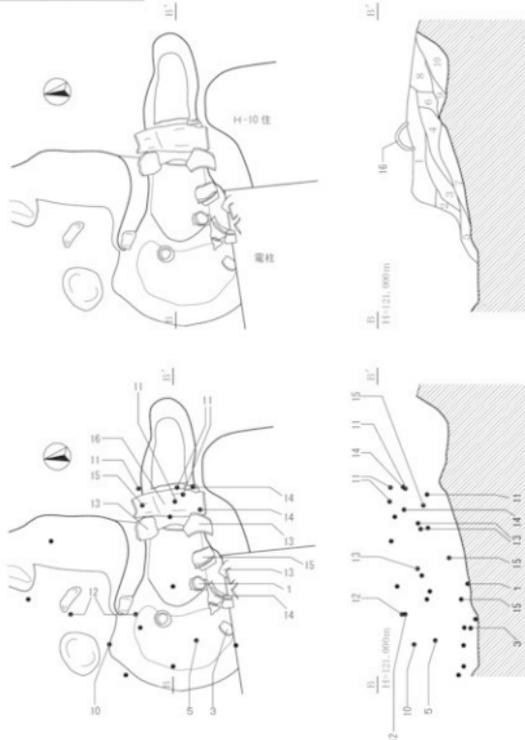


H-8号住居跡土層説明

1. 暗褐色土 A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。土灰混成土。
2. 暗褐色土 A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒中量。ロームブロック φ0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
3. 暗褐色土 ローム粒中量。A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
4. 黒褐色土 A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少量。焼土微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
5. 暗褐色土 A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒中量。ロームブロック φ0.5 cm少量。炭化粒微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
6. 暗褐色土 ローム粒中量。A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
7. 暗褐色土 A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm・ロームブロック φ0.5 ~ 1.0 cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
8. 暗褐色土 A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm・ロームブロック φ0.5 cm・ローム粒中量。焼土微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
9. 黒褐色土 ローム粒中量。A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm・ロームブロック φ0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。

0 (1:600) 2 m

H-9号住居跡カマド



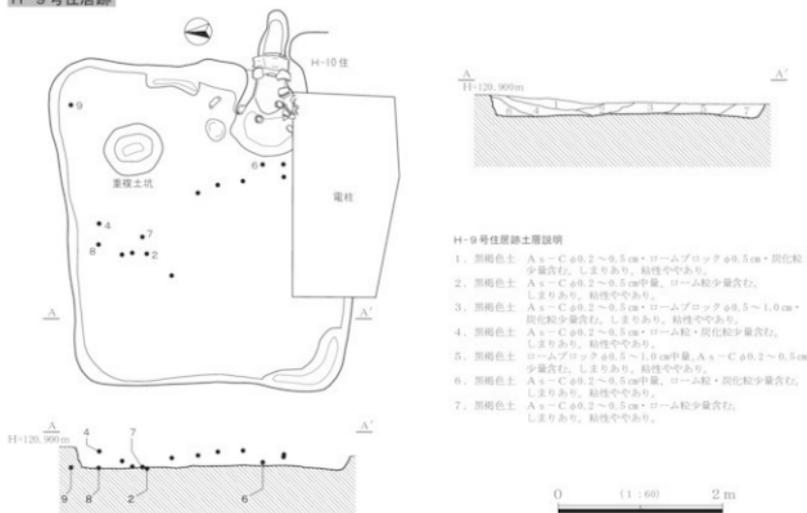
H-9号住居跡カマド土層説明

1. 暗褐色土 A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm・焼土・白色粒土少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
2. 黒褐色土 A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm・ロームブロック φ0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
3. 暗褐色土 焼土少量。A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm・白色粒土少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
4. 黒褐色土 A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm・焼土・炭・白色粒土少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
5. 灰白色土 灰少量。白色粒土微量含む。しまり弱。粘性ややあり。
6. 暗褐色土 A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
7. 暗褐色土 ローム粒・焼土少量。炭化粒微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
8. 暗褐色土 A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm・焼土少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
9. 暗褐色土 焼土中量。A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
10. 暗褐色土 A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm少量。焼土微量含む。しまりあり。粘性ややあり。

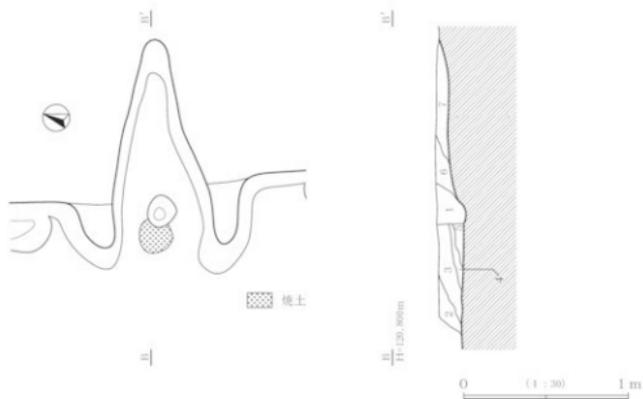
0 (1:300) 1 m

Fig.11 遺構実測図(5)

H-9号住居跡



H-10号住居跡カマド

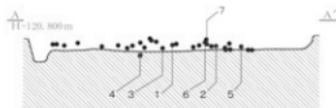
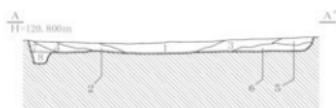
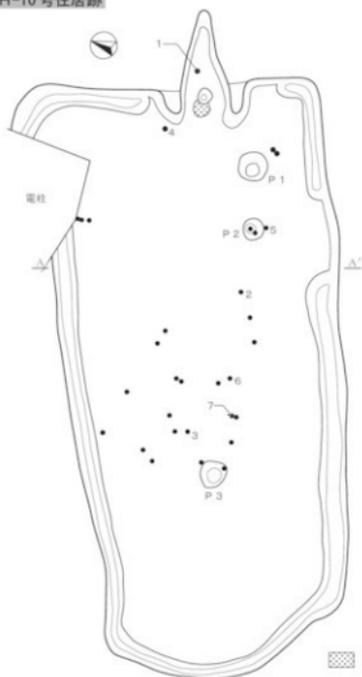


H-10号住居跡カマド土層説明

1. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm・焼土・白色粘土少量含む。しまりあり。粘性あり。
2. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm中量。炭化粒・白色粘土少量含む。しまりあり。粘性あり。
3. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm・焼土・炭化粒・白色粘土少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
4. 黒褐色土 焼土・炭化粒・白色粘土・灰少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
5. 暗灰黄色土 白色粘土多量。焼土中量含む。しまりあり。粘性あり。
6. 黒褐色土 ロームブロックφ0.5~2.0cm中量。焼土・炭化粒・白色粘土少量含む。しまり強。粘性強。
7. 黒褐色土 ロームブロックφ0.5~1.0cm・白色粘土中量。焼土・炭化粒少量含む。しまり強。粘性強。

Fig.12 遺構実測図 (6)

H-10号住居跡

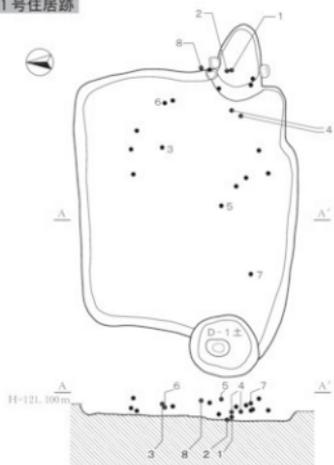


H-10号住居跡土層説明

1. 黒褐色土 ローム粒中量, A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm・ロームブロック ϕ 0.5 ~ 2.0 cm少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
2. 黒褐色土 A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少量, 炭化粒微量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
3. 黒褐色土 A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
4. 暗褐色土 A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒・炭化粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
5. 黒褐色土 A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒・炭化粒少量, 焼土微量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
6. 暗褐色土 A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm・炭化粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
7. 黒褐色土 A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm中量, ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
8. 黒褐色土 ローム粒中量, A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。

0 (1 : 60) 2 m

H-11号住居跡



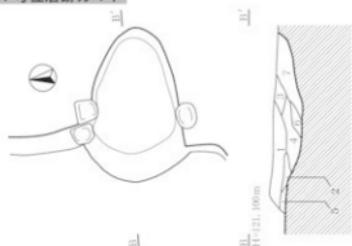
H-11号住居跡土層説明

1. 黒褐色土 A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm中量, ローム粒・白色粘土少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
2. 黒褐色土 A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒中量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
3. 黒褐色土 A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒・炭化粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
4. 黒褐色土 ローム粒中量, A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
5. 暗褐色土 ローム粒中量, A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm微量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
6. 黒褐色土 A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm少量含む, しまりあり, 粘性ややあり, 腐植。

0 (1 : 60) 2 m

Fig. 13 遺構実測図 (7)

H-11号住居跡カマド

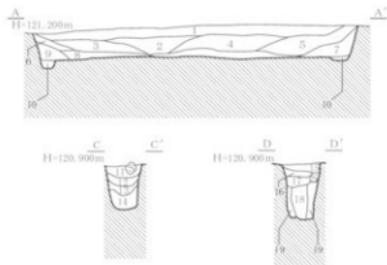


H-11号住居跡カマド土層説明

1. 黒褐色土 白色粘土・灰少量含む。しまりあり。粘性やや弱。
2. 黒褐色土 A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm、白色粘土・灰少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
3. 黒褐色土 A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
4. 黒褐色土 炭化粒・白色粘土・灰中量含む。しまりあり。粘性ややあり。
5. 黒褐色土 A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm、白色粘土少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
6. 黒褐色土 白色粘土・灰少量、粒土・炭化粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
7. 黒褐色土 A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm、ローム粒・白色粘土少量含む。しまりあり。粘性ややあり。

0 1:30 1 m

H-12号住居跡



H-12号住居跡土層説明

1. 黒褐色土 A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm、ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
2. 黒褐色土 A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm、ローム粒・炭化粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
3. 黒褐色土 ローム粒・白色粘土少量、A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm、炭化粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
4. 黒褐色土 A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm、炭化粒中量、ローム粒・白色粘土少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
5. 黒褐色土 A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm中量。ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
6. 暗褐色土 A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm、ローム粒・炭化粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
7. 黒褐色土 A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm、ローム粒・白色粘土少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
8. 暗褐色土 A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm、ローム粒・白色粘土少量含む。しまりあり。粘性あり。
9. 黒褐色土 A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm、ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
10. 黒褐色土 ローム粒中量、A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
11. 暗褐色土 白色粘土中量、A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm少量、炭化粒少量含む。しまり弱。粘性ややあり。
12. 黒褐色土 A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm、ロームブロックφ0.5 ~ 2.0 cm少量含む。しまり弱。粘性ややあり。
13. 黒褐色土 A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm、ローム粒少量含む。しまり弱。粘性ややあり。
14. 暗褐色土 ロームブロックφ0.5 ~ 2.0 cm中量、A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm少量含む。しまり弱。粘性ややあり。
15. 暗褐色土 ローム粒中量、粒土・炭化粒少量含む。しまり弱。粘性ややあり。
16. 黒褐色土 A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm、ローム粒少量含む。しまり弱。粘性ややあり。
17. 暗褐色土 ロームブロックφ0.5 cm、ローム粒中量、A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm少量含む。しまり弱。粘性ややあり。
18. 黒褐色土 A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm、ローム粒少量含む。しまり弱。粘性ややあり。
19. 暗褐色土 ロームブロックφ0.5 ~ 1.0 cm中量、A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
20. 暗灰色土 白色粘土少量含む。しまりあり。粘性あり。
21. 灰黄褐色土 ローム粒・白色粘土少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
22. 黒褐色土 白色粘土・灰中量含む。しまりあり。粘性ややあり。
23. 灰黄褐色土 白色粘土少量含む。しまりあり。粘性あり。
24. 黒褐色土 ローム粒・粒土・白色粘土少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
25. 黒褐色土 粒土・灰中量、白色粘土少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
26. 暗褐色土 粒土・灰中量、白色粘土少量含む。しまりあり。粘性ややあり。

カマド

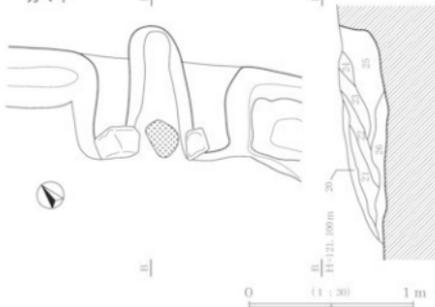
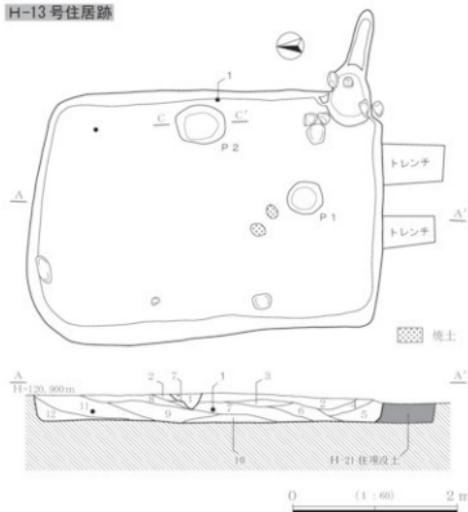


Fig.14 遺構実測図(8)

H-13号住居跡

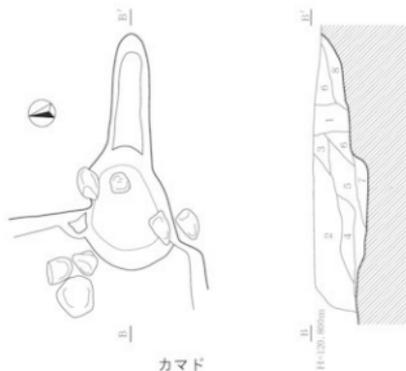


H-13号住居跡土層説明

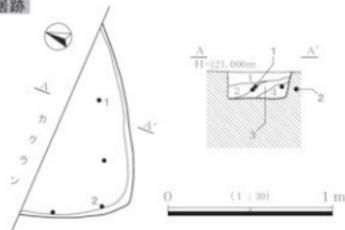
1. 黒褐色土 A_s-B_sφ0.2cm中層, A_s-C_sφ0.2~0.5cm・ローム粒少量含む。しじりあり。粘性ややあり。
2. 黒褐色土 A_s-C_sφ0.2~0.5cm中層, ローム粒少量含む。しじりあり。粘性ややあり。
3. 黒褐色土 A_s-C_sφ0.2~0.5cm中層, ローム粒少量含む。しじりあり。粘性ややあり。
4. 黒褐色土 A_s-C_sφ0.2~0.5cm中層, ローム粒少量含む。しじりあり。粘性ややあり。
5. 黒褐色土 A_s-C_sφ0.2~0.5cm中層, ローム粒・白色粘土少量含む。しじりあり。粘性ややあり。
6. 黒褐色土 A_s-C_sφ0.2~0.5cm中層, ローム粒・炭化粒少量含む。しじりあり。粘性ややあり。
7. 暗褐色土 ロームブロックφ0.5~3.0cm多量, A_s-C_sφ0.2~0.5cm少量含む。しじりあり。粘性ややあり。
8. 黒褐色土 A_s-C_sφ0.2~0.5cm・ローム粒少量, 炭化粒少量含む。しじりあり。粘性ややあり。
9. 黒褐色土 A_s-C_sφ0.2~0.5cm・ローム粒中量含む。しじりあり。粘性ややあり。
10. 黒褐色土 A_s-C_sφ0.2~0.5cm少量含む。しじりあり。粘性ややあり。
11. 黒褐色土 A_s-C_sφ0.2~0.5cm中層, ローム粒少量含む。しじりあり。粘性ややあり。
12. 黒褐色土 ローム粒中量, A_s-C_sφ0.2~0.5cm少量含む。しじりあり。粘性ややあり。
13. 黒褐色土 A_s-C_sφ0.2~0.5cm・ローム粒少量含む。しじりあり。粘性ややあり。
14. 黒褐色土 ローム粒少量, A_s-C_sφ0.2~0.5cm少量含む。しじりあり。粘性ややあり。
15. 黒褐色土 ローム粒少量, A_s-C_sφ0.2~0.5cm少量含む。しじりあり。粘性ややあり。

H-13号住居跡カマド土層説明

1. 黒褐色土 焼土・白色粘土少量含む。しじりあり。粘性ややあり。
2. 暗褐色土 A_s-C_sφ0.2~0.5cm・白色粘土少量, ローム粒微量含む。しじりあり。粘性ややあり。
3. 暗褐色土 焼土・白色粘土中量, 灰少量含む。しじりあり。粘性あり。
4. 灰白色土 白色粘土多量含む。しじり強。粘性強。白色粘土は堆ける。
5. 暗褐色土 白色粘土・焼土・灰少量含む。しじりあり。粘性強。
6. 暗褐色土 焼土中量, 白色粘土・灰少量, 炭化粒微量含む。しじりあり。粘性ややあり。
7. 黒褐色土 灰多量, ロームブロックφ0.5cm少量含む。しじりあり。粘性弱。
8. 黒褐色土 灰多量, ロームブロックφ0.5cm少量含む。しじりあり。粘性弱。



H-14号住居跡

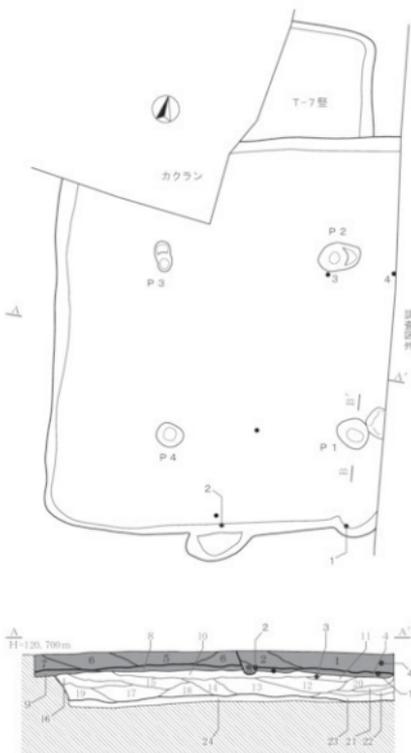


H-14号住居跡土層説明

1. 黒褐色土 A_s-C_sφ0.2~0.5cm・ローム粒少量含む。しじりあり。粘性ややあり。
2. 黒褐色土 A_s-C_sφ0.2~0.5cm中層, ローム粒少量含む。しじりあり。粘性ややあり。
3. 黒褐色土 A_s-C_sφ0.2~0.5cm中層, ローム粒少量含む。しじりあり。粘性ややあり。
4. 黒褐色土 A_s-C_sφ0.2~0.5cm・ローム粒少量含む。しじりあり。粘性ややあり。

Fig. 15 遺構実測図 (9)

H-15号住居跡



H-15号住居跡土層説明

1. 黒褐色土 A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm中量, ローム粒少量, 炭化粒微量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
2. 黒褐色土 A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm中量, ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
3. 黒褐色土 A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
4. 黒褐色土 A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少量含む, しまり強, 粘性ややあり, 膨張。
5. 黒褐色土 A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm中量, ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
6. 黒褐色土 A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
7. 黒褐色土 A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒中量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
8. 黒褐色土 ローム粒中量, A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm・炭化粒少量含む, しまり強, 粘性ややあり, 膨張。
9. 黒褐色土 ロームブロック φ 0.5 ~ 4.0 cm・ローム粒中量, A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm少量含む, しまり強, 粘性ややあり, 膨張。
10. 黒褐色土 A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒中量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
11. 黒褐色土 A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒・焼土少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
12. 黒褐色土 ローム粒中量, A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
13. 黒褐色土 A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
14. 黒褐色土 ロームブロック φ 0.5 ~ 3.0 cm多量, A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
15. 黒褐色土 A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm, ロームブロック φ 0.5 ~ 2.0 cm・ローム粒・白色粘土少量, 炭化粒微量含む, しまりあり, 粘性ややあり, ローム粒中量, A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm少量含む。
16. 黒褐色土 A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
17. 黒褐色土 A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒・白色粘土少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
18. 黒褐色土 A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm中量, ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
19. 暗褐色土 ローム粒中量, A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
20. 黒褐色土 ロームブロック φ 0.5 ~ 1.0 cm・焼土・白色粘土中量, A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm・炭化粒微量含む, しまりあり, 粘性あり。
21. 黒褐色土 A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm・炭化粒・白色粘土少量含む, しまりあり, 粘性あり。
22. 暗灰色土 灰多量, 炭化粒少量含む, しまり弱, 粘性弱。
23. 暗褐色土 ローム粒・炭化粒・白色粘土少量, A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm微量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
24. 暗褐色土 ロームブロック φ 0.5 ~ 2.0 cm中量, A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm少量含む, しまり強, 粘性ややあり, 膨張。
25. 黒褐色土 A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm・ロームブロック φ 0.5 ~ 1.0 cm中量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
26. 黒褐色土 A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm中量, ロームブロック φ 0.5 cm少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
27. 黒褐色土 A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。

H-16号住居跡カマド

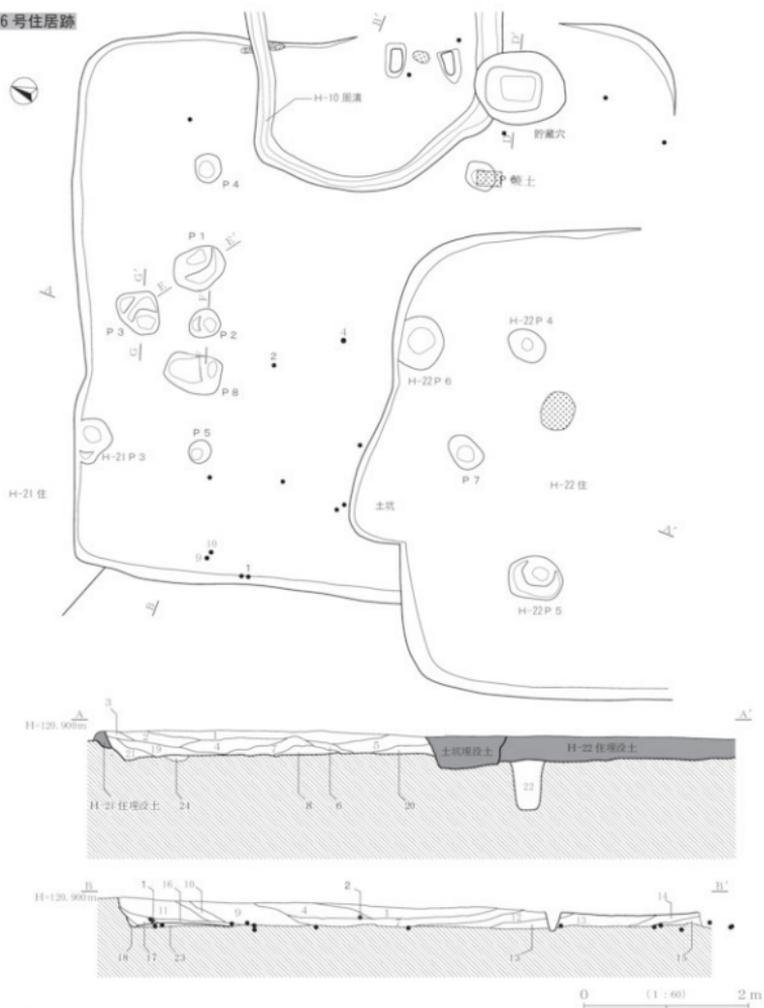


H-16号住居跡カマド土層説明

1. 黒褐色土 ローム粒中量, A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
2. 暗褐色土 白色粘土中量, A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒・炭化粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
3. 黒褐色土 A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒・白色粘土少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
4. 黒褐色土 A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒・白色粘土少量, 炭化粒微量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
5. 黒褐色土 A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒・焼土・白色粘土少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
6. 暗褐色土 焼土・白色粘土中量, 炭化粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。

Fig.16 遺構実測図 (10)

H-16号住居跡



H-16号住居跡土層説明(1)

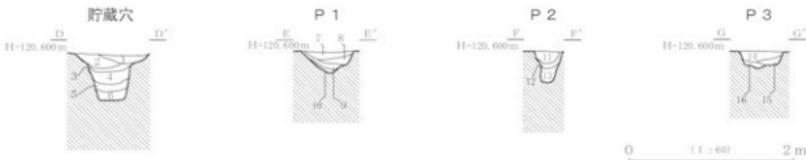
1. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm・白色粘土・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
2. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm・白色粘土少量。ローム粒微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
3. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm中量。白色粘土・焼土少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
4. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒少量。白色粘土微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
5. 黒褐色土 ローム粒中量。A s-C φ0.2~0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
6. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm少量。白色粘土・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
7. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒・焼土・白色粘土少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
8. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒・ロームブロックφ0.5~1.0 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
9. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm中量。ロームブロックφ0.2~3.0 cm・ローム粒・白色粘土少量。焼土微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
10. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm中量。ロームブロックφ0.5~1.0 cm・白色粘土・焼土少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
11. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒・白色粘土・焼土少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
12. 黒褐色土 同化粒少量。しまりややあり。粘性ややあり。
13. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒・白色粘土少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
14. 暗褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm・ロームブロックφ0.5~2.0 cm中量含む。しまり強。粘性ややあり。

Fig. 17 遺構実測図 (11)

H-16号住居跡

H-16号住居跡土層説明

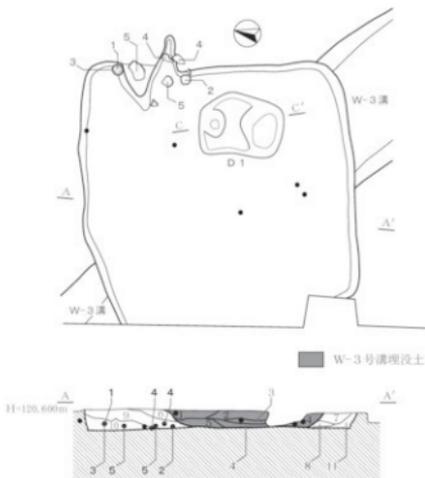
1. 黒褐色土 A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm・ロームゾックφ0.5 ~ 2.0 cm・白色粘土少量含む。しまり強。粘性ややあり。
16. 黒褐色土 A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm・白色粘土中量、ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
17. 黒褐色土 A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm中量、ローム粒・白色粘土少量。堆土微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
18. 灰黄褐色土 白色粘土多量、A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm・焼土・炭化粒少量含む。しまりあり。粘性あり。
19. 黒褐色土 A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm中量、白色粘土・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
20. 黒褐色土 A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm中量、白色粘土・ローム粒・焼土少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
21. 黒褐色土 白色粘土中量、A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
22. 黒褐色土 A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm中量、ローム粒・焼土・白色粘土少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
23. 黒褐色土 A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm中量、ローム粒・焼土・白色粘土少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
24. 黒褐色土 A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm中量、ローム粒・白色粘土少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
25. 黒褐色土 A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm・白色粘土少量、ローム粒微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
26. 黒褐色土 A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm中量、白色粘土・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
27. 黒褐色土 A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm・白色粘土・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
28. 灰黄褐色土 白色粘土多量、A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm少量含む。しまり強。粘性あり。



H-16号住居跡貯蔵穴・P1・P2・P3土層説明

1. 黒褐色土 A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒・白色粘土少量含む。しまりあり。粘性ややあり。貯蔵穴埋没。
2. 黒褐色土 A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒・焼土少量含む。しまりあり。粘性ややあり。貯蔵穴埋没。
3. 黒褐色土 炭化粒中量、白色粘土少量、A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm微量含む。しまりあり。粘性ややあり。貯蔵穴埋没。
4. 黒褐色土 A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。貯蔵穴埋没。
5. 黒褐色土 ローム粒中量、A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。貯蔵穴埋没。
6. 黒褐色土 ローム粒・白色粘土少量、A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm微量含む。しまりあり。粘性ややあり。貯蔵穴埋没。
7. 黒褐色土 A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm中量、ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。P1埋没。
8. 黒褐色土 A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。P1埋没。
9. 黒褐色土 ローム粒中量、A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。P1埋没。
10. 黒褐色土 ローム粒多量、A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。P1埋没。
11. 黒褐色土 A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒・白色粘土少量含む。しまりあり。粘性ややあり。P2埋没。
12. 黒褐色土 ローム粒・白色粘土少量含む。しまりあり。粘性ややあり。P2埋没。
13. 黒褐色土 A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少量含む。しまりややあり。粘性ややあり。P2埋没。
14. 黒褐色土 A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒・白色粘土少量含む。しまりあり。粘性ややあり。P3埋没。
15. 黒褐色土 ローム粒中量、A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。P3埋没。
16. 黒褐色土 ローム粒中量、A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。P3埋没。

H-17号住居跡

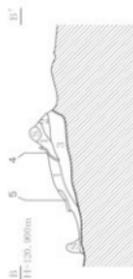
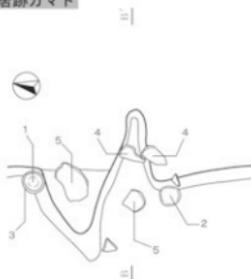


H-17号住居跡土層説明

1. 黒褐色土 A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm少量、炭化粒微量含む。しまり強。粘性ややあり。
2. 黒褐色土 砂粒中量、A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm微量含む。しまり強。粘性ややあり。
3. 暗灰色土 砂粒多量含む。しまり強。粘性なし。鉄分の沈着がみられる。
4. 黒褐色土 A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm少量、炭化粒微量含む。しまり強。粘性ややあり。鉄分の沈着がみられる。
5. 黒褐色土 A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm中量、ローム粒少量含む。しまり強。粘性ややあり。鉄分の沈着がみられる。
6. 黒褐色土 A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm中量、ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
7. 黒褐色土 A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
8. 黒褐色土 A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少量、焼土微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
9. 黒褐色土 A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm中量、ローム粒少量、炭化粒微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
10. 黒褐色土 A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm中量、ローム粒・炭化粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
11. 黒褐色土 ローム粒中量、A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
12. 黒褐色土 A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少量、焼土微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
13. 黒褐色土 ローム粒・白色粘土中量、A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm・焼土少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
14. 黒褐色土 A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm・ロームゾックφ0.5 cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
15. 黒褐色土 ロームゾックφ0.5 ~ 2.0 cm・焼土中量、A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。

Fig. 18 遺構実測図 (12)

H-17号住居跡カマド

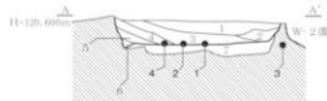


H-17号住居跡カマド土層説明

1. 黒褐色土 堆土・白色粘土中量, $A_s-C \phi 0.2 \sim 0.5 \text{ cm}$ ・炭化粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
2. 黒褐色土 白色粘土中量, 堆土・炭化粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
3. 黒褐色土 $A_s-C \phi 0.2 \sim 0.5 \text{ cm}$ ・堆土・炭化粒・白色粘土少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。

0 (1:30) 1 m

H-18号住居跡

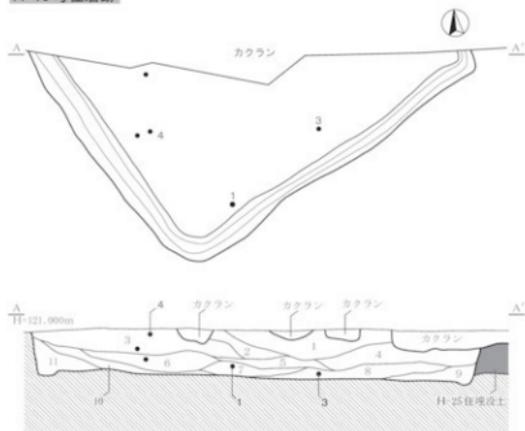


H-18号住居跡土層説明

1. 黒褐色土 $A_s-C \phi 0.2 \sim 0.5 \text{ cm}$ 中量, ローム粒少量, 炭化粒微量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
2. 黒褐色土 $A_s-C \phi 0.2 \sim 0.5 \text{ cm}$ 中量, ローム粒・白色粘土少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
3. 黒褐色土 $A_s-C \phi 0.2 \sim 0.5 \text{ cm}$ ・ローム粒・白色粘土少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
4. 黒褐色土 $A_s-C \phi 0.2 \sim 0.5 \text{ cm}$ ・ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
5. 黒褐色土 ローム粒少量, $A_s-C \phi 0.2 \sim 0.5 \text{ cm}$ 炭化粒含む, しまりあり, 粘性ややあり。
6. 黒褐色土 ローム粒中量, $A_s-C \phi 0.2 \sim 0.5 \text{ cm}$ 少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
7. 黒褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0 \text{ cm}$ ・ローム粒中量, $A_s-C \phi 0.2 \sim 0.5 \text{ cm}$ 少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。

0 (1:60) 2 m

H-19号住居跡



H-19号住居跡土層説明

1. 黒褐色土 ローム粒中量, $A_s-C \phi 0.2 \sim 0.5 \text{ cm}$ ・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0 \text{ cm}$ ・白色粘土少量, 炭化粒微量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
2. 暗褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0 \text{ cm}$ ・ローム粒・白色粘土中量, $A_s-C \phi 0.2 \sim 0.5 \text{ cm}$ 少量, 炭化粒微量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
3. 黒褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0 \text{ cm}$ ・白色粘土少量, $A_s-C \phi 0.2 \sim 0.5 \text{ cm}$ ・ローム粒少量, 炭化粒微量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
4. 暗褐色土 ローム粒中量, $A_s-C \phi 0.2 \sim 0.5 \text{ cm}$ ・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0 \text{ cm}$ ・白色粘土少量, 炭化粒微量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
5. 暗褐色土 白色粘土中量, $A_s-C \phi 0.2 \sim 0.5 \text{ cm}$ ・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0 \text{ cm}$ ・ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
6. 暗褐色土 $A_s-C \phi 0.2 \sim 0.5 \text{ cm}$ ・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0 \text{ cm}$ ・ローム粒・白色粘土少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
7. 黒褐色土 白色粘土中量, ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0 \text{ cm}$ ・ローム粒少量, $A_s-C \phi 0.2 \sim 0.5 \text{ cm}$ ・堆土微量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
8. 暗褐色土 $A_s-C \phi 0.2 \sim 0.5 \text{ cm}$ ・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0 \text{ cm}$ ・ローム粒・白色粘土少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
9. 暗褐色土 $A_s-C \phi 0.2 \sim 0.5 \text{ cm}$ ・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0 \text{ cm}$ ・ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
10. 暗褐色土 $A_s-C \phi 0.2 \sim 0.5 \text{ cm}$ ・ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0 \text{ cm}$ ・ローム粒少量, 堆土微量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
11. 暗褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \text{ cm}$ 中量, ローム粒少量, $A_s-C \phi 0.2 \sim 0.5 \text{ cm}$ 炭化粒含む, しまりあり, 粘性ややあり。

0 (1:60) 2 m

Fig. 19 遺構実測図 (13)

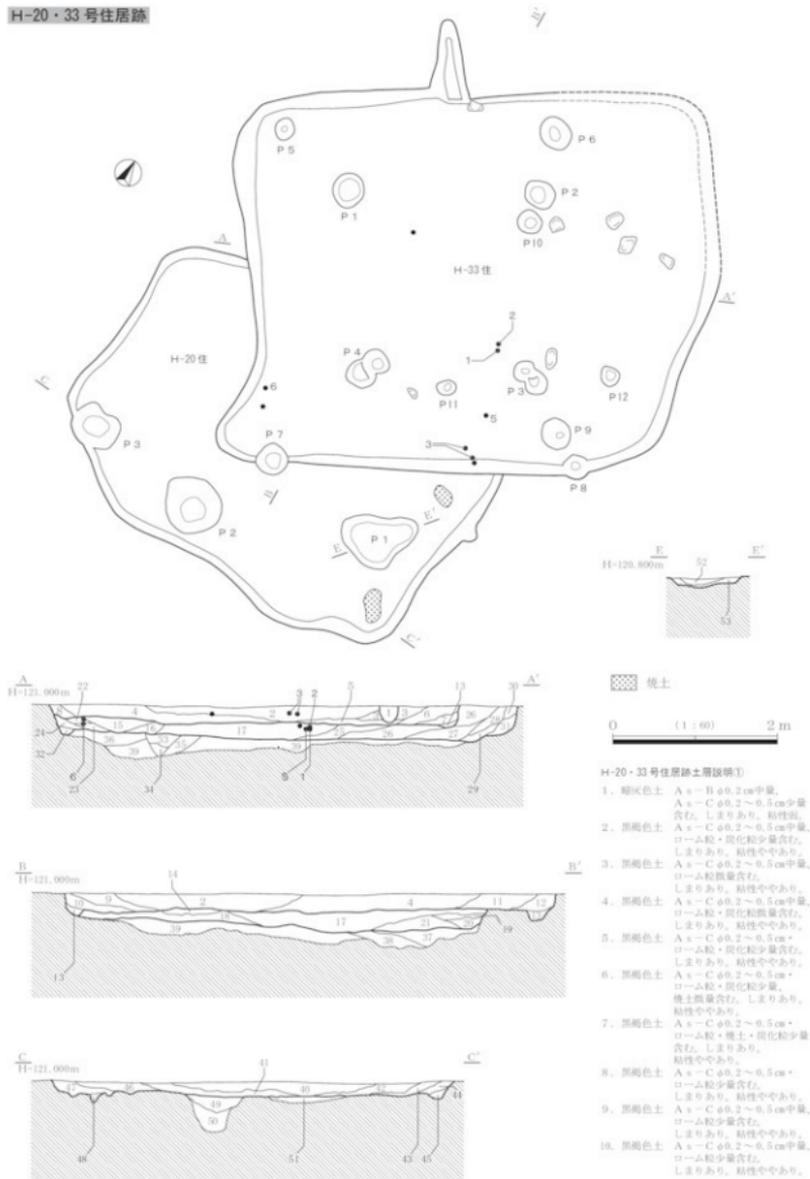


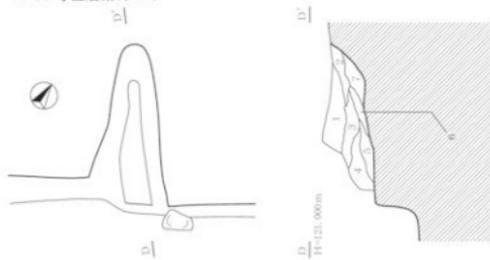
Fig. 20 遺構実測図 (14)

H-20・33号住居跡

H-20・33号住居跡土層説明

11. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm・ローム粒・焼土・炭化粒・白色粘土少量含む。しりりあり。粘性ややあり。
12. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm・ローム粒・焼土・炭化粒少量含む。しりりあり。粘性ややあり。
13. 黒褐色土 ローム粒少量。A s-C φ0.2~0.5cm少量含む。しりりあり。粘性ややあり。
14. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm・ローム粒・焼土少量含む。しりり強。粘性ややあり。陥床。
15. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm・ローム粒少量含む。しりりあり。粘性ややあり。
16. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm少量。ローム粒少量含む。しりりあり。粘性ややあり。
17. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm・ロームブロックφ0.5~1.0cm・ローム粒少量。炭化粒微量含む。しりりあり。粘性ややあり。
18. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm中量。ロームブロックφ0.5~1.0cm・ローム粒少量含む。しりりあり。粘性ややあり。
19. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm・ローム粒少量含む。しりりあり。粘性ややあり。
20. 黒褐色土 ローム粒・白色粘土中量。A s-C φ0.2~0.5cm少量含む。しりりあり。粘性ややあり。
21. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm少量。ローム粒微量含む。しりりあり。粘性ややあり。
22. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm中量。ローム粒少量含む。しりりあり。粘性ややあり。
23. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm中量。ローム粒微量含む。しりりあり。粘性ややあり。
24. 黒褐色土 ローム粒少量。A s-C φ0.2~0.5cm微量含む。しりりあり。粘性ややあり。
25. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm・ローム粒少量。炭化粒微量含む。しりりあり。粘性ややあり。
26. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm中量。ローム粒・炭化粒少量含む。しりりあり。粘性ややあり。
27. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm中量。ローム粒少量含む。しりりあり。粘性ややあり。
28. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm・ローム粒・白色粘土少量。炭化粒微量含む。しりりあり。粘性ややあり。
29. 黒褐色土 白色粘土多量。ローム粒中量。A s-C φ0.2~0.5cm少量。炭化粒微量含む。しりりあり。粘性ややあり。
30. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm・ローム粒少量。炭化粒微量含む。しりりあり。粘性ややあり。
31. 黒褐色土 ローム粒中量。A s-C φ0.2~0.5cm少量含む。しりりあり。粘性ややあり。
32. 黒褐色土 ローム粒中量。A s-C φ0.2~0.5cm微量含む。しりりあり。粘性ややあり。
33. 黒褐色土 ロームブロックφ0.5~1.0cm中量。A s-C φ0.2~0.5cm少量含む。しりりあり。粘性ややあり。
34. 黒褐色土 ロームブロックφ0.5~2.0cm中量。A s-C φ0.2~0.5cm微量含む。しりりあり。粘性ややあり。
35. 黒褐色土 ロームブロックφ0.5~1.0cm多量。A s-C φ0.2~0.5cm微量含む。しりりあり。粘性ややあり。
36. 黒褐色土 ロームブロックφ0.5~2.0cm中量。A s-C φ0.2~0.5cm少量含む。しりりあり。粘性ややあり。
37. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm・ローム粒少量。炭化粒微量含む。しりりあり。粘性ややあり。
38. 黒褐色土 ロームブロックφ0.5~1.0cm中量。A s-C φ0.2~0.5cm微量含む。しりりあり。粘性ややあり。
39. 黒褐色土 ロームブロックφ0.5~1.0cm中量。A s-C φ0.2~0.5cm微量含む。しりりあり。粘性ややあり。
40. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm中量。ローム粒少量。焼土・炭化粒微量含む。しりりあり。粘性ややあり。
41. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm・ローム粒少量含む。しりりあり。粘性ややあり。
42. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm・ローム粒・白色粘土少量。炭化粒微量含む。しりりあり。粘性ややあり。
43. 黒褐色土 焼土・白色粘土中量。A s-C φ0.2~0.5cm・ローム粒少量含む。しりりあり。粘性ややあり。
44. 黒褐色土 白色粘土中量。A s-C φ0.2~0.5cm・ローム粒・焼土少量含む。しりりあり。粘性ややあり。
45. 黒褐色土 ローム粒中量。白色粘土少量。A s-C φ0.2~0.5cm微量含む。しりりあり。粘性ややあり。
46. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm・ローム粒少量含む。しりりあり。粘性ややあり。
47. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm中量。ローム粒・白色粘土少量含む。しりりあり。粘性ややあり。
48. 黒褐色土 ローム粒中量。A s-C φ0.2~0.5cm少量含む。しりりあり。粘性ややあり。
49. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm中量。ローム粒少量含む。しりりあり。粘性ややあり。
50. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm・ローム粒中量含む。しりりあり。粘性ややあり。
51. 黒褐色土 ロームブロックφ0.5~1.0cm中量。A s-C φ0.2~0.5cm・ローム粒・炭化粒少量含む。しりり強。粘性ややあり。
52. 黒褐色土 ローム粒・焼土少量含む。しりりあり。粘性ややあり。
53. 黒褐色土

H-33号住居跡カマド



H-33号住居跡カマド土層説明

1. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm・ローム粒・白色粘土少量含む。しりりあり。粘性ややあり。
2. 黒褐色土 ローム粒中量。A s-C φ0.2~0.5cm・白色粘土少量含む。しりりあり。粘性ややあり。
3. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm・ローム粒・焼土・白色粘土・灰少量含む。しりりあり。粘性ややあり。
4. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm・ローム粒少量。白色粘土微量含む。しりりあり。粘性ややあり。
5. 黒褐色土 ローム粒中量。A s-C φ0.2~0.5cm・焼土・白色粘土少量含む。しりりあり。粘性ややあり。
6. 暗灰色土 灰多量。ローム粒・焼土少量含む。しりり強。粘性強。
7. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm・ローム粒・白色粘土少量含む。しりりあり。粘性ややあり。

H-21号住居跡カマド

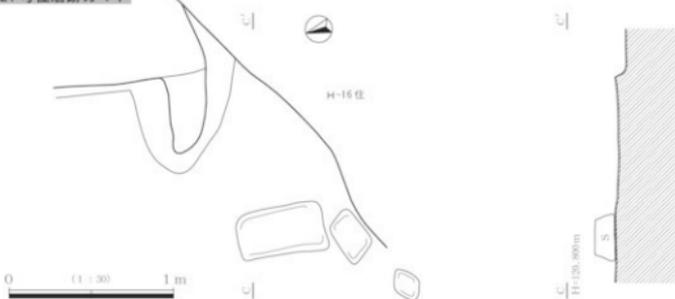
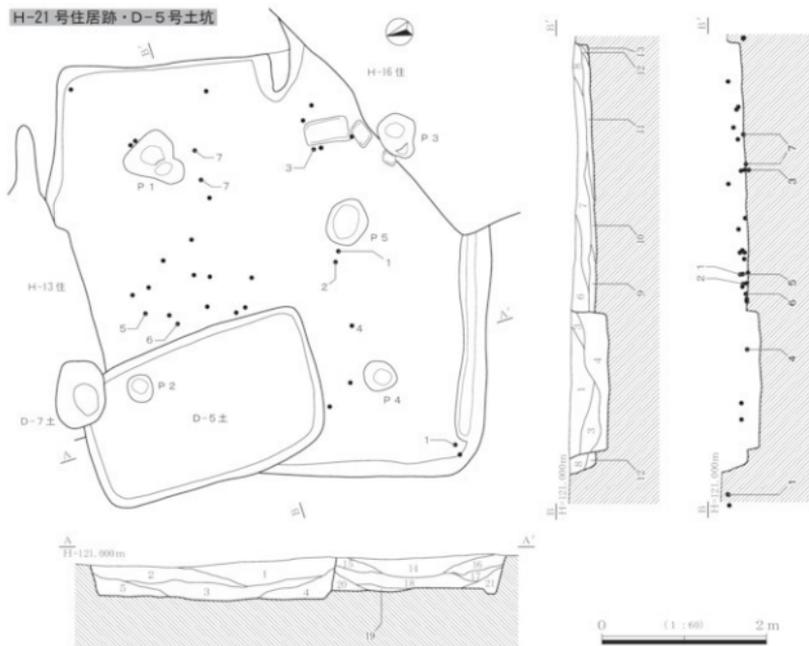


Fig. 21 遺構実測図 (15)

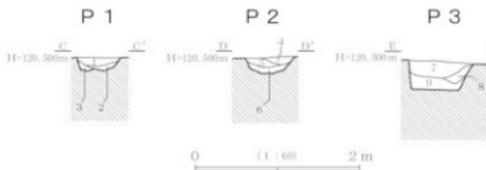
H-21号住居跡・D-5号土坑



H-21号住居跡・D-5号土坑土層説明

1. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒中量、白色粘土少量含む。しきりあり。粘性中〜あり。
2. 黒褐色土 A s-B φ0.2 cm・A s-C φ0.2~0.5 cm中量、ローム粒・白色粘土少量含む。しきりあり。粘性中〜あり。
3. 黒褐色土 A s-B φ0.2 cm・A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒少量含む。しきりあり。粘性中〜あり。
4. 黒褐色土 A s-B φ0.2 cm中量、A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒・白色粘土少量含む。しきりあり。粘性中〜あり。
5. 黒褐色土 A s-B φ0.2 cm中量、A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒少量含む。しきりあり。粘性中〜あり。
6. 黒褐色土 白色粘土中量、A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒少量含む。しきりあり。粘性中〜あり。
7. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒・白色粘土少量含む。しきりあり。粘性中〜あり。
8. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm少量、ローム粒・白色粘土微量含む。しきりあり。粘性中〜あり。
9. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm・白色粘土少量、ローム粒微量含む。しきりあり。粘性中〜あり。
10. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒・白色粘土少量含む。しきりあり。粘性中〜あり。
11. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm少量、白色粘土微量含む。しきりあり。粘性中〜あり。
12. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm中量含む。しきりあり。粘性中〜あり。
13. 暗褐色土 ローム粒中量、A s-C φ0.2~0.5 cm・炭化粒少量含む。しきりあり。粘性中〜あり。
14. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm中量、ローム粒・白色粘土少量含む。しきりあり。粘性中〜あり。
15. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm中量、ローム粒・炭化粒・白色粘土少量含む。しきりあり。粘性中〜あり。
16. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm中量、ローム粒・白色粘土少量含む。しきりあり。粘性中〜あり。
17. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒・白色粘土少量含む。しきりあり。粘性中〜あり。
18. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒・白色粘土少量含む。しきりあり。粘性中〜あり。
19. 黒褐色土 ローム粒中量、A s-C φ0.2~0.5 cm少量含む。しきりあり。粘性中〜あり。
20. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm中量、ローム粒・白色粘土少量、炭化粒微量含む。しきりあり。粘性中〜あり。
21. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒少量含む。しきりあり。粘性中〜あり。

H-22号住居跡



H-22住居跡P1・P2・P3土層説明

1. 黒褐色土 ローム粒少量、A s-C φ0.2~0.5 cm微量含む。しきりあり。粘性中〜あり。
2. 暗褐色土 ローム粒中量、炭化粒微量含む。しきりあり。粘性中〜あり。
3. 暗褐色土 ローム粒少量含む。しきりあり。粘性中〜あり。
4. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm中量、ローム粒少量含む。しきりあり。粘性中〜あり。
5. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒少量含む。しきりあり。粘性中〜あり。
6. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒中量含む。しきりあり。粘性中〜あり。
7. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm中量、ローム粒少量含む。しきりあり。粘性中〜あり。
8. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒少量含む。しきりあり。粘性中〜あり。
9. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm中量、ローム粒・白色粘土少量含む。しきりあり。粘性中〜あり。

Fig.22 遺構実測図 (16)

H-22号住居跡

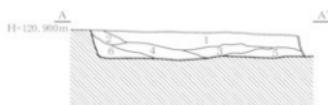
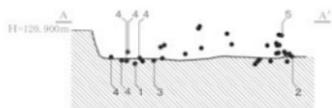


H-22 住居跡土層説明

1. 黒褐色土 A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm、ローム粒・白色粘土少量含む。しまりあり。粘性や中あり。土壌埋没土。
2. 黒褐色土 A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm、ローム粒少量含む。しまりあり。粘性や中あり。土壌埋没土。
3. 黒褐色土 A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm中量。焼土・白色粘土少量含む。しまりあり。粘性や中あり。土壌埋没土。
4. 黒褐色土 A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm、ローム粒少量。白色粘土微量含む。しまりあり。粘性や中あり。土壌埋没土。
5. 黒褐色土 ローム粒中量。A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性や中あり。土壌埋没土。
6. 黒褐色土 A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm中量。ローム粒・焼土・炭化粒少量含む。しまりあり。粘性や中あり。H-5住居埋没土。
7. 黒褐色土 A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm、ローム粒少量含む。しまりや中あり。粘性や中あり。H-5住居埋没土。
8. 黒褐色土 A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm、ローム粒中量。焼土・炭化粒・白色粘土少量含む。しまり強。粘性や中あり。基床、H-5住居埋没土。
9. 黒褐色土 A s - C φ0.3 ~ 0.5 cm中量。ローム粒・炭化粒・灰少量含む。しまりあり。粘性や中あり。
10. 黒褐色土 A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm中量。ローム粒少量。炭化粒微量含む。しまりあり。粘性や中あり。
11. 黒褐色土 A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm、ローム粒・焼土・白色粘土少量含む。しまりあり。粘性や中あり。
12. 黒褐色土 A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm、ロームブロックφ0.5 ~ 1.0 cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性や中あり。
13. 黒褐色土 A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm中量。ロームブロックφ0.5 ~ 3.0 cm、ローム粒・白色粘土少量。焼土微量含む。しまりあり。粘性や中あり。
14. 黒褐色土 A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm、ローム粒中量。炭化粒微量含む。しまりあり。粘性や中あり。
15. 黒褐色土 A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm中量。ローム粒少量。炭化粒微量含む。しまりあり。粘性や中あり。
16. 黒褐色土 ローム粒少量含む。しまりあり。粘性や中あり。
17. 黒褐色土 A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm中量。焼土・炭化粒・白色粘土少量含む。しまりあり。粘性や中あり。
18. 黒褐色土 白色粘土中量。A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒・焼土・炭化粒少量含む。しまりあり。粘性や中あり。
19. 黒褐色土 A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm、ローム粒・炭化粒・白色粘土少量含む。しまりあり。粘性や中あり。
20. 黒褐色土 A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm中量。ロームブロックφ0.5 ~ 1.0 cm・焼土・白色粘土少量含む。しまりあり。粘性や中あり。
21. 黒褐色土 A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm、ローム粒・焼土・白色粘土少量含む。しまりあり。粘性や中あり。
22. 黒土 炭化粒少量含む。しまりあり。粘性や中あり。
23. 黒褐色土 A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm、ローム粒・白色粘土少量含む。しまりあり。粘性や中あり。
24. 黒褐色土 ローム粒少量。A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm微量含む。しまりあり。粘性や中あり。
25. 黒褐色土 A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm中量。ローム粒少量含む。しまりあり。粘性や中あり。
26. 黒褐色土 ローム粒中量。A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm・炭化粒少量含む。しまり強。粘性や中あり。基床。
27. 黒褐色土 A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm、ローム粒・白色粘土少量含む。しまり強。粘性や中あり。基床。
28. 暗褐色土 ローム粒・白色粘土少量。A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm・焼土・炭化粒・灰少量含む。しまり強。粘性や中あり。

Fig. 23 遺構実測図 (17)

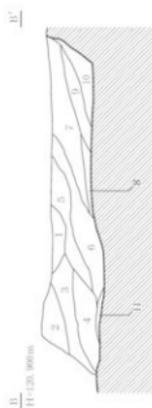
H-23号住居跡



H-23号住居跡土層説明

1. 黒褐色土 A s-C 0.2~0.5cm中量、ローム粒少量含む、しまりあり、粘性ややあり。
2. 黒褐色土 A s-C 0.2~0.5cm、ローム粒少量含む、しまりあり、粘性ややあり。
3. 黒褐色土 A s-C 0.2~0.5cm中量、ローム粒・焼土少量含む、しまりあり、粘性ややあり。
4. 黒褐色土 A s-C 0.2~0.5cm、ローム粒・炭化粒少量含む、しまりあり、粘性ややあり。
5. 黒褐色土 焼土中量、A s-C 0.2~0.5cm、ローム粒・白色粘土少量含む、しまりあり、粘性ややあり。
6. 黒褐色土 A s-C 0.2~0.5cm、ローム粒少量含む、しまりあり、粘性ややあり。

0 (1:60) 2m



H-23号住居跡土層説明

1. 黒褐色土 焼土・炭化粒多量含む、しまりあり、粘性ややあり。
2. 黒褐色土 A s-C 0.2~0.5cm・焼土・炭化粒少量含む、しまりあり、粘性ややあり。
3. 黒褐色土 焼土・炭化粒中量、A s-C 0.2~0.5cm、炭化粒・白色粘土少量含む、しまりあり、粘性ややあり。
4. 暗灰色土 灰中量、焼土・炭化粒・白色粘土・炭化粒少量含む、しまりあり、粘性ややあり。
5. 暗灰色土 焼土・炭化粒・白色粘土・灰少量含む、しまりあり、粘性ややあり。
6. 暗褐色土 焼土・白色粘土・灰少量、炭化粒微量含む、しまりあり、粘性ややあり。
7. 黒褐色土 A s-C 0.2~0.5cm・ローム粒・焼土少量、炭化粒微量含む、しまりあり、粘性ややあり。
8. 黒褐色土 ローム粒少量、焼土・白色粘土微量含む、しまりあり、粘性ややあり。
9. 黒褐色土 ローム粒・白色粘土少量、A s-C 0.2~0.5cm微量含む、しまりあり、粘性ややあり。
10. 暗褐色土 ローム粒中量、焼土・白色粘土少量含む、しまりあり、粘性ややあり。
11. 暗灰色土 灰多量、炭化粒・白色粘土少量含む、しまりあり、粘性ややあり。

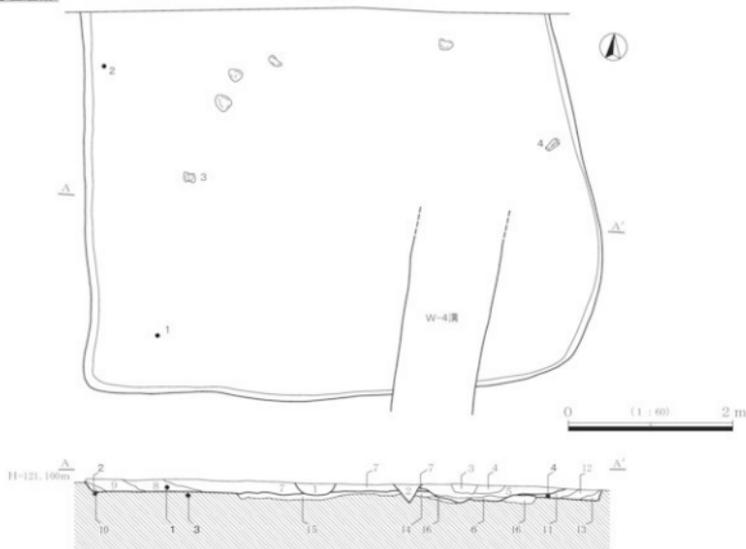
0 (1:30) 1m

カマド

Fig.24 遺構実測図 (18)

H-24号住居跡

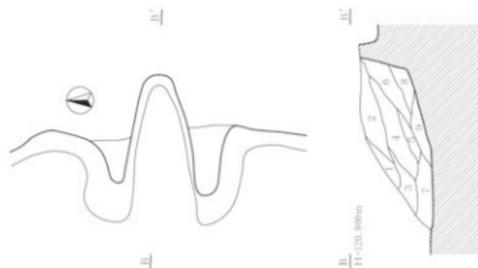
調査区外



H-24号住居跡土層説明

1. 暗褐色土 A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm・焼土・炭化粒・白色粘土少量含む、しまりあり、粘性ややあり。
2. 暗褐色土 A s - C φ 0.2 cm・A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少量含む、しまりあり、粘性ややあり。
3. 暗褐色土 A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm・焼土・炭化粒・白色粘土少量含む、しまりあり、粘性ややあり。
4. 暗褐色土 A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒・白色粘土少量含む、しまりあり、粘性ややあり。
5. 黒褐色土 A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少量、炭化粒微量含む、しまりあり、粘性ややあり。
6. 暗褐色土 ローム粒少量, A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm・焼土微量含む、しまりあり、粘性ややあり。
7. 黒褐色土 A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm中量, ローム粒少量含む、しまりあり、粘性ややあり。
8. 黒褐色土 A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少量含む、しまりあり、粘性ややあり。
9. 黒褐色土 A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm中量, ローム粒少量含む、しまりあり、粘性ややあり。
10. 黒褐色土 A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少量含む、しまりあり、粘性ややあり。
11. 黒褐色土 A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm中量, ローム粒少量含む、しまりあり、粘性ややあり。
12. 黒褐色土 A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少量含む、しまりあり、粘性ややあり。
13. 暗褐色土 ローム粒中量, A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm少量含む、しまりあり、粘性ややあり。
14. 暗褐色土 A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少量含む、しまりあり、粘性ややあり。
15. 黒褐色土 A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少量含む、しまりあり、粘性ややあり。
16. 暗褐色土 ローム粒・焼土少量含む、しまりあり、粘性ややあり。

H-25号住居跡カマド

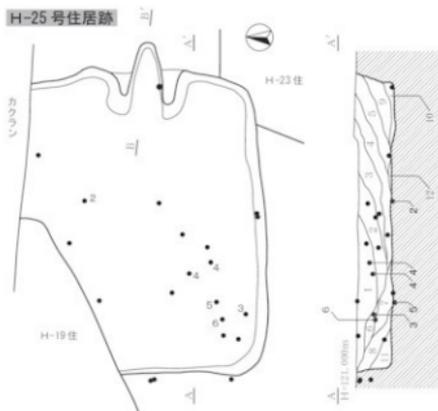


H-25住居跡カマド土層説明

1. 黒褐色土 A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm・白色粘土少量含む、しまりあり、粘性ややあり。
2. 灰黄褐色土 白色粘土多量, A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm中量, 炭化粒少量含む、しまりあり、粘性あり。
3. 黒褐色土 A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒・白色粘土少量含む、しまりあり、粘性あり。
4. 黒褐色土 A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒・炭化粒・白色粘土少量含む、しまりあり、粘性あり。
5. 暗褐色土 白色粘土中量, A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm少量, 焼土微量含む、しまりあり、粘性あり。
6. 灰黄褐色土 白色粘土多量, A s - C φ 0.5 ~ 2.0 cm・ローム粒少量, 焼土・炭化粒微量含む、しまりあり、粘性あり。
7. 暗褐色土 白色粘土中量, A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少量含む、しまりあり、粘性あり。
8. 黒褐色土 灰多量, 白色粘土中量, 焼土・炭化粒少量含む、しまりあり、粘性あり。
9. 灰黄褐色土 灰中量, 焼土・白色粘土少量含む、しまりあり、粘性あり。

Fig. 25 遺構実測図 (19)

H-25 号住居跡

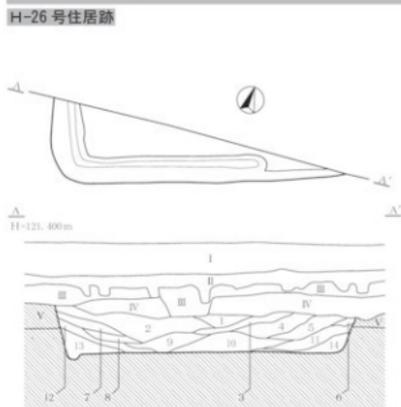


H-25 住居跡土層説明

1. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒中量、炭化粒微量含む。しまりあり、粘性ややあり。
2. 黒褐色土 ローム粒中量、A s-C φ0.2~0.5 cm少量含む。しまりあり、粘性ややあり。
3. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒中量・炭化粒白色粘土少量含む。しまりあり、粘性ややあり。
4. 黒褐色土 ロームブロック φ0.5~3.0 cm中量、ローム粒少量、A s-C φ0.2~0.5 cm・炭化粒・白色粘土微量含む。しまりあり、粘性ややあり。
5. 黒褐色土 ローム粒中量、A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒少量、炭化粒微量含む。しまりあり、粘性ややあり。
6. 黒褐色土 ロームブロック φ0.5~2.0 cm中量、A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒少量含む。しまりあり、粘性ややあり。
7. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒少量含む。しまりあり、粘性ややあり。
8. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒少量含む。しまりあり、粘性ややあり。
9. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm・白色粘土中量、ローム粒・焼土・炭化粒少量含む。しまりあり、粘性ややあり。
10. 暗褐色土 ローム粒中量、A s-C φ0.2~0.5 cm少量含む。しまりあり、粘性ややあり。
11. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒少量含む。しまりあり、粘性ややあり。
12. 黒褐色土 灰中量、白色粘土少量含む。しまり弱、粘性弱。

0 (1:60) 2m

H-26 号住居跡

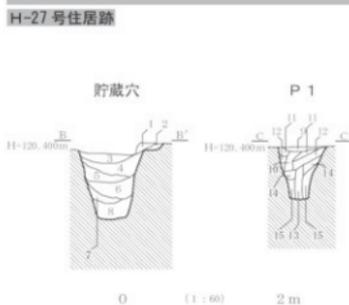


H-26 号住居跡土層説明

1. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm中量、H r-F A・ローム粒・炭化粒少量含む。しまりあり、粘性ややあり。
2. 暗褐色土 H r-F A中量、A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒少量含む。しまりあり、粘性ややあり。
3. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm中量、H r-F A・ローム粒少量、炭化粒微量含む。しまりあり、粘性ややあり。
4. 暗褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm・H r-F A中量、ローム粒少量含む。しまりあり、粘性ややあり。
5. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm・H r-F A中量、ローム粒少量、炭化粒微量含む。しまりあり、粘性ややあり。
6. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm中量、H r-F A・ローム粒少量含む。しまりあり、粘性ややあり。
7. 暗褐色土 H r-F A多量、A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒少量含む。しまりあり、粘性ややあり。
8. 暗褐色土 H r-F A・A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒少量含む。しまりあり、粘性ややあり。
9. 暗褐色土 H r-F A中量、A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒少量含む。しまりあり、粘性ややあり。
10. 暗褐色土 H r-F A・A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒少量含む。しまりあり、粘性ややあり。
11. 黒褐色土 H r-F A・A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒少量含む。しまりあり、粘性ややあり。
12. 暗褐色土 H r-F A中量、A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒少量含む。しまりあり、粘性ややあり。
13. 黒褐色土 H r-F A・A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒少量含む。しまりあり、粘性ややあり。
14. 黒褐色土 ローム粒中量、H r-F A・A s-C φ0.2~0.5 cm少量含む。しまりあり、粘性ややあり。

0 (1:60) 2m

H-27 号住居跡

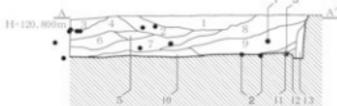
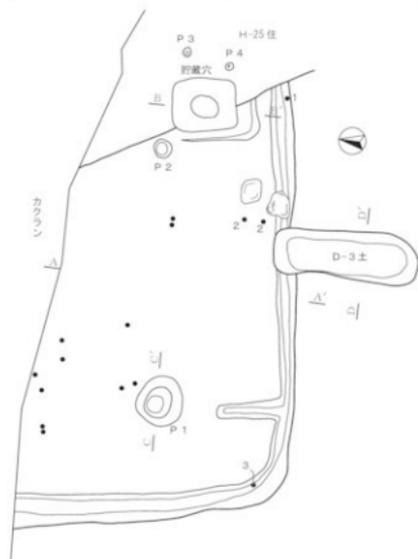


H-27 号住居跡 P1・貯蔵穴土層説明

1. 暗褐色土 ローム粒少量、A s-C φ0.2~0.5 cm微量含む。しまりあり、粘性ややあり。
2. 暗褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm・ロームブロック φ0.5~1.0 cm少量含む。しまり弱、粘性ややあり。
3. 灰黄褐色土 ロームブロック φ0.5~1.0 cm中量、A s-C φ0.2~0.5 cm微量含む。しまりあり、粘性弱。
4. 灰黄褐色土 ロームブロック φ0.5~1.0 cm多量、A s-C φ0.2~0.5 cm微量含む。しまりあり、粘性弱。
5. 暗褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm・ロームブロック φ0.5~1.0 cm少量含む。しまり弱、粘性ややあり。
6. 灰黄褐色土 ロームブロック φ0.5~1.0 cm多量、A s-C φ0.2~0.5 cm微量含む。しまりあり、粘性弱。
7. 灰黄褐色土 ロームブロック φ0.5~2.0 cm多量、A s-C φ0.2~0.5 cm少量含む。しまりあり、粘性弱。
8. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒中量含む。しまりあり、粘性ややあり。
9. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒少量含む。しまりあり、粘性ややあり。
10. 黒褐色土 ロームブロック φ0.5~3.0 cm中量、A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒・焼土少量含む。しまりあり、粘性ややあり。
11. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm中量、ロームブロック φ0.5 cm・ローム粒・焼土少量含む。しまりあり、粘性ややあり。
12. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm・ロームブロック φ0.5 cm・ローム粒少量含む。しまりあり、粘性ややあり。
13. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒少量、ロームブロック φ0.5 cm微量含む。しまりあり、粘性ややあり。
14. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm・ロームブロック φ0.5 cm・焼土少量含む。しまりあり、粘性ややあり。
15. 黒褐色土 ロームブロック φ0.5 cm中量、A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒少量含む。しまりややあり、粘性ややあり。

Fig. 26 遺構実測図 (20)

H-27 号住居跡・D-3号土坑

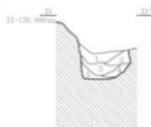


H-27 号住居跡土層説明

1. 暗褐色土 A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm・ロームブロックφ0.5 ~ 2.0 cm少量、炭化粒少量含む。しまりあり。粘性や中あり。
2. 暗褐色土 ロームブロックφ0.5 ~ 1.0 cm中量。A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性や中あり。
3. 暗褐色土 A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm・ロームブロックφ0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性や中あり。
4. 暗褐色土 A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm・ロームブロックφ0.5 ~ 1.0 cm少量含む。しまりあり。粘性や中あり。
5. 暗褐色土 ロームブロックφ0.5 cm中量。A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm・炭化粒少量含む。しまりあり。粘性や中あり。
6. 暗褐色土 ロームブロックφ0.5 ~ 5.0 cm中量。A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm・炭化粒少量含む。しまりあり。粘性や中あり。
7. 暗褐色土 A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm・ロームブロックφ0.5 ~ 5.0 cm中量含む。しまりあり。粘性や中あり。
8. 暗褐色土 ロームブロックφ0.5 ~ 5.0 cm中量。A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性や中あり。
9. 暗褐色土 ロームブロックφ0.5 ~ 1.0 cm・ローム粒中量。A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性や中あり。
10. 暗褐色土 ロームブロックφ0.5 cm中量。A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性や中あり。
11. 暗褐色土 ロームブロックφ0.5 cm少量。A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm炭粒少量含む。しまりあり。粘性や中あり。
12. 暗褐色土 ローム粒中量含む。しまりや中粒。粘性や中あり。
13. 二色層褐色土 ローム粒少量含む。しまりや中粒。粘性や中あり。
14. 黒褐色土 A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性や中あり。
15. 黒褐色土 A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm中量。ローム粒少量含む。しまりあり。粘性や中あり。
16. 黒褐色土 ローム粒中量。A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性や中あり。
17. 暗褐色土 ローム粒少量。A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性や中あり。
18. 黒褐色土 A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm・ロームブロックφ0.5 ~ 1.0 cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性や中あり。

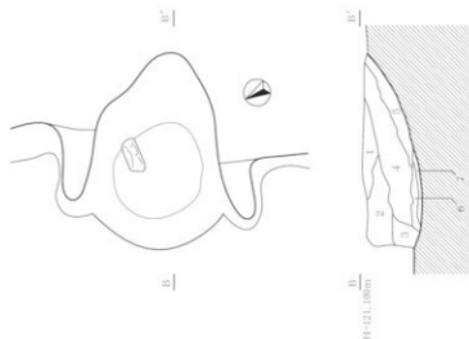
D-3号土坑土層説明

1. 黒褐色土 A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm・焼土・白色粘土少量含む。しまりあり。粘性や中あり。
2. 黒褐色土 ローム粒中量。A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm・白色粘土少量含む。しまりあり。粘性や中あり。
3. 黒褐色土 ローム粒・白色粘土中量。A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性や中あり。
4. 黒褐色土 ロームブロックφ0.5 ~ 1.0 cm中量。A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性や中あり。
5. 黒褐色土 ロームブロックφ0.5 ~ 1.0 cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性や中あり。



0 (1:60) 2m

H-28 号住居跡カマド



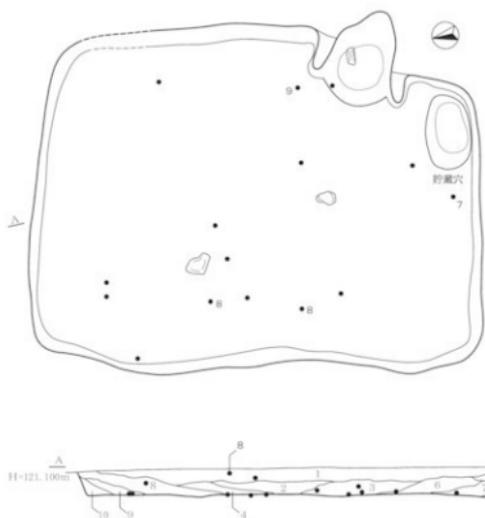
H-28 号住居跡カマド土層説明

1. 灰黄褐色土 白色粘土多量。A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性あり。
2. 暗褐色土 白色粘土中量。A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性や中あり。
3. 黒褐色土 A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm中量。白色粘土少量含む。しまりあり。粘性や中あり。
4. 灰黄褐色土 白色粘土多量。焼土中量。炭化粒少量含む。しまりあり。粘性あり。
5. 暗褐色土 白色粘土中量。A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm・焼土少量含む。しまりあり。粘性や中あり。
6. 灰色土 灰多量。焼土・炭化粒少量含む。しまりあり。粘性や中あり。
7. 褐色土 焼土多量。灰中量。炭化粒少量含む。しまりあり。粘性弱。

0 (1:30) 1m

Fig. 27 遺構実測図 (21)

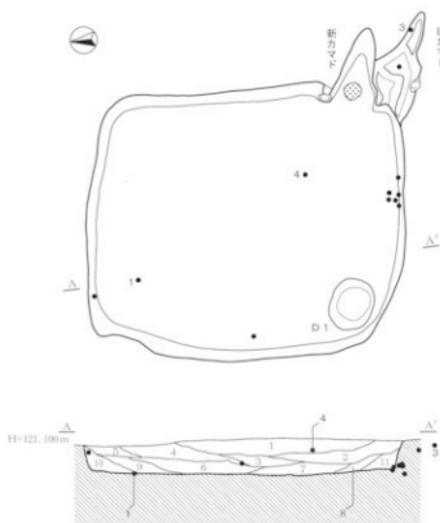
H-28号住居跡



H-28号住居跡土層説明

1. 黒褐色土 A s - C 0.2 ~ 0.5 cm中量、ローム粒・白色粘土少量含む、しまりあり、粘性ややあり。
2. 黒褐色土 A s - C 0.2 ~ 0.5 cm中量、ローム粒少量含む、しまりあり、粘性ややあり。
3. 黒褐色土 A s - C 0.2 ~ 0.5 cm中量、ローム粒・堆土・白色粘土少量含む、しまりあり、粘性ややあり。
4. 黒褐色土 A s - C 0.2 ~ 0.5 cm中量、ローム粒・炭化粒少量、白色粘土微量含む、しまりあり、粘性ややあり。
5. 黒褐色土 A s - C 0.2 ~ 0.5 cm中量、ローム粒・白色粘土少量含む、しまりあり、粘性ややあり。
6. 黒褐色土 A s - C 0.2 ~ 0.5 cm中量、ローム粒・堆土・白色粘土少量、炭化粒微量含む、しまりあり、粘性ややあり。
7. 黒褐色土 A s - C 0.2 ~ 0.5 cm中量、ローム粒・炭化粒・堆土・白色粘土少量含む、しまりあり、粘性ややあり。
8. 黒褐色土 A s - C 0.2 ~ 0.5 cm中量、ローム粒少量含む、しまりあり、粘性ややあり。
9. 黒褐色土 A s - C 0.2 ~ 0.5 cm中量、ローム粒少量含む、しまりあり、粘性ややあり。
10. 黒褐色土 A s - C 0.2 ~ 0.5 cm少量、ローム粒微量含む、しまりあり、粘性ややあり。
11. 黒褐色土 A s - C 0.2 ~ 0.5 cm少量、ローム粒微量含む、しまりあり、粘性ややあり。
12. 黒褐色土 A s - C 0.2 ~ 0.5 cm中量、ローム粒少量含む、しまりあり、粘性ややあり。
13. 黒褐色土 A s - C 0.2 ~ 0.5 cm中量、ローム粒少量含む、しまりあり、粘性ややあり。
14. 黒褐色土 A s - C 0.2 ~ 0.5 cm中量、ローム粒少量含む、しまりあり、粘性ややあり。

H-29号住居跡



H-29号住居跡土層説明

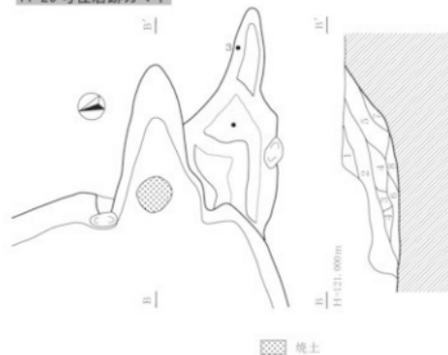
1. 黒褐色土 A s - C 0.2 ~ 0.5 cm中量、ローム粒少量、炭化粒微量含む、しまりあり、粘性ややあり。
2. 黒褐色土 A s - C 0.2 ~ 0.5 cm中量、ローム粒少量含む、しまりあり、粘性ややあり。
3. 黒褐色土 A s - C 0.2 ~ 0.5 cm中量、ローム粒少量、白色粘土微量含む、しまりあり、粘性ややあり。
4. 黒褐色土 A s - C 0.2 ~ 0.5 cm中量、ローム粒・白色粘土少量含む、しまりあり、粘性ややあり。
5. 黒褐色土 A s - C 0.2 ~ 0.5 cm中量、ローム粒少量含む、しまりあり、粘性ややあり。
6. 黒褐色土 A s - C 0.2 ~ 0.5 cm中量、A s - C 0.2 ~ 0.5 cm中量、炭化粒少量含む、しまりあり、粘性ややあり。
7. 黒褐色土 A s - C 0.2 ~ 0.5 cm中量、ローム粒・ロームブロック 0.5 ~ 2.0cm少量含む、しまりあり、粘性ややあり。
8. 黒褐色土 A s - C 0.2 ~ 0.5 cm中量、ローム粒少量含む、しまりあり、粘性ややあり。
9. 黒褐色土 A s - C 0.2 ~ 0.5 cm中量、ロームブロック 0.5 ~ 1.0cm・白色粘土少量含む、しまりあり、粘性ややあり。
10. 黒褐色土 A s - C 0.2 ~ 0.5 cm中量、ローム粒少量含む、しまりあり、粘性ややあり。
11. 黒褐色土 A s - C 0.2 ~ 0.5 cm中量、ローム粒少量含む、しまりあり、粘性ややあり。

■ 焼土

0 (1:60) 2m

Fig. 28 遺構実測図 (22)

H-29号住居跡カマド

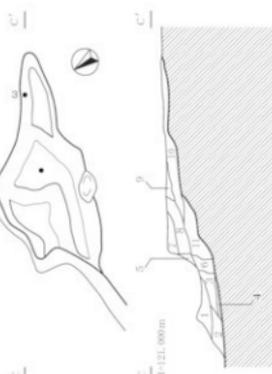


新カマド

0 (1:30) 1m

H-29号住居跡新カマド土層説明

1. 黒褐色土 A-Cφ0.2~0.5cm・ローム粒・白色粘土少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
2. 暗褐色土 白色粘土中量。A-Cφ0.2~0.5cm・ローム粒・焼土・炭化粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
3. 暗褐色土 A-Cφ0.2~0.5cm・焼土・白色粘土少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
4. 灰黒褐色土 白色粘土多量。焼土・炭化粒微量含む。しまりあり。粘性あり。天井の跡部。
5. 暗褐色土 焼土・白色粘土中量。A-Cφ0.2~0.5cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
6. 灰褐色土 灰多量。焼土・炭化粒少量含む。しまり弱。粘性なし。
7. 黒褐色土 焼土中量。白色粘土少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
8. 暗褐色土 白色粘土中量。焼土・炭化粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。

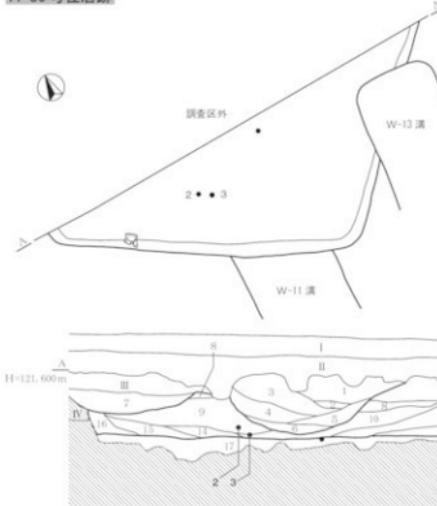


旧カマド

H-29号住居跡旧カマド土層説明

1. 黒褐色土 ローム粒・白色粘土中量。A-Cφ0.2~0.5cm・炭化粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
2. 暗褐色土 白色粘土多量。A-Cφ0.2~0.5cm・炭化粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
3. 黒褐色土 A-Cφ0.2~0.5cm・ローム粒・白色粘土少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
4. 暗褐色土 灰多量。炭化粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
5. 黒褐色土 白色粘土少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
6. 灰黒褐色土 白色粘土多量含む。しまりあり。粘性ややあり。
7. 暗褐色土 白色粘土中量。A-Cφ0.2~0.5cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
8. 暗褐色土 白色粘土多量。A-Cφ0.2~0.5cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
9. 灰黒褐色土 白色粘土多量。焼土少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
10. 暗褐色土 A-Cφ0.2~0.5cm・ローム粒・白色粘土少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
11. 黒褐色土 白色粘土少量。A-Cφ0.2~0.5cm・ローム粒微量含む。しまりあり。粘性ややあり。

H-30号住居跡



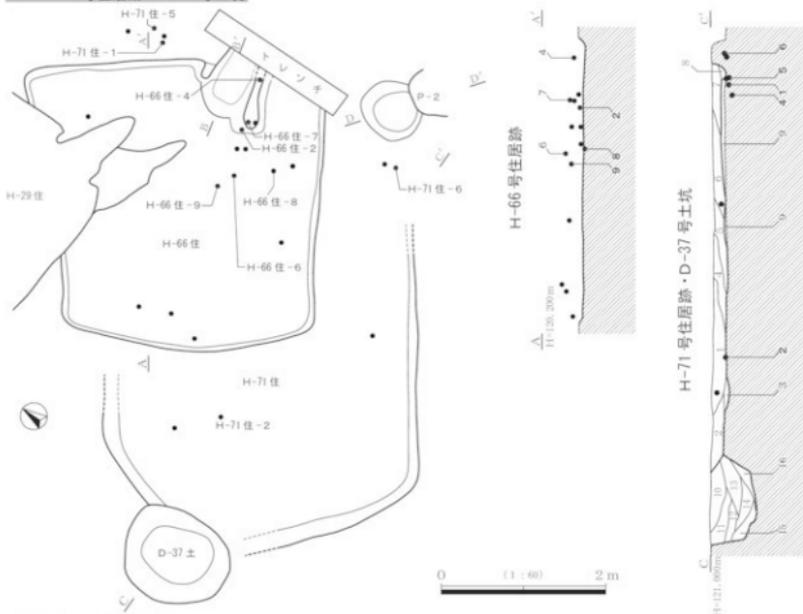
H-30住居跡土層説明

1. 黒褐色土 A-Cφ0.2cm中量。A-Cφ0.2~0.5cm少量。ローム粒微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
2. 暗灰色土 A-Cφ0.2cm中量。ローム粒少量。A-Cφ0.2~0.5cm微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
3. 暗灰色土 A-Cφ0.2cm中量。A-Cφ0.2~0.5cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
4. 暗灰色土 A-Cφ0.2cm中量。A-Cφ0.2~0.5cm・ローム粒少量。炭化粒微量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
5. 暗灰色土 A-Cφ0.2cm中量。A-Cφ0.2~0.5cm・ローム粒少量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
6. 暗灰色土 A-Cφ0.2cm中量。A-Cφ0.2~0.5cm・ローム粒・炭化粒微量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
7. 暗灰色土 A-Cφ0.2cm・A-Cφ0.2~0.5cm・ローム粒少量。炭化粒微量含む。しまりあり。粘性あり。
8. 暗褐色土 H-Cφ0.2cm中量。A-Cφ0.2~0.5cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
9. 黒褐色土 A-Cφ0.2~0.5cm中量。ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
10. 黒褐色土 A-Cφ0.2~0.5cm中量。ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
11. 黒褐色土 A-Cφ0.2~0.5cm中量。ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
12. 暗灰色土 A-Cφ0.2~0.5cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
13. 黒褐色土 A-Cφ0.2~0.5cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
14. 黒褐色土 A-Cφ0.2~0.5cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
15. 黒褐色土 A-Cφ0.2~0.5cm・ロームブロックφ0.5cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
16. 黒褐色土 A-Cφ0.2~0.5cm中量。A-Cφ0.2~0.5cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
17. 暗褐色土 ロームブロックφ0.5~1.0cm中量。A-Cφ0.2~0.5cm少量含む。しまりやや弱。粘性ややあり。基床。

0 (1:60) 2m

Fig. 29 遺構実測図 (23)

H-66・71号住居跡・D-37号土坑



H-71号住居跡・D-37号土坑土層説明

1. 暗褐色土 A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm中量, ローム粒・炭化粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
2. 暗褐色土 A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm中量, ローム粒少量, 焼土微量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
3. 暗褐色土 A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm中量, ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
4. 暗褐色土 A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm中量, ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
5. 黒褐色土 A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
6. 暗褐色土 A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm中量, ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
7. 暗褐色土 A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
8. 暗褐色土 ローム粒中量, A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。

9. 黒褐色土 ロームブロックφ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒中量, A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm少量含む, しまり強, 粘性ややあり, 焼土。
10. 暗褐色土 A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm中量, ローム粒少量, 炭化粒微量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
11. 暗褐色土 A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒中量, 炭化粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
12. 暗褐色土 A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
13. 暗褐色土 A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm中量, ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
14. 暗褐色土 ローム粒中量, A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
15. 黒褐色土 A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm, ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
16. 黒褐色土 ローム粒中量, A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。

H-66号住居跡カマド

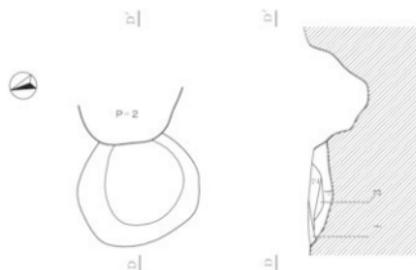


H-66号住居跡カマド土層説明

1. 暗褐色土 白色粘土中量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
2. 暗褐色土 白色粘土中量, 焼土・炭化粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
3. 暗褐色土 A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm少量, 焼土・白色粘土微量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
4. 暗褐色土 A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。

Fig. 30 遺構実測図 (24)

H-71号住居跡カマド



H-71号住居跡カマド土層説明

1. 暗褐色土 焼土・白色粘土少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
2. 灰黄褐色土 白色粘土多量。焼土中量含む。しまりあり。粘性ややあり。
3. 褐色土 焼土多量。白色粘土微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
4. 黒褐色土 焼土中量。As-Cφ0.2～0.5cm・灰少量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。

0 (1:30) 1 m

H-68号住居跡

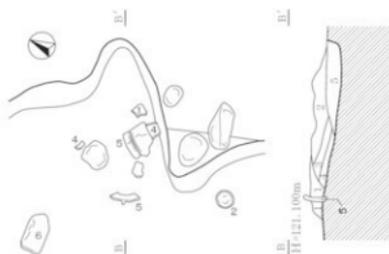


H-68号住居跡土層説明

1. 黒褐色土 As-Cφ0.2～0.5cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
2. 黒褐色土 As-Cφ0.2～0.5cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
3. 暗褐色土 ローム粒中量。As-Cφ0.2～0.5cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
4. 黒褐色土 ローム粒少量。As-Cφ0.2～0.5cm微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
5. 黒褐色土 ローム粒中量。As-Cφ0.2～0.5cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。

0 (1:60) 2 m

カマド



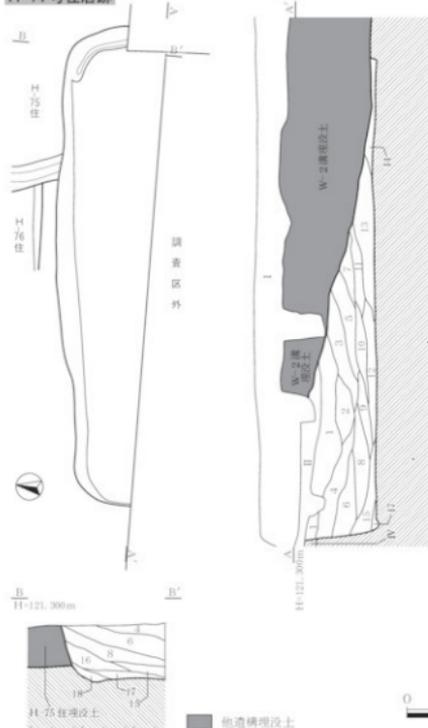
H-68号住居跡カマド土層説明

1. 黒褐色土 白色粘土多量。As-Cφ0.2～0.5cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
2. 黒褐色土 As-Cφ0.2～0.5cm・ローム粒・白色粘土少量。炭化粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
3. 黒褐色土 白色粘土中量。As-Cφ0.2～0.5cm・焼土少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
4. 黒褐色土 灰中量。As-Cφ0.2～0.5cm・白色粘土少量含む。しまりあり。粘性弱。
5. 黒褐色土 As-Cφ0.2～0.5cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。

0 (1:30) 1 m

Fig. 31 遺構実測図 (25)

H-74号住居跡

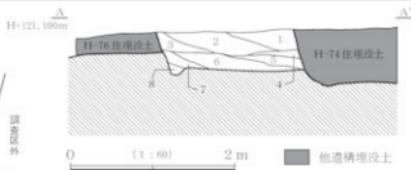
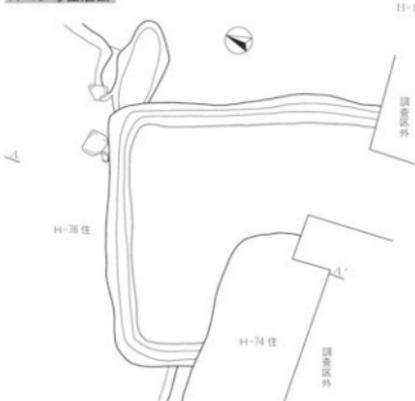


H-74号住居跡土層説明

1. 暗褐色土 A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少量、炭化粒微量含む、しまりあり、粘性ややあり。
2. 暗褐色土 A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm・ロームブロック ϕ 0.5 cm・ローム粒少量含む、しまりあり、粘性ややあり、ローム粒少量、A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm・ロームブロック ϕ 0.5 cm少量含む、しまりあり、粘性ややあり。
3. 暗褐色土 A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm・ロームブロック ϕ 0.5 cm少量含む、しまりあり、粘性ややあり。
4. 暗褐色土 A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm・ロームブロック ϕ 0.5 ~ 1.0 cm・ローム粒少量含む、しまりあり、粘性ややあり。
5. 暗褐色土 ローム粒・ロームブロック ϕ 0.5 cm中量、A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm少量、堆土・炭化粒微量含む、しまりあり、粘性ややあり。
6. 暗褐色土 A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm中量、ロームブロック ϕ 0.5 ~ 1.0 cm・白色粘土少量含む、しまりあり、粘性ややあり。
7. 暗褐色土 白色粘土中量、A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm・ロームブロック ϕ 0.5 cm少量含む、しまりあり、粘性ややあり。
8. 暗褐色土 ロームブロック ϕ 0.5 cm・ローム粒中量、A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm・白色粘土少量、炭化粒少量含む、しまりあり、粘性ややあり。
9. 暗褐色土 ローム粒中量、A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm・ロームブロック ϕ 0.5 cm少量含む、しまりあり、粘性ややあり。
10. 暗褐色土 ロームブロック ϕ 0.5 ~ 2.0 cm・ローム粒中量、A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm少量含む、しまりあり、粘性ややあり。
11. 暗褐色土 A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm・ロームブロック ϕ 0.5 cm・ローム粒少量・白色粘土少量含む、しまりあり、粘性ややあり。
12. 暗褐色土 ロームブロック ϕ 0.2 ~ 1.0 cm・ローム粒中量、A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm・白色粘土少量含む、しまりあり、粘性ややあり。
13. 暗褐色土 ローム粒中量、A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm・ロームブロック ϕ 0.5 ~ 1.0 cm少量、堆土・炭化粒微量含む、しまりあり、粘性ややあり。
14. 黒褐色土 ローム粒、A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm少量含む、しまりあり、粘性ややあり。
15. 暗褐色土 A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm・ロームブロック ϕ 0.2 ~ 1.0 cm・ローム粒・堆土・白色粘土・炭化粒少量含む、しまりあり、粘性ややあり。
16. 黒褐色土 A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm・ロームブロック ϕ 0.5 cm・ローム粒少量含む、しまりあり、粘性ややあり、A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少量含む、しまりあり、粘性ややあり。
17. 黒褐色土 A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少量含む、しまりあり、粘性ややあり。

0 (1:600) 2 m

H-75号住居跡

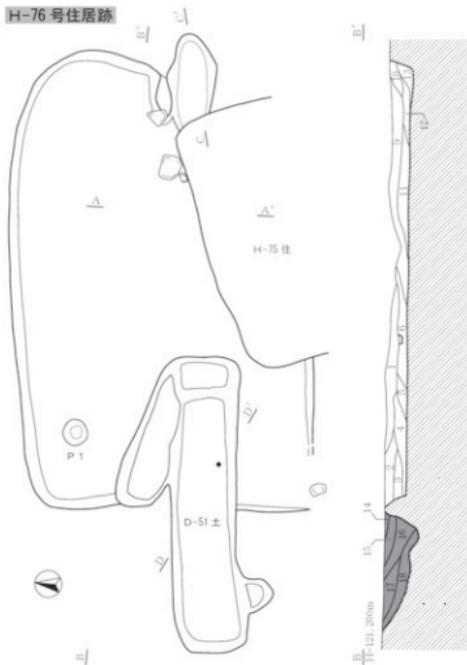


H-75号住居跡土層説明

1. 黒褐色土 A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm中量、ロームブロック ϕ 0.5 ~ 1.0 cm・ローム粒少量含む、しまりあり、粘性やや弱。
2. 黒褐色土 A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm中量、ロームブロック ϕ 0.5 ~ 2.0 cm・ローム粒少量含む、しまりあり、粘性やや弱。
3. 黒褐色土 A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm中量、ローム粒少量含む、しまりあり、粘性やや弱。
4. 暗褐色土 ロームブロック ϕ 0.5 ~ 2.0 cm・ローム粒中量、A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm少量含む、しまりあり、粘性やや弱。
5. 黒褐色土 ロームブロック ϕ 0.5 ~ 1.0 cm中量、A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm少量、ローム粒少量含む、しまりあり、粘性やや弱。
6. 暗褐色土 ロームブロック ϕ 0.5 ~ 1.0 cm・ローム粒中量、A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm少量含む、しまりあり、粘性やや弱。
7. 暗褐色土 ロームブロック ϕ 0.5 ~ 1.0 cm・ローム粒中量、ロームブロック ϕ 0.5 ~ 1.0 cm・ローム粒少量含む、しまりあり、粘性やや弱。
8. 黒褐色土 A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少量含む、しまりやや弱、粘性ややあり。

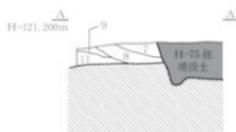
Fig. 32 遺構実測図 (26)

H-76号住居跡



H-76号住居跡土層説明

1. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm中量, ロームブロック φ0.5cm・ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり.
2. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm・ローム少量含む, しまりあり, 粘性ややあり.
3. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm中量, ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり.
4. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm・ロームブロック φ0.5cm・ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり.
5. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm中量, ロームブロック φ1.5~10.0cm・ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり.
6. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm・ロームブロック φ1.5~10.0cm・ローム粒少量含む, 塊土・白色粘土少量含む, しまりあり, 粘性ややあり.
7. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm・ローム少量含む, しまりあり, 粘性ややあり.
8. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm中量, ローム粒・白色粘土少量, 塊土少量含む, しまりあり, 粘性ややあり.
9. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm・ロームブロック・ローム粒少量, ロームブロック φ0.5~1.0cm少量含む, しまりあり, 粘性ややあり.
10. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm・ローム少量含む, しまりあり, 粘性ややあり.
11. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm・ローム少量含む, しまりあり, 粘性ややあり.
12. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm・ロームブロック φ0.5~1.0cm・ローム粒・白色粘土少量含む, しまりあり, 粘性ややあり.
13. 暗褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm・ロームブロック φ0.5~1.0cm少量含む, しまりあり, 粘性ややあり.
14. 暗灰色土 A s-B φ0.2cm中量, A s-C φ0.2~0.5cm・ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり.
15. 暗灰色土 A s-B φ0.2cm中量, A s-C φ0.2~0.5cm・ロームブロック φ0.5~1.0cm・ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり.
16. 暗灰色土 A s-B φ0.2cm・A s-C φ0.2~0.5cm中量, ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり.
17. 暗灰色土 A s-B φ0.2cm・A s-C φ0.2~0.5cm・ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり.
18. 暗灰色土 A s-B φ0.2cm中量, A s-C φ0.2~0.5cm・ロームブロック φ0.5~1.0cm・ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり.



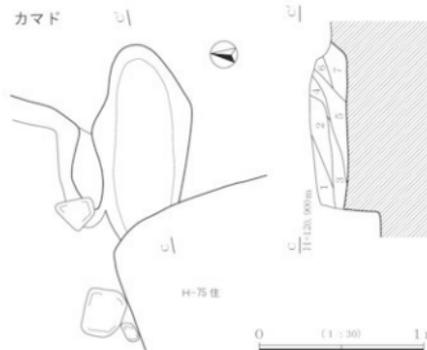
D-51号土坑



D-51号土坑土層説明

1. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm・ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり.
2. 黒褐色土 ローム粒中量, A s-C φ0.2~0.5cm少量含む, しまりあり, 粘性ややあり.
3. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm中量, ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり.
4. 黒褐色土 ローム粒中量, ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり.
5. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm中量, ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり.

カマド

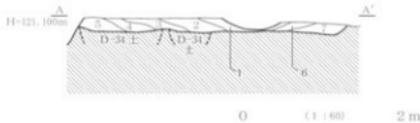


H-76号住居跡カマド土層説明

1. 灰黄褐色土 白色粘土多量, 塊土少量含む, しまりあり, 粘性強.
2. 灰黄褐色土 白色粘土多量, 塊土中量含む, しまりあり, 粘性強.
3. 黒褐色土 塊土・灰・白色粘土中量, A s-C φ0.2~0.5cm・炭化粒少量含む, しまりやや強, 粘性ややあり.
4. 灰黄褐色土 白色粘土多量, 塊土中量含む, しまりあり, 粘性やや強.
5. 暗褐色土 ローム粒・塊土・灰・白色粘土中量, A s-C φ0.2~0.5cm少量含む, しまりやや強, 粘性ややあり.
6. 暗褐色土 塊土中量, A s-C φ0.2~0.5cm・ローム粒少量, 炭化粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり.
7. 暗褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm・塊土中量, ローム粒少量, 炭化粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり.

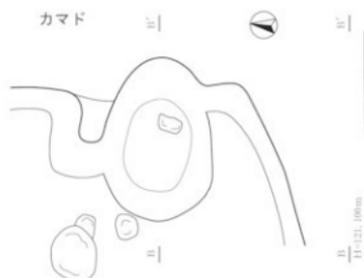
Fig. 33 遺構実測図 (27)

H-77号住居跡・D-34・35・36土坑



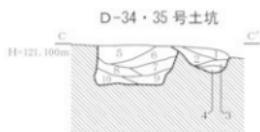
H-77号住居跡土層説明

1. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm・ロームブロックφ0.5cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
2. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
3. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm・ロームブロックφ0.5cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
4. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
5. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
6. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm中層。ローム粒少量含む。
7. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。



H-77号住居跡カマド土層説明

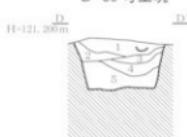
1. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm・焼土・白色粘土少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
2. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm・焼土・白色粘土少量。炭化粒微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
3. 暗灰色土 灰多量。焼土・炭化粒・白色粘土少量含む。しまり弱。粘性弱。
4. 暗褐色土 焼土・灰中層。炭化粒・白色粘土少量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
5. 黒褐色土 焼土中層。A s-C φ0.2~0.5cm・白色粘土少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
6. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm・ローム粒・焼土・白色粘土少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
7. 暗灰色土 灰中層。焼土・白色粘土少量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
8. 褐色土 焼土多量。白色粘土中層。A s-C φ0.2~0.5cm少量。炭化粒微量含む。しまりあり。粘性ややあり。



D-34・35号土坑土層説明

1. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。D-35号土坑埋没土。
2. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。D-35号土坑埋没土。
3. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm中層。ローム粒少量。炭化粒微量含む。しまりあり。粘性ややあり。D-35号土坑埋没土。
4. 黒褐色土 ローム粒少量。A s-C φ0.2~0.5cm・炭化粒微量含む。しまりあり。粘性ややあり。D-34号土坑埋没土。
5. 暗褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm中層。ロームブロックφ0.5~1.0cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。D-34号土坑埋没土。
6. 暗褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm中層。ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。D-34号土坑埋没土。
7. 暗褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm中層。ロームブロックφ0.5~2.0cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。D-34号土坑埋没土。
8. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。D-34号土坑埋没土。
9. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm・ローム粒中層。ロームブロックφ0.5cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。D-34号土坑埋没土。
10. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm・ロームブロックφ0.5cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。D-34号土坑埋没土。

D-36号土坑

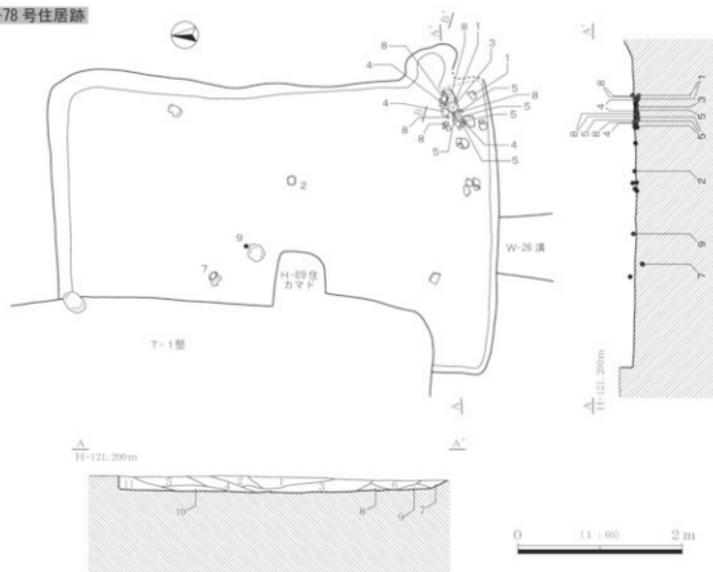


D-36号土坑土層説明

1. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm・ロームブロックφ0.5~1.0cm中層。ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
2. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm・ローム粒少量。炭化粒微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
3. 暗褐色土 ロームブロックφ0.5~1.0cm中層。A s-C φ0.2~0.5cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
4. 暗褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm・ロームブロックφ0.5~1.0cm・ローム粒・炭化粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
5. 黒褐色土 ロームブロックφ0.5~2.0cm中層。A s-C φ0.2~0.5cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。

Fig.34 遺構実測図 (28)

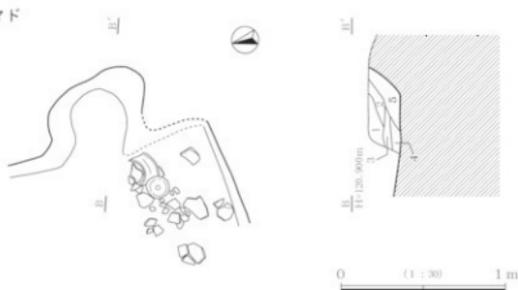
H-78号住居跡



H-78号住居跡土層説明

1. 黒褐色土 A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
2. 黒褐色土 A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
3. 黒褐色土 A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒・炭化粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
4. 黒褐色土 A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm中量。ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
5. 黒褐色土 A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm中量・ロームブロックφ 0.5 ~ 3.0 cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
6. 黒褐色土 A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少量。炭化粒微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
7. 黒褐色土 A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少量。炭化粒微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
8. 黒褐色土 白色粘土中量。ローム粒・焼土少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
9. 黒褐色土 A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm・焼土・炭化粒・白色粘土微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
10. 黒褐色土 A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
11. 黒褐色土 ロームブロックφ 0.5 ~ 1.0 cm・ローム粒中量。A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。

カマド

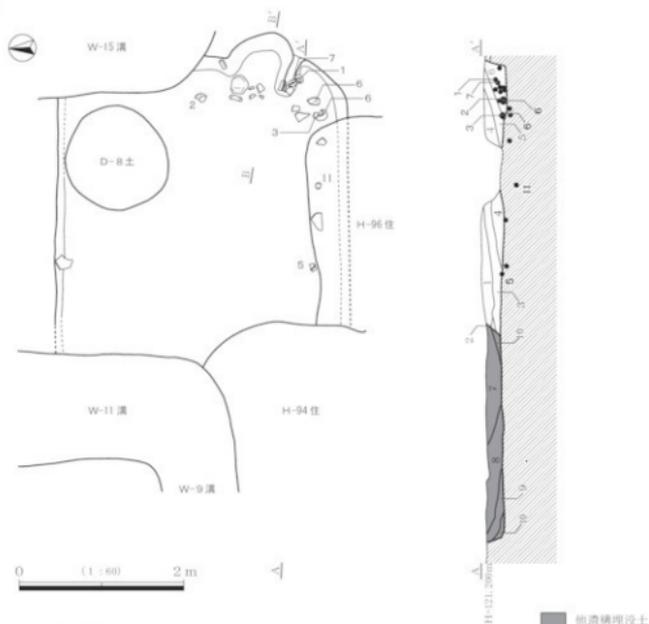


H-78号住居跡カマド土層説明

1. 暗灰色土 A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒・焼土・炭化粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
2. 暗灰色土 A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少量。焼土微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
3. 黒褐色土 焼土多量。A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
4. 黒褐色土 A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm・焼土少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
5. 黒褐色土 A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少量。炭化粒微量含む。しまりあり。粘性ややあり。

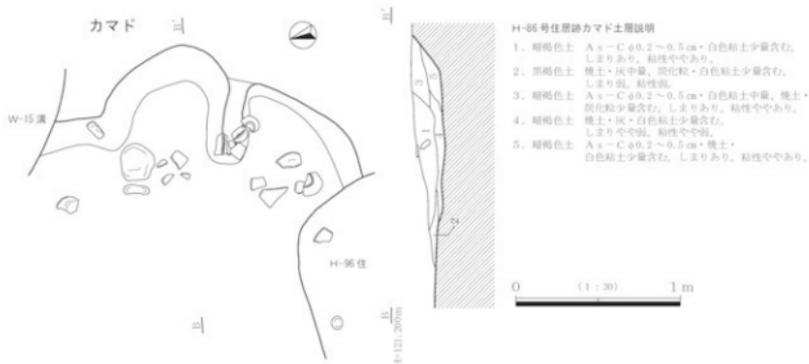
Fig. 35 遺構実測図 (29)

H-86 号住居跡



H-86号住居跡土層説明

1. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
2. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm中量。ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
3. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm・ローム・炭化粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
4. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm中量。ローム粒・白色粘土少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
5. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm・ローム粒・白色粘土少量。焼土微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
6. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm・ローム粒・白色粘土少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
7. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm・ローム粒・白色粘土少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
8. 黒褐色土 ローム粒中量。A s-C φ0.2~0.5cm・ロームアロップφ0.5~1.0cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
9. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm・ローム粒少量。ロームブロックφ0.5cm微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
10. 黒褐色土 ローム粒中量。A s-C φ0.2~0.5cm微量含む。しまりあり。粘性ややあり。

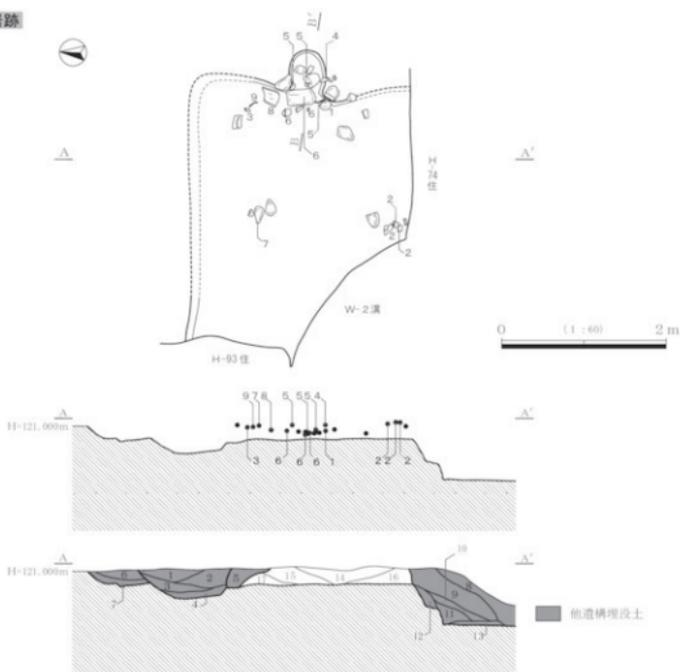


H-86号住居跡カマド土層説明

1. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm・白色粘土少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
2. 黒褐色土 焼土・灰中量。炭化粒・白色粘土少量含む。しまりあり。粘性弱。
3. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm・白色粘土中量。焼土・炭化粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
4. 黒褐色土 焼土・灰・白色粘土少量含む。しまりやや弱。粘性ややあり。
5. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm・焼土・白色粘土少量含む。しまりあり。粘性ややあり。

Fig. 36 遺構実測図 (30)

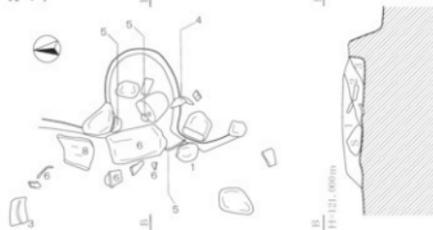
H-88号住居跡



H-88号住居跡土層説明

1. 暗灰色土 A s - B ϕ 0.2 cm 中量, A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm^{*} ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性やや弱。
2. 暗灰色土 A s - B ϕ 0.2 cm 中量, ローム粒少量。
3. 暗褐色土 A s - B ϕ 0.3 cm 中量, A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm^{*} ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性やや弱。
4. 暗褐色土 A s - B ϕ 0.2 cm^{*} ローム粒中量, A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm 少量含む, しまりあり, 粘性やや弱, 腐植少量, A s - B ϕ 0.2 cm^{*}, A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm^{*} ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性やや弱。
5. 黒褐色土 A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm 中量, ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性やや弱。
6. 黒褐色土 A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm 中量, ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性やや弱。
7. 黒褐色土 A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm^{*} ローム粒少量, 焼土微量含む, しまりあり, 粘性やや弱。
8. 黒褐色土 A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm^{*} ロームブロック ϕ 0.5 ~ 1.0 cm 少量, ローム粒微量含む, しまりあり, 粘性やや弱。
9. 黒褐色土 A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm 中量, ロームブロック ϕ 0.5 cm^{*} ローム粒少量, 焼土微量含む, しまりあり, 粘性やや弱。
10. 黒褐色土 ロームブロック ϕ 0.5 cm 中量, A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm^{*} ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性やや弱。
11. 黒褐色土 A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm^{*} ロームブロック ϕ 0.5 ~ 1.0 cm^{*} ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性やや弱。
12. 黒褐色土 ロームブロック ϕ 0.5 cm 中量, A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm^{*} ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性やや弱。
13. 黒褐色土 ローム粒中量, ロームブロック ϕ 0.5 ~ 1.0 cm 少量, A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm^{*} 腐植微量含む, しまりあり, 粘性やや弱。
14. 暗褐色土 A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm^{*} ローム粒・焼土少量含む, しまりあり, 粘性やや弱。
15. 暗褐色土 A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm 中量, ロームブロック ϕ 0.5 cm^{*} ローム粒少量, 腐植微量含む, しまりあり, 粘性やや弱。
16. 暗褐色土 ローム粒中量, A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm^{*} ロームブロック ϕ 0.5 ~ 1.0 cm 少量, しまりあり, 粘性やや弱。
17. 黒褐色土 A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm 中量, ロームブロック ϕ 0.5 ~ 1.0 cm^{*} ローム粒少量, 腐植微量含む, しまりあり, 粘性やや弱。

カマド

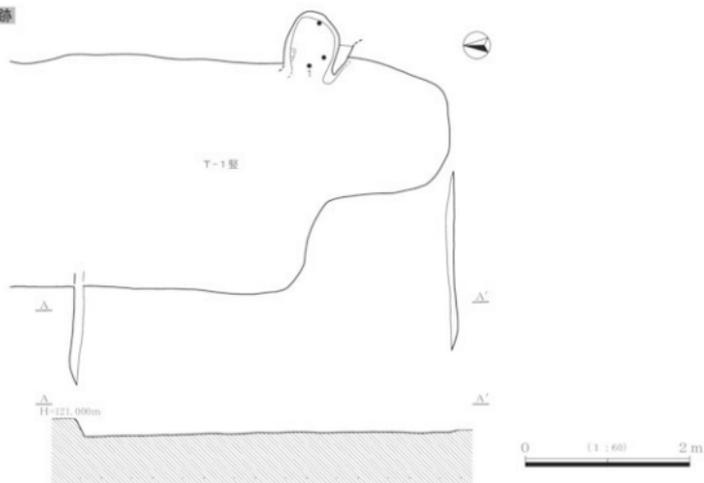


H-88号住居跡カマド土層説明

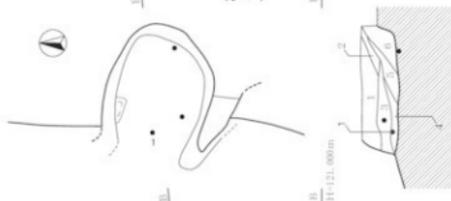
1. 暗褐色土 A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm^{*} ローム粒・焼土・腐植少量含む, しまりあり, 粘性やや弱。
2. 暗褐色土 A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm^{*} 焼土少量, ローム粒・白色粘土微量含む, しまりあり, 粘性やや弱。
3. 黒褐色土 A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm^{*} 焼土少量, ローム粒微量含む, しまりあり, 粘性やや弱。

Fig. 37 遺構実測図 (31)

H-89号住居跡



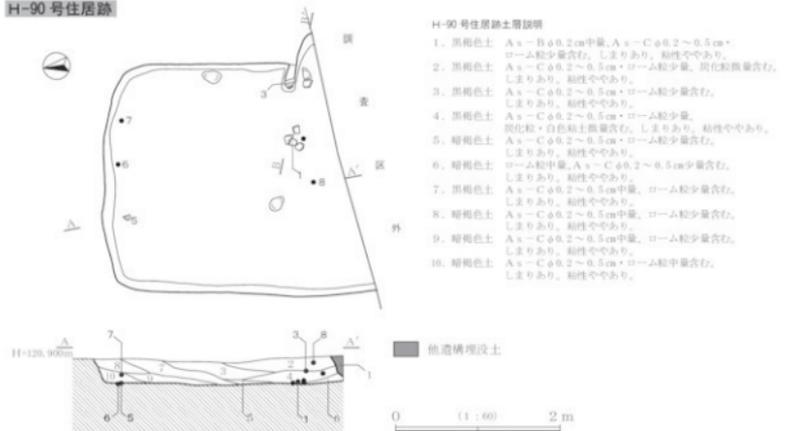
カマド



H-89号住居跡カマド土層説明

1. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm中量, ローム粒・焼土少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
2. 黒褐色土 焼土中量, A s-C φ0.2~0.5 cm・炭化粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
3. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm中量, ローム粒・焼土少量, 炭化粒微量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
4. 暗灰色土 灰中量, ローム粒少量含む, しまり弱, 粘性弱。
5. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒・焼土・白色粘土少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
6. 黒褐色土 ローム粒・焼土・白色粘土少量, A s-C φ0.2~0.5 cm微量含む, しまりあり, 粘性ややあり。

H-90号住居跡

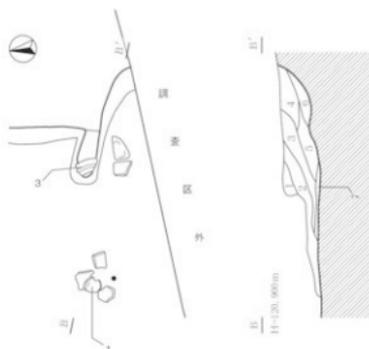


H-90号住居跡土層説明

1. 黒褐色土 A s-B φ0.2 cm中量, A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
2. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒少量, 炭化粒微量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
3. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
4. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒少量, 炭化粒・白色粘土微量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
5. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
6. 暗褐色土 ローム粒中量, A s-C φ0.2~0.5 cm少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
7. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm中量, ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
8. 暗褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm中量, ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
9. 暗褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm中量, ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
10. 暗褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒中量含む, しまりあり, 粘性ややあり。

Fig. 38 遺構実測図 (32)

H-90 号住居跡カマド



H-90 号住居跡カマド土層説明

1. 暗褐色土 A s - C $\phi 0.2 \sim 0.5$ cm・白色粘土少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
2. 暗褐色土 A s - C $\phi 0.2 \sim 0.5$ cm・焼土少量。炭化粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
3. 暗褐色土 A s - C $\phi 0.2 \sim 0.5$ cm・灰少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
4. 暗褐色土 A s - C $\phi 0.2 \sim 0.5$ cm・ローム粒・焼土・白色粘土少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
5. 暗褐色土 ローム粒・灰・白色粘土少量。A s - C $\phi 0.2 \sim 0.5$ cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
6. 暗褐色土 ローム粒中量。A s - C $\phi 0.2 \sim 0.5$ cm少量。焼土・白色粘土少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
7. 暗灰色土 灰多量。焼土・炭化粒少量含む。しまり弱。粘性弱。

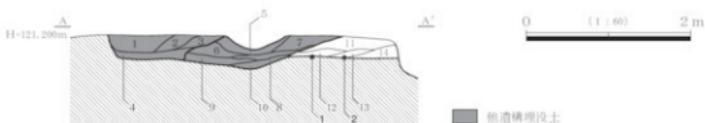
0 (1:30) 1 m

H-91 号住居跡



H-91 号住居跡土層説明

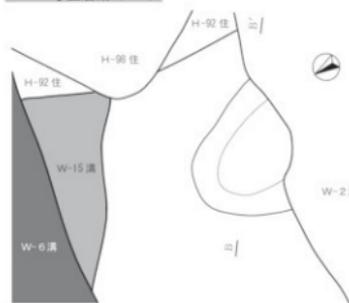
1. 黒褐色土 砂粒多量。A s - B $\phi 0.2$ cm中量。A s - C $\phi 0.2 \sim 0.5$ cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
2. 暗灰色土 A s - B $\phi 0.2$ cm・A s - C $\phi 0.2 \sim 0.5$ cm・ローム粒少量含む。しまり強。粘性ややあり。積石の沈着あり。
3. 暗灰色土 A s - C $\phi 0.2 \sim 0.5$ cm中量。A s - B $\phi 0.2$ cm・ローム粒少量含む。しまり強。粘性ややあり。積石の沈着あり。
4. 暗灰色土 ローム粒中量。A s - B $\phi 0.2$ cm・A s - C $\phi 0.2 \sim 0.5$ cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
5. 暗灰色土 A s - B $\phi 0.2$ cm中量。A s - C $\phi 0.2 \sim 0.5$ cm・ローム粒少量含む。しまり強。粘性ややあり。
6. 暗灰色土 A s - B $\phi 0.2$ cm・A s - C $\phi 0.2 \sim 0.5$ cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
7. 暗褐色土 A s - C $\phi 0.2 \sim 0.5$ cm中量。A s - B $\phi 0.2$ cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
8. 黒褐色土 A s - C $\phi 0.2 \sim 0.5$ cm中量。A s - B $\phi 0.2$ cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
9. 黒褐色土 A s - B $\phi 0.2$ cm・ローム粒中量。A s - C $\phi 0.2 \sim 0.5$ cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
10. 暗褐色土 ローム粒中量。A s - B $\phi 0.2$ cm・A s - C $\phi 0.2 \sim 0.5$ cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
11. 暗褐色土 ローム粒中量。A s - C $\phi 0.2 \sim 0.5$ cm・ロームブロック $\phi 0.5$ cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
12. 暗褐色土 A s - C $\phi 0.2 \sim 0.5$ cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
13. 暗褐色土 ローム粒中量。A s - C $\phi 0.2 \sim 0.5$ cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
14. 暗褐色土 A s - C $\phi 0.2 \sim 0.5$ cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。



■ 他遺構埋没土

Fig. 39 遺構実測図 (33)

H-91 号住居跡カマド

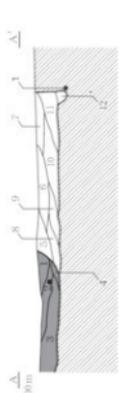
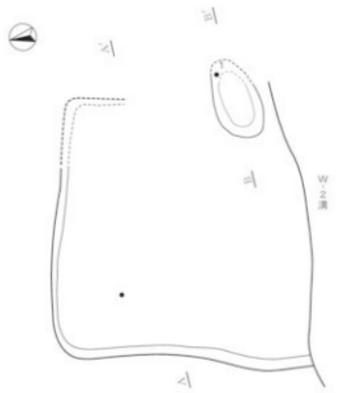


H-91 号住居跡カマド土層説明

1. 暗灰色土 A s - C φ0.2~0.5cm・ローム粒・泥・白色粘土少量含む。しまり強。粘性ややあり。
2. 暗褐色土 白色粘土中量。A s - C φ0.2~0.5cm・ローム粒・焼土・炭化粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
3. 暗褐色土 ロームブロックφ0.5~1.0cm・ローム粒中量含む。しまりあり。粘性ややあり。
4. 暗褐色土 A s - C φ0.2~0.5cm・ローム粒・白色粘土少量含む。しまりあり。粘性ややあり。



H-92 号住居跡



H-92 号住居跡土層説明

1. 暗灰色土 A s - B φ0.2cm・A s - C φ0.2~0.5cm少量含む。しまり強。粘性あり。
2. 暗灰色土 A s - B φ0.2cm・A s - C φ0.2~0.5cm・ローム粒・砂粒少量含む。しまり強。粘性ややあり。
3. 暗灰色土 砂粒多量。A s - B φ0.2cm・A s - C φ0.2~0.5cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
4. 暗褐色土 A s - B φ0.2cm・A s - C φ0.2~0.5cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
5. 黒褐色土 A s - C φ0.2~0.5cm中量。ローム粒少量。炭化粒微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
6. 暗褐色土 A s - C φ0.2~0.5cm・ローム粒少量。炭化粒微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
7. 暗褐色土 A s - C φ0.2~0.5cm・ローム粒少量。炭化粒微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
8. 暗褐色土 A s - C φ0.2~0.5cm・ロームブロックφ0.5cm・ローム粒少量・炭化粒微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
9. 黒褐色土 A s - C φ0.2~0.5cm・ローム粒少量。炭化粒微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
10. 暗褐色土 A s - C φ0.2~0.5cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
11. 暗褐色土 ローム粒中量。A s - C φ0.2~0.5cm少量。炭化粒微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
12. 暗褐色土 ローム粒中量。A s - C φ0.2~0.5cm少量。炭化粒微量含む。しまりあり。粘性ややあり。

■ 構造構埋没土



カマド

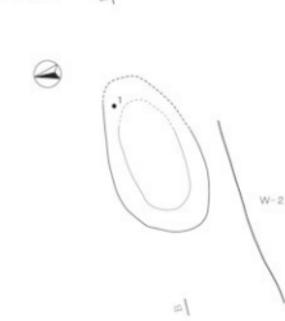
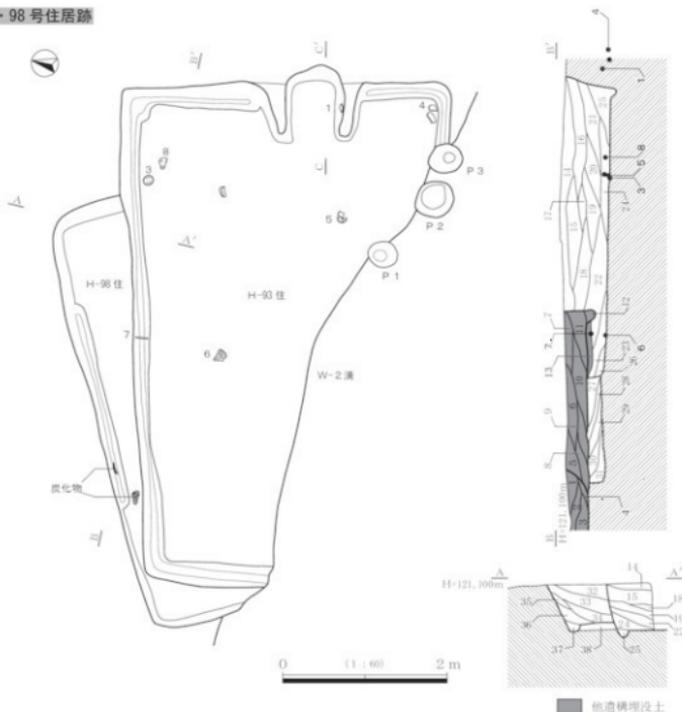


Fig.40 遺構実測図 (34)

H-93・98号住居跡



H-93・98号住居跡土層説明

1. 暗褐色土 A s - B ϕ 0.2 cm・A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm少量含む。しりり強、W-6号溝埋没土。
2. 暗褐色土 A s - B ϕ 0.2 cm・A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒・砂粒少量含む。しりり強、粘性やあり、W-6号溝埋没土。
3. 暗褐色土 砂粒多量、A s - B ϕ 0.2 cm・A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm少量含む。しりりあり、粘性やあり、W-6号溝埋没土。
4. 暗褐色土 A s - B ϕ 0.2 cm・A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少量含む。しりりあり、粘性やあり、H-92号住居跡埋没土。
5. 黒褐色土 A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm中量、ローム粒少量、炭化粒微量含む。しりりあり、粘性やあり、H-92号住居跡埋没土。
6. 暗褐色土 A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少量、炭化粒微量含む。しりりあり、粘性やあり、H-92号住居跡埋没土。
7. 暗褐色土 A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少量、炭化粒微量含む。しりりあり、粘性やあり、H-92号住居跡埋没土。
8. 黒褐色土 A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm・ロームブロック ϕ 0.5 cm・ローム粒少量、炭化粒微量含む。しりりあり、粘性やあり、H-92号住居跡埋没土。
9. 黒褐色土 A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少量、炭化粒微量含む。しりりあり、粘性やあり、H-92号住居跡埋没土。
10. 黒褐色土 A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少量、炭化粒微量含む。しりりあり、粘性やあり、H-92号住居跡埋没土。
11. 暗褐色土 ローム粒中量、A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm少量、炭化粒微量含む。しりりあり、粘性やあり、H-92号住居跡埋没土。
12. 暗褐色土 ローム粒中量、A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm少量、炭化粒微量含む。しりりあり、粘性やあり、H-92号住居跡埋没土。
13. 暗褐色土 ローム粒中量、A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm・ロームブロック ϕ 0.5 cm少量含む。しりり強、粘性やあり、基床、H-92号住居跡埋没土。
14. 暗褐色土 A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm・ロームブロック ϕ 0.5 ~ 0.1 cm・ローム粒少量含む。しりりあり、粘性やあり、H-93号住居跡埋没土。
15. 暗褐色土 ロームブロック ϕ 0.5 ~ 0.5 cm・ローム粒中量含む。A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm少量、炭化粒微量含む。しりりあり、粘性やあり、H-93号住居跡埋没土。
16. 暗褐色土 ロームブロック ϕ 0.5 cm・白色粘土少量、炭化粒微量含む。しりりあり、粘性やあり、H-93号住居跡埋没土。

17. 暗褐色土 ローム粒中量、A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm・ロームブロック ϕ 0.2 cm少量、炭化粒微量含む。しりりあり、粘性やあり、H-93号住居跡埋没土。
18. 暗褐色土 ローム粒中量、A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm・ロームブロック ϕ 0.2 cm少量、炭化粒微量含む。しりりあり、粘性やあり、H-93号住居跡埋没土。
19. 暗褐色土 ロームブロック ϕ 0.5 ~ 2.0 cm・ローム粒中量、A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm少量含む。しりりあり、粘性やあり、H-93号住居跡埋没土。
20. 暗褐色土 ロームブロック ϕ 0.5 cm・ローム粒中量、A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm少量含む。しりりあり、粘性やあり、H-93号住居跡埋没土。
21. 暗褐色土 ローム粒中量、A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm・ロームブロック ϕ 0.5 ~ 1.0 cm・白色粘土少量含む。しりりあり、粘性やあり、H-93号住居跡埋没土。
22. 暗褐色土 A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm・ロームブロック ϕ 0.5 ~ 1.0 cm・ローム粒・白色粘土少量、炭化粒微量含む。しりりあり、粘性やあり、H-93号住居跡埋没土。
23. 暗褐色土 ローム粒中量、A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm・ロームブロック ϕ 0.5 cm少量含む。しりりあり、粘性やあり、H-93号住居跡埋没土。
24. 暗褐色土 A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒・白色粘土少量、炭化粒微量含む。しりりあり、粘性やあり、H-93号住居跡埋没土。
25. 暗褐色土 A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少量含む。しりりあり、粘性やあり、H-93号住居跡埋没土。
26. 暗褐色土 ローム粒中量、A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm少量含む。しりりあり、粘性やあり、H-93号住居跡埋没土。
27. 暗褐色土 ロームブロック ϕ 0.5 ~ 1.0 cm・ローム粒中量、A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm少量含む。しりりあり、粘性やあり、H-98号住居跡埋没土。
28. 黒褐色土 ローム粒中量、A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm・ロームブロック ϕ 0.5 cm炭化粒少量含む。しりりあり、粘性やあり、H-98号住居跡埋没土。
29. 黒褐色土 ローム粒少量、炭化粒微量含む。しりりあり、粘性やあり、H-98号住居跡埋没土。

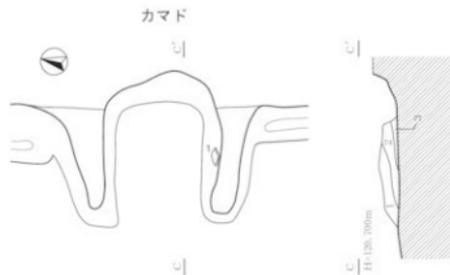
Fig. 41 遺構実測図 (35)

H-93・98 号住居跡

H-93・98 号住居跡土層説明②

30. 暗褐色土 ローム粒中量, $A_s - C \phi 0.2 \sim 0.5 \text{ cm}$ 少量含む, しまりあり, 粘性ややあり, H-98 号住居跡埋没土。
 31. 暗褐色土 ローム粒・炭化粒中量, $A_s - C \phi 0.2 \sim 0.5 \text{ cm}$ ロームブロック $\phi 0.5 \text{ cm}$ 少量含む, しまりあり, 粘性ややあり, H-98 号住居跡埋没土。
 32. 暗褐色土 ローム粒中量, $A_s - C \phi 0.2 \sim 0.5 \text{ cm}$ ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0 \text{ cm}$ 少量含む, しまりあり, 粘性ややあり, H-98 号住居跡埋没土。
 33. 暗褐色土 ローム粒中量, $A_s - C \phi 0.2 \sim 0.5 \text{ cm}$ ロームブロック $\phi 0.5 \text{ cm}$ 炭化粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり, H-98 号住居跡埋没土。

34. 暗褐色土 ローム粒中量, $A_s - C \phi 0.2 \sim 0.5 \text{ cm}$ ロームブロック $\phi 0.5 \text{ cm}$ 少量含む, しまりあり, 粘性ややあり, H-98 号住居跡埋没土。
 35. 黒褐色土 $A_s - C \phi 0.2 \sim 0.5 \text{ cm}$ ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり, H-98 号住居跡埋没土。
 36. 黒褐色土 $A_s - C \phi 0.2 \sim 0.5 \text{ cm}$ ロームブロック $\phi 0.5 \text{ cm}$ ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり, H-98 号住居跡埋没土。
 37. 暗褐色土 ローム粒中量, $A_s - C \phi 0.2 \sim 0.5 \text{ cm}$ 少量含む, しまりあり, 粘性ややあり, H-98 号住居跡埋没土。
 38. 暗褐色土 ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0 \text{ cm}$ ローム粒中量, $A_s - C \phi 0.2 \sim 0.5 \text{ cm}$ 少量含む, しまりあり, 粘性ややあり, 床, H-98 号住居跡埋没土。

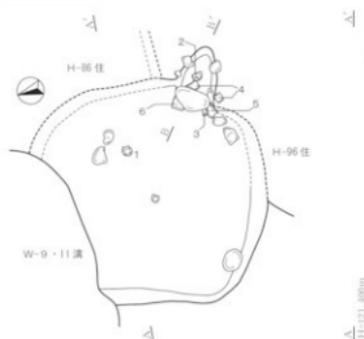


H-93 号住居跡カマド土層説明

1. 黒褐色土 粘土・白色粘土中量, $A_s - C \phi 0.2 \sim 0.5 \text{ cm}$ 炭化粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
2. 暗褐色土 白色粘土多量, 粘土・灰中量, $A_s - C \phi 0.2 \sim 0.5 \text{ cm}$ ローム粒少量, 炭化粒微量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
3. 暗褐色土 粘土・炭化粒・灰・白色粘土中量, $A_s - C \phi 0.2 \sim 0.5 \text{ cm}$ 少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。

0 (1:30) 1 m

H-94 号住居跡

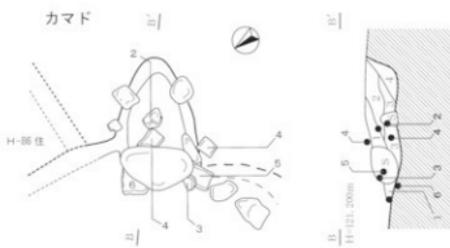


H-94 号住居跡土層説明

1. 暗褐色土 $A_s - C \phi 0.2 \sim 0.5 \text{ cm}$ ローム粒・白色粘土少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
2. 暗褐色土 ローム粒中量, $A_s - C \phi 0.2 \sim 0.5 \text{ cm}$ ロームブロック $\phi 0.5 \sim 1.0 \text{ cm}$ 少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
3. 黒褐色土 $A_s - C \phi 0.2 \sim 0.5 \text{ cm}$ ローム粒少量, ロームブロック $\phi 0.5 \text{ cm}$ 微量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
4. 暗褐色土 ローム粒中量, $A_s - C \phi 0.2 \sim 0.5 \text{ cm}$ 少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。

他遺構埋没土

0 (1:60) 2 m



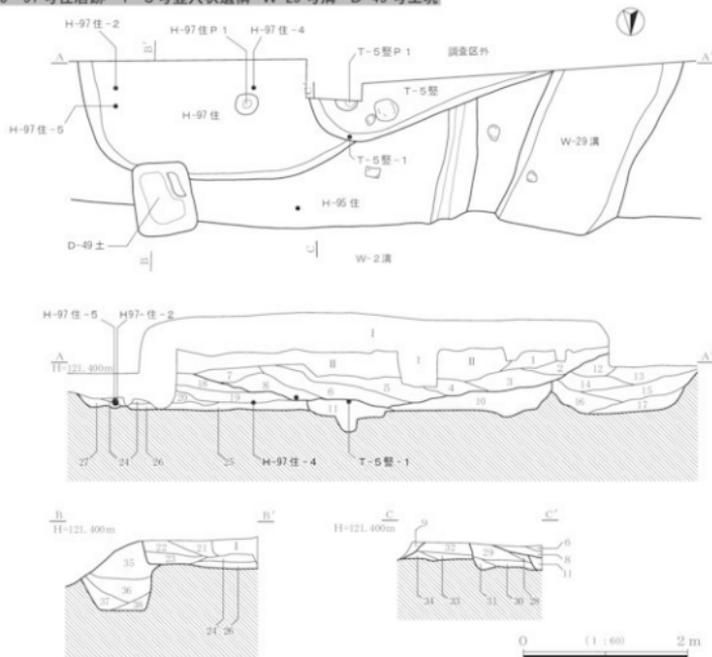
H-94 号住居跡カマド土層説明

1. 暗褐色土 $A_s - C \phi 0.2 \sim 0.5 \text{ cm}$ ローム粒・白色粘土少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
2. 暗褐色土 白色粘土中量, $A_s - C \phi 0.2 \sim 0.5 \text{ cm}$ ローム粒・粘土少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
3. 暗褐色土 炭化粒・白色粘土中量, $A_s - C \phi 0.2 \sim 0.5 \text{ cm}$ ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
4. 暗褐色土 白色粘土中量, $A_s - C \phi 0.2 \sim 0.5 \text{ cm}$ ローム粒・炭化粒・灰少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。

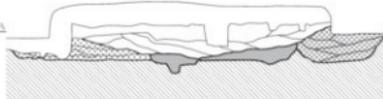
0 (1:30) 1 m

Fig. 42 遺構実測図 (36)

H-95・97号住居跡・T-5号竪穴状道構・W-29号溝・D-49号土坑



埋没土の概略



- T-5号竪穴状道構埋没土 ■ W-29号溝埋没土 ■ H-97号住居跡埋没土
- H-95号住居跡埋没土 ■ D-49号土坑埋没土

0 (1:100) 2m

H-95・97号住居跡・T-5号竪穴状道構・W-29号溝・D-49号土坑土層説明①

- | | |
|--|--|
| <p>1. 暗灰色土 A s - B ϕ0.2cm中量, A s - C ϕ0.2 ~ 0.5cm・ローム粒少量含む。しりりあり。粘性ややあり。</p> <p>2. 暗灰色土 A s - B ϕ0.2cm中量, A s - C ϕ0.2 ~ 0.5cm・ローム粒・炭化粒少量含む。しりりあり。粘性ややあり。</p> <p>3. 暗灰色土 A s - B ϕ0.2cm・A s - C ϕ0.2 ~ 0.5cm中量, ローム粒少量含む。しりりあり。粘性ややあり。</p> <p>4. 暗灰色土 A s - B ϕ0.2cm・A s - C ϕ0.2 ~ 0.5cm中量, ローム粒少量含む。しりりあり。粘性ややあり。</p> <p>5. 暗灰色土 A s - B ϕ0.2cm・A s - C ϕ0.2 ~ 0.5cm・ローム粒少量含む。しりりあり。粘性ややあり。</p> <p>6. 暗灰色土 A s - B ϕ0.2cm・A s - C ϕ0.2 ~ 0.5cm少量, ローム粒少量含む。しりりあり。粘性ややあり。</p> <p>7. 黒褐色土 A s - B ϕ0.2cm・A s - C ϕ0.2 ~ 0.5cm・ローム粒少量, 焼土微量含む。しりりあり。粘性ややあり。</p> <p>8. 黒褐色土 A s - B ϕ0.2cm・A s - C ϕ0.2 ~ 0.5cm・ローム粒少量, 焼土・炭化粒少量含む。しりりあり。粘性ややあり。</p> <p>9. 暗灰色土 A s - B ϕ0.2cm・A s - C ϕ0.2 ~ 0.5cm・ローム粒少量含む。しりりあり。粘性ややあり。</p> <p>10. 黒褐色土 A s - C ϕ0.2 ~ 0.5cm・ローム粒中量, ロームブロック ϕ0.5 ~ 2.0cm少量含む。しりりあり。粘性ややあり。</p> | <p>11. 暗褐色土 A s - C ϕ0.2 ~ 0.5cm・ローム粒少量含む。しりりあり。粘性ややあり。</p> <p>12. 暗褐色土 A s - C ϕ0.2 ~ 0.5cm・ローム粒中量含む。しりりあり。粘性ややあり。</p> <p>13. 暗褐色土 ローム粒中量, A s - C ϕ0.2 ~ 0.5cm少量含む。しりりあり。粘性ややあり。</p> <p>14. 暗褐色土 A s - C ϕ0.2 ~ 0.5cm・ローム粒少量含む。しりりあり。粘性ややあり。</p> <p>15. 暗褐色土 A s - C ϕ0.2 ~ 0.5cm中量, ロームブロック ϕ0.5 ~ 1.0cm・ローム粒少量含む。しりりあり。粘性ややあり。</p> <p>16. 暗褐色土 A s - C ϕ0.2 ~ 0.5cm・ローム粒少量含む。しりりあり。粘性ややあり。</p> <p>17. 暗褐色土 ローム粒中量, A s - C ϕ0.2 ~ 0.5cm・ロームブロック ϕ0.5 ~ 2.0cm少量含む。しりりあり。粘性ややあり。</p> <p>18. 黒褐色土 A s - C ϕ0.2 ~ 0.5cm・ローム粒少量含む。しりりあり。粘性ややあり。</p> <p>19. 黒褐色土 A s - C ϕ0.2 ~ 0.5cm中量, ロームブロック ϕ0.5cm・ローム粒少量, 炭化粒少量含む。しりりあり。粘性ややあり。</p> <p>20. 暗褐色土 ローム粒中量, A s - C ϕ0.2 ~ 0.5cm少量含む。しりりあり。粘性ややあり。</p> |
|--|--|

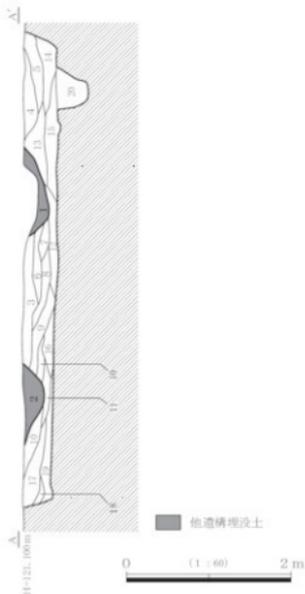
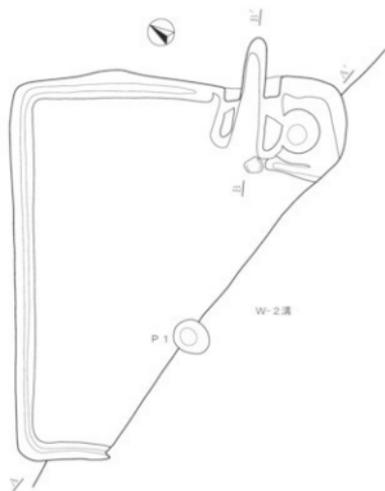
Fig. 43 遺構実測図 (37)

H-95・97号住居跡・T-5号竪穴状遺構・W-29号溝・D-49号土坑

H-95・97号住居跡・T-5号竪穴状遺構・W-29号溝・D-49号土坑土層説明

- | | | | |
|----------|--|----------|--|
| 21. 黒褐色土 | A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒少量、炭化粒微量含む。しまりあり、粘性ややあり。 | 30. 黒褐色土 | A s-B φ0.2 cm・A s-C φ0.2~0.5 cm・ロームブロック φ0.5~1.0 cm・ローム粒少量含む。しまりあり、粘性ややあり。 |
| 22. 黒褐色土 | A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒少量、炭化粒微量含む。しまりあり、粘性ややあり。 | 31. 黒褐色土 | A s-B φ0.2 cm・A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒少量含む。しまりあり、粘性ややあり。 |
| 23. 黒褐色土 | ロームブロック φ0.5 cm・ローム粒中量、A s-C φ0.2~0.5 cm少量含む。しまりあり、粘性ややあり。 | 32. 暗褐色土 | ローム粒中量、A s-C φ0.2~0.5 cm少量含む。しまりあり、粘性ややあり。 |
| 24. 黒褐色土 | A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒少量含む。しまりあり、粘性ややあり。 | 33. 黒褐色土 | A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒少量含む。しまりあり、粘性ややあり。 |
| 25. 黒褐色土 | A s-C φ0.2~0.5 cm・ロームブロック φ0.5~2.0 cm・ローム粒少量含む。しまりあり、粘性ややあり。 | 34. 黒褐色土 | A s-C φ0.2~0.5 cm・ロームブロック φ0.5~1.0 cm・ローム粒少量含む。しまりあり、粘性ややあり。 |
| 26. 暗褐色土 | ロームブロック φ0.5 cm・ローム粒中量、A s-C φ0.2~0.5 cm少量含む。しまりあり、粘性ややあり。 | 35. 黒褐色土 | ロームブロック φ0.5~5.0 cm多量、A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒少量含む。しまりあり、粘性ややあり。 |
| 27. 黒褐色土 | A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒少量含む。しまりあり、粘性ややあり。 | 36. 黒褐色土 | A s-C φ0.2~0.5 cm・ロームブロック φ0.5~3.0 cm・ローム粒少量含む。しまりあり、粘性ややあり。 |
| 28. 黒褐色土 | A s-B φ0.2 cm中量、A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒少量、炭化粒微量含む。しまりあり、粘性ややあり。 | 37. 黒褐色土 | A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒少量含む。しまりあり、粘性ややあり。 |
| 29. 黒褐色土 | A s-B φ0.2 cm・A s-C φ0.2~0.5 cm中量、ローム粒少量含む。しまりあり、粘性ややあり。 | 38. 黒褐色土 | A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒少量含む。しまりあり、粘性ややあり。 |

H-96号住居跡

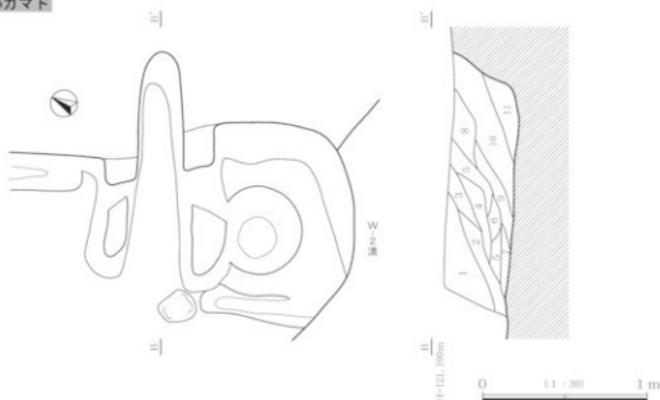


H-96号住居跡土層説明

- | | | | |
|----------|---|----------|--|
| 1. 黒褐色土 | 砂粒・小礫 φ0.5~2.0 cm多量、A s-B φ0.2 cm・A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒少量含む。しまりあり、粘性やや弱。 | 11. 黒褐色土 | A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒中量、H r-F A少量含む。しまりあり、粘性やや弱。 |
| 2. 黒褐色土 | A s-B φ0.2 cm・A s-C φ0.2~0.5 cm・H r-F A・ロームブロック φ0.5~1.0 cm・ローム粒少量含む。しまりあり、粘性やや弱。 | 12. 黒褐色土 | 白色粘土中量、A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒少量含む。しまりあり、粘性やや弱。 |
| 3. 黒褐色土 | ローム中量、A s-C φ0.2~0.5 cm・ロームブロック φ0.5~1.0 cm・白色粘土少量含む。しまりあり、粘性やや弱。 | 13. 黒褐色土 | A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒中量、白色粘土少量含む。しまりあり、粘性やや弱。 |
| 4. 黒褐色土 | A s-C φ0.2~0.5 cm中量、ロームブロック φ0.5~2.0 cm・ローム粒少量含む。しまりあり、粘性やや弱。 | 14. 黒褐色土 | A s-C φ0.2~0.5 cm中量、ローム粒・白色粘土少量含む。しまりあり、粘性やや弱。 |
| 5. 黒褐色土 | A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒中量、ロームブロック φ0.5 cm・白色粘土少量含む。しまりあり、粘性やや弱。 | 15. 暗褐色土 | A s-C φ0.2~0.5 cm・ロームブロック φ0.5 cm・ローム粒中量、白色粘土少量含む。しまりあり、粘性やや弱。 |
| 6. 黒褐色土 | 白色粘土中量、A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒少量、微塵微量含む。しまりあり、粘性やや弱。 | 16. 黒褐色土 | A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒少量含む。しまりあり、粘性やや弱。 |
| 7. 暗褐色土 | ローム粒中量、白色粘土中量、A s-C φ0.2~0.5 cm・ロームブロック φ0.5 cm少量含む。しまりあり、粘性やや弱。 | 17. 黒褐色土 | A s-C φ0.2~0.5 cm中量、ローム粒少量含む。しまりあり、粘性やや弱。 |
| 8. 黒褐色土 | A s-C φ0.2~0.5 cm・ロームブロック φ0.5~1.0 cm・ローム粒・白色粘土少量含む。しまりあり、粘性やや弱。 | 18. 黒褐色土 | A s-C φ0.2~0.5 cm少量含む。しまりあり、粘性やや弱。 |
| 9. 暗褐色土 | H r-F A多量、A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒少量含む。しまりあり、粘性やや弱。 | 19. 黒褐色土 | ロームブロック φ0.5 cm・ローム粒中量、A s-C φ0.2~0.5 cm・H r-F A・白色粘土少量含む。しまりあり、粘性やや弱。 |
| 10. 黒褐色土 | A s-C φ0.2~0.5 cm・H r-F A・ローム粒少量含む。しまりあり、粘性やや弱。 | 20. 黒褐色土 | ロームブロック φ0.5~2.0 cm・ローム粒中量、A s-C φ0.2~0.5 cm・H r-F A・白色粘土少量含む。しまりあり、粘性やや弱。 |

Fig. 44 遺構実測図 (38)

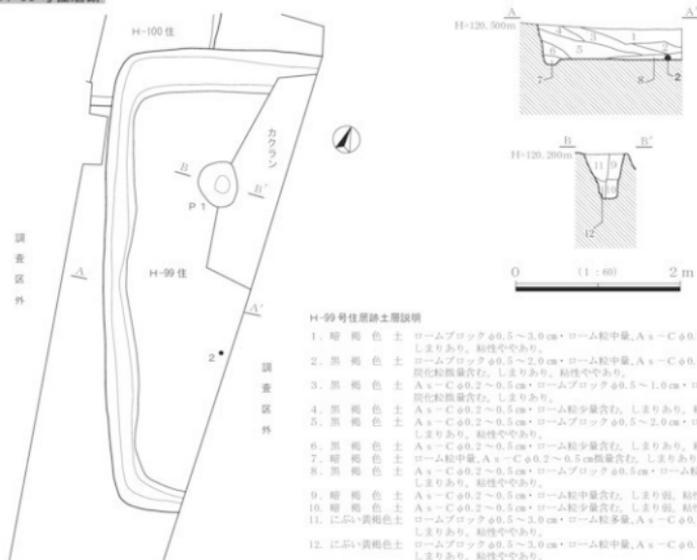
H-96号住居跡カマド



H-96号住居跡カマド土層説明

1. 暗褐色土 ロームブロックφ0.5～1.0cm・ローム粒中量、A s-Cφ0.2～0.5cm・白色粘土少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
2. 暗褐色土 ロームブロックφ0.5～1.0cm・ローム粒中量、A s-Cφ0.2～0.5cm・炭化粒少量含む。A s-Cφしまりあり。粘性ややあり。
3. 暗褐色土 白色粘土中量、A s-Cφ0.2～0.5cm・ロームブロックA s-Cφ0.5～1.0cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
4. 暗褐色土 ローム粒中量、A s-Cφ0.2～0.5cm・ロームブロックφA s-Cφ0.5～1.0cm・炭化粒・灰・白色粘土少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
5. 灰黄褐色土 白色粘土多量。焼土中量、A s-Cφ0.2～0.5cm・炭化粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
6. 暗褐色土 白色粘土中量、A s-Cφ0.2～0.5cm・ローム粒・炭化粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
7. 暗灰色土 灰多量。焼土・白色粘土中量、A s-Cφ0.2～0.5cm少量含む。しまり弱。粘性弱。
8. 暗褐色土 白色粘土中量、A s-Cφ0.2～0.5cm・ローム粒・焼土少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
9. 黒褐色土 焼土・炭化粒・白色粘土少量、A s-Cφ0.2～0.5cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
10. 暗褐色土 A s-Cφ0.2～0.5cm・焼土・白色粘土少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
11. 暗褐色土 A s-Cφ0.2～0.5cm中量、白色粘土少量、炭化粒微量含む。しまりあり。粘性ややあり。

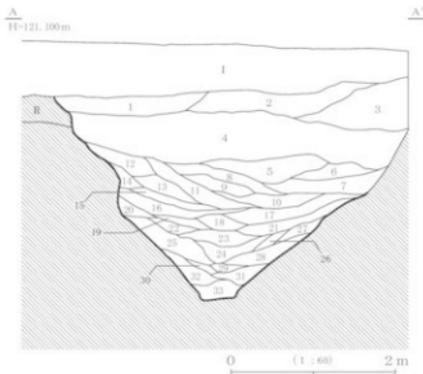
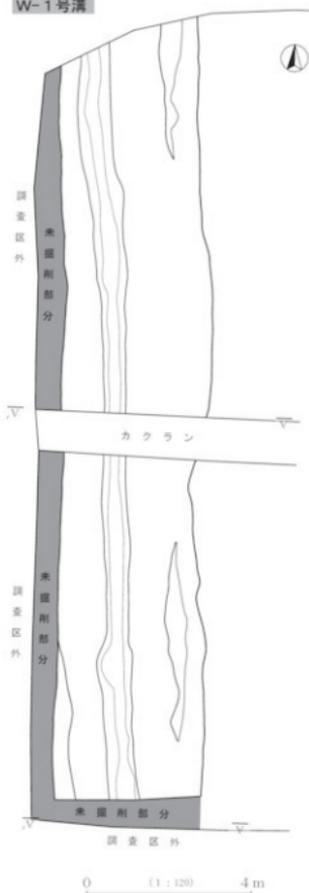
H-99号住居跡



H-99号住居跡土層説明

1. 暗褐色土 ロームブロックφ0.5～1.0cm・ローム粒中量、A s-Cφ0.2～0.5cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
2. 暗褐色土 ロームブロックφ0.5～2.0cm・ローム粒中量、A s-Cφ0.2～0.5cm少量、炭化粒微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
3. 黒褐色土 A s-Cφ0.2～0.5cm・ロームブロックφ0.5～1.0cm・ローム粒少量含む。炭化粒微量含む。しまりあり。
4. 黒褐色土 A s-Cφ0.2～0.5cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
5. 黒褐色土 A s-Cφ0.2～0.5cm・ロームブロックφ0.5～2.0cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
6. 黒褐色土 A s-Cφ0.2～0.5cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
7. 暗褐色土 ローム粒中量、A s-Cφ0.2～0.5cm微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
8. 黒褐色土 A s-Cφ0.2～0.5cm・ロームブロックφ0.5cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
9. 暗褐色土 A s-Cφ0.2～0.5cm・ローム粒中量含む。しまり弱。粘性ややあり。
10. 暗褐色土 A s-Cφ0.2～0.5cm・ローム粒少量含む。しまり弱。粘性ややあり。
11. 灰黄褐色土 ロームブロックφ0.5～1.0cm・ローム粒多量、A s-Cφ0.2～0.5cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
12. 灰黄褐色土 ロームブロックφ0.5～1.0cm・ローム粒中量、A s-Cφ0.2～0.5cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。

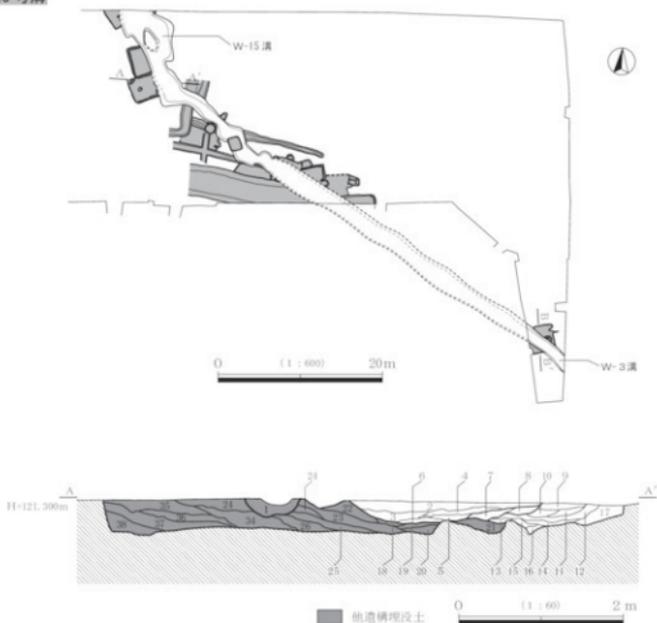
Fig. 45 遺構実測図 (39)



W-1号溝A-A' 土層説明

1. 灰黄色土 炭化粒・小礫φ0.5~5.0cm少量, A_s-B φ0.2cm・総社砂層ブロック(黄)φ0.5cm隙量含む, しまりややあり, 粘性あり。
2. 灰黄色土 小礫φ0.5~1.0cm少量, A_s-B φ0.2cm・炭化粒隙量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
3. 灰黄色土 A_s-B φ0.2cm・炭化粒・小礫φ0.5~1.0cm少量, 総社砂層ブロック(黄)φ0.5cm・総社砂層ブロック(白)φ0.5~1.0cm隙量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
4. 暗褐色土 総社砂層ブロック(黄)φ0.5~1.0cm・小礫φ0.5~1.0cm少量, A_s-B φ0.2cm・総社砂層ブロック(白)φ0.5cm・炭化粒隙量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
5. 暗褐色土 総社砂層ブロック(黄)φ0.5~1.0cm・A_s-B φ0.2cm少量, A_s-C φ0.2~0.5cm隙量含む, しまりややあり, 粘性ややあり。
6. 暗褐色土 A_s-B φ0.2cm・総社砂層ブロック(黄)φ0.5~1.0cm・総社砂層ブロック(白)φ0.5~1.0cm少量, 小礫φ0.5~1.0cm・総社砂層ブロック(白)φ0.5~1.0cm少量, 小礫φ0.5~1.0cm少量含む, しまりややあり, 粘性ややあり。
7. 暗褐色土 A_s-B φ0.2cm・総社砂層ブロック(黄)φ0.5~1.0cm・炭化粒少量含む, しまりややあり, 粘性ややあり。
8. 暗褐色土 A_s-B φ0.2cm・総社砂層ブロック(黄)φ0.5~1.0cm・炭化粒少量, 総社砂層ブロック(白)φ0.5cm隙量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
9. 暗褐色土 総社砂層ブロック(黄)φ0.5~1.0cm・炭化粒・小礫φ0.5~1.0cm少量, 総社砂層ブロック(白)φ0.5cm隙量含む, しまりややあり, 粘性ややあり。
10. 暗褐色土 A_s-B φ0.2cm・総社砂層ブロック(黄)φ0.5cm・総社砂層ブロック(白)φ0.5~1.0cm・小礫φ0.5~1.0cm少量, A_s-C φ0.2~0.5cm隙量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
11. 暗褐色土 A_s-C φ0.2~0.5cm・総社砂層ブロック(黄)φ0.5~3.0cm・小礫φ0.5~1.0cm少量, 総社砂層ブロック(白)φ0.5cm隙量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
12. 灰黄色土 総社砂層ブロック(黄)φ0.5~1.0cm隙量含む, しまり強, 粘性あり。
13. 灰黄色土 総社砂層ブロック(黄)φ0.5~1.0cm・炭化粒・A_s-C φ0.2~0.5cm・総社砂層ブロック(白)φ0.5~1.0cm隙量含む, しまり強, 粘性ややあり。
14. 灰黄色土 総社砂層ブロック(黄)φ0.5cm・総社砂層ブロック(白)φ0.5cm・炭化粒隙量含む, しまり強, 粘性。
15. 灰黄色土 総社砂層ブロック(黄)φ0.5~3.0cm中量, 総社砂層ブロック(白)φ0.5cm・小礫φ0.5~1.0cm少量, A_s-C φ0.2~0.5cm・炭化粒少量含む, しまり強, 粘性あり。
16. 暗褐色土 総社砂層ブロック(黄)φ0.5~1.0cm中量, A_s-C φ0.2~0.5cm少量, 総社砂層ブロック(白)φ0.5cm隙量含む, しまり強, 粘性ややあり。
17. 暗褐色土 総社砂層ブロック(黄)φ0.5~1.0cm・総社砂層ブロック(白)φ0.5~1.0cm少量, A_s-C φ0.2~0.5cm隙量含む, しまりややあり, 粘性ややあり。
18. 暗褐色土 A_s-C φ0.2~0.5cm・総社砂層ブロック(黄)φ0.5~1.0cm・総社砂層ブロック(白)φ0.5cm・小礫φ0.5~1.0cm少量含む, しまりややあり, 粘性ややあり。
19. 暗褐色土 総社砂層ブロック(黄)φ0.5~1.0cm中量, 総社砂層ブロック(白)φ0.5~2.0cm・砂粒少量, 小礫φ0.5~1.0cm隙量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
20. 暗褐色土 総社砂層ブロック(黄)φ0.5~1.0cm中量, 総社砂層ブロック(白)φ0.5~1.0cm少量, A_s-C φ0.2~0.5cm隙量含む, しまり強, 粘性あり。
21. 灰黄色土 総社砂層ブロック(黄)φ0.5~1.0cm・総社砂層ブロック(白)φ0.5~1.0cm少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
22. 暗褐色土 総社砂層ブロック(黄)φ0.5~1.0cm中量, A_s-C φ0.2~0.5cm・総社砂層ブロック(白)φ0.5cm少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
23. 暗褐色土 総社砂層ブロック(黄)φ0.5~5.0cm多量, A_s-C φ0.2~0.5cm・炭化粒少量含む, しまりややあり, 粘性ややあり。
24. 暗褐色土 総社砂層ブロック(黄)φ0.5~5.0cm・A_s-C φ0.2~0.5cm・炭化粒少量含む, しまりややあり, 粘性ややあり。
25. 暗褐色土 総社砂層ブロック(黄)φ0.5~20.0cm多量, 砂粒中量, 総社砂層ブロック(白)φ0.5cm少量, A_s-C φ0.2~0.5cm隙量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
26. 暗褐色土 A_s-C φ0.2~0.5cm・総社砂層ブロック(黄)φ0.5~1.0cm中量, 総社砂層ブロック(白)φ0.5cm隙量含む, しまりややあり, 粘性ややあり。
27. 暗褐色土 総社砂層ブロック(白)φ0.5~4.0cm少量, 総社砂層ブロック(黄)φ0.5cm隙量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
28. 暗褐色土 総社砂層ブロック(黄)φ0.5~1.0cm・総社砂層ブロック(白)φ0.5~1.0cm少量, A_s-C φ0.2~0.5cm隙量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
29. 暗褐色土 総社砂層ブロック(黄)φ0.5~2.0cm少量, 総社砂層ブロック(白)φ0.5cm隙量含む, しまりあり, 粘性。
30. 暗褐色土 総社砂層ブロック(白)φ0.5~2.0cm多量, 総社砂層ブロック(黄)φ0.5cm隙量含む, しまりややあり, 粘性。
31. 暗褐色土 A_s-C φ0.2~0.5cm・総社砂層ブロック(黄)φ0.5~1.0cm・総社砂層ブロック(白)φ0.5cm少量含む, しまりあり, 粘性。
32. 暗褐色土 総社砂層ブロック(白)φ0.5~5.0cm中量, 総社砂層ブロック(黄)φ0.5cm隙量含む, しまり強, 粘性。
33. 暗褐色土 総社砂層ブロック(白)φ0.5~2.0cm・砂粒中量, 小礫φ0.5~3.0cm少量含む, しまり強, 粘性。

Fig. 46 遺構実測図 (40)

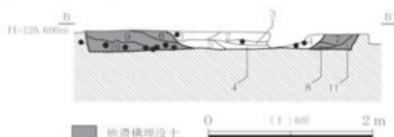


W-15号溝A-A'土層説明

1. 黒褐色土 A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。フコ状土。
2. 黒褐色土 A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
3. 黒褐色土 A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
4. 暗褐色土 砂粒・小礫 ϕ 0.5 cm 多量含む。しまりあり。粘性なし。
5. 暗褐色土 砂粒・小礫 ϕ 0.5 cm 多量含む。しまりあり。粘性なし。
6. 暗褐色土 砂粒・小礫 ϕ 0.5 cm 多量含む。しまりあり。粘性なし。
7. 黒褐色土 粘土・白色粘土中量, A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm 少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
8. 黒褐色土 A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm 中量, ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
9. 暗灰色土 砂粒中量, A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm 少量含む。しまりあり。粘性弱。
10. 暗褐色土 A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm 少量含む。炭化粒微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
11. 暗褐色土 砂粒多量, A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm 少量含む。しまりあり。粘性弱。
12. 暗褐色土 A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒・砂粒少量含む。しまり強。粘性あり。フコ状土。鉄分の沈着が見られる。
13. 暗褐色土 粘土・灰少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
14. 暗褐色土 ローム粒中量, 小礫 ϕ 0.5 ~ 1.0 cm 少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
15. 暗褐色土 ローム粒中量, ロームブロック ϕ 0.5 cm 少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
16. 暗褐色土 ロームブロック ϕ 0.5 ~ 1.0 cm 中量, ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
17. 暗褐色土 ローム粒中量, A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm 少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
18. 暗褐色土 A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性やや弱。
19. 暗褐色土 灰・砂粒中量, ローム粒少量含む。しまりあり。粘性やや弱。
20. 暗褐色土 粘土・砂粒・小礫 ϕ 0.5 ~ 3.0 cm 中量, A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm 少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
21. 暗褐色土 粘土多量, A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm 少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
22. 暗褐色土 A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm 中量, ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
23. 暗褐色土 A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm 中量, ローム粒・白色粘土少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
24. 暗褐色土 A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
25. 暗褐色土 A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm・ロームブロック ϕ 0.5 cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
26. 暗褐色土 ローム粒中量, A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm・ロームブロック ϕ 0.5 ~ 1.0 cm 少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
27. 暗褐色土 A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒中量含む。しまりあり。粘性ややあり。
28. 暗褐色土 ローム粒中量, A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm 少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
29. 暗褐色土 A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
30. 暗褐色土 A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
31. 暗褐色土 ローム粒中量, A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm 少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
32. 暗褐色土 A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒・粘土少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
33. 暗褐色土 A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒・粘土・炭化粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
34. 暗褐色土 A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm 中量, ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
35. 暗褐色土 A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm 中量, ロームブロック ϕ 0.5 ~ 1.0 cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
36. 暗褐色土 A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm・ロームブロック ϕ 0.5 ~ 1.0 cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
37. 暗褐色土 A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm・ロームブロック ϕ 0.5 ~ 1.0 cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
38. 暗褐色土 ローム粒中量, A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm 少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
39. 暗褐色土 A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少量含む。しまり強。粘性ややあり。
40. 暗褐色土 ローム粒中量, A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm 少量含む。しまり強。粘性ややあり。
41. 暗褐色土 ローム粒多量, A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm 少量含む。しまり強。粘性ややあり。

Fig. 48 遺構実測図 (42)

W-3・15号溝



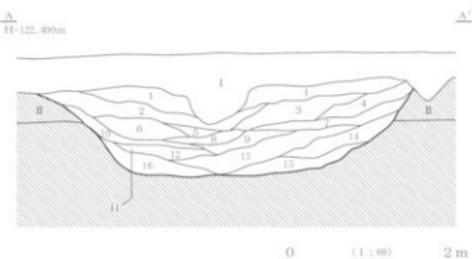
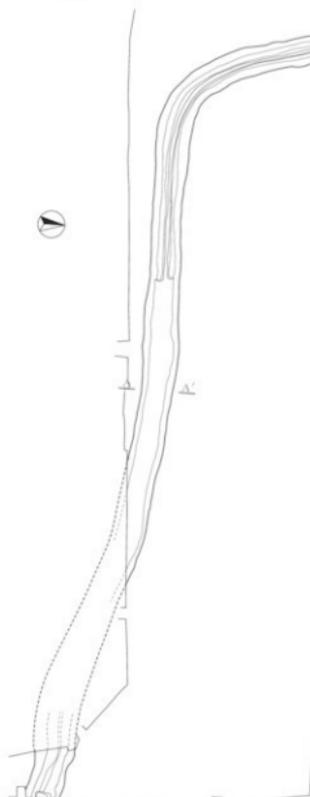
他造構埋没土

8. 黒褐色土 A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少量、焼土微量含む。しまりあり、粘性ややあり。
9. 黒褐色土 A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm中量、ローム粒少量、炭化粒微量含む。しまりあり、粘性ややあり。
10. 黒褐色土 A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm中量、ローム粒・炭化粒少量含む。しまりあり、粘性ややあり。
11. 黒褐色土 ローム粒中量、A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm少量含む。しまりあり、粘性ややあり。
12. 黒褐色土 A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少量、焼土微量含む。しまりあり、粘性ややあり。
13. 黒褐色土 ローム粒・白色粘土中量、A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm・焼土少量含む。しまりあり、粘性ややあり。
14. 黒褐色土 A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm・ロームブロックφ0.5 cm・ローム粒少量含む。しまりあり、粘性ややあり。
15. 黒褐色土 ロームブロックφ0.5 ~ 1.0 cm・焼土中量、A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少量含む。しまりあり、粘性ややあり。

W-3号溝B-B' 土層説明

1. 黒褐色土 A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm少量、炭化粒微量含む。しまり強、粘性ややあり。
2. 黒褐色土 砂粒中量、A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm微量含む。しまり強、粘性ややあり。
3. 暗灰色土 砂粒多量含む。しまり強、粘性なし。鉄分の沈着がみられる。
4. 黒褐色土 A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm少量、炭化粒微量含む。しまり強、粘性ややあり。鉄分の沈着がみられる。
5. 黒褐色土 A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm中量、ローム粒少量含む。しまり強、粘性ややあり。鉄分の沈着がみられる。
6. 黒褐色土 A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm中量、ローム粒少量含む。しまりあり、粘性ややあり。
7. 黒褐色土 A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少量含む。しまりあり、粘性ややあり。

W-2号溝



W-2号溝A-A' 土層説明

1. 暗灰色土 A s-B φ0.2 cm・砂粒中量、ローム粒少量含む。しまりあり、粘性強。
2. 暗灰色土 砂粒中量、A s-B φ0.2 cm・ローム粒少量、炭化粒微量含む。しまりあり、粘性ややあり。
3. 暗灰色土 A s-B φ0.2 cm・砂粒多量、炭化粒微量含む。しまりあり、粘性なし。
4. 暗灰色土 砂粒中量、A s-B φ0.2 cm少量含む。しまりあり、粘性強。
5. 暗灰色土 砂粒中量、A s-B φ0.2 cm少量含む。しまりあり、粘性ややあり。
6. 暗灰色土 A s-B φ0.2 cm・砂粒多量、炭化粒微量含む。しまりあり、粘性なし。
7. 暗灰色土 砂粒中量、A s-B φ0.2 cm・炭化粒少量含む。しまりあり、粘性強。
8. 暗灰色土 砂粒中量、A s-B φ0.2 cm少量、炭化粒微量含む。しまりあり、粘性強。
9. 暗灰色土 砂粒中量、A s-B φ0.2 cm・ローム粒少量、炭化粒微量含む。しまりあり、粘性強。
10. 暗灰色土 砂粒中量、A s-B φ0.2 cm少量含む。しまりあり、粘性強。
11. 暗灰色土 A s-B φ0.2 cm・砂粒多量含む。しまりあり、粘性なし。
12. 暗灰色土 砂粒中量、A s-B φ0.2 cm少量含む。しまりあり、粘性強。
13. 暗灰色土 砂粒中量、A s-B φ0.2 cm・ロームブロックφ0.5 ~ 2.0 cm・炭化粒少量含む。しまりあり、粘性強。
14. 暗灰色土 砂粒中量、A s-B φ0.2 cm・ロームブロックφ0.5 ~ 1.0 cm少量含む。しまりあり、粘性強。
15. 暗灰色土 砂粒多量、ロームブロックφ0.5 ~ 2.0 cm少量、A s-B φ0.2 cm微量含む。しまりあり、粘性なし。
16. 暗灰色土 砂粒多量、ロームブロックφ0.5 ~ 1.0 cm少量、A s-B φ0.2 cm微量含む。しまりあり、粘性なし。

Fig. 49 遺構実測図 (43)

D-1号土坑



D-1号土坑土層説明

1. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性中〜ややあり。
2. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒・白色粘土少量含む。しまりあり。粘性中〜ややあり。
3. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm少量。ローム粒微量含む。しまりあり。粘性中〜ややあり。
4. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性中〜ややあり。H-11号住居跡埋没土。

D-2号土坑



D-2号土坑土層説明

1. 暗褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒少量・白色粘土少量含む。しまりあり。粘性中〜ややあり。
2. 暗褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm・白色粘土少量。ローム粒微量含む。しまりあり。粘性中〜ややあり。
3. 黒褐色土 炭化粒多量。白色粘土少量含む。しまりあり。粘性中〜ややあり。

D-4号土坑



D-4号土坑土層説明

1. 黒褐色土 ローム粒中量。A s-C φ0.2~0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性中〜ややあり。
2. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性中〜ややあり。
3. 暗褐色土 ローム粒多量。ロームブロックφ0.5~1.0 cm少量含む。しまりあり。粘性中〜ややあり。

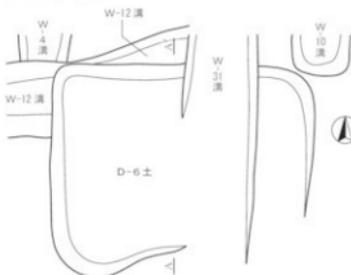
D-7号土坑



D-7号土坑土層説明

1. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒・炭化粒・白色粘土少量含む。しまりあり。粘性中〜ややあり。
2. 暗褐色土 ローム粒中量。A s-C φ0.2~0.5 cm・炭化粒・白色粘土少量含む。しまりあり。粘性中〜ややあり。
3. 黒褐色土 ローム粒・白色粘土少量。A s-C φ0.2~0.5 cm微量含む。しまりあり。粘性中〜ややあり。

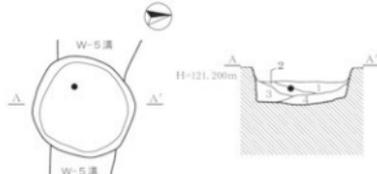
D-6号土坑



D-6号土坑土層説明

1. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm中量。ローム粒少量含む。しまりあり。粘性中〜ややあり。
2. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm中量。ロームブロックφ0.5~2.0 cm少量含む。しまりあり。粘性中〜ややあり。
3. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm中量。ローム粒・白色粘土少量含む。しまりあり。粘性中〜ややあり。
4. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性中〜ややあり。
5. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒・白色粘土少量含む。しまりあり。粘性中〜ややあり。
6. 黒褐色土 ローム粒中量。A s-C φ0.2~0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性中〜ややあり。

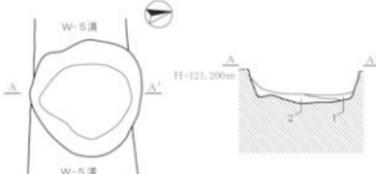
D-8号土坑



D-8号土坑土層説明

1. 黒褐色土 A s-B φ0.2 cm中量。ローム粒・白色粘土少量含む。しまりあり。粘性弱。
2. 黒褐色土 A s-B φ0.2 cm・ロームブロックφ0.5~1.0 cm少量含む。しまりあり。粘性弱。
3. 黒褐色土 A s-B φ0.2 cm中量。ロームブロックφ0.5~1.0 cm少量含む。しまりあり。粘性弱。
4. 黒褐色土 A s-B φ0.2 cm中量。ロームブロックφ0.5~1.0 cm微量含む。しまりあり。粘性弱。

D-9号土坑



D-9号土坑土層説明

1. 黒褐色土 A s-B φ0.2 cm中量。ロームブロックφ0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性弱。
2. 黒褐色土 A s-B φ0.2 cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性弱。



Fig. 50 遺構実測図 (44)

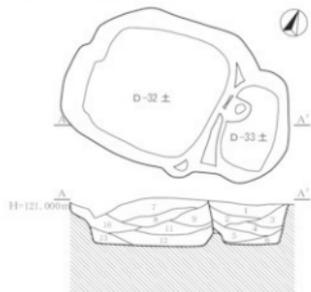
D-17号土坑



D-17号土坑土層説明

1. 暗褐色土 A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm中量, ローム粒・炭化粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
2. 黒褐色土 ローム粒中量, A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
3. 暗褐色土 ローム粒少量, A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm微量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
4. 暗褐色土 ローム粒・A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm微量含む, しまりあり, 粘性ややあり。

D-32・33号土坑



D-32・33号土坑土層説明

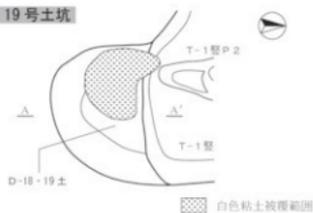
1. 暗褐色土 A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒中量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
2. 暗褐色土 ローム粒中量, A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm・ロームブロックφ0.5 ~ 1.0 cm少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
3. 暗褐色土 A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
4. 暗褐色土 A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm・ロームブロックφ0.5 ~ 1.0 cm・ローム粒少量, 炭化粒微量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
5. 暗褐色土 A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm・ロームブロックφ0.5 ~ 1.0 cm・ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
6. 黒褐色土 ロームブロックφ0.5 ~ 1.0 cm中量, A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
7. 黒褐色土 A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm中量, ロームブロックφ0.5 ~ 2.0 cm・ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
8. 黒褐色土 A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒中量, ロームブロックφ0.5 ~ 2.0 cm少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
9. 暗褐色土 ロームブロックφ0.5 ~ 1.0 cm・ローム粒中量, A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
10. 暗褐色土 A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm中量, ロームブロックφ0.5 ~ 2.0 cm・ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
11. 暗褐色土 A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒中量, ロームブロックφ0.5 ~ 2.0 cm少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
12. 暗褐色土 ロームブロックφ0.5 ~ 1.0 cm・ローム粒中量, A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
13. 暗褐色土 ロームブロックφ0.5 ~ 1.0 cm・ローム粒中量, A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。

※7~9・11土層2~6cmト膜層

D-40号土坑



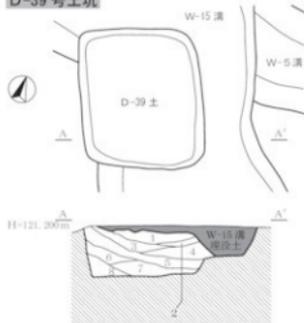
D-18・19号土坑



D-18・19号土坑土層説明

1. 暗灰色土 A s-B φ0.2 cm中量, A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性弱。
2. 暗灰色土 A s-B φ0.2 cm中量, A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒・白色粘土少量含む, しまりあり, 粘性弱。
3. 暗灰色土 A s-B φ0.2 cm中量, A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒・白色粘土微量含む, しまりあり, 粘性弱。
4. 暗灰色土 A s-B φ0.2 cm中量, A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒・白色粘土少量含む, しまりあり, 粘性弱。
5. 暗灰色土 A s-B φ0.2 cm中量, A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性弱。
6. 暗褐色土 A s-B φ0.2 cm・A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒・白色粘土少量含む, しまりあり, 粘性弱。
7. 暗灰色土 A s-B φ0.2 cm中量, 塊土・白色粘土微量含む, しまりあり, 粘性弱。
8. 暗褐色土 A s-B φ0.2 cm・A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。

D-39号土坑



D-39号土坑土層説明

1. 暗褐色土 A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm・ロームブロックφ0.5 ~ 1.0 cm・ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
2. 暗褐色土 A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm・白色粘土少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
3. 暗褐色土 A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm・ロームブロックφ0.5 cm・ローム粒少量, 炭化粒微量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
4. 黒褐色土 A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm・ロームブロックφ0.5 ~ 1.0 cm・ローム粒・白色粘土少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
5. 暗褐色土 ローム粒中量, A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm・ロームブロックφ0.5 ~ 2.0 cm少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
6. 黒褐色土 A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒中量, ロームブロックφ0.5 cm少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
7. 暗褐色土 ロームブロックφ0.5 ~ 1.0 cm中量, A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
8. 暗褐色土 ローム粒少量, ロームブロックφ0.5 ~ 1.0 cm中量, A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。

0 (1:60) 2m

Fig. 51 遺構実測図 (45)

D-42号土坑



D-42号土坑層説明

1. 暗褐色土 A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm中量、ローム粒・炭化粒少量含む、しまりあり、粘性ややあり。
2. 暗褐色土 A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm中量、ローム粒少量含む、しまりあり、粘性ややあり。
3. 黒褐色土 A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少量含む、しまりあり、粘性ややあり。

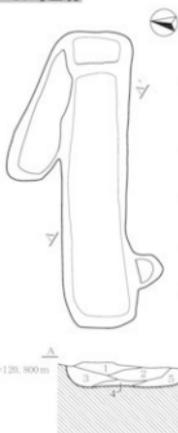
D-45号土坑



D-45号土坑層説明

1. 黒褐色土 A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm中量、ロームブロックφ0.5 cm・ローム粒少量含む、しまりあり、粘性ややあり。
2. 黒褐色土 A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm中量、ローム粒少量含む、しまりあり、粘性ややあり。
3. 黒褐色土 A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm・ロームブロックφ0.5 ~ 3.0 cm・ローム粒少量含む、しまりあり、粘性ややあり。

D-51号土坑



D-51号土坑層説明

1. 黒褐色土 A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm・ロームブロックφ0.5 ~ 2.0 cm・ローム粒少量含む、しまりあり、粘性ややあり。
2. 暗褐色土 ロームブロックφ0.5 ~ 3.0 cm・ローム粒中量、A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm少量含む、しまりあり、粘性ややあり。
3. 黒褐色土 A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm・ロームブロックφ0.5 ~ 3.0 cm・ローム粒少量含む、しまりあり、粘性ややあり。
4. 黒褐色土 ローム粒中量、A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm・ロームブロックφ0.5 cm少量含む、しまりあり、粘性ややあり。
5. 暗褐色土 ロームブロックφ0.5 ~ 3.0 cm・ローム粒中量、A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm少量含む、しまりあり、粘性ややあり。

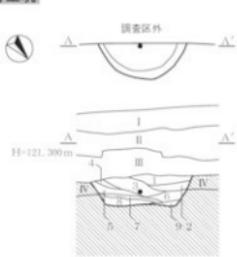
D-59号土坑



D-59号土坑層説明

1. 暗褐色土 A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm中量、ロームブロックφ0.5 ~ 1.0 cm・ローム粒少量含む、しまりあり、粘性ややあり。
2. 暗褐色土 A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少量含む、しまりあり、粘性ややあり。
3. 黒褐色土 A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少量含む、しまりあり、粘性ややあり。
4. 二色・黒褐色土 ローム粒多量含む、しまりあり、粘性ややあり。
5. 暗褐色土 ローム粒中量、A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm少量含む、しまりあり、粘性ややあり。

D-43号土坑



D-43号土坑層説明

1. 黒褐色土 A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒・白色粘土少量含む、しまりあり、粘性ややあり。
2. 黒褐色土 A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒中量含む、しまりあり、粘性ややあり。
3. 黒褐色土 A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒中量、焼土塊少量含む、しまりあり、粘性ややあり。
4. 暗褐色土 白色粘土中量、A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少量含む、しまりあり、粘性ややあり。
5. 暗褐色土 A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒中量含む、しまりあり、粘性ややあり。
6. 暗褐色土 A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒中量含む、しまりあり、粘性ややあり。
7. 黒色土 炭化粒多量、A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少量含む、しまりあり、粘性ややあり。
8. 暗褐色土 ロームブロックφ0.5 ~ 1.0 cm・ローム粒中量、A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm少量含む、しまりあり、粘性ややあり。
9. 暗褐色土 ローム粒中量、A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm少量含む、しまりあり、粘性ややあり。

D-58号土坑



D-58号土坑層説明

1. 黒褐色土 ローム粒多量、A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm少量含む、しまりあり、粘性ややあり。
2. 暗褐色土 ローム粒中量、A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm・白色粘土少量含む、しまりあり、粘性ややあり。
3. 黒褐色土 ローム粒中量、A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm少量含む、しまりあり、粘性ややあり。

D-61号土坑



D-61号土坑層説明

1. 暗褐色土 A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm中量、ローム粒少量含む、しまりあり、粘性ややあり。
2. 黒褐色土 A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm中量、ローム粒少量含む、しまりあり、粘性ややあり。
3. 黒褐色土 ローム粒中量、A s - C φ0.2 ~ 0.5 cm少量含む、しまりあり、粘性ややあり。

0 (1:60) 2m

Fig. 52 遺構実測図 (46)

D-67号土坑



D-67号土坑土層説明

1. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm中量、ローム粒少量含む、しまりあり、粘性中〜あり。
2. 暗褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm・ローム粒・白色粘土少量、炭化粒・塊土微量含む、しまりあり、粘性中〜あり。
3. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm中量、ローム粒・白色粘土少量含む、しまりあり、粘性中〜あり。
4. 暗褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm・ローム粒少量含む、しまりあり、粘性中〜あり。
5. 灰黄褐色土 白色粘土多量、A s-C φ0.2~0.5cm・ローム粒少量含む、しまりあり、粘性強。

D-69号土坑



D-69号土坑土層説明

1. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm・ローム粒・白色粘土・炭化粒少量、塊土微量含む、しまり強、粘性あり。
2. 暗褐色土 ローム粒中量、A s-C φ0.2~0.5cm・白色粘土少量含む、しまりあり、粘性中〜あり。
3. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm・ローム粒中量、ローム粒少量含む、しまりあり、粘性中〜あり。

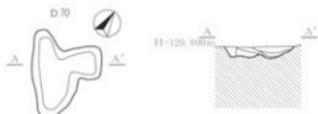
D-68号土坑



D-68号土坑土層説明

1. 暗褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm・ローム粒少量含む、しまりあり、粘性中〜あり。
2. 暗褐色土 ローム粒中量、A s-C φ0.2~0.5cm少量含む、しまりあり、粘性中〜あり。

D-70号土坑



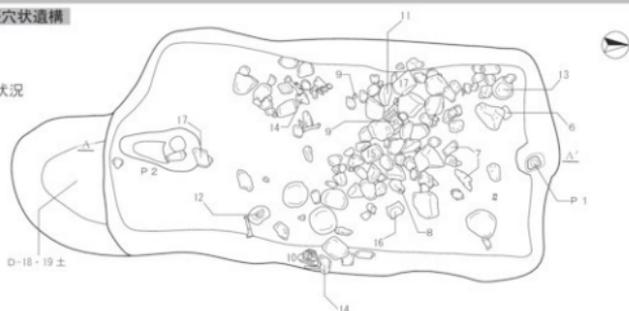
D-70号土坑土層説明

1. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm・ローム粒少量含む、しまりあり、粘性中〜あり。
2. 黒褐色土 ローム粒中量、A s-C φ0.2~0.5cm少量含む、しまりあり、粘性中〜あり。
3. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm・ローム粒中量含む、しまりあり、粘性中〜あり。
4. 黒褐色土 ロームブロックφ0.5~2.0cm・ローム粒中量、A s-C φ0.2~0.5cm微量含む、しまりあり、粘性中〜あり。

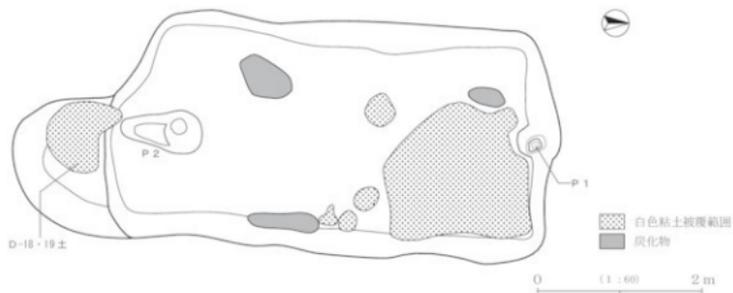
0 (1:60) 2m

T-1号竪穴状遺構

遺物出土状況



検出状況

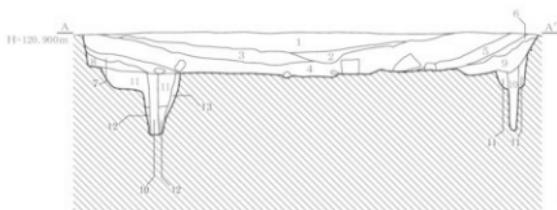
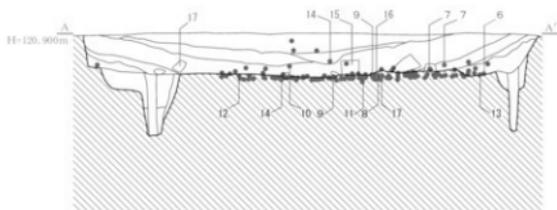
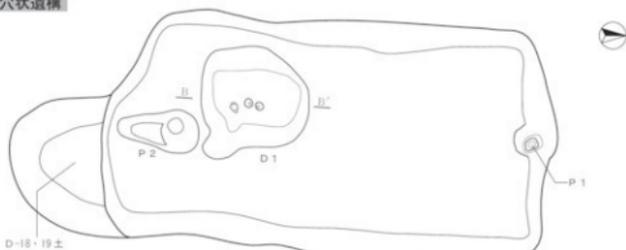


0 (1:60) 2m

Fig. 53 遺構実測図 (47)

T-1号竪穴状遺構

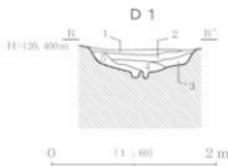
掘り方



0 (1:60) 2m

T-1号竪穴状遺構土層説明

1. 暗灰色土 A s-B φ0.2 cm・砂粒中量, A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性強。
2. 黒褐色土 A s-B φ0.2 cm中量, A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒・炭化粒少量含む, しまりあり, 粘性強。
3. 黒褐色土 A s-B φ0.2 cm・A s-C φ0.2~0.5 cm少量, ローム粒・炭化粒微量含む, しまりあり, 粘性強。
4. 暗灰色土 A s-B φ0.2 cm・A s-C φ0.2~0.5 cm・白色粘土少量含む, しまりあり, 粘性強。
5. 暗灰色土 A s-B φ0.2 cm・A s-C φ0.2~0.5 cm少量含む, しまりあり, 粘性強。
6. 黒褐色土 ローム粒中量, A s-B φ0.2 cm・A s-C φ0.2~0.5 cm少量含む, しまりあり, 粘性弱。
7. 黒褐色土 ローム粒中量, A s-B φ0.2 cm・A s-C φ0.2~0.5 cm少量, ローム粒微量含む, しまりあり, 粘性強。
8. 黒褐色土 A s-B φ0.2 cm・A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒・炭化粒・白色粘土少量含む, しまりあり, 粘性強。
9. 暗灰色土 A s-B φ0.2 cm・A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒・炭化粒・白色粘土少量含む, しまりあり, 粘性強。
10. 黒褐色土 A s-B φ0.2 cm・ローム粒少量, A s-C φ0.2~0.5 cm微量含む, しまり強, 粘性ややあり。
11. 江戸須砂土 ロームブロック φ0.5~2.0 cm・ローム粒多量, A s-B φ0.2 cm少量, A s-C φ0.2~0.5 cm微量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
12. 暗褐色土 ロームブロック φ0.5~1.0 cm・ローム粒多量, A s-B φ0.2 cm少量, A s-C φ0.2~0.5 cm微量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
13. 江戸須砂土 ロームブロック φ0.5~1.0 cm・ローム粒多量, A s-B φ0.2 cm少量, A s-C φ0.2~0.5 cm微量含む, しまりあり, 粘性ややあり。



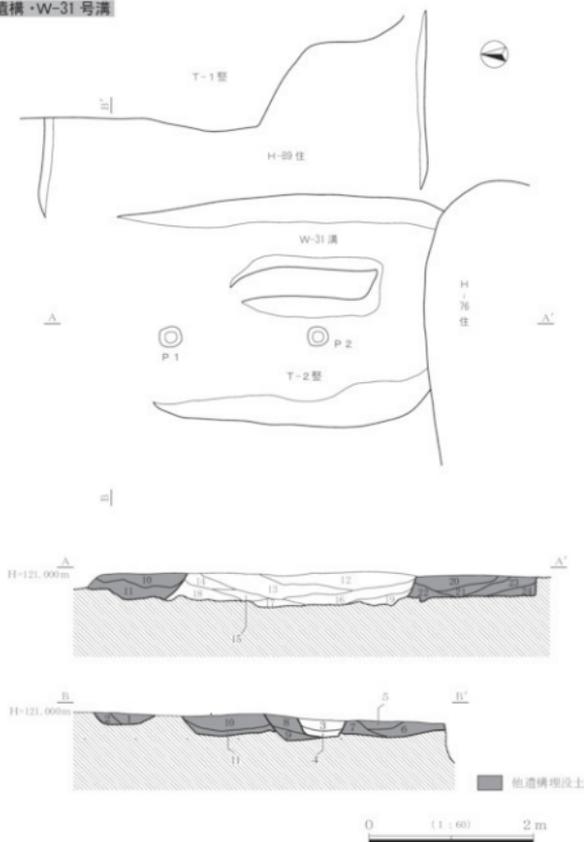
0 (1:60) 2m

T-1号竪穴状遺構D 1土層説明

1. 暗灰色土 A s-B φ0.2 cm中量, A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒・白色粘土少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
2. 暗灰色土 ローム粒多量, A s-B φ0.2 cm・A s-C φ0.2~0.5 cm少量, 炭化粒微量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
3. 暗灰色土 ローム粒中量, A s-B φ0.2 cm・A s-C φ0.2~0.5 cm少量, 炭化粒微量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
4. 暗灰色土 A s-B φ0.2 cm中量, A s-C φ0.2~0.5 cm・ロームブロック φ0.5~1.0 cm・ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
5. 暗褐色土 A s-B φ0.2 cm中量, A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒少量, しまりあり, 粘性ややあり。

Fig. 54 遺構実測図 (48)

T-2号竪穴遺構・W-31号溝

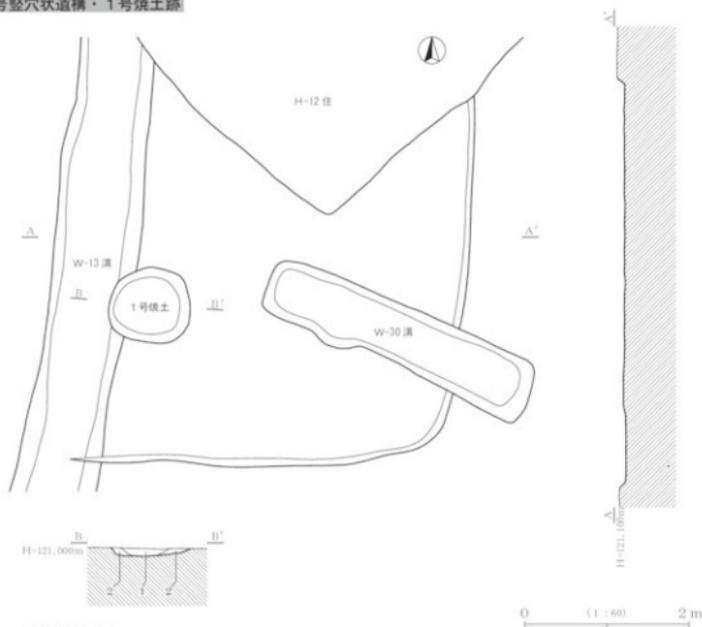


T-2号竪穴遺構・W-31号溝土層説明

- | | | | |
|----------|--|----------|--|
| 1. 黒褐色土 | A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm中量, ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。 | 13. 黒褐色土 | A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm中量, ロームブロックφ0.5 ~ 1.0 cm・ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。 |
| 2. 黒褐色土 | A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒中量含む, しまりあり, 粘性ややあり。 | 14. 黒褐色土 | ローム粒中量, A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。 |
| 3. 黒褐色土 | A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm中量, ローム粒少量, 炭化粒痕量含む, しまりあり, 粘性ややあり, W-31号遺構埋没土。 | 15. 黒褐色土 | A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。 |
| 4. 黒褐色土 | A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm中量, ローム粒少量, 炭化粒痕量含む, しまりあり, 粘性ややあり, W-31号遺構埋没土。 | 16. 黒褐色土 | A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm中量, ローム粒少量, 炭化粒痕量含む, しまりあり, 粘性ややあり。 |
| 5. 黒褐色土 | A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm中量, ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。 | 17. 暗褐色土 | ローム粒中量, A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。 |
| 6. 黒褐色土 | A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm中量, ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。 | 18. 黒褐色土 | A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm中量, ロームブロックφ0.5 cm・ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。 |
| 7. 黒褐色土 | A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm中量, ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。 | 19. 黒褐色土 | A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm・ロームブロックφ0.5 ~ 1.0 cm・ローム粒中量含む, しまりあり, 粘性ややあり。 |
| 8. 黒褐色土 | A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。 | 20. 黒褐色土 | A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm中量, ローム粒・白色粘土少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。 |
| 9. 暗褐色土 | ローム粒中量, A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。 | 21. 黒褐色土 | A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。 |
| 10. 黒褐色土 | A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm中量, ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。 | 22. 黒褐色土 | A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm・ロームブロックφ0.5 ~ 0.1 cm・ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。 |
| 11. 暗褐色土 | ローム粒中量, A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。 | 23. 黒褐色土 | A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm中量, ローム粒・白色粘土少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。 |
| 12. 黒褐色土 | A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm中量, ロームブロックφ0.5 ~ 1.0 cm・ローム粒・炭化粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。 | 24. 黒褐色土 | A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。 |

Fig. 55 遺構実測図 (49)

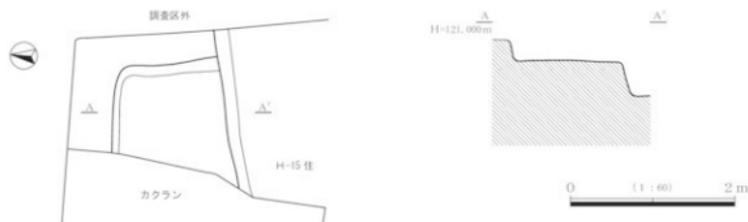
T-6号竪穴状遺構・1号焼土跡



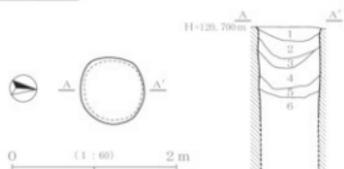
1号焼土跡土層説明

1. 黒褐色土 炭灰粒微量含む。しまり弱、粘性弱。
2. 暗褐色土 焼土多量含む。しまり弱、粘性弱。

T-7号竪穴状遺構



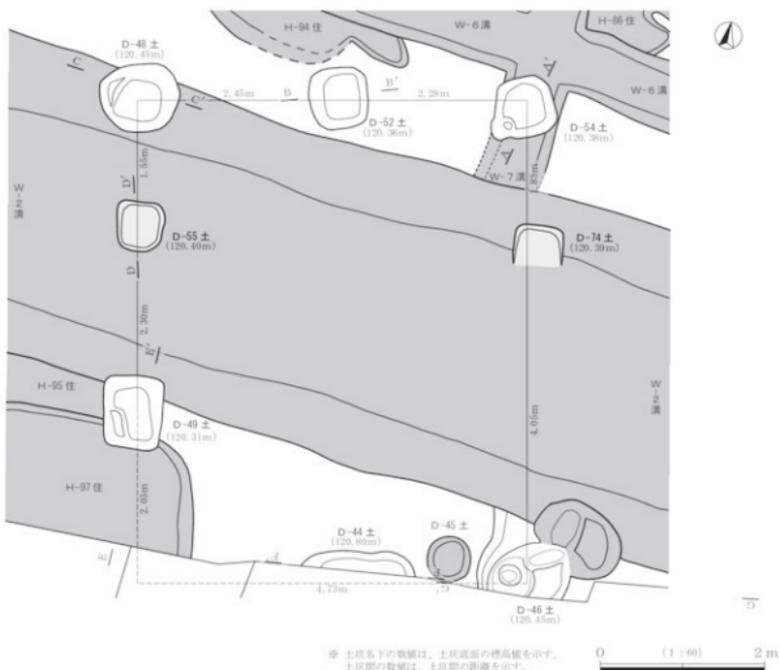
I-1号井戸



I-1号井戸土層説明

1. 暗灰色土 A s - B ϕ 0.2 cm 中層, A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm \cdot ロームブロック ϕ 0.5 cm 少量含む。しまりあり、粘性弱。
2. 暗灰色土 A s - B ϕ 0.2 cm 中層, A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm \cdot ローム粒 \cdot 炭灰粒少量含む。しまりあり、粘性弱。
3. 暗灰色土 A s - B ϕ 0.2 cm 中層, A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm \cdot ローム粒微量含む。しまりあり、粘性弱。
4. 暗灰色土 A s - B ϕ 0.2 cm 中層, ロームブロック ϕ 0.5 cm 少量。A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm 微量含む。しまりあり、粘性ややあり。
5. 暗灰色土 A s - B ϕ 0.2 cm 少量, A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm 微量含む。しまりあり、粘性ややあり。
6. 暗灰色土 A s - B ϕ 0.2 cm \cdot ロームブロック ϕ 0.5 cm 少量。A s - C ϕ 0.2 ~ 0.5 cm 微量含む。しまりあり、粘性ややあり。

Fig. 56 遺構実測図 (50)



D-54号土坑

A A'
H=121.400m



D-54号土坑土層説明

1. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm中量, ローム粒少量, ロームブロック φ0.5cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
2. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm中量, ロームブロック φ0.5~3.0cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
3. 暗褐色土 ローム粒中量, A s-C φ0.2~0.5cm・ロームブロック φ0.5cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。

D-52号土坑

B B'
H=121.400m

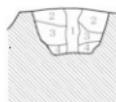


D-52号土坑土層説明

1. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
2. 黒褐色土 ローム粒中量, A s-C φ0.2~0.5cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
3. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm中量, ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
4. 黒褐色土 ローム粒少量, A s-C φ0.2~0.5cm・白色粘土少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
5. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm中量, ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。

D-48号土坑

C C'
H=121.400m



D-48号土坑土層説明

1. 暗褐色土 A s-C φ0.2~0.5cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
2. 暗褐色土 ローム粒中量, A s-C φ0.2~0.5cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
3. 黒褐色土 ロームブロック φ0.5~3.0cm・ローム粒中量, A s-C φ0.2~0.5cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
4. 暗褐色土 ローム粒中量, ロームブロック φ0.5~3.0cm中量, A s-C φ0.2~0.5cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。

0 (1:60) 2m

Fig. 57 遺構実測図 (51)

B-1号獨立柱建物住居跡

D-55号土坑

D
H=121.400m

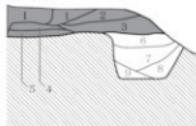


D-55号土坑土層説明

1. 黒褐色土 A s-Cφ0.2~0.5cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
2. 黒褐色土 A s-Cφ0.2~0.5cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
3. 黒褐色土 A s-Cφ0.2~0.5cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。

D-49号土坑

F
H=121.400m

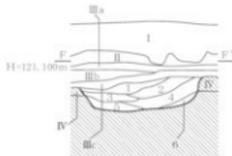


D-49号土坑土層説明

1. 黒褐色土 A s-Cφ0.2~0.5cm・ローム粒少量、炭化粒微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
2. 黒褐色土 A s-Cφ0.2~0.5cm・ローム粒少量、炭化粒微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
3. 黒褐色土 ロームブロックφ0.5cm・ローム粒少量、A s-Cφ0.2~0.5cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
4. 黒褐色土 A s-Cφ0.2~0.5cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
5. 黒褐色土 ロームブロックφ0.5~1.0cm中量、A s-Cφ0.2~0.5cm・ローム粒少量含む。しまり強。粘性ややあり。炭粒。
6. 黒褐色土 ロームブロックφ0.5~1.0cm中量、A s-Cφ0.2~0.5cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
7. 黒褐色土 A s-Cφ0.2~0.5cm・ロームブロックφ0.5~3.0cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
8. 黒褐色土 A s-Cφ0.2~0.5cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
9. 黒褐色土 A s-Cφ0.2~0.5cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。

■ 他遺構埋設土

D-44号土坑

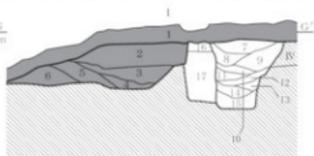


D-44号土坑土層説明

1. 黒褐色土 A s-Cφ0.2~0.5cm中量、ロームブロックφ0.5~1.0cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
2. 黒褐色土 A s-Cφ0.2~0.5cm・ロームブロックφ0.5~1.0cm中量、ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
3. 黒褐色土 ロームブロックφ0.5~1.0cm・ローム粒中量、A s-Cφ0.2~0.5cm・炭化粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
4. 黒褐色土 A s-Cφ0.2~0.5cm中量、ロームブロックφ0.5cm・ローム粒・白色粘土少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
5. 黒褐色土 A s-Cφ0.2~0.5cm中量、ロームブロックφ0.5センチ・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
6. 黒褐色土 A s-Cφ0.2~0.5cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。

D-46号土坑

G
H=121.400m



■ 他遺構埋設土

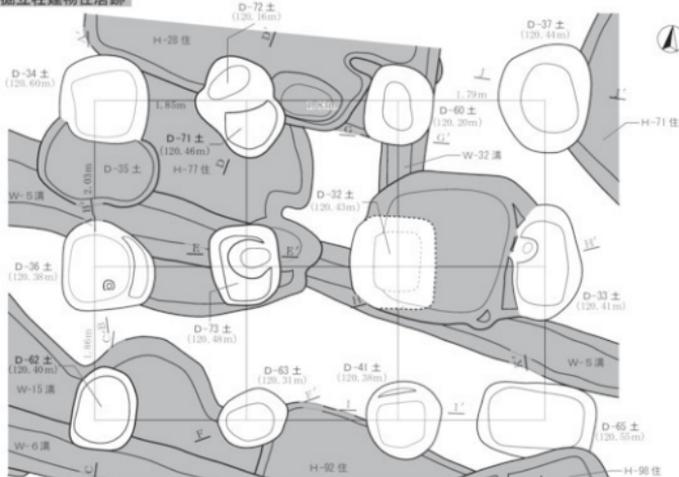
D-46号土坑土層説明

1. W-2号溝埋設土。
2. 暗褐色土 ローム粒・白色粘土中量、A s-Cφ0.2~0.5cm少量含む。しまり強。粘性あり。
3. 暗褐色土 ローム粒中量、A s-Cφ0.2~0.5cm・白色粘土少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
4. 暗褐色土 ローム粒中量、A s-Cφ0.2~0.5cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
5. 暗褐色土 ローム粒中量、A s-Cφ0.2~0.5cm・白色粘土少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
6. 暗褐色土 ローム粒中量、A s-Cφ0.2~0.5cm微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
7. 暗褐色土 A s-Cφ0.2~0.5cm・ローム粒少量、炭化粒微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
8. 暗褐色土 A s-Cφ0.2~0.5cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
9. 暗褐色土 A s-Cφ0.2~0.5cm中量、ローム粒少量、炭化粒微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
10. 暗褐色土 A s-Cφ0.2~0.5cm・ローム粒少量、堆土層含む。しまりあり。粘性ややあり。
11. 暗褐色土 A s-Cφ0.2~0.5cm・ローム粒少量、炭化粒微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
12. 暗褐色土 A s-Cφ0.2~0.5cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
13. 暗褐色土 A s-Cφ0.2~0.5cm・ロームブロックφ0.5~1.0cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
14. 暗褐色土 ロームブロックφ0.5~1.0cm中量、A s-Cφ0.2~0.5cm・ローム粒少量、炭化粒微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
15. 暗褐色土 A s-Cφ0.2~0.5cm中量、ロームブロックφ0.5~1.0cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
16. 暗褐色土 A s-Cφ0.2~0.5cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
17. 二色土層土 ローム粒少量、A s-Cφ0.2~0.5cm・ロームブロックφ0.5cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。

0 (1:60) 2m

Fig. 58 遺構実測図 (52)

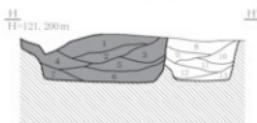
B-2号掘立柱建物住居跡



※ 土坑名下の数値は、土坑底面の標高値を示す。
土坑間の数値は、土坑間の距離を示す。

0 (1:60) 2m

D-32・33号土坑



■ 他造構埋没土

D-32・33号土坑層説明

4. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm中量, ローム粒・ロームブロックφ0.5~1.0 cm少量含む, しまりあり, 粘性や中あり。
6. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒中量, ロームブロックφ0.5~2.0 cm少量含む, しまりあり, 粘性や中あり。
7. 暗褐色土 ロームブロックφ0.5~1.0 cm・ローム粒中量, A s-C φ0.2~0.5 cm少量含む, しまりあり, 粘性や中あり。
8. 暗褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒中量含む, しまりあり, 粘性や中あり。
9. 暗褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性や中あり。
10. 暗褐色土 ローム粒中量, A s-C φ0.2~0.5 cm・ロームブロックφ0.5~1.0 cm少量含む, しまりあり, 粘性や中あり。
11. 暗褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm・ロームブロックφ0.5~1.0 cm・ローム粒少量, 炭化粒微量含む, しまりあり, 粘性や中あり。
12. 暗褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm・ロームブロックφ0.5~1.0 cm・ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性や中あり。
13. 黒褐色土 ロームブロックφ0.5~1.0 cm中量, A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性や中あり。

※ △△△層層により1~3・5層は2注記。

D-34・35号土坑

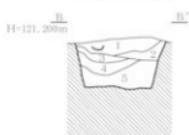


■ 他造構埋没土

D-34・35号土坑層説明

1. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性や中あり。
2. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性や中あり。
3. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm中量, ローム粒少量, 炭化粒微量含む, しまりあり, 粘性や中あり。
4. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm中量, A s-C φ0.2~0.5 cm・炭化粒微量含む, しまりあり, 粘性や中あり。
5. 暗褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm中量, ロームブロックφ0.5~1.0 cm・ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性や中あり。
6. 暗褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm中量, ローム粒少量含む。
7. 暗褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm中量, ロームブロックφ1.5~2.0 cm・ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性や中あり。
8. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性や中あり。
9. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒中量。
10. 暗褐色土 ロームブロックφ0.5 cm少量含む, しまりあり, 粘性や中あり。
10. 暗褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm・ロームブロックφ0.5 cm・ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性や中あり。

D-36号土坑



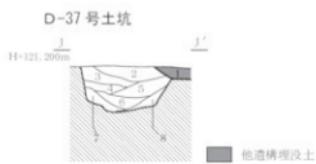
D-36号土坑層説明

1. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm・ロームブロックφ0.5~1.0 cm中量, ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性や中あり。
2. 暗褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒少量, 炭化粒微量含む, しまりあり, 粘性や中あり。
3. 暗褐色土 ロームブロックφ0.5~1.0 cm中量, A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性や中あり。
4. 黒褐色土 A s-C φ0.2~0.5 cm・ロームブロックφ0.5~1.0 cm・ローム粒・炭化粒少量含む, しまりあり, 粘性や中あり。
5. 暗褐色土 ロームブロックφ0.5~2.0 cm中量, A s-C φ0.2~0.5 cm・ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性や中あり。

0 (1:60) 2m

Fig. 59 遺構実測図 (53)

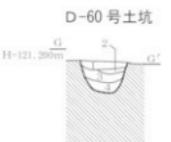
B-2号掘立柱建物住居跡



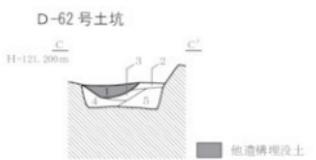
- D-37号土坑層説明**
1. 暗褐色土 A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm中量, ローム粒少量, 黄土微量含む, しまりあり, 粘性ややあり, H-71号住居跡埋没上。
 2. 暗褐色土 A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm中量, ローム粒少量, 炭化粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
 3. 暗褐色土 A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒中量, 炭化粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
 4. 暗褐色土 A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
 5. 暗褐色土 A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm中量, ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
 6. 暗褐色土 A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
 7. 黒褐色土 A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
 8. 黒褐色土 A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。



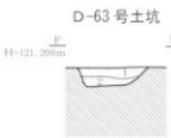
- D-41号土坑層説明**
1. 暗褐色土 A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
 2. 暗褐色土 A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm・白色粘土中量, ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
 3. 暗褐色土 A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
 4. 暗褐色土 A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm・ロームブロック φ0.5 cm・ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
 5. 黒褐色土 A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm・ロームブロック φ0.5 cm・ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
 6. 黒褐色土 A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm・ロームブロック φ0.5 ~ 1.0 cm・ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。



- D-60号土坑層説明**
1. 暗褐色土 A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒中量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
 2. 黒褐色土 A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
 3. 暗褐色土 A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm中量, ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
 4. 暗褐色土 A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm・ロームブロック φ0.5 cm・ローム粒中量含む, しまりあり, 粘性ややあり。



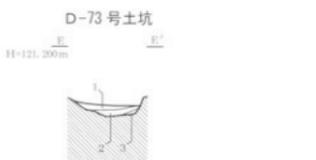
- D-62号土坑層説明**
1. 暗褐色土 砂粒・小礫 φ0.5 ~ 1.0 cm中量, A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少量含む, しまり強, 粘性ややあり, 微砂含む。
 2. 黒褐色土 A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
 3. 暗褐色土 A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm中量, ローム粒・炭化粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
 4. 黒褐色土 A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm中量, ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
 5. 暗褐色土 A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒中量, ロームブロック φ0.5 ~ 1.0 cm少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。



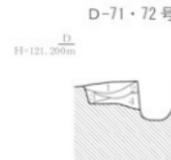
- D-63号土坑層説明**
1. 暗褐色土 A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
 2. 暗褐色土 ローム粒中量, A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。



- D-65号土坑層説明**
1. 暗褐色土 A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm中量, ローム粒・炭化粒・白色粘土少量, 黄土微量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
 2. 暗褐色土 A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒・白色粘土少量, 黄土微量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
 3. 黒褐色土 ローム粒中量, A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
 4. 暗褐色土 A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒・炭化粒・白色粘土少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。



- D-73号土坑層説明**
1. 暗褐色土 A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒・炭化粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
 2. 暗褐色土 ロームブロック φ0.5 ~ 1.0 cm・ローム粒中量, A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
 3. 黒褐色土 ローム粒中量, ロームブロック φ0.5 cm少量, A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm微量含む, しまりあり, 粘性ややあり。



- D-71号土坑層説明**
1. 暗褐色土 A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm・ロームブロック φ0.5 ~ 1.0 cm・ローム粒少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
 2. 暗褐色土 ロームブロック φ0.5 cm・ローム粒中量, A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
 3. 黒褐色土 ローム粒中量, A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm・ロームブロック φ0.5 cm少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。
 4. 暗褐色土 ロームブロック φ0.5 cm・ローム粒中量, A s-C φ0.2 ~ 0.5 cm少量含む, しまりあり, 粘性ややあり。

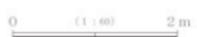
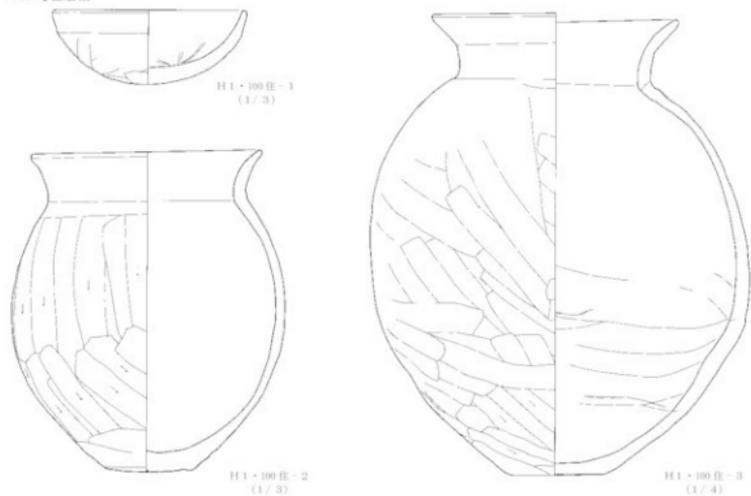
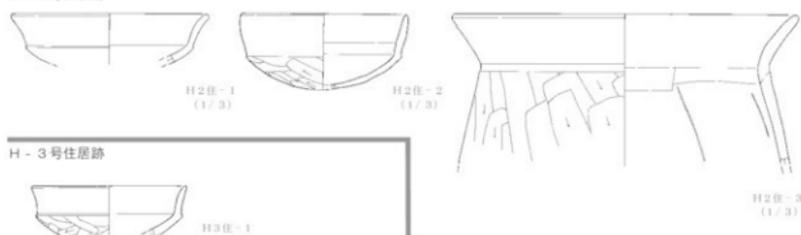


Fig. 60 遺構実測図 (54)

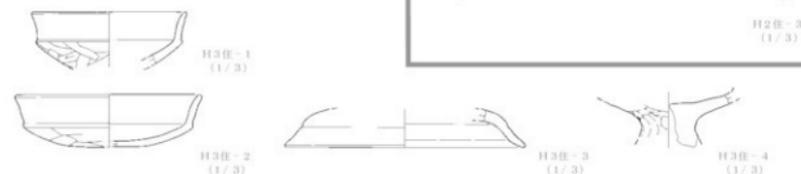
H - 1・100号住居跡



H - 2号住居跡



H - 3号住居跡



H - 4号住居跡

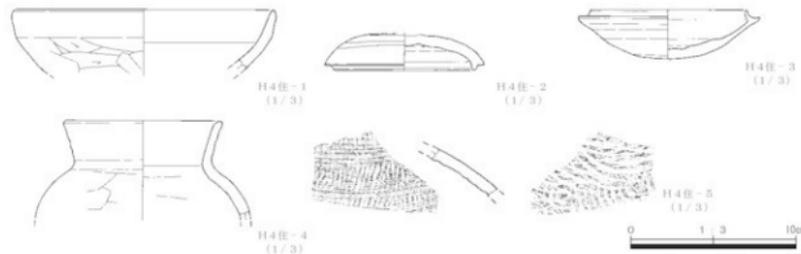
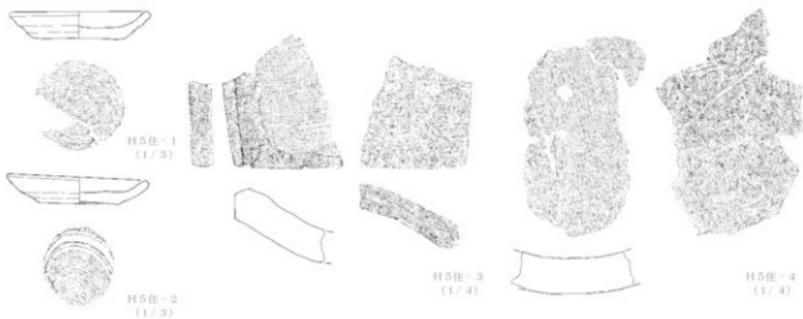
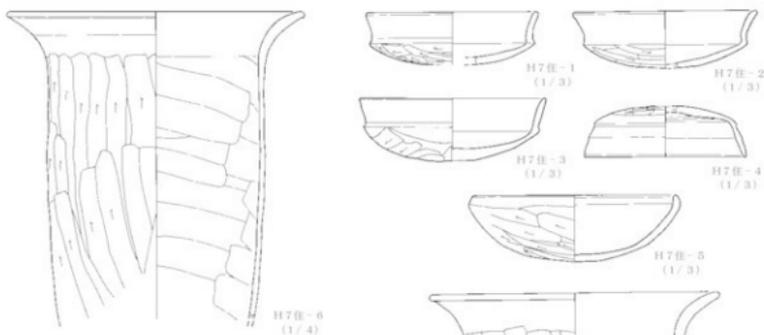


Fig.61 遺物実測図(1)

H - 5号住居跡



H - 7号住居跡



H - 8号住居跡



H - 9号住居跡

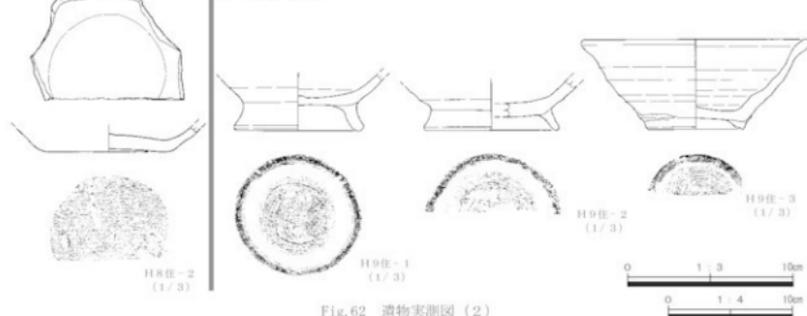


Fig.62 遺物実測図(2)

H-9号住居跡

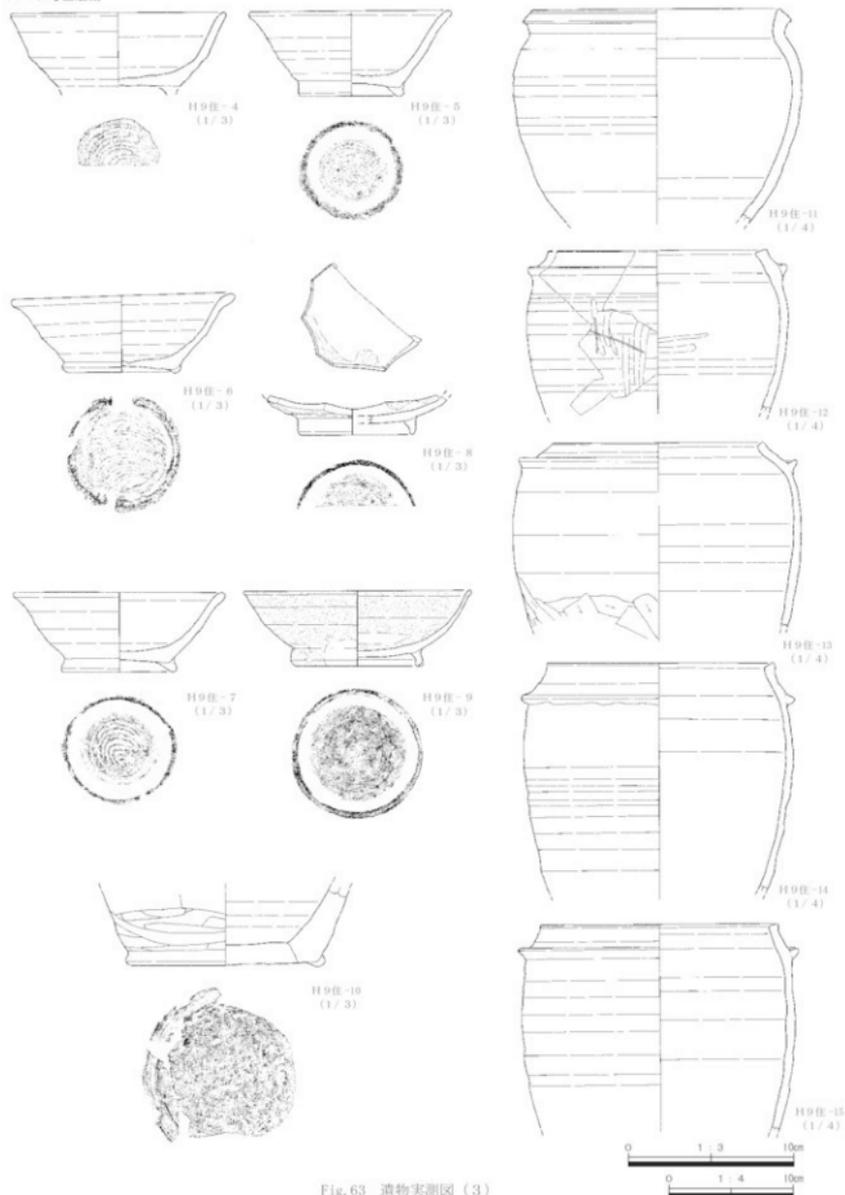
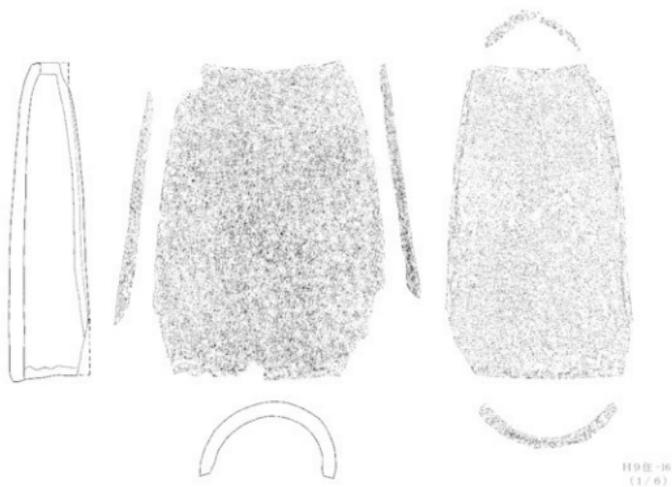


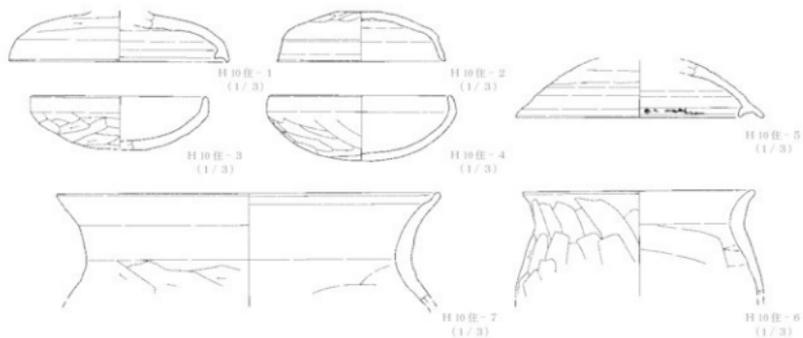
Fig. 63 遺物実測図 (3)

H - 9号住居跡



H9住-16
(1/6)

H - 10号住居跡

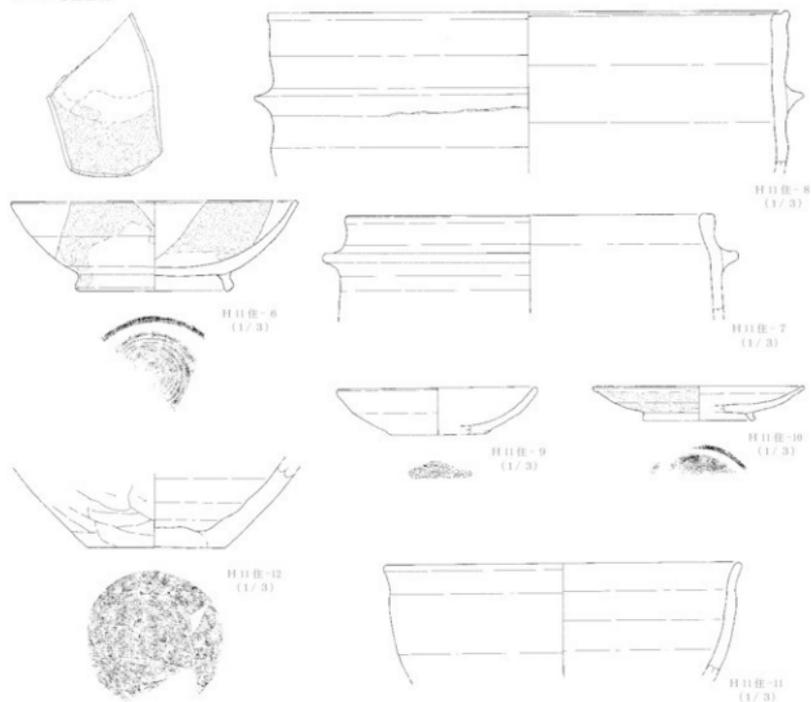


H - 11号住居跡



Fig. 64 遺物実測図 (4)

H-11号住居跡



H-12号住居跡

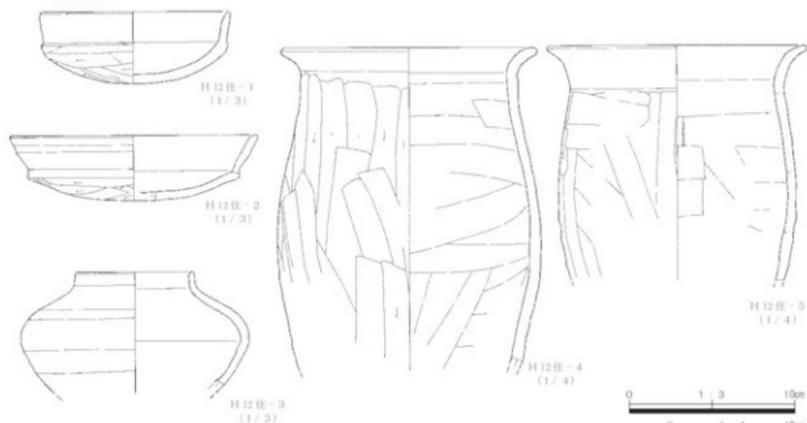
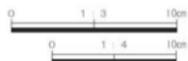


Fig. 65 遺物実測図(5)



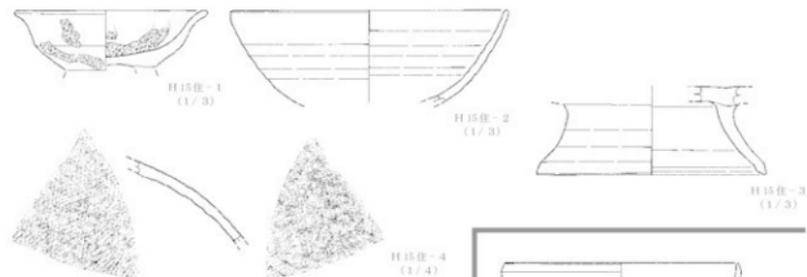
H - 13号住居跡



H - 14号住居跡



H - 15号住居跡



H - 16号住居跡



H - 17号住居跡

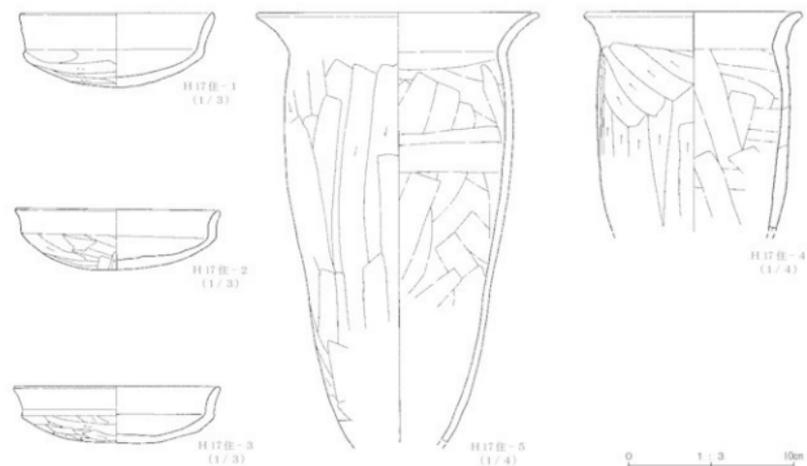
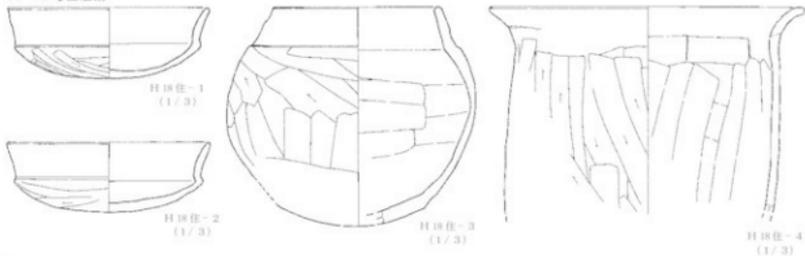
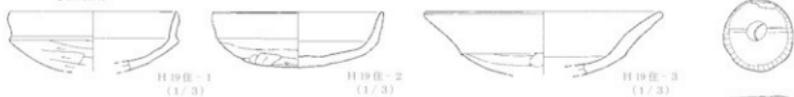


Fig. 66 遺物実測図 (6)

H-18号住居跡



H-19号住居跡



H-20号住居跡

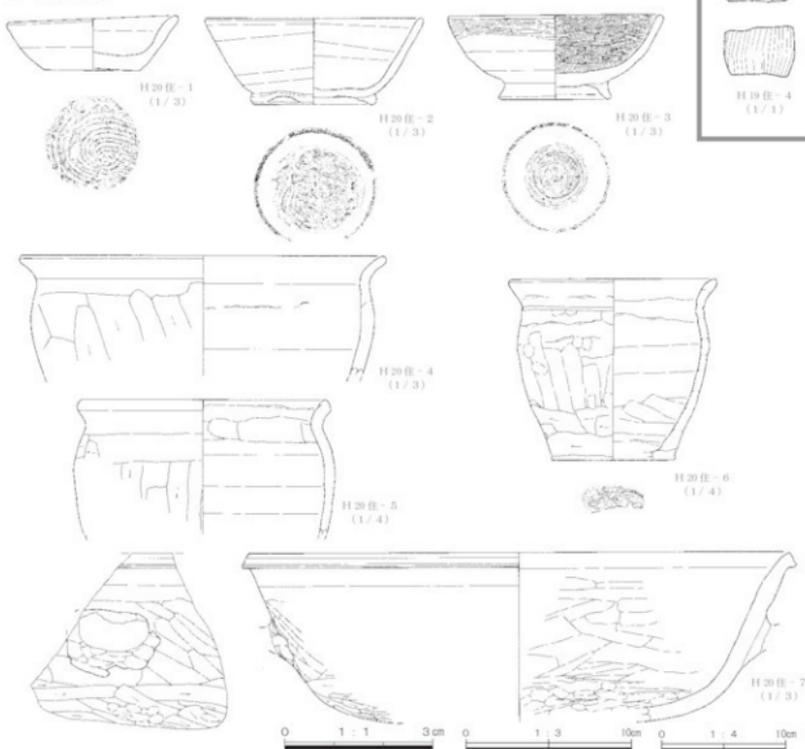
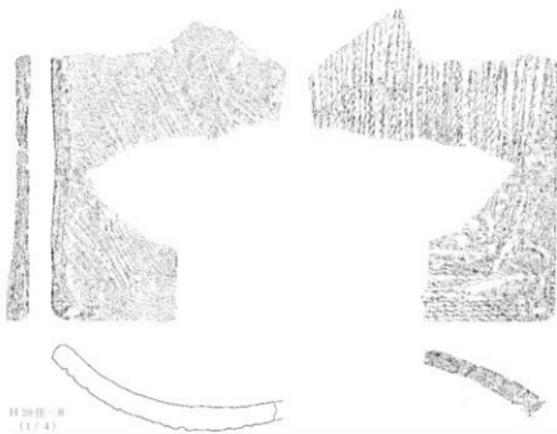
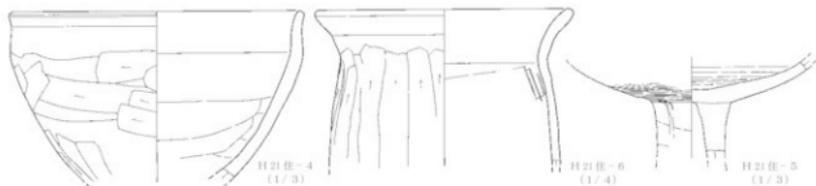
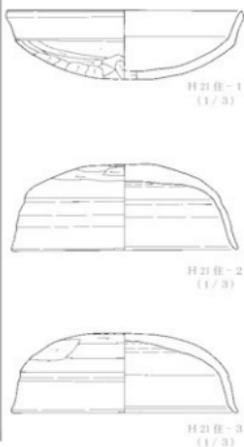


Fig. 67 遺物実測図 (7)

H - 20 号住居跡



H - 21 号住居跡



H - 22 号住居跡

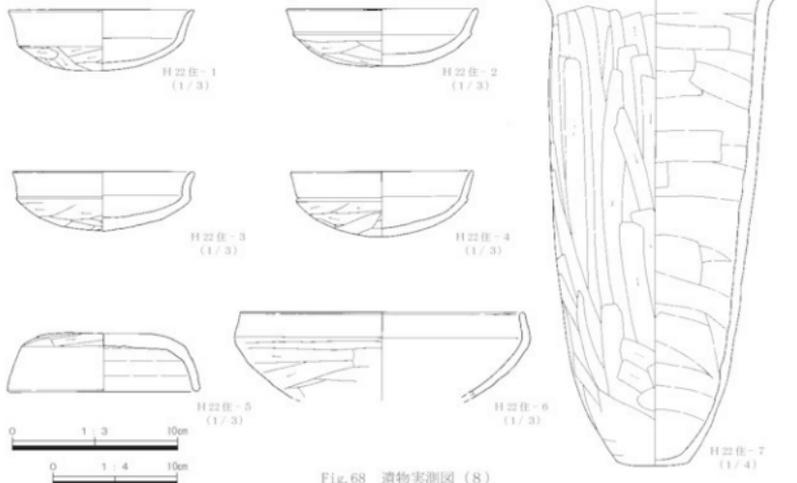
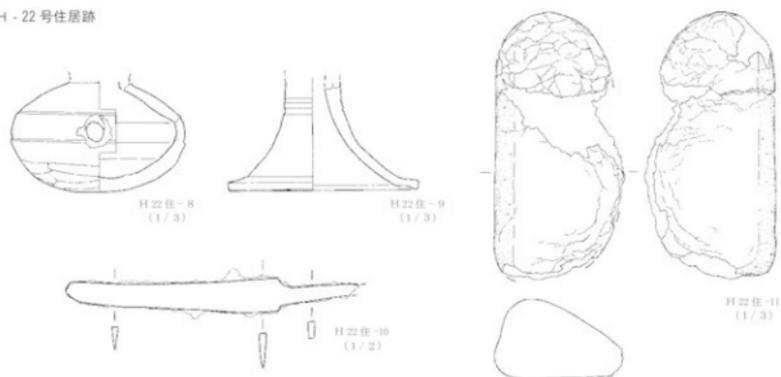
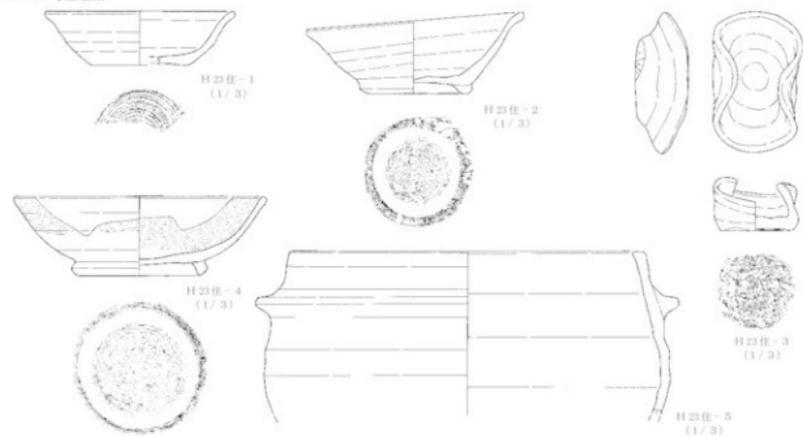


Fig. 68 遺物実測図 (8)

H-22号住居跡



H-23号住居跡



H-24号住居跡

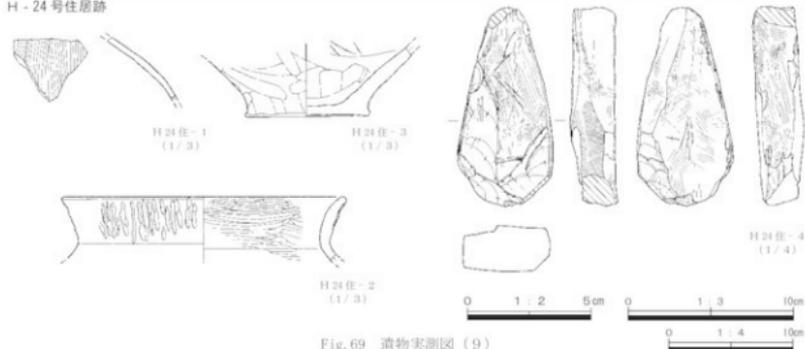
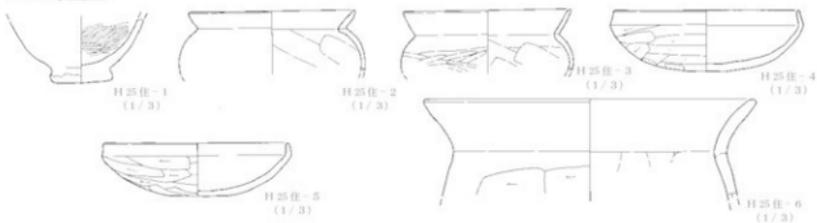
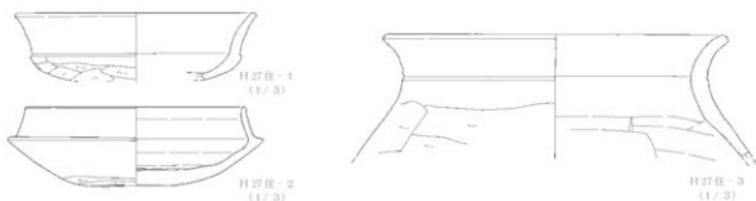


Fig. 69 遺物実測図(9)

H - 25 号住居跡



H - 27 号住居跡



H - 28 号住居跡

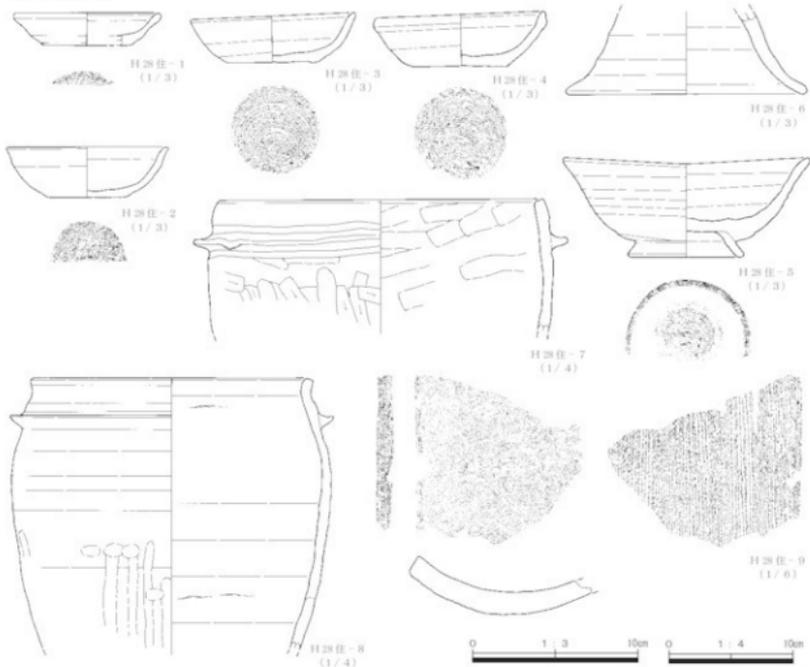
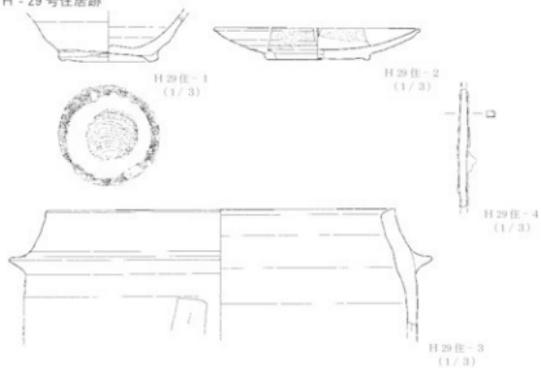


Fig. 70 遺物実測図 (10)

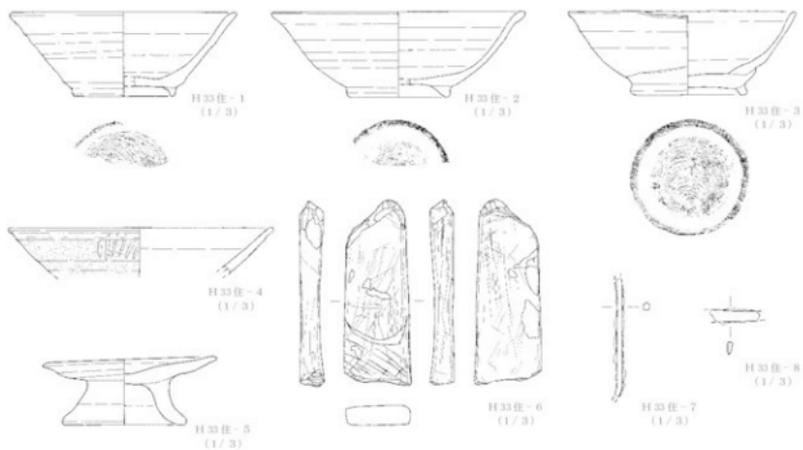
H - 29 号住居跡



H - 30 号住居跡



H - 33 号住居跡



H - 66 号住居跡

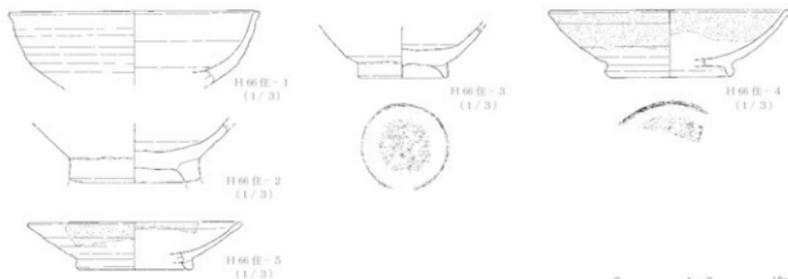
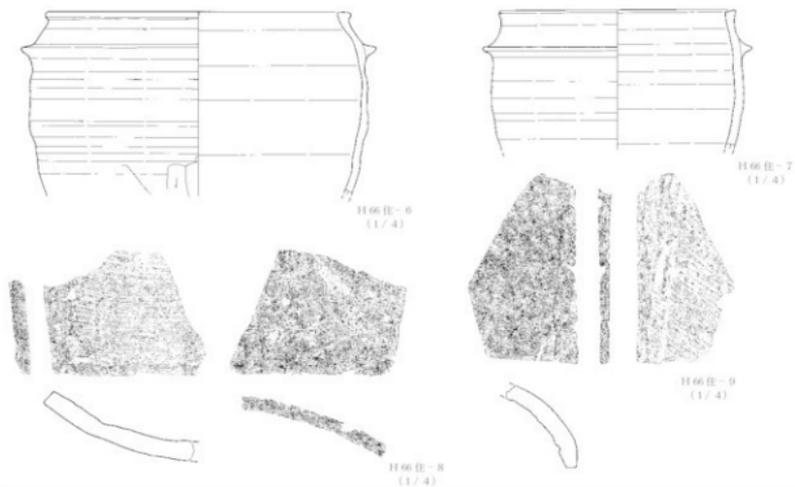


Fig. 71 遺物実測図 (11)



H - 66 号住居跡



H - 68 号住居跡

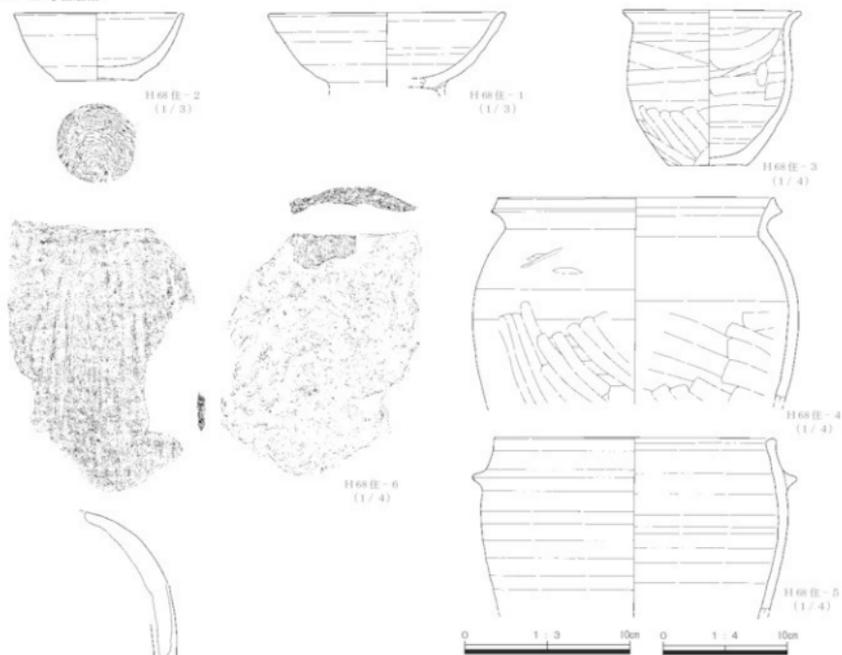
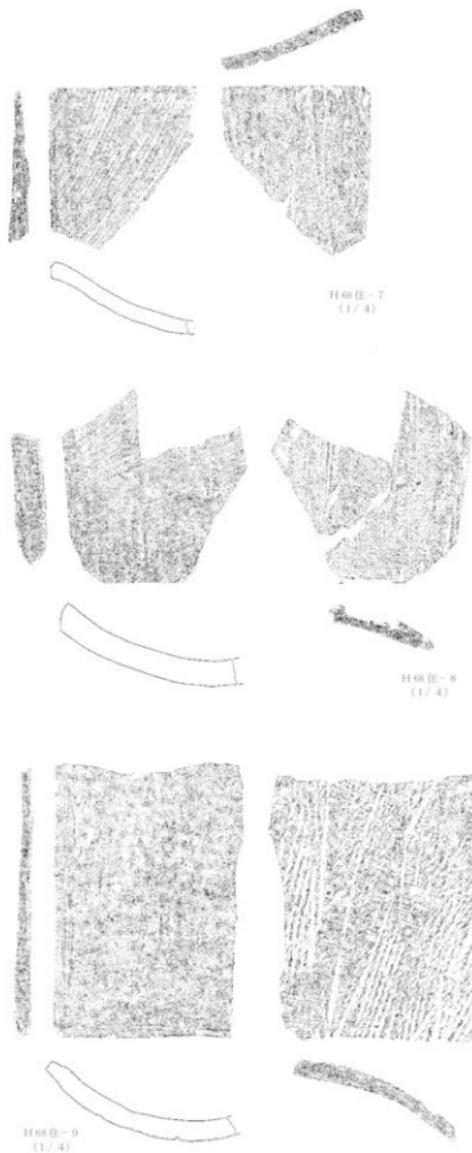


Fig. 72. 遺物実測図 (12)

H - 68 号住居跡



H - 71 号住居跡

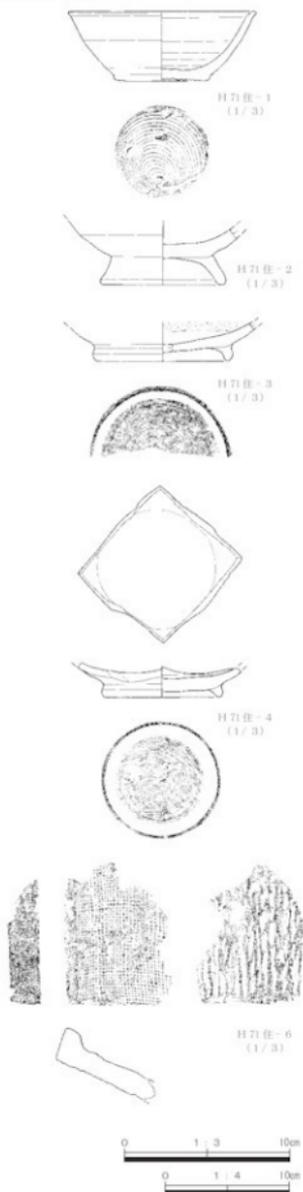
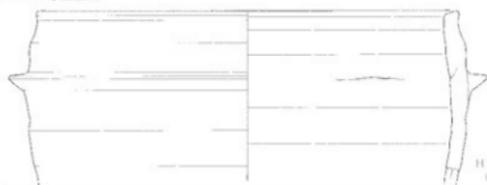


Fig. 73 遺物実測図 (13)

H - 71号住居跡



H71住-5
(1/3)



H - 75号住居跡



H75住-1
(1/3)

H75住-2
(1/3)

H - 76号住居跡



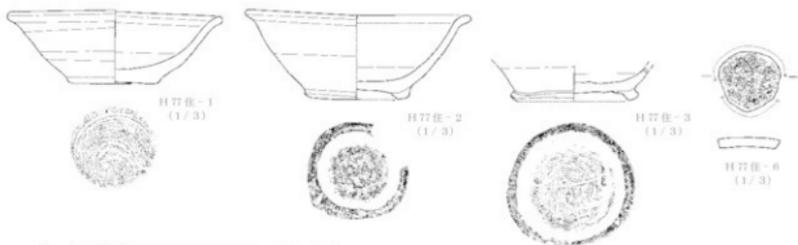
H76住-1
(1/3)

H76住-2
(1/3)



H71住-7
(1/3)

H - 77号住居跡

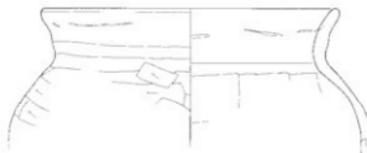


H77住-1
(1/3)

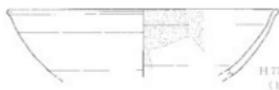
H77住-2
(1/3)

H77住-3
(1/3)

H77住-6
(1/3)

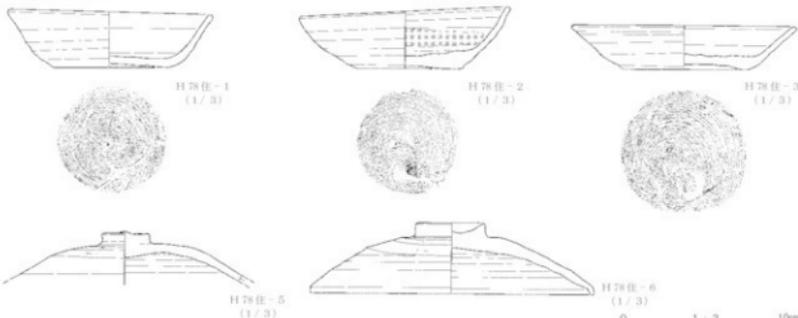


H77住-5
(1/3)



H77住-4
(1/3)

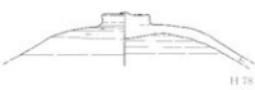
H - 78号住居跡



H78住-1
(1/3)

H78住-2
(1/3)

H78住-3
(1/3)



H78住-5
(1/3)

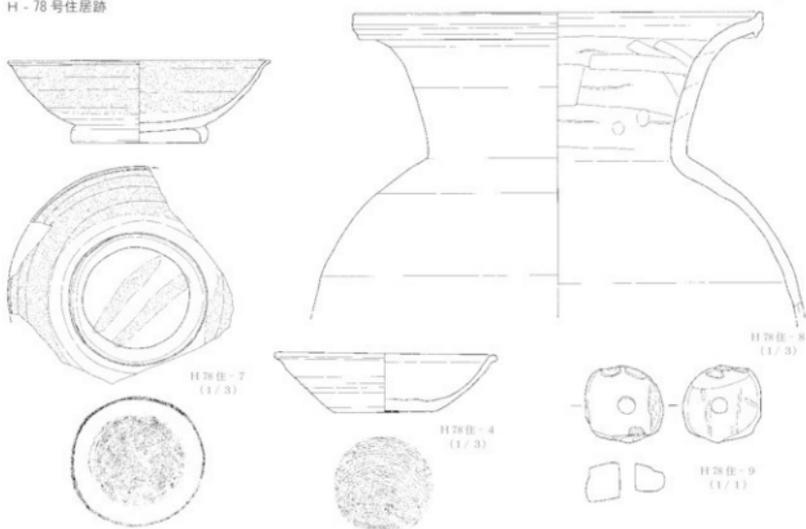


H78住-6
(1/3)

Fig. 74 遺物実測図 (14)



H - 78 号住居跡



H - 86 号住居跡

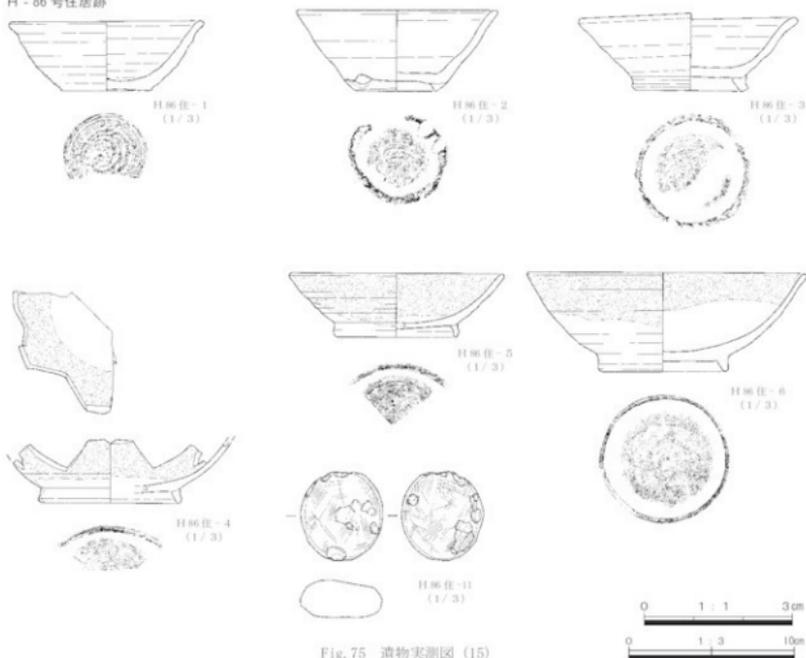
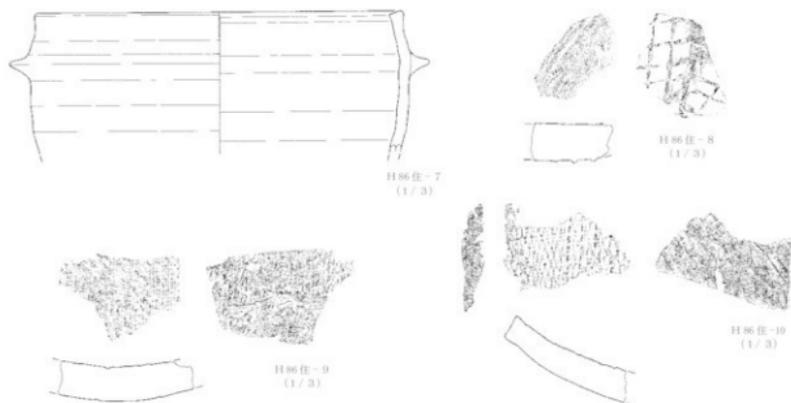


Fig. 75 遺物実測図 (15)

H-86号住居跡



H-88号住居跡

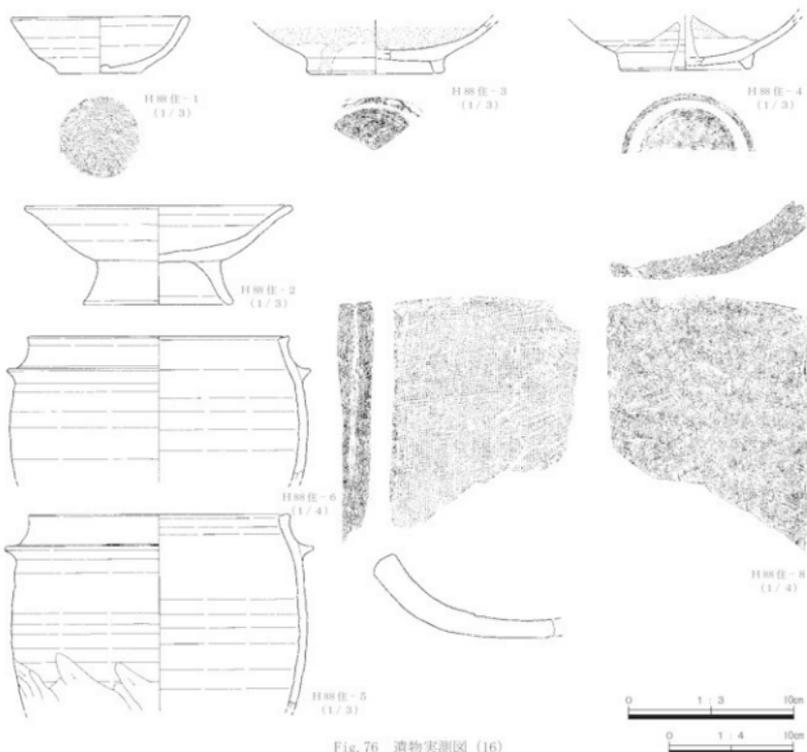
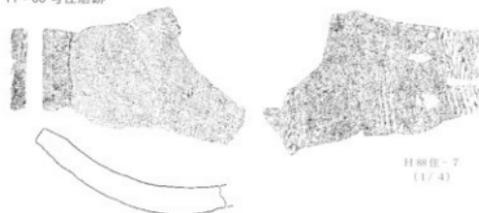
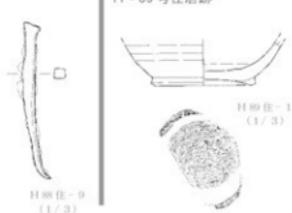


Fig. 76 遺物実測図 (16)

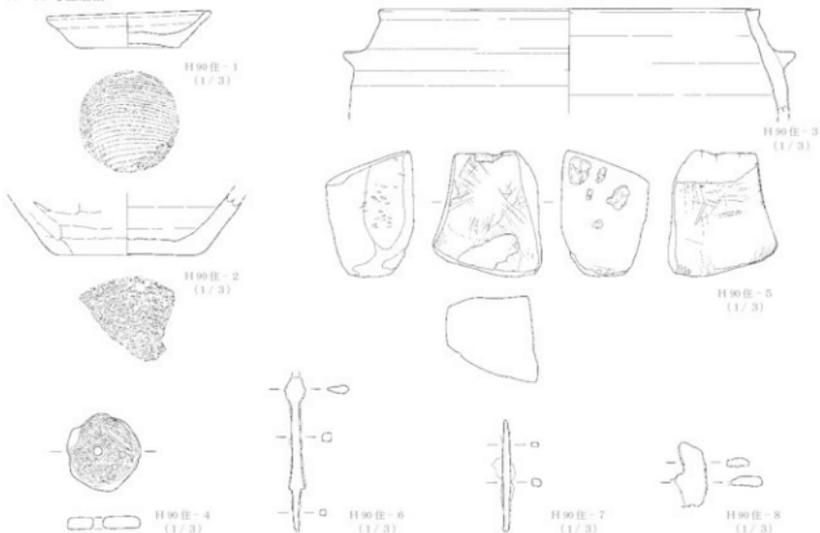
H - 88 号住居跡



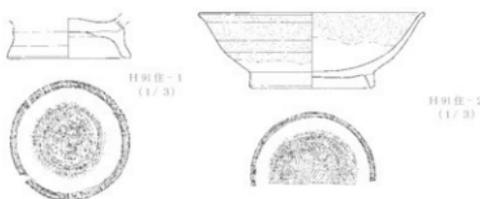
H - 89 号住居跡



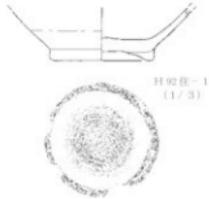
H - 90 号住居跡



H - 91 号住居跡



H - 92 号住居跡



H - 93 号住居跡

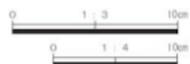
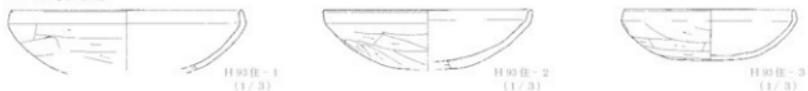
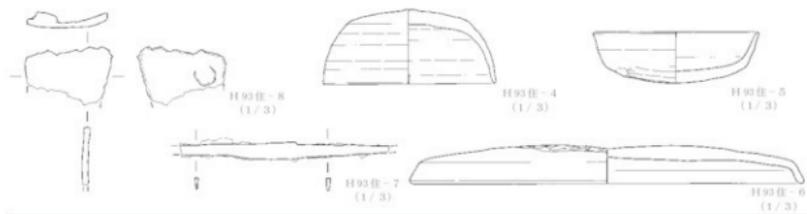


Fig. 77 遺物実測図 (17)

H - 93 号住居跡



H - 94 号住居跡

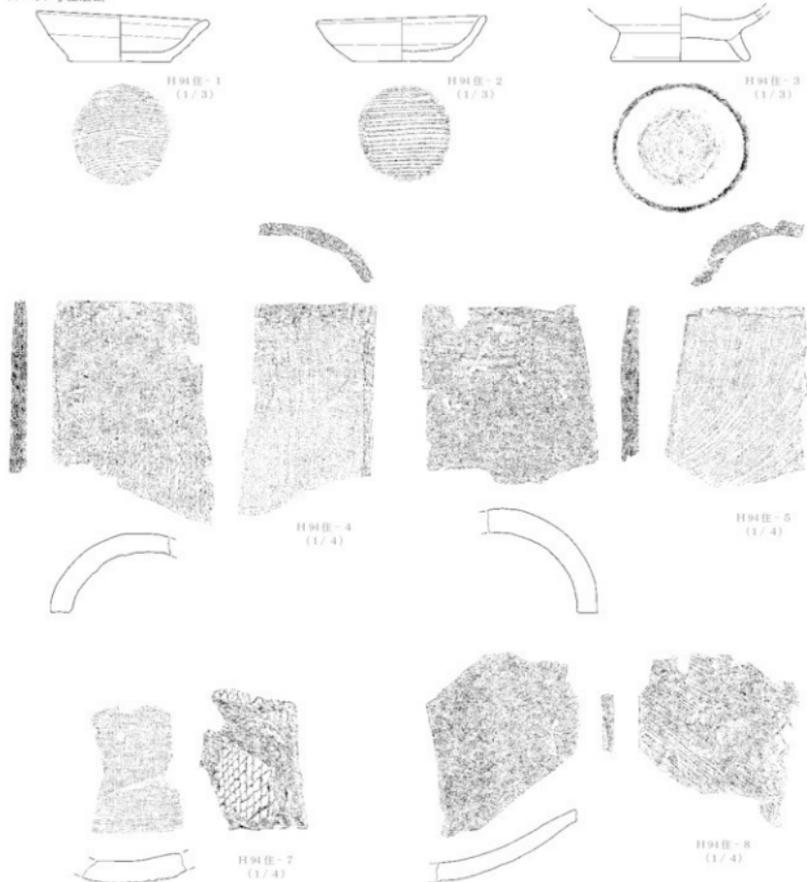
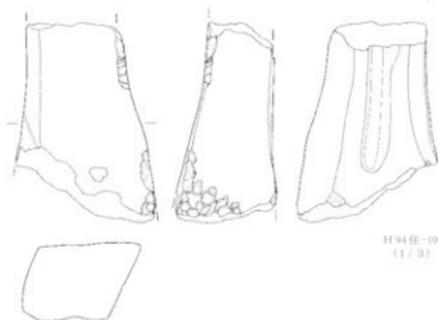


Fig. 78 遺物実測図 (18)

H - 94 号住居跡



H - 95 号住居跡

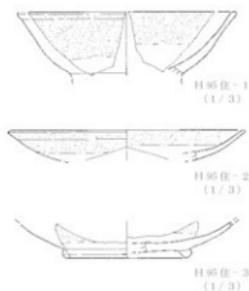
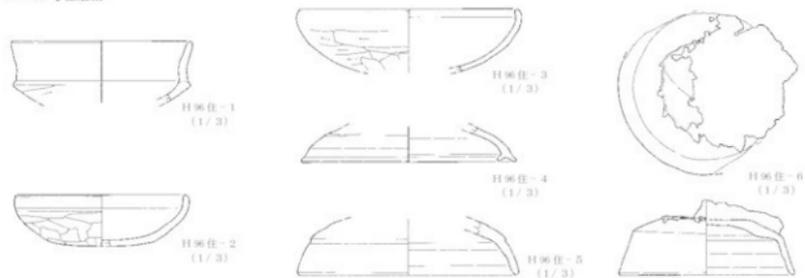
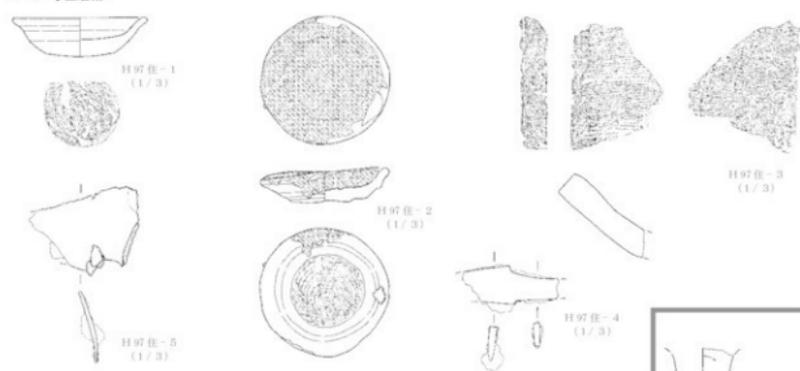


Fig. 79 遺物実測図 (19)

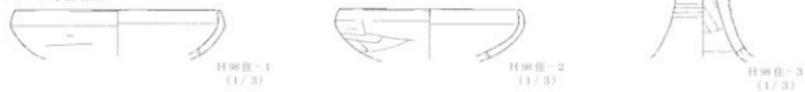
H - 96 号住居跡



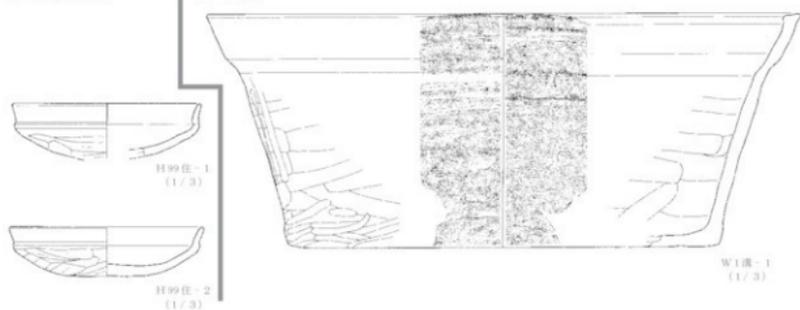
H - 97 号住居跡



H - 98 号住居跡



H - 99 号住居跡



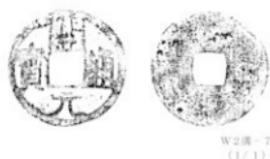
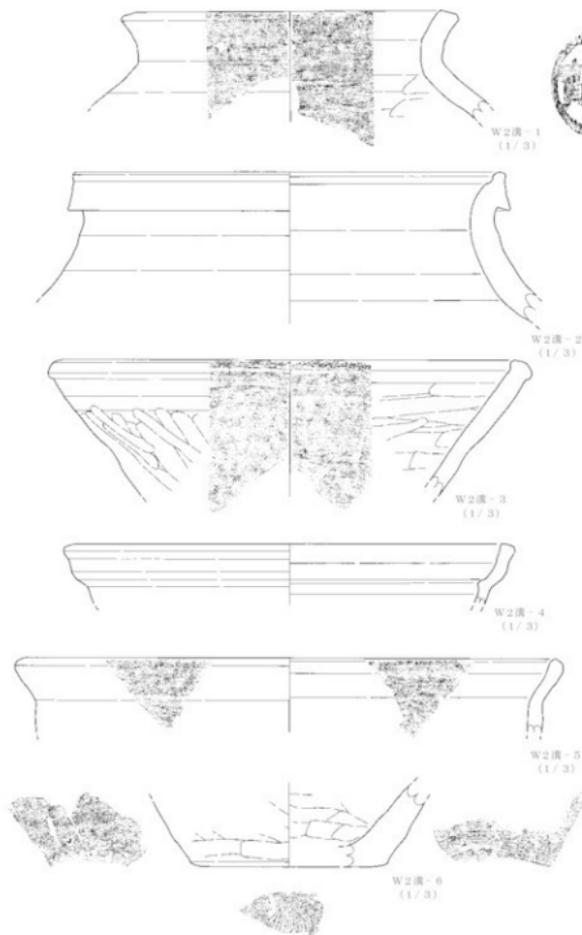
W - 1号溝



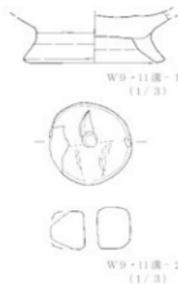
Fig. 80 遺物実測図 (20)



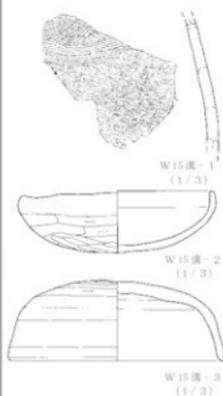
W - 2号溝



W - 9・11号溝



W - 15号溝



W - 3号溝

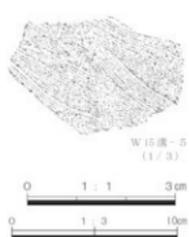
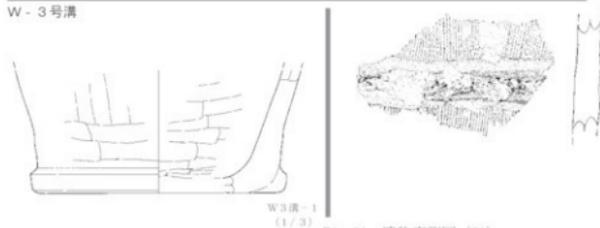


Fig.81 遺物実測図 (21)

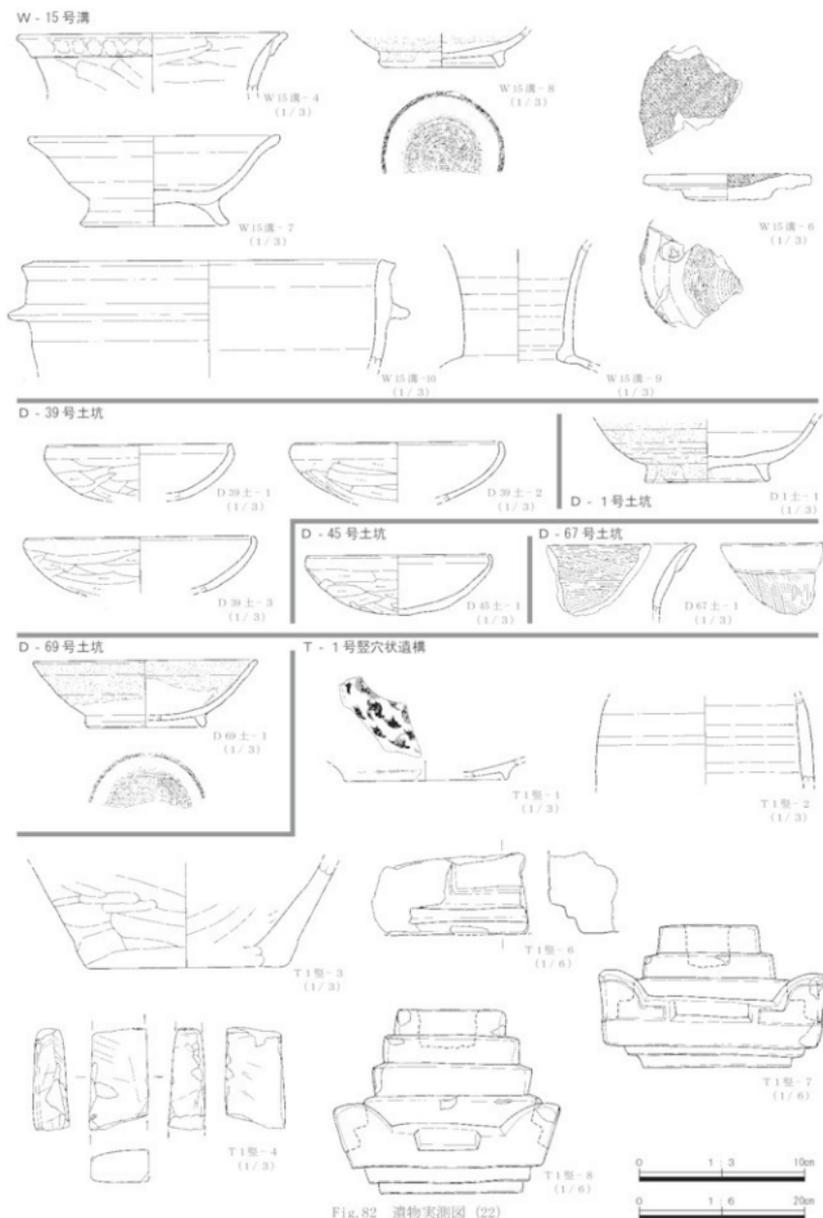


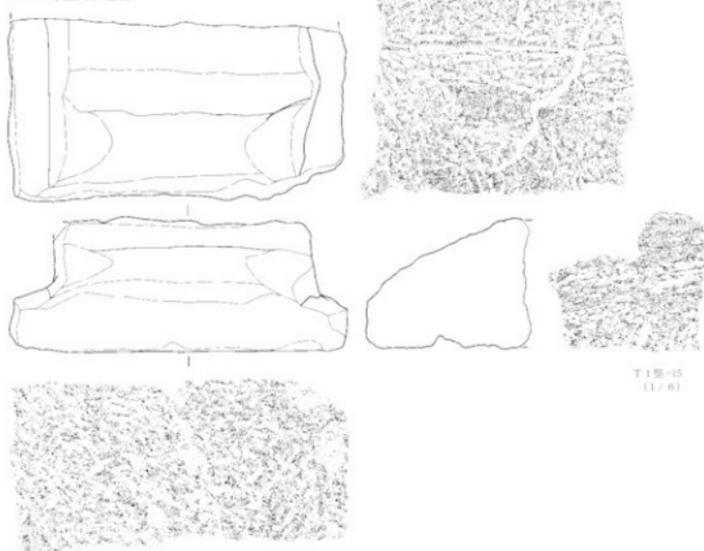
Fig.82 遺物実測図 (22)

T-1号竖穴状遗構

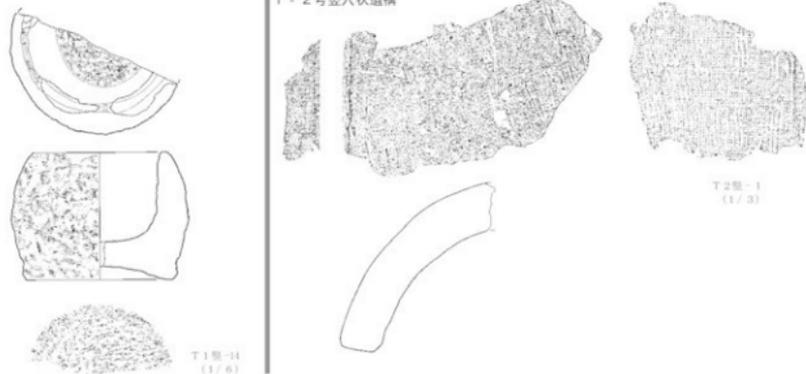


Fig. 83 遺物実測図 (23)

T - 1号竖穴状遗構



T - 2号竖穴状遺構



遺構外出土遺物

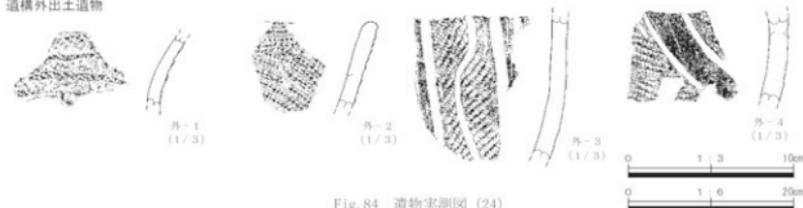


Fig. 84 遺物実測図 (24)

這模外出土遺物

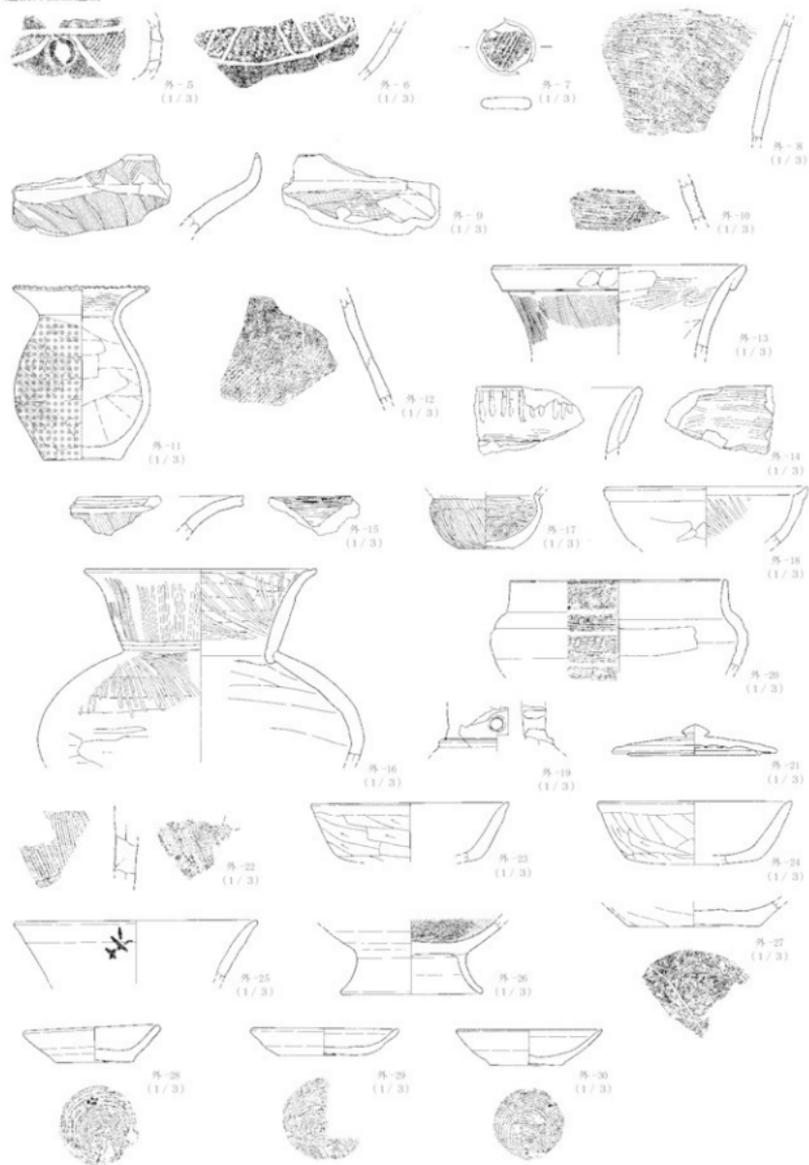


Fig. 85 遺物実測図 (25)

這構外出土遺物

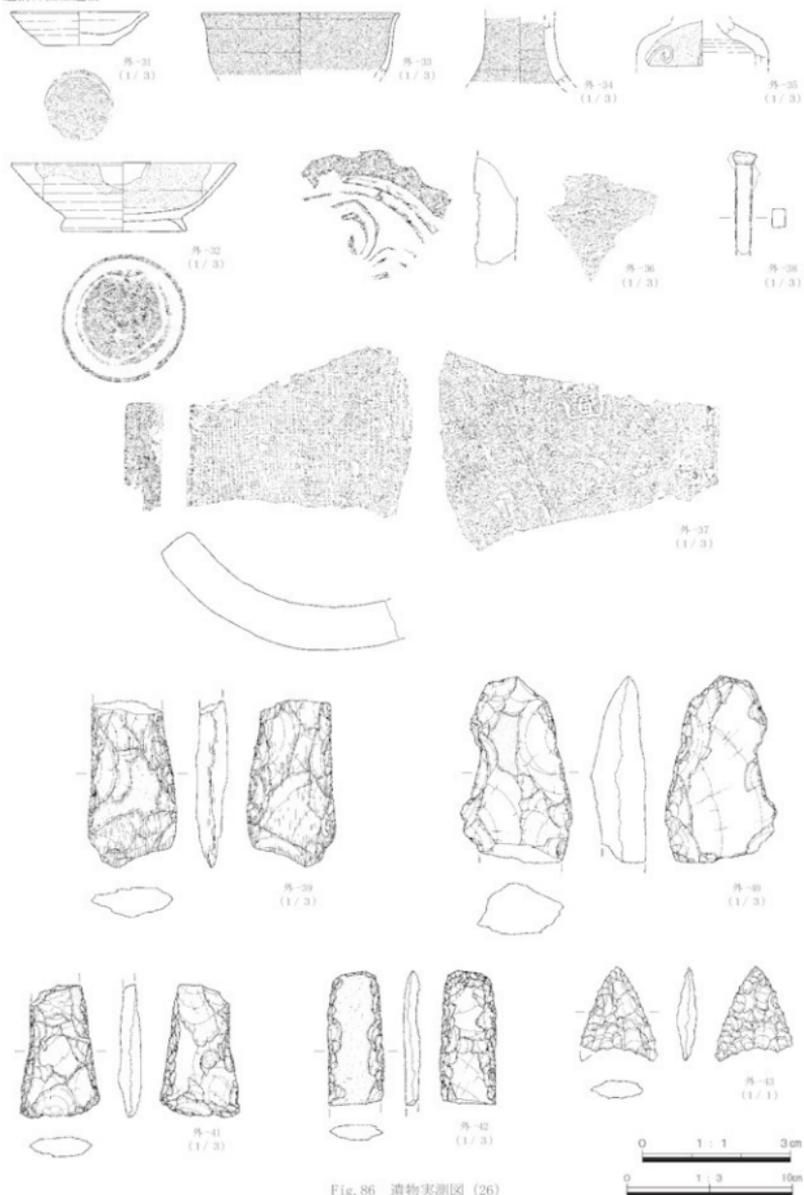


Fig. 86 遺物実測図 (26)

這模外出土遺物

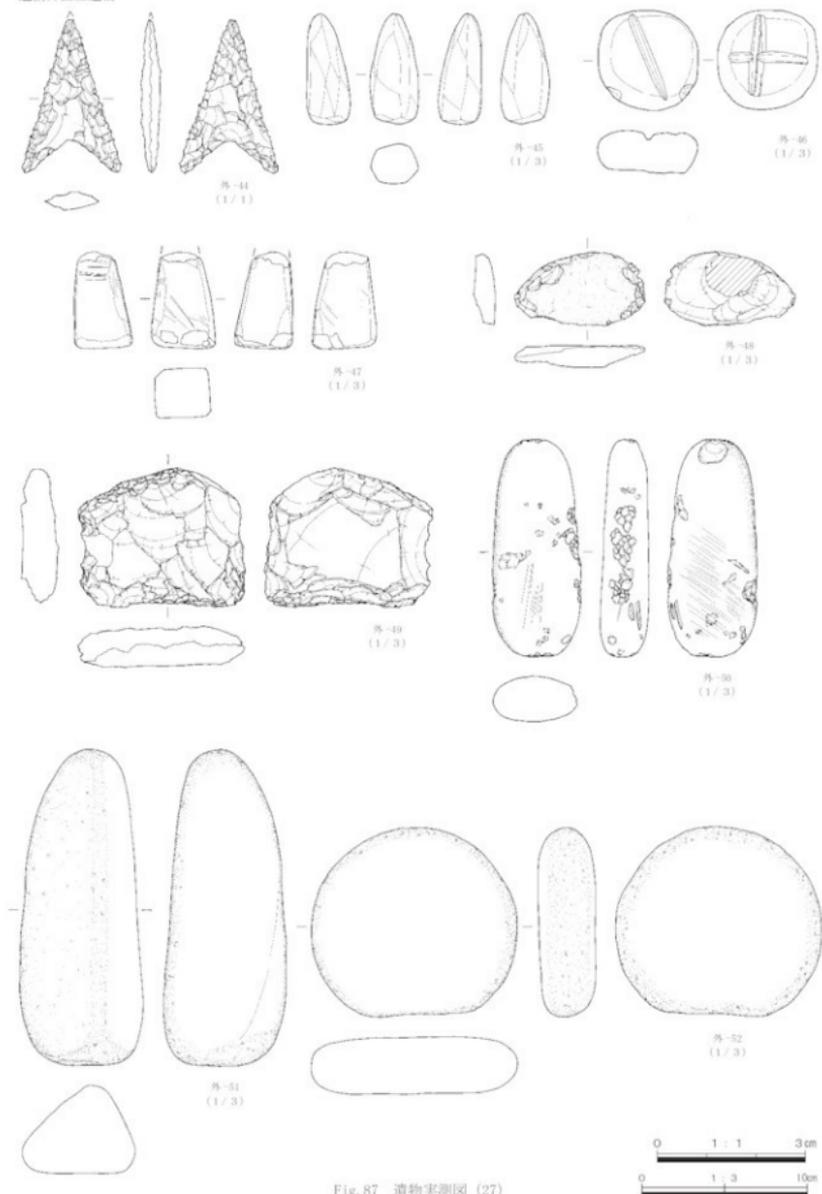


Fig. 87 遺物実測図 (27)

Tab. 6 出土遺物観察表(1)

H-1・100号住居跡

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器 杯	口径 (11.9) 器高 4.5	①酸化層 ②にぶい黄橙 ③白色粒・赤色粒 ④口縁～底部1/2	外面：口縁部横ナゲ。体～底部露ケズリ。 内面：露ナゲ。	
2	土師器 甕	口径 14.1 底径 5.3 器高 19.6	①酸化層 ②浅黄 ③白色粒・角閃石 ④ほぼ完形	外面：口縁部横ナゲ。肩部露ナゲ。体部露ケズリ。体部下位～底部露ケズリ。 内面：口縁部横ナゲ。体～底部露ナゲ。	
3	土師器 甕	口径 (20.0) 底径 7.6 器高 37.6	①酸化層 ②浅黄橙 ③砂礫・白色粒・角閃石 ④口縁～底部3/4	外面：口縁部横ナゲ。口縁～頸部露ナゲ。体部上位露ケズリ後露ナゲ。体部下位～底部露ケズリ。 内面：口縁部横ナゲ。頸～底部露ナゲ。	

H-2号住居跡

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器 杯	口径 (12.0)	①酸化層 ②橙 ③白色粒・ 黒色粒 ④口縁～体部1/4	外面：口縁部横ナゲ。体部露ケズリ。 内面：口縁～体部横ナゲ。	
2	土師器 杯	口径 (10.2) 器高 (4.6)	①酸化層 ②橙 ③赤褐色粒・黒色粒・石英 ④口縁～底部1/4	外面：口縁部横ナゲ。体～底部露ケズリ。 内面：口縁～体部横ナゲ。底部ナゲ。	
3	土師器 甕	口径 (21.0)	①酸化層 ②にぶい橙 ③白色粒・黒色粒・チャート ④口縁～体部上位1/5	外面：口縁部横ナゲ。頸部露ナゲ。体部斜縦位露ケズリ。 内面：口縁部横ナゲ。頸～体部露ナゲ。	

H-3号住居跡

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器 杯	口径 (9.4)	①酸化層 ②橙 ③白色粒・ 黒色粒 ④口縁～体部1/4	外面：口縁部横ナゲ。体部露ケズリ。 内面：口縁～体部横ナゲ。	
2	土師器 杯	口径 (11.4) 器高 (3.2)	①酸化層 ②にぶい橙 ③黒色粒 ④口縁～底部1/8	外面：口縁部横ナゲ。体～底部露ケズリ。 内面：口縁～底部露ナゲ。	
3	須恵器 蓋	口径 (14.6)	①還元層 ②灰 ③白色粒 ④体～口縁部片	外面：輪轆成形。天井部回転露ケズリ。 内面：輪轆整形。	
4	土師器 高杯	—	①酸化層 ②橙 ③細砂粒・チャート ④体部下位～脚部上位1/2	外面：体部露ケズリ。脚部露ナゲ。 内面：体部露ナゲ。	

H-4号住居跡

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器 杯	口径 (16.0)	①酸化層 ②にぶい黄橙 ③赤褐色粒・黒色粒 ④口縁～体部1/8	外面：口縁部横ナゲ。体部露ケズリ。 内面：口縁～体部露ナゲ。	
2	須恵器 蓋	口径 8.5	①還元層 ②灰 ③白色粒・黒色粒 ④ほぼ完形。掴み欠損	外面：輪轆成形。天井部回転露ケズリ。 内面：輪轆整形。	
3	須恵器 杯	口径 9.4 器高 3.0	①還元層 ②暗青灰 ③白色粒 ④ほぼ完形	外面：輪轆成形。 内面：輪轆整形。	
4	土師器 甕	口径 (9.6)	①酸化層 ②暗灰黄 ③白色粒・石英・チャート ④口縁～体部上位片	外面：口縁部横ナゲ。体部露ナゲ。 内面：口縁部横ナゲ。体部横位露ナゲ。	
5	須恵器 甕	—	①還元層 ②灰 ③白色粒 ④脚部片	外面：平行叩き後刷毛目。 内面：青海波文の当て具痕。	

H-5号住居跡

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器 杯	口径 (8.2) 底径 5.5 器高 1.7	①還元層 ②にぶい橙 ③細砂粒・白色粒・黒色鉱物 ④口縁～底部2/3	外面：輪轆成形。底部回転露ケズリ。 内面：輪轆整形。	
2	須恵器 杯	口径 8.3 底径 4.8 器高 1.4	①還元層 ②にぶい赤橙 ③赤褐色粒・黒色粒 ④完形	外面：輪轆成形。底部回転露ケズリ。 内面：輪轆整形。	
3	瓦 平瓦	厚さ 2.7	①還元層 ②灰黄 ③白色粒・透明粒・チャート ④狭端部左側	外面：布目圧痕。端部面取り。 凸面：斜位露ナゲ。側端部のみ横位露ナゲ。 側面：露ナゲ。狭端部：露ナゲ。	
4	瓦 平瓦	厚さ 2.9	①やや還元層気味 ②黄灰 ③粗砂粒・白色粒・赤褐色粒・ 石英・チャート ④中央部片	外面：布目圧痕。 凸面：縦位露ナゲ。	

Tab. 7 出土物観察表(2)

H-7号住居跡

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器 杯	口径 (10.5) 器高 (3.2)	①酸化焙 ②橙 ③白色粒 ④口縁～底部1/3	外面：口縁部横ナデ。体～底部箇ケズリ。 内面：口縁～底部横ナデ。	
2	土師器 杯	口径 (11.2) 器高 (3.2)	①酸化焙 ②橙 ③白色粒・黒色粒・チャート ④口縁～底部1/2	外面：口縁部横ナデ。体～底部箇ケズリ。 内面：口縁～底部横ナデ。底部ナデ。	
3	土師器 杯	口径 11.4 器高 3.8	①酸化焙 ②橙 ③赤色粒・ 黒色粒・チャート ④完形	外面：口縁部横ナデ。体～底部箇ケズリ。 内面：口縁～底部横ナデ。底部ナデ。	
4	須恵器 蓋	口径 (9.8) 器高 (3.1)	①還元焙 ②灰白 ③白色粒・ 黒色粒 ④口縁～天井部1/3	外面：輪軸整形。天井部箇ケズリ。 内面：輪軸整形。	
5	土師器 杯	口径 (12.4) 器高 4.1	①酸化焙 ②橙 ③白色粒・ 角閃石 ④口縁～底部1/3	外面：口縁部横ナデ。体～底部箇ケズリ。 内面：箇ナデ。	
6	土師器 甕	口径 (24.2)	①酸化焙 ②にぶい・黄褐 ③白色粒・黒色粒 ④口縁～体部1/4	外面：口縁部横ナデ。体部縦位箇ケズリ。体部中位～下位には粘土の付着顕著。 内面：口縁部横ナデ。体部横位箇ナデ。	
7	土師器 甕	口径 23.1	①酸化焙 ②赤褐 ③粗砂粒・白色粒・角閃石 ④口縁～体部上位2/3	外面：口縁部横ナデ。体部縦位箇ケズリ。粘土の付着顕著。 内面：口縁部横ナデ。体部箇ナデ。口縁部に粘土の付着顕著。	

H-8号住居跡

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器 土師	口径 (20.0)	①酸化焙 ②橙 ③黒色粒・ 透明粒 ④口縁～体部1/8	外面：口縁部箇ナデ。体部箇ケズリ。 内面：口縁～体部上位横ナデ。体部下位箇ナデ。	
2	須恵器 杯	口径 7.9	①還元焙 ②灰白 ③白色粒・ 黒色粒 ④体部下位～底部1/2	外面：輪軸整形。底部右回転糸切り。 内面：輪軸整形。	体部破状に割れる。

H-9号住居跡①

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器 甕	口径 7.4	①還元焙 ②にぶい・橙 ③白色粒・チャート ④底部	外面：輪軸整形。底部右回転糸切り。高台貼付。 内面：輪軸整形。	
2	須恵器 甕	口径 (8.0)	①酸化焙 ②橙 ③細砂粒・白色粒・チャート ④底部1/2	外面：輪軸整形。高台貼付。底面風化顕著。 内面：輪軸整形。	
3	須恵器 甕	口径 (13.6) 口径 (5.6) 器高 5.4	①やや酸化焙気味 ②灰褐 ③白色粒・チャート ④口縁～底部1/3	外面：輪軸整形。底面回転糸切り後ナデ。高台貼付。 内面：輪軸整形。	二次焼成痕が認められる。
4	須恵器 甕	口径 (12.8) 口径 (7.4)	①還元焙 ②浅黄 ③細砂粒・チャート ④口縁～底部2/3。高台剥落	外面：輪軸整形。底面回転糸切り。高台貼付。 内面：輪軸整形。	
5	須恵器 甕	口径 (12.2) 口径 6.2 器高 5.1	①還元焙 ②灰黄 ③粗砂粒・白色粒・チャート ④口縁～底部1/3	外面：輪軸整形。底面右回転糸切り。高台貼付。 内面：輪軸整形。	
6	須恵器 甕	口径 13.4 口径 6.5 器高 4.8	①やや還元焙気味 ②黄褐 ③白色粒・チャート ④完形	外面：輪軸整形。底部右回転糸切り。高台貼付。 内面：輪軸整形。	
7	須恵器 甕	口径 12.5 口径 6.6 器高 4.8	①還元焙 ②灰黄 ③細砂粒・ チャート ④口縁部一部欠	外面：輪軸整形。底部回転糸切り後ナデ。高台貼付。 内面：輪軸整形。	内外面口縁端部に曲線部。灯明蓋。
8	灰陶器 甕	口径 (7.2)	①型織 ②灰白 ③白色粒 ④体部下位～底部1/2	外面：輪軸整形。底部回転ナデ。高台貼付。 内面：輪軸整形。	袖漬掛け。体部破状に打欠く。
9	灰陶器 甕	口径 13.6 口径 7.3 器高 4.5	①型織 ②黄褐色 ③白色粒 ④口縁～体部一部欠	外面：輪軸整形。底面回転ナデ。高台貼付。 内面：輪軸整形。	袖漬掛け。
10	須恵器 土釜	口径 (11.0)	①還元焙 ②黄灰 ③粗砂粒・ 白色粒 ④体部下位～底部1/4	外面：横撫で。底面ナデ。高台貼付。 内面：輪軸整形。	二次焼成痕が認められる。
11	須恵器 甕	口径 (20.0)	①やや酸化焙気味 ②にぶい・黄褐 ③細砂粒・石英・チャート・ 片岩 ④口縁～体部下位1/3	外面：輪軸調整。 内面：横ナデ。	
12	羽釜	口径 (17.6)	①酸化焙 ②にぶい・橙 ③白色粒・黒色粒 ④口縁～体部片	外面：輪軸整形後体部縦位ナデ。縦割あり。 内面：輪軸整形後体部横位ナデ	
13	羽釜	口径 (17.0)	①還元焙 ②にぶい・黄褐 ③粗砂粒・チャート ④口縁～体部3/4	外面：輪軸整形後体部下位箇ケズリ。跨貼付。体部には粘土付着。 内面：輪軸整形。	二次焼成痕が認められる。
14	羽釜	口径 18.2	①酸化焙気味 ②にぶい・黄褐 ③粗砂粒・チャート ④口縁～体部4/5	外面：輪軸整形。跨貼付。 内面：輪軸整形。	

Tab. 8 出土遺物観察表(3)

H-9号住居跡②

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
15	羽釜	口径 19.2	①還元気味 ②にぶい褐 ③粗砂粒・チャート ④口縁~体部1/5	外面: 輪轉整形。鈎貼付。 内面: 輪轉整形。	二次焼成痕が認められる。
16	瓦 丸瓦	厚さ 1.7	①還元焰 ②灰 ③細砂粒 白色粒 ④広・狭端部一部欠	凸面: 縦位・斜位踏ナデ。 凹面: 布目任意。端部面取り。 側面: 踏ナデ。 広端部: 踏ナデ。 狭端部: 縁状圧痕。	

H-10号住居跡

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器 蓋	口径 (13.1)	①還元焰 ②灰褐 ③黒色粒・ チャート ④天井~口縁部1/4	外面: 輪轉整形。天井部回転踏ナデ。つまみの痕跡が見られる。 内面: 輪轉整形。	
2	須恵器 蓋	口径 (10.2) 器高 3.0	①還元焰 ②灰 ③白色粒・ 黒色粒 ④天井~口縁部1/2	外面: 輪轉整形。天井部踏ナデ。 内面: 輪轉整形。	
3	土師器 坏	口径 (10.8) 器高 (3.2)	①還元焰 ②橙 ③白色粒・ 黒色粒 ④口縁~底部1/2	外面: 口縁部横ナデ。体~底部踏ナデ。 内面: 口縁~体部横ナデ。底部ナデ。	
4	土師器 坏	口径 11.0 器高 4.0	①還元焰 ②明赤褐 ③黒色粒・チャート ④成形	外面: 口縁部横ナデ。体~底部踏ナデ。 内面: 口縁~体部横ナデ。底部ナデ。	
5	須恵器 蓋	口径 (15.0)	①還元 ②灰 ③白色粒 ④口縁~天井部1/4	外面: 輪轉整形。天井部回転踏ナデ。 内面: 輪轉整形。返りに油痕状の付着物が見られる。	
6	土師器 甕	口径 (14.1)	①還元 ②にぶい黄褐 ③赤褐色粒・黒色粒 ④口縁~体部上位1/4	外面: 口縁部横ナデ。体部踏ナデ。 内面: 口縁部横ナデ。体部横位踏ナデ。	
7	土師器 甕	口径 (23.2)	①還元 ②橙 ③黒色粒・チャート ④口縁部~体部上位片	外面: 口縁部横ナデ。体部横位踏ナデ。 内面: 口縁部横ナデ。体部踏ナデ。	

H-11号住居跡

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器 甕	底径 4.8	①還元気味 ②灰黄褐 ③粗砂粒・白色粒 ④底部	外面: 輪轉整形。底部右回転赤切り。 内面: 輪轉整形。	
2	須恵器 甕	底径 (8.6)	①還元焰 ②灰黄褐 ③粗砂粒・白色粒 ④底部1/4	外面: 輪轉整形。高台貼付。 内面: 輪轉整形。	二次焼成痕が認められる。
3	須恵器 甕	底径 6.2	①還元気味 ②にぶい黄褐 ③粗砂粒・白色粒 ④底部	外面: 輪轉整形。底部右回転赤切り。高台貼付。 内面: 輪轉整形。	
4	須恵器 甕	口径 14.9	①還元気味 ②にぶい黄褐 ③粗砂粒・白色粒・黒色粒 ④高台端部欠	外面: 輪轉整形。高台貼付。 内面: 輪轉整形。	
5	灰釉陶器 甕	底径 (7.6)	①底層 ②灰白 ③白色粒 ④底部1/2	外面: 輪轉整形。底部回転赤切り。高台貼付。 内面: 輪轉整形。見込み部は硬に転用されており、朱色に変色。	釉漬掛け。
6	灰釉陶器 甕	口径 (17.2) 底径 (9.2) 器高 5.4	①底層 ②灰 ③白色粒 ④口縁~底部1/8	外面: 輪轉整形。底部回転ナデ。高台貼付。 内面: 輪轉整形。見込み部は磨耗する。転用破カナ。	釉漬掛け。
7	羽釜	口径 (22.0)	①還元焰 ②暗灰黄 ③白色 粒・赤褐色粒・黒色粒・チャート ④口縁~体部上位片	外面: 輪轉整形。鈎貼付。煤痕跡に付着。 内面: 輪轉整形。	
8	羽釜	口径 (31.4)	①還元気味 ②明黄褐 ③黒褐色・チャート ④口縁~体部上位片	外面: 輪轉整形。鈎貼付。 内面: 輪轉整形。	
9	須恵器 坏	口径 (12.0) 底径 (5.8) 器高 2.8	①還元焰 ②にぶい黄褐 ③粗砂粒・白色粒 ④口縁~底部1/5	外面: 輪轉整形。底部回転赤切り。底面の磨き足しがなされている。 内面: 輪轉整形。	
10	灰釉陶器 甕	口径 (12.8) 底径 (6.8) 器高 2.1	①底層 ②灰黄 ③白色粒 ④口縁~底部1/4	外面: 輪轉整形。底部回転ナデ。高台貼付。 内面: 輪轉整形。	釉漬掛け。
11	須恵器 甕	口径 (21.4)	①還元焰 ②黄灰 ③細砂粒・ 白色粒 ④口縁部片	外面: 輪轉整形。 内面: 輪轉整形。	
12	須恵器 土釜	底径 8.3	①還元焰 ②にぶい黄 ③白 色粒・チャート ④底部5/6	外面: 横位ナデ後一部横位踏割り。底面ナデ。 内面: 輪轉整形。	

H-12号住居跡①

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器 坏	口径 (11.5) 器高 4.3	①還元焰 ②橙 ③赤色粒・ 黒色粒 ④口縁~底部3/4	外面: 口縁部横ナデ。体~底部踏ナデ。 内面: 口縁~体部横ナデ。底部ナデ。	
2	土師器 坏	口径 (15.0) 器高 (3.9)	①還元焰 ②灰黄褐 ③白色粒・赤色粒・黒色粒 ④口縁~底部1/4	外面: 口縁部横ナデ。体~底部踏ナデ。 内面: 口縁~体部横ナデ。底部ナデ。	
3	須恵器 短頸甕	口径 (7.1)	①還元焰 ②灰 ③白色粒・ チャート ④口縁~体部1/6	外面: 輪轉整形。体部中位回転踏ナデ。体部下位回転踏ナデ。 内面: 輪轉整形。	

Tab. 9 出土遺物観察表(4)

H-12号住居跡②

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
4	土師器 甕	口径 (20.7)	①酸化焙 ②にぶい黄橙 ③白色粒・黒色粒 ④口縁～体部下位1/2	外面：口縁部横ナデ。体部縦位置ケズリ。粘土の付着が見られる。 内面：口縁部横ナデ。体部筋ナデ。粘土の付着が見られる。	
5	土師器 甕	口径 (21.1)	①酸化焙 ②にぶい黄橙 ③赤色粒・黒色粒 ④口縁～体部1/2	外面：口縁部横ナデ。体部筋ケズリ。粘土の付着が見られる。 内面：口縁部横ナデ。体部筋ナデ。粘土の付着が見られる。	

H-13号住居跡

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器 坏	口径 8.5 底径 4.5 器高 2.7	①酸化焙 ②にぶい黄橙 ③細砂粒・黒色粒 ④完形	外面：轆轤整形。底部右回転糸切り。 内面：轆轤整形。	

H-14号住居跡

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器 坏	口径 11.1 器高 3.5	①酸化焙 ②橙 ③白色粒・石英・角閃石 ④口縁～底部3/4	外面：口縁部横ナデ。体～底部筋ケズリ。 内面：口縁～体部横ナデ。底部筋ナデ。	
2	土師器 甕	底径 3.3	①酸化焙 ②にぶい黄橙 ③赤色粒・石英・チャート ④体部下位～底部	外面：体部ミガキ。底部ナデ。 内面：ミガキ。	

H-15号住居跡

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器 甕	口径 (11.7)	①酸化焙 ②にぶい橙 ③白色粒・赤褐色粒 ④口縁～底部3/4、高台剥落	外面：轆轤整形。底部右回転糸切り後回転ナデ。高台の胎付痕が 残る。煤付着。 内面：轆轤整形。煤付着。	
2	須恵器 甕	口径 16.8	①酸化焙気味 ②浅黄 ③細砂粒・チャート ④口縁～体部1/2	外面：轆轤整形。 内面：轆轤整形。	
3	須恵器 輪切	底径 13.8	①還元焙 ②灰 ③白色粒・ 黒色粒 ④高台3/4	外面：轆轤整形。高台貼付。 内面：轆轤整形。	
4	須恵器 甕	—	①還元焙 ②灰 ③白色粒・ 黒色粒 ④体部片	外面：平行引き。自然輪付着。 内面：当て具痕・ナデ。	

H-16号住居跡

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器 坏	口径 (14.2)	①酸化焙 ②灰褐 ③白色粒・ 赤色粒 ④口縁～底部1/6	外面：口縁部横ナデ。体～底部筋ケズリ。 内面：口縁～体部横ナデ。底部ナデ。	
2	土師器 坏	口径 (14.4)	①酸化焙 ②黒褐 ③白色粒・ 赤色粒 ④口縁～底部1/5	外面：口縁部横ナデ。体～底部筋ケズリ。 内面：口縁～底部横ナデ。	
3	土師器 坏	口径 (18.4)	①酸化焙 ②橙 ③黒色粒・ チャート ④口縁～体部片	外面：口縁部横ナデ。体～底部筋ケズリ。 内面：口縁～体部横位置ナデ。	

H-17号住居跡

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器 坏	口径 11.8 器高 4.5	①酸化焙 ②橙 ③赤色粒・ 黒色粒 ④完形	外面：口縁部横ナデ。体～底部筋ケズリ。 内面：口縁～体部横ナデ。底部ナデ。	
2	土師器 坏	口径 12.4 器高 3.7	①酸化焙 ②橙 ③赤色粒・ 黒色粒 ④ほぼ完形	外面：口縁部横ナデ。体～底部筋ケズリ。 内面：口縁～体部横ナデ。底部ナデ。	
3	土師器 坏	口径 12.5 器高 3.4	①酸化焙 ②橙 ③黒色粒 ④ほど完形	外面：口縁部横ナデ。体～底部筋ケズリ。 内面：口縁～体部横ナデ。底部ナデ。	
4	土師器 甕	口径 (17.7)	①酸化焙 ②橙 ③チャート・黒色鉱物 ④口縁～体部上位1/2	外面：口縁部横ナデ。体部筋ケズリ。 内面：口縁部横ナデ。体部筋ナデ。	
5	土師器 甕	口径 22.9	①酸化焙 ②にぶい赤褐 ③白色粒 ④口縁～体部下位1/4	外面：口縁部横ナデ。体部縦位置ケズリ。 内面：口縁部横ナデ。体部筋ナデ。	

H-18号住居跡①

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器 坏	口径 12.2 器高 4.3	①酸化焙 ②橙 ③赤色粒・ 黒色粒 ④完形	外面：口縁部横ナデ。体～底部筋ケズリ。 内面：口縁～体部横ナデ。底部ナデ。	

Tab.10 出土遺物観察表(5)

H-18号住居跡②

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
2	土師器 杯	口径 12.3 器高 4.2	①酸化焼 ②橙 ③赤色粒・チャート ④完形	外面：口縁部横ナゲ。体～底部踏ケズリ。 内面：口縁～体部横ナゲ。底部ナゲ。	
3	土師器 小型壺	口径 10.1	①酸化焼 ②橙 ③白色粒・赤褐色粒 ④底部欠損	外面：口縁部横ナゲ。体～底部踏ケズリ。体部下位は器面が部分的に剥落する。 内面：口縁部横ナゲ。体部踏ナゲ。	
4	土師器 壺	口径 (25.5)	①酸化焼 ②にぶい赤褐 ③白色粒・赤褐色粒・チャート ④口縁～体部上位1/3	外面：口縁部横ナゲ。体部踏ケズリ。 内面：口縁部横ナゲ。体部踏ナゲ。	

H-19号住居跡

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器 杯	口径 (10.1)	①酸化焼 ②黒焼 ③黒色粒 ④口縁～体部下平	外面：口縁部横ナゲ。体部踏ケズリ。 内面：口縁～体部横ナゲ。	
2	須恵器 杯	口径 (10.4) 器高 3.3	①やや還元気味 ②灰白 ③黒色粒・チャート ④ほぼ完形	外面：口縁部横ナゲ。底部踏ケズリ。 内面：輪轆整形。	
3	土師器 高杯	口径 (14.4)	①酸化焼 ②橙 ③細砂粒・白色粒・赤褐色粒 ④口縁～体部上半片	外面：口縁部横ナゲ。体部踏ケズリ。 内面：口縁～体部横ナゲ。	
番号	器種	法量 (cm)		成・整形技法の特徴	備考
4	石製品 白玉	長さ 1.5 幅 1.4 厚さ 1.1 重さ 3.29	滑石製。両面からの穿孔。		

H-20号住居跡

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器 杯	口径 10.0 底径 5.8 器高 3.3	①酸化焼気味 ②浅黄 ③白色粒・赤褐色粒・チャート ④完形	外面：輪轆整形。底部右回転糸切り。 内面：輪轆整形。	
2	須恵器 碗	口径 (13.2) 底径 7.2 器高 5.2	①酸化焼 ②にぶい黄褐 ③白色粒・チャート・雲母 ④口縁～底部1/4	外面：輪轆整形。底部回転糸切り。高台貼付。 内面：輪轆整形。	
3	須恵器 黒色処理 碗	口径 (13.8) 底径 6.4 器高 5.1	①酸化焼 ②にぶい黄褐 ③粗砂粒・チャート・角閃石 ④口縁～底部1/6	外面：輪轆整形。口縁部横ナゲ。底部踏ケズリ。高台貼付。 内面：口縁～体部横ナゲ。底部単一方向のミガキ。前面に炭素吸着。	
4	須恵器 土釜	口径 (21.8)	①還元焼気味 ②にぶい黄褐 ③粗砂粒・チャート ④口縁～体部上位片	外面：口縁部横ナゲ。体部縦位置ナゲ。 内面：輪轆整形。口縁部横ナゲ。	二次焼成が認められる。
5	須恵器 土釜	口径 (19.8)	①酸化焼 ②にぶい黄褐 ③粗砂粒・チャート ④口縁～体部上位1/3	外面：口縁部横ナゲ。体部上位横ナゲ後一部横位置ケズリ。体部中位縦位置ケズリ。 内面：輪轆整形。口縁部横ナゲ。	
6	須恵器 土釜	口径 (16.4) 底径 (10.0) 器高 14.7	①酸化焼 ②にぶい黄褐 ③粗砂粒・黒色鉱物 ④口縁～底部1/8	外面：輪轆成形。口縁部横ナゲ。体部中位縦位置ナゲ。体部下位横位置ケズリ。底部ナゲ。 内面：輪轆整形。口縁部・体部下位横ナゲ。	
7	須恵器 把平付鉢	口径 (32.8) 底径 器高	①還元焼 ②灰 ③白色粒 ④口縁～底部1/8	外面：口縁部輪轆整形。体部ナゲ。底部踏ケズリ後一部ナゲ。把平貼付。 内面：口縁部輪轆整形。体部～底部踏ナゲ。	柄込みの遺物と想定される。
8	瓦 平瓦	厚さ 1.6	①やや還元気味 ②焼欠 ③粗砂粒・白色粒・黒色粒 ④狭端部左側	両面：布目圧痕。端部面取り。 凸面：溝印。側端部のみ縦位置ナゲ。 側面：踏ナゲ。狭端部：踏ナゲ。	

H-21号住居跡

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器 杯	口径 14.4 器高 4.2	①酸化焼 ②黄灰 ③白色粒・赤褐色粒 ④口縁～底部3/4	外面：口縁部横ナゲ。体～底部踏ケズリ。 内面：口縁～体部横ナゲ。底部ナゲ。	
2	須恵器 蓋	口径 (13.7) 器高 5.2	①還元 ②灰 ③白色粒・チャート ④口縁～天井部2/3	外面：輪轆整形。天井部回転踏ケズリ。 内面：輪轆整形。	外面に数分が付着。
3	須恵器 蓋	口径 13.7 器高 4.8	①還元 ②灰 ③細砂粒・白色粒 ④口縁～天井部3/4	外面：輪轆整形。天井部回転踏ケズリ。 内面：輪轆整形。口縁部回転踏ナゲ。	
4	土師器 鉢	口径 (17.8)	①酸化焼 ②浅黄 ③黒色粒・チャート ④口縁～体部下平1/4	外面：口縁部横ナゲ。体部踏ケズリ。 内面：口縁部横ナゲ。体部踏ナゲ。	
5	須恵器 高杯	—	①還元 ②灰 ③細砂粒・白色粒・チャート ④体～脚部片	外面：坯部力キ目。脚部横ナゲ。 内面：坯部輪轆整形。脚部ナゲ。	脚部に透孔を3ヶ所施す。
6	土師器 壺	口径 (21.0)	①酸化焼 ②にぶい黄褐 ③粗砂粒・細砂粒・黒色粒 ④口縁～体部片	外面：口縁部横ナゲ。体部縦位置ケズリ。粘土の付着が見られる。 内面：口縁部横ナゲ。体部踏ナゲ。粘土の付着が見られる。	

Tab.11 出土遺物観察表(6)

H-22号住居跡

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器 坏	口径 11.2 器高 3.7	①酸化焙 ②橙 ③細砂粒・黒色粒 ④口縁～底部1/2	外面：口縁部横ナデ。体～底部踏ケズリ。 内面：口縁～体部横ナデ。底部踏ナデ。	
2	土師器 坏	口径(11.6) 器高 3.5	①酸化焙 ②橙 ③細砂粒・チャート ④口縁～底部1/3	外面：口縁部横ナデ。体～底部踏ケズリ。 内面：口縁～体部横ナデ。底部ナデ。	
3	土師器 坏	口径 11.0 器高 3.6	①酸化焙 ②橙 ③赤褐色粒・チャート ④ほぼ正形	外面：口縁部横ナデ。体～底部踏ケズリ。 内面：口縁～体部横ナデ。底部ナデ。	
4	土師器 坏	口径(11.0) 器高 3.9	①酸化焙 ②橙 ③白色粒・チャート ④口縁～底部1/2	外面：口縁部横ナデ。体～底部踏ケズリ。 内面：口縁～体部横ナデ。底部ナデ。	
5	須恵器 蓋	口径 11.5 器高 3.6	①還元焙 ②灰 ③粗砂粒・白色粒・チャート ④口縁～天井部4/5	外面：軸輻整形。天井部踏ケズリ。 内面：軸輻整形。	
6	土師器 土坏	口径(17.3)	①酸化焙 ②橙 ③黒色粒・石英 ④口縁～体部下半片	外面：口縁部横ナデ。体部踏ケズリ。 内面：口縁～体部横ナデ。	
7	土師器 甕	口径(22.4) 底径 5.9 器高 39.9	①酸化焙 ②橙 ③粗砂粒・白色粒・角閃石 ④口縁～底部5/6	外面：口縁部横ナデ。体～底部踏ケズリ。 内面：口縁部横ナデ。体～底部踏ナデ。	
8	須恵器 ハコウ	—	①還元焙 ②灰 ③白色粒・黒色粒・チャート ④体部	外面：軸輻整形。体部下半～底部踏ナデ。体部上半に灰かぶりが見られる。 内面：軸輻整形。	外面に鉄分が付着。
9	須恵器 高坏	底径 6.6	①還元焙 ②灰白 ③細砂粒・チャート ④器片	外面：軸輻整形。 内面：軸輻整形。	
番号	器種	法量 (cm)	成・整形技法の特徴	備考	
10	鉄製品 刀子	長さ(11.9) 幅 1.4 厚さ 0.3	重さ 13.84		
11	石製品 砥石	長さ(16.2) 幅(8.0) 厚さ 4.9	重さ 904.42 長方形の確を素材とし、表裏面に顕著な磨耗痕が認められる。被熱により破砕・亀裂痕が認められる。閃緑岩製。		

H-23号住居跡

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器 坏	口径(11.4) 底径(6.0) 器高 3.3	①還元焙 ②灰黄 ③細砂粒・透明粒・チャート ④口縁～底部1/7	外面：軸輻整形。底部回転糸切り。 内面：軸輻整形。	
2	須恵器 甕	口径(13.0) 底径 4.0 器高 5.0	①酸化焙 ②オリーブ色 ③粗砂粒・白色粒・チャート ④口縁～底部2/3	外面：軸輻整形。底部回転糸切り。高台貼付。 内面：軸輻整形。	
3	須恵器 耳皿	口径 8.6 底径 4.7 器高 3.2	①酸化焙 ②暗灰黄 ③白色粒・透明粒・チャート ④正形	外面：軸輻整形。底部踏ケズリ。 内面：軸輻整形。	
4	灰釉陶器 甕	口径(15.0) 底径 7.4 器高 4.8	①還元焙 ②灰白 ③白色粒 ④口縁～底部1/3	外面：軸輻整形。底部回転糸切り後ナデ。高台貼付。 内面：軸輻整形。見込み部に重ね焼き痕。	釉漬掛け。
5	羽釜	口径(21.4)	①還元焙 ②黄灰 ③細砂粒・白色粒・チャート ④口縁～体部片	外面：軸輻整形。踵貼付。 内面：軸輻整形。	

H-24号住居跡

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器 —	—	①酸化 ②にぶい黄褐色 ③黒色粒・チャート ④体部片	外面：刷毛目。 内面：踏ナデ。	
2	土師器 甕	口径(17.3)	①酸化 ②橙 ③赤褐色粒・黒色粒 ④口縁部片	外面：口縁部棒状工具による縦位沈線を連続して施す。 内面：横位ミガキ	
3	土師器 蓋?	底径 7.4	①酸化 ②明赤褐色 ③赤褐色粒・黒色粒・チャート ④体部下位～底部	外面：刷毛目後一部踏ナデ。 内面：踏ナデ。	
番号	器種	法量 (cm)	成・整形技法の特徴	備考	
4	石製品 砥石	長さ 16.1 幅 7.7 厚さ 3.7	重さ 589.79 凝灰岩製。6面使用。砥ぎ面には、断面「V」字状の縦刻や多方向の擦痕が認められる。		

H-25号住居跡①

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器 小型鉢	直径 3.8	①酸化焙 ②明黄褐色 ③赤褐色粒・黒色粒物 ④体～底部	外面：体部刷毛目後ナデ。底部踏ナデ。 内面：体～底部踏ナデ後ミガキ。	
2	土師器 甕	口径(10.0)	①酸化焙 ②にぶい黄 ③黒色粒物チャート ④口縁～体部片	外面：口縁部横ナデ。体部ナデ。 内面：口縁部横ナデ。体部ナデ。	
3	土師器 甕	口径(10.1)	①酸化焙 ②にぶい黄褐色 ③黒色粒・石英・チャート ④口縁～体部片	外面：口縁部横ナデ。体部ナデ後ミガキ。 内面：口縁部横ナデ。体部踏ナデ。	

Tab.12 出土遺物観察表(7)

H-25号住居跡②

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
4	土師器 環	口径 (11.2) 器高 3.8	①酸化層 ②橙 ③透明粒・ 黒色鉱物 ④口縁～底部1/2	外面：口縁部横ナゲ。体～底部箇ケズリ。 内面：口縁～体部横ナゲ。底部箇ナゲ。	
5	土師器 環	口径 11.2 器高 3.2	①酸化層 ②橙 ③白色粒・ チャート ④口縁部一部欠	外面：口縁部横ナゲ。体～底部箇ケズリ。 内面：口縁～体部横ナゲ。底部ナゲ。	
6	土師器 甕	口径 (19.8)	①酸化層 ②にぶい黄橙 ③砂礫・黒色粒・チャート ④口縁～体部上位1/6	外面：口縁部横ナゲ。体部箇ケズリ。 内面：口縁部横ナゲ。体部箇ナゲ。体部上位に粘土着。	

H-27号住居跡

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器 環	口径 (14.6)	①酸化層 ②にぶい褐 ③白色粒・黒閃石 ④口縁～体部1/3	外面：口縁部横ナゲ。体部箇ケズリ。 内面：口縁～体部横ナゲ。	
2	須恵器 環	口径 13.4 器高 4.8	①還元層 ②灰 ③白色粒・ チャート ④口縁部一部欠	外面：輪轆整形。底部回転箇ケズリ。 内面：輪轆整形。	
3	土師器 甕	口径 (20.8)	①酸化層 ②にぶい橙 ③粗砂粒・白色粒・赤色粒 ④口縁～体部上位1/6	外面：口縁部横ナゲ。体部箇位箇ケズリ。 内面：口縁部横ナゲ。体部箇ナゲ。	

H-28号住居跡

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器 環	口径 (8.8) 底径 (5.4) 器高 2.0	①酸化層 ②にぶい黄橙 ③粗砂粒・黒色鉱物 ④口縁～底部1/4	外面：輪轆整形。底部回転糸切り。 内面：輪轆整形。	
2	須恵器 環	口径 (9.6) 底径 (4.8) 器高 3.0	①酸化層 ②橙 ③白色粒・黒色粒・チャート ④口縁～底部1/2	外面：輪轆成形。口縁部横ナゲ。体～底部ナゲ。底部静止糸切り。 内面：輪轆整形。口縁部成形後横ナゲ。	
3	須恵器 環	口径 (10.0) 底径 (5.6) 器高 3.0	①還元層 ②灰黄 ③細砂粒 ④口縁～底部2/3	外面：輪轆整形。底部右回転糸切り。 内面：輪轆整形。	
4	須恵器 環	口径 (10.1) 底径 (5.6) 器高 3.3	①酸化層 ②灰褐 ③細砂粒 ④口縁～底部4/5	外面：輪轆整形。口縁部成形後横ナゲ。底部右回転糸切り。 内面：輪轆整形。口縁部成形後横ナゲ。	
5	須恵器 罎	口径 (14.8) 底径 (6.8) 器高 6.0	①酸化層 ②にぶい黄橙 ③細砂粒・白色粒 ④口縁～底部1/3	外面：輪轆整形。底部回転ナゲ。高台貼付。高台貼付部回転箇ケズリ。 内面：輪轆整形。	二次焼成が認められる。
6	須恵器 罎	底径 14.4	①酸化層 ②淡黄 ③黒色粒・ 黒色鉱物・チャート ④高台部	外面：輪轆整形。 内面：輪轆整形。	
7	羽釜	口径 (26.2)	①酸化層 ②にぶい黄橙 ③粗砂粒・白色粒・赤褐色粒・ 黒色鉱物・チャート ④口縁～体部上位1/4	外面：輪轆成形。口縁部横ナゲ。体部縦位箇ケズリ。鈚貼付。鈚貼付後両端部に棒状工具による強いナゲ。体部に粘土着。 内面：輪轆成形。口縁～体部横ナゲ。	
8	羽釜	口径 (22.6)	①還元層灰味 ②暗灰黄 ③粗砂粒・チャート・片岩 ④口縁～体部下位1/8	外面：輪轆整形。体部下位縦位ナゲ・指頭肌。鈚貼付。 内面：輪轆整形。	
9	瓦 平瓦	厚さ 2.6	①還元層灰味 ②黄褐 ③粗砂粒・黒色粒 ④左端部	前面：布目任張。凸面：鈚叩き。側端部縦位箇ケズリ。 側面：箇ナゲ。	二次焼成が認められる。

H-29号住居跡

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器 罎	底径 5.2	①酸化層 ②灰黄 ③白色粒・黒色粒・チャート ④体部下位～底部	外面：輪轆整形。底部回転糸切り。高台貼付。 内面：輪轆整形。	
2	灰釉陶器 皿	口径 (12.5) 底径 (6.2) 器高 1.9	①灰黄 ②灰白 ③白色粒 ④口縁～底部1/12	外面：輪轆整形。削り出し高直。 内面：輪轆整形。	軸溝跡付。
3	羽釜	口径 (21.1)	①酸化層 ②灰黄 ③細砂粒・ 赤褐色粒・チャート ④口縁～体部上半1/6	外面：輪轆整形。口縁部横ナゲ。体部一部縦位箇削り。鈚貼付。 内面：輪轆整形。	
番号	器種	法量 (cm)、成・整形技法の特徴		備考	
4	鉄製品 釘	長さ (7.2) 幅 0.5 厚さ 0.4	重さ 6.70 角釘?		

Tab.13 出土遺物観察表(8)

H-30号住居跡

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器 鉢	口径(10.4) 底径 3.7 器高 4.3	①酸化 ②にぶい黄褐色 ③黒色粒 ④口縁~底部3/5	外面:口縁~体部ミガキ。底部露ナデ。 内面:口縁~底部ミガキ。	
2	土師器 皿	口径(10.4) 器高 7.3	①酸化 ②にぶい黄褐色 ③黒色粒 ④口縁~底部1/4	外面:口縁~体部ナデ後ミガキ。底部ミガキ後露ナデ。 内面:口縁~体部ナデ後ミガキ。底部露ナデ。	

H-33号住居跡

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器 碗	口径(12.8) 底径(6.0) 器高 5.1	①還元焰 ②灰黄 ③黒色粒 ④口縁~底部1/8	外面:軸轆整形。底部右回転糸切り。高台貼付。高台貼付部分回転露ケズリ。 内面:軸轆整形。	
2	須恵器 碗	口径(15.2) 底径(6.0) 器高 5.2	①還元焰 ②黄灰 ③白色粒・チャート・雲母 ④口縁~底部1/6	外面:軸轆整形。底部回転糸切り。高台貼付。 内面:軸轆整形。口縁~体部上位の一部に油漉付着。	内外面に鉄分の付着が認められる。灯明皿。
3	須恵器 碗	口径(13.8) 底径 6.2 器高 5.0	①還元焰 ②暗灰黄 ③黒色粒・チャート ④口縁~底部1/3	外面:軸轆整形。底部右回転糸切り。高台貼付。 内面:軸轆整形。 ※底部切り取りを失敗したため、底部を継ぎ足し、その後高台を貼付している。	
4	灰軸陶器 碗	口径(15.6)	①聖焼 ②灰白 ③白色粒 ④口縁~体部片	外面:軸轆整形。口縁部袖状取り。 内面:軸轆整形。	
5	須恵器 皿	口径 10.3 底径 7.2 器高 4.1	①還元焰 ②橙 ③白色粒 ④黒色粒 ⑤高台一部欠	外面:軸轆整形。高台貼付。 内面:軸轆整形。	
番号	器種	法量 (cm・g)	成・整形技法の特徴		備考
6	石製品	砥石	長さ(11.2) 幅4.1 厚さ1.5 重さ93.53	扁平な板状刃片を素材とする。砥石面4面使用。多方向の鋭利・磨痕あり。上・下端部に幅3~5mmの削痕が多数あり。被熱により表面下端部が赤く変色。凝灰岩製。	
7	鉄製品	釘?	長さ(7.2) 幅0.4 厚さ0.4 重さ3.88	断面は隅丸方形状。	
8	鉄製品	刀子	長さ(3.0) 幅0.8 厚さ0.3 重さ1.93	刃部残存。表面に鞘と想定される木質が残る。	

H-66号住居跡

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器 碗	口径(15.1)	①還元焰 ②橙 ③白色粒・赤色粒・黒色粒 ④口縁~体部下位1/4	外面:軸轆整形。口唇部棒状工具によるナデ。 内面:軸轆整形。	
2	須恵器 碗	口径(8.0)	①還元焰 ②明黄 ③白色粒・赤色粒・黒色粒 ④体部下位~底部1/3	外面:軸轆整形。底部回転ナデ。高台貼付。高台端部は欠損しているもの、磨減させて再利用しているものと想定される。 内面:軸轆整形。	
3	須恵器 碗	口径(5.2)	①還元焰気味 ②にぶい黄褐色 ③白色粒・赤色粒・黒色粒 ④体部下位~底部	外面:軸轆整形。底部回転糸切り。高台貼付。 内面:軸轆整形。	
4	灰軸陶器 碗	口径(14.4) 底径(7.2) 器高 4.1	①聖焼 ②灰黄 ③白色粒 ④口縁~底部1/4	外面:軸轆整形。底部回転ナデ。 内面:軸轆整形。	袖掛け掛け。
5	灰軸陶器 皿	口径(13.0) 底径(6.8) 器高 2.9	①聖焼 ②灰白 ③白色粒 ④口縁~底部1/8	外面:軸轆整形。底部回転ナデ。高台貼付。 内面:軸轆整形。	袖掛け掛け。
6	羽釜	口径(24.4)	①還元焰 ②黄灰 ③白色粒 ④チャート ⑤口縁~体部1/8	外面:軸轆整形。体部下位縦位置ケズリ。 内面:軸轆整形。	二次焼成痕が認められる。
7	羽釜	口径(19.0)	①還元焰気味 ②にぶい黄褐色 ③細砂粒・白色粒・チャート ④口縁~体部上位1/8	外面:軸轆整形。鏝貼付。口唇部棒状工具によるナデ。 内面:軸轆整形。	
8	瓦 丸瓦	厚さ 1.4	①還元焰 ②黄灰 ③白色粒 ④チャート ⑤両端部欠。右側	凸面:横位置ナデ。端部面取り。 凹面:右目尻前後縦・斜位置ナデ。端部面取り。 側面:露ナデ。	二次焼成痕が認められる。
9	瓦 平瓦	厚さ 1.5	①還元焰 ②灰 ③粗砂粒・白色粒・チャート ④狭端部左側	凹面:右目尻前後横位置ナデ。端部面取り。 凸面:横位置ナデ。 側面:露ナデ。狭端部:露ナデ。	

H-68号住居跡①

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器 碗	口径(14.4)	①還元焰 ②灰黄 ③黒色粒・赤色粒・チャート ④角閃石 ⑤口縁~底部1/3	外面:軸轆整形。高台貼付。 内面:軸轆整形。	二次焼成痕が認められる。
2	須恵器 坏	口径 10.3 底径 5.2 器高 4.2	①還元焰気味 ②にぶい黄褐色 ③白色粒・チャート・角閃石 ④はびき形	外面:軸轆整形。底部右回転糸切り。 内面:軸轆整形。	二次焼成痕が認められる。

Tab.14 出土遺物観察表(9)

H-68号住居跡②

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
3	須臾器 罎	口径 14.5 底径 6.5 器高 12.7	①酸化層 ②にぶい黄 ③白色粒・黒色粒・チャート ④完形	外面：輪轆成形。回転ナダ後体部下位縦位ナダ。底面ナダ。 内面：輪轆成形。口縁～体部上位横位ナダ。	
4	須臾器 罎	口径 (22.4)	①還元層 ②黄灰 ③白色粒 チャート ④口縁～体部1/8	外面：輪轆整形。体部斜位ナダ。体部上位に棒状工具による線刻。 内面：輪轆整形。体部斜位ナダ。	
5	羽釜	口径 (23.0)	①還元層気味 ②灰白 ③白色粒・黒色粒・チャート ④口縁～体部1/4	外面：輪轆整形。跨貼付。 内面：輪轆整形。	二次焼成痕が認められる。
6	瓦 平瓦	厚さ 1.7	①酸化層気味 ②灰 ③白色粒 ・チャート ④快端部右側	凸面：踏ナダ。 側面：はぼ刺落。布目圧痕後縦位踏ナダ。 側面：踏ナダ。 快端部：踏ナダ	二次焼成痕が認められる。
7	瓦 平瓦	厚さ 1.2	①還元層 ②灰 ③細砂粒・ 白色粒 ④快端部左側	側面：布目圧痕。赤切り痕後踏ナダ。 凸面：赤切り痕後縦位踏ナダ。踏ナダの上に多量の砂粒が付着。 側面：踏ナダ。 凸面：踏ナダ。	
8	瓦 平瓦	厚さ 2.0	①還元層 ②灰 ③細砂粒・ 白色粒 ④快端部左側	側面：布目圧痕。赤切り痕後斜位踏ナダ。端部面取り。 凸面：溝叩き後縦位踏ナダ。踏ナダの上に多量の砂粒が付着。 側面：踏ナダ。 快端部：踏ナダ。	
9	瓦 平瓦	厚さ 1.6	①還元層気味 ②にぶい黄 ③細砂粒・白色粒 ④快端部左側	側面：布目圧痕。赤切り痕後縦位踏ナダ。端部面取り。 凸面：溝叩き後踏ナダ。 側面：踏ナダ。 快端部：踏ナダ。	二次焼成痕が認められる。

H-71号住居跡

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	須臾器 坏	口径 11.4 底径 5.8 器高 4.2	①酸化層気味 ②にぶい黄粒 ③白色粒・チャート ④ほぼ完形	外面：輪轆整形。底部右回転赤切り。 内面：輪轆整形。	
2	須臾器 罎	口径 7.6 器高 (3.9)	①酸化層 ②にぶい黄粒 ③白色粒・黒色粒物・チャート ④体部下平～底部	外面：輪轆整形。底部回転ナダ。高台貼付。 内面：輪轆整形。	二次焼成痕が認められる。
3	灰輪陶器 碗	口径 (8.5) 器高 (2.1)	①還元層 ②灰白 ③白色粒 ④底部1/2	外面：輪轆整形。底部回転ナダ。高台貼付。 内面：輪轆整形。	重ね焼き痕が認められる。
4	灰輪陶器 碗	口径 7.3 器高 (2.1)	①還元層 ②灰白 ③白色粒・チャート ④底部完形	外面：輪轆整形。底部右回転赤切り。高台貼付。 内面：輪轆整形。	体部下平を方形状に割っている。
5	羽釜	口径 (25.6)	①還元層気味 ②にぶい黄 ③白色粒・チャート・砂粒 ④口縁～体部上部片	外面：輪轆整形。跨貼付。 内面：輪轆整形。	
6	瓦 平瓦	厚さ 1.6	①還元層 ②黄灰 ③白色粒・透明粒・砂粒 ④側部	側面：布目圧痕 凸面：溝叩き 側面：布目圧痕後、踏ナダ。	
7	土製品 カマド 支脚	長さ (12.6) 幅 7.3 厚さ 7.0	①酸化層 ②にぶい黄粒 ③白色粒・黒色粒・チャート ④基部欠損	縦位踏ナダズリ	液熱により脆くなっている。

H-75号住居跡

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器 坏	口径 (11.0)	①酸化層 ②橙 ③白色粒 ④口縁～体部1/10	外面：口縁部横ナダ。体部踏ナダズリ。 内面：口縁～体部横ナダ。	
2	土師器 坏	口径 (11.4)	①酸化層 ②橙 ③チャート 黒色粒物 ④口縁～体部1/5	外面：口縁部横ナダ。体部踏ナダズリ。 内面：口縁～体部横ナダ。	

H-76号住居跡

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器 坏	口径 (10.8)	①酸化層 ②橙 ③黒色粒・ 角閃石 ④口縁～体部上位片	外面：口縁部横ナダ。体部踏ナダズリ。 内面：口縁～体部横ナダ。	
2	土師器 高坏	口径 (15.2)	①酸化層 ②橙 ③赤色粒・ チャート ④頸部	外面：頸部踏ナダ後端部横ナダ。 内面：頸部踏ナダ。	

H-77号住居跡①

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	須臾器 坏	口径 13.1 底径 5.5 器高 4.5	①還元層気味 ②橙 ③白色粒・赤色粒 ④完形	外面：輪轆整形。底部右回転赤切り。 内面：輪轆整形。	
2	須臾器 罎	口径 13.2 底径 6.3 器高 5.5	①還元層 ②灰 ③白色粒・チャート・片岩 質母 ④口縁～底部2/3	外面：輪轆整形。底部回転ナダ。高台貼付。 内面：輪轆整形。	

Tab.15 出土遺物観察表 (10)

H-77号住居跡②

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
3	須恵器 甗	底径 7.8 器高 2.2	①還元焼 ②灰オリープ ③白色粒・チャート・雲母 ④底部完形	外面：轆轤整形。底部右回転糸切り。高台貼付。 内面：轆轤整形。	
4	灰釉陶器 甗	口径 (16.5)	①聖職 ②灰黄 ③白色粒 ④口縁～体部片	外面：轆轤整形。 内面：轆轤整形。	
5	土師器 甗	口径 (18.1) 器高 08.4	①還元焼 ②灰 ③白色粒・チャート・赤色粒 ④口縁～体部上半1/3	外面：口縁部横ナズ。体部横位箇ケズリ。 内面：口縁部横ナズ。	
6	土製品 土製円盤	長さ 3.6 幅 3.7 厚さ 0.5	①還元焼 ②粗 ③白色粒・チャート・雲母・ 黒色鉱物 ④完形	外面：箇ケズリ 内面：ナズ	甗の体部片を 円盤状に加工。

H-78号住居跡

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器 坏	口径 12.4 底径 6.9 器高 3.6	①還元焙きみ ②灰白 ③白色粒・黒色粒 ④ほぼ完形	外面：轆轤整形。底部右回転糸切り。 内面：轆轤整形。	
2	須恵器 坏	口径 12.8 底径 6.3 器高 3.8	①還元焙きみ ②灰白 ③白色粒・黒色粒 ④口縁～底部3/4	外面：轆轤整形。底部右回転糸切り。 内面：轆轤整形。体部下平に朱を帯状に塗布。	
3	須恵器 坏	口径 13.6 底径 7.6 器高 2.7	①還元焼 ②紫黒 ③白色粒・チャート ④ほぼ完形	外面：轆轤整形。底部右回転糸切り。自然釉付着。 内面：轆轤整形。	
4	須恵器 坏	口径 13.5 底径 5.8 器高 3.7	①還元焙きみ ②灰黄 ③白色粒・赤色粒・チャート・ 片岩 ④口縁～底部3/4	外面：轆轤整形。底部右回転糸切り。 内面：轆轤整形。	
5	須恵器 蓋	幅み 2.9	①還元焼 ②灰黄 ③白色粒・黒色粒・チャート ④口縁～天井部1/2	外面：轆轤整形。天井部右回転箇ケズリ。 内面：轆轤整形。	
6	須恵器 蓋	口径 (17.2) 幅み 4.2 器高 4.3	①還元焼 ②灰白 ③白色粒・黒色粒 ④口縁～天井部1/2	外面：轆轤整形。天井部右回転箇ケズリ。 内面：回転ナズ。	
7	灰釉陶器 甗	口径 (16.0) 底径 7.9 器高 5.0	①聖職 ②灰 ③白色粒 ④口縁～底部3/4	外面：轆轤整形。底部回転箇ケズリ。高台貼付。底部刷毛痕(二 状の平行痕)。 内面：轆轤整形。	
8	須恵器 甗	口径 (24.8)	①還元焙きみ ②灰 ③白色粒・チャート ④口縁～体部5/8	外面：轆轤整形。 内面：轆轤整形。口縁～肩部一部横位箇ナズ	
番号	器種	法量 (cm・g)・成・整形技法の特徴		備考	
9	石製品 白玉	長さ 1.6 幅 1.6 厚さ 0.8	重さ 2.78 滑石製。全体に研磨されている。端部の一部に研磨 後の剥離痕が認められる。彼然により表・裏面が黒～赤褐色に変色。		

H-86号住居跡①

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器 坏	口径 (11.8) 底径 5.5 器高 4.2	①還元焙きみ ②黒褐 ③白色粒・チャート ④口縁～底部2/3	外面：轆轤整形。底部右回転糸切り。 内面：轆轤整形。	二次焼成痕が 認められる。
2	須恵器 甗	口径 (12.2) 底径 4.8 器高 4.9	①還元焙きみ ②灰黄 ③白色粒・チャート・片岩 ④口縁～底部2/3	外面：轆轤整形。底部回転糸切り後ナズ。高台貼付。高台に棒状 圧痕。 内面：轆轤整形。	
3	須恵器 甗	口径 13.3 底径 7.1 器高 4.7	①還元焙きみ ②暗灰黄 ③白色粒・赤色粒・チャート・ 片岩・黒色鉱物 ④ほぼ完形	外面：轆轤整形。底部回転糸切り後回転ナズ。高台貼付。 内面：轆轤整形。	
4	灰釉陶器 甗	口径 (8.4) 器高 (3.9)	①聖職 ②灰黄褐 ③白色粒 ④口縁～底部1/4	外面：轆轤整形。底部回転ナズ。高台貼付。 内面：轆轤整形。	二次焼成痕が 認められる。
5	灰釉陶器 甗	口径 (13.2) 底径 (7.2) 器高 3.9	①聖職 ②灰白 ③白色粒 ④口縁～底部1/5	外面：轆轤整形。底部回転ナズ。高台貼付。 内面：轆轤整形。	
6	灰釉陶器 甗	口径 17.0 底径 7.8 器高 6.1	①聖職 ②灰白 ③白色粒 ④ほぼ完形	外面：轆轤整形。底部回転ナズ。高台貼付。 内面：轆轤整形。	
7	羽釜	口径 (22.4) 器高 08.6	①還元焙きみ ②灰黄 ③白色粒・チャート ④口縁～体部上位片	外面：轆轤整形。踏貼付。 内面：轆轤整形。	
8	瓦 平瓦	厚さ 2.2	①還元焼 ②灰黄 ③白色粒・砂粒 ④中央部分	両面：布目注痕。糸切り痕。凸面：格子目印き。	
9	瓦 平瓦	厚さ 2.0	①還元焼 ②灰 ③白色粒・チャート ④中央部分	両面：布目注痕。凸面：溝印き後横位箇ナズ。	

Tab.16 出土遺物観察表(11)

H-86号住居跡②

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
10	瓦 平瓦	厚さ 1.7	①還元焼 ②にぶい・黄褐色 ③白色粒・赤色粒・片岩 ④側部	外面：量状圧痕。凸面：縦位置ナズ。 側面：笠ナズ。	
番号	器種	法量 (cm)	成・整形技法の特徴		備考
11	石製品 不明品	長さ 5.4 幅 5.0 厚さ 2.3 重さ 78.31	やや扁平な内形礫を素材とし、表裏面に磨耗痕や割傷が認められる(割傷・磨耗)。表面全体が黒く変色している。磨耗面には多方向の擦痕が認められる。安山岩製。		

H-88号住居跡

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器 坏	口径 10.8 底径 4.9 器高 3.4	①酸化焼 ②にぶい・黄褐色 ③黒色粒・赤色粒・チャート ④口縁一部欠	外面：輪軸整形。底部右回転糸切り。 内面：輪軸整形。	
2	須恵器 皿	口径(16.2) 底径(8.9) 器高 6.0	①酸化焼 ②にぶい・黄褐色 ③黒色粒・チャート ④口縁～底部1/6	外面：輪軸整形。底部回転ナズ。高台貼付。 内面：輪軸整形。	
3	灰釉陶器 碗	底径(7.7)	①酸化焼 ②灰白 ③白色粒 ④底部1/5	外面：輪軸整形。底部回転糸切り。高台貼付。 内面：輪軸整形。	
4	灰釉陶器 碗	底径(7.7)	①酸化焼 ②灰白 ③白色粒 ④底部1/3	外面：輪軸整形。底部回転ナズ。高台貼付。 内面：輪軸整形。	
5	羽釜	口径(21.2)	①還元焼 ②黄灰 ③白色粒・ チャート ④口縁～体部1/4	外面：輪軸整形。体部下位斜位置ケズリ。跗貼付。 内面：輪軸整形。	
6	羽釜	口径(21.2)	①酸化焼気味 ②にぶい・黄褐色 ③白色粒・チャート ④口縁～体部1/4	外面：輪軸整形。跗貼付。 内面：輪軸整形。	
7	瓦 平瓦	厚さ 2.2	①酸化焼 ②灰白 ③チャート ④側部欠。左側	外面：布目圧痕。端部高取り。凸面：調印後縦位置ナズ。 側面：笠ナズ。	二次焼成痕が認められる。
8	瓦 平瓦	厚さ 1.8	①酸化焼気味 ②灰黄褐色 ③白色粒・チャート ④側部左側	外面：布目圧痕。広端部付近横位置ナズ。 凸面：縦位・斜位置ナズ。 側面：笠ナズ。広端部：笠ナズ。	二次焼成痕が認められる。
番号	器種	法量 (cm)	成・整形技法の特徴		備考
9	鉄製品 釘	長さ 9.5 幅 0.7 厚さ 0.6 重さ 12.04	角釘。		

H-89号住居跡

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器 碗	口径 6.4	①酸化焼気味 ②にぶい・黄褐色 ③白色粒・黒色粒・チャート ④体部下位～底部1/8	外面：輪軸整形。底部回転糸切り。高台貼付。 内面：輪軸整形。	

H-90号住居跡

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器 坏	口径 9.9 底径 6.3 器高 2.3	①酸化焼気味 ②黄灰 ③白色粒・黒色粒・赤色粒 ④口縁～底部1/2	外面：輪軸整形。底部静止糸切り。 内面：輪軸整形。	二次焼成痕が認められる。
2	羽釜?	底径(9.2)	①還元焼 ②黄灰 ③白色粒・チャート ④体部下位～底部1/8	外面：体部下位横位・斜位置ナズ。底部回転ナズ。 内面：輪軸整形。	二次焼成痕が認められる。
3	羽釜	口径(23.0)	①酸化焼 ②にぶい・黄褐色 ③白色粒・透明粒・チャート ④白色粒 ⑤口縁～体部1/8	外面：輪軸整形。跗貼付。 内面：輪軸整形。	二次焼成痕が認められる。
4	土製品 結輪車	長さ 4.7 幅 6.6 厚さ 0.7	①酸化焼 ②にぶい・黄褐色 ③白色粒・赤色粒・透明粒 ④完形	須恵器坏底部の再利用。回転糸切り痕が残るが、側面とともに磨減させている。両面からの穿孔。	
番号	器種	法量 (cm)	成・整形技法の特徴		備考
5	石製品 砥石	長さ 7.6 幅 6.6 厚さ 5.3 重さ 319.6	6面使用。表・両側・上面は顕著な磨耗により平滑。裏面は多方向の縦割が認められる。左側面には小さな凹穴が多数認められる。流紋岩製。		
6	鉄製品 鉄錐	長さ 9.4 幅 1.3 厚さ 0.5 重さ 9.68	両側。		
7	鉄製品 不明品	長さ 3.9 幅(2.0) 厚さ 0.7 重さ 8.41			
8	鉄製品 不明品	長さ 6.8 幅 0.5 厚さ 0.4 重さ 4.49			

H-91号住居跡①

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器 碗	底径 7.5	①酸化焼 ②橙 ③白色粒・ 黒色粒・赤色粒・チャート ④底部	外面：輪軸整形。底部回転糸切り。高台貼付。 内面：輪軸整形。	

Tab. 17 出土遺物観察表 (12)

H-91 号住居跡②

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
2	灰釉陶器 碗	口径 (13.6) 底径 (7.5) 器高 4.6	①灰釉 ②褐灰 ③白色粒 ④口縁～底部 1/3	外面: 輪轆整形, 底部回転糸切り, 高台貼付。 内面: 輪轆整形。	袖溝け掛け。

H-92 号住居跡

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器 碗	口径 6.4	①還元焰灰味 ②にぶい黄緑 ③白色粒・チャート・片岩 ④体部下位～底部	外面: 輪轆整形, 底部回転糸切り, 高台貼付。 内面: 輪轆整形, 油煙付着。	

H-93 号住居跡

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器 杯	口径 (14.0)	①酸化焰 ②明赤褐 ③粗砂粒・黒色粒・チャート ④口縁～体部 1/5	外面: 口縁部横ナデ, 体部露ケズリ。 内面: 口縁～体部横ナデ。	
2	土師器 杯	口径 (13.0)	①酸化焰 ②粗 ③細砂粒・ 角閃石 ④口縁～底部 1/5	外面: 口縁部横ナデ, 体～底部露ケズリ。 内面: 口縁～体部横ナデ, 底部ナデ。	
3	土師器 杯	口径 10.4 器高 3.1	①酸化焰 ②粗 ③白色粒・ 角閃石・炭灰 ④完形	外面: 口縁部横ナデ, 体～底部露ケズリ。 内面: 口縁～体部横ナデ, 底部ナデ。	
4	須恵器 蓋	口径 (10.4) 器高 4.2	①還元焰 ②灰 ③細砂粒・ 白色粒・チャート ④天井～口縁部 1/2	外面: 輪轆整形, 天井部露ナデ。 内面: 輪轆整形。	
5	須恵器 蓋	口径 (9.8) 器高 2.9	①還元焰 ②暗灰黄 ③白色 粒・白色粒 ④口縁～底部 3/4	外面: 輪轆整形, 口縁部回転ナデ, 体～底部露ケズリ。 内面: 輪轆整形, 口縁～底部回転ナデ。	
6	須恵器 蓋	口径 (24.0) 器高 2.2	①酸化焰さみ ②にぶい黄緑 ③チャート・白色粒 ④口縁～天井部 1/6	外面: 輪轆整形, 天井部ナデ。 内面: 輪轆整形, カキ目状のナデ。	
番号	器種	法量 (cm)・成・整形技法の特徴			備考
7	鉄製品 刀子	長さ (12.8) 幅 1.4 厚さ 0.2	重さ 14.53 片削。		
8	鉄製品 不明品	長さ (3.5) 幅 5.4 厚さ 0.4	重さ 18.86 鋸状の付着物が見られる。		

H-94 号住居跡

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器 杯	口径 10.5 底径 5.8 器高 3.1	①酸化焰灰味 ②浅黄緑 ③細砂粒・チャート ④口縁～底部 3/4	外面: 輪轆整形, 底部静止糸切り。 内面: 輪轆整形。	
2	須恵器 杯	口径 10.3 底径 5.7 器高 2.8	①還元焰灰味 ②灰黄 ③白色粒・チャート ④口縁～底部 7/8	外面: 輪轆整形, 底部静止糸切り。 内面: 輪轆整形。	二次焼成痕が 認められる。
3	須恵器 碗	口径 7.9	①酸化焰灰味 ②にぶい黄緑 ③白色粒・赤色粒・黒色粒 ④底部完形	外面: 輪轆整形, 底部回転ナデ, 高台貼付。 内面: 輪轆整形。	
4	瓦 丸瓦	厚さ 1.6	①還元焰 ②灰 ③白色粒・黒色粒・チャート ④狭端部左側	凸面: 調明き後縦位置ナデ・横ナデ。 側面: 布目圧痕, 端面面取り。 側面: 露ナデ。 狭端部: 露ナデ。	
5	瓦 丸瓦	厚さ 1.9	①還元焰 ②赤 ③細砂粒・白色粒・チャート ④狭端部右側	凸面: 横位置ナデ。 側面: 布目圧痕, 糸切り痕, 端面面取り。 側面: 露ナデ。 狭端部: 露ナデ。	二次焼成痕が 認められる。
6	瓦 軒平瓦	厚さ 2.5	①還元焰 ②黄灰 ③白色粒・ チャート ④左側残存	右側行寄草文, 外区素文。 側面: 布目圧痕後縦・横位置ナデ。 凸面: 格子叩き後縦・横位置ナデ。 側面: 露ナデ。	笠懸。
7	瓦 平瓦	厚さ 1.8	①還元焰 ②にぶい褐 ③細砂粒・白色粒 ④両端部欠	側面: 布目圧痕。 凸面: 斜格子叩き後縦位置ナデ。	
8	瓦 平瓦	厚さ 1.4	①還元焰 ②灰 ③白色粒・黒色粒・チャート ④両端部欠, 右側	側面: 横位置ナデ, 側面付近縦位置ナデ。 凸面: 斜位置ナデ後縦位置ナデ。 側面: 露ナデ。	二次焼成痕が 認められる。
9	瓦 平瓦	厚さ 1.9	①還元焰 ②粗 ③細砂粒・チャート・片岩 ④両端部欠, 左側	側面: 布目圧痕, 布合わせ目, 端面面取り。 凸面: 調明き後縦位置ナデ。 側面: 露ナデ。	二次焼成痕が 認められる。
番号	器種	法量 (cm)・成・整形技法の特徴			備考
10	石製品 砥石	長さ (12.2) 幅 (8.5) 厚さ (6.1)	重さ 531.43 4面使用, 裏面の中央部は浅く窪んでいる。全体に顕著な磨耗痕が認められる。側面下部に敲打痕と想定される小さな凹欠が集中する。安山岩製。		

Tab. 18 出土遺物観察表 (13)

H-95 号住居跡

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	灰釉陶器 碗	口径 (13.2)	①煎焼 ②灰 ③白色粒 ④口縁~体部下位片	外面: 輪轆整形。 内面: 輪轆整形。	袖漬け掛け。
2	灰釉陶器 皿	口径 (14.3)	①煎焼 ②灰白 ③白色粒 ④口縁~体部下位片	外面: 輪轆整形。 内面: 輪轆整形。	袖漬け掛け。
3	灰釉陶器 碗	底径 (7.6)	①煎焼 ②灰白 ③白色粒 ④体部下位~底部片	外面: 輪轆整形。高台貼付。 内面: 輪轆整形。	袖漬け掛け。

H-96 号住居跡

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器 杯	口径 11.0	①酸化焼 ②橙 ③赤褐色粒・ 白色粒 ④口縁~体部1/8	外面: 口縁部横ナゲ。体部踏ケズリ。 内面: 口縁~体部横ナゲ。	
2	土師器 杯	口径 (10.4) 器高 3.1	①酸化焼 ②橙 ③黒色粒 ④口縁~底部1/4	外面: 口縁部横ナゲ。体~底部踏ケズリ。 内面: 口縁~体部横ナゲ。底部ナゲ。	
3	土師器 杯	口径 (13.0)	①酸化焼 ②明赤焼 ③黒色鉱物・白色粒 ④口縁~体部1/6	外面: 口縁部横ナゲ。体部踏ケズリ。 内面: 口縁~体部ナゲ。	
4	須恵器 蓋	口径 (13.0)	①還元焼 ②灰 ③白色粒・ 黒色粒 ④口縁~天井部1/10	外面: 輪轆整形。天井部踏ナゲ。 内面: 輪轆整形。	
5	須恵器 蓋	口径 (10.6) 器高 4.5	①還元焼 ②灰 ③白色石・ 白色粒・細砂粒 ④口縁~ 天井部2/3	外面: 輪轆整形。天井部踏ナゲ。天井部に織じりの付着物。 内面: 輪轆整形。	
6	須恵器 蓋	口径 (13.4)	①還元焼 ②灰 ③白色石・ 白色粒・黒色粒 ④口縁~ 天井部1/6	外面: 輪轆整形。 内面: 輪轆整形。	

H-97 号住居跡

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器 杯	口径 (8.2) 底径 (4.0) 器高 2.4	①酸化焼 ②橙 ③白色粒・ チャート・黄閃石 ④口縁~ 底部1/4	外面: 輪轆整形。底部右回転糸切り。 内面: 輪轆整形。	
2	須恵器 杯	口径 7.8 底径 4.4 器高 2.2	①還元焼 ②灰 ③粗砂粒・ 黒色粒・チャート ④ほぼ完形	外面: 輪轆整形。底部右回転糸切り。一部口縁下に銅と推測される 溶解物が付着。 内面: 輪轆整形。ほぼ全体的に銅と推測される溶解物が付着。	取瓶として利用 されたものと推測される。
3	瓦 平瓦	厚さ 1.7	①還元焼 ②灰 ③白色粒・ チャート ④両端部欠、左側	両面: 布目圧痕。端面面取り。 凸面: 横・斜位造ナゲ。 側面: 笠ナゲ。	
番号	器種	法量 (cm)、成・整形技法の特徴		備考	
4	鉄製品 刀子	長さ (5.8) 幅 2.4 厚さ 0.5	重さ 22.0 両開。		
5	鉄製品 鎌	長さ (6.6) 幅 5.1 厚さ 0.3	重さ 29.25 着柄部。		

H-98 号住居跡

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器 杯	口径 (12.4)	①酸化焼 ②橙 ③チャート・ 白色粒・黒色粒 ④口縁~ 体部1/10	外面: 口縁部横ナゲ。体部踏ケズリ。 内面: 口縁~体部横ナゲ。	
2	土師器 杯	口径 (10.8)	①酸化焼 ②橙 ③白色粒・ 黒色粒 ④口縁~体部1/5	外面: 口縁部横ナゲ。体部踏ケズリ。 内面: 口縁~体部横ナゲ。	
3	須恵器 高坪	—	①還元焼 ②灰白 ③チャート・ 細砂粒 ④脚部	外面: 輪轆整形。 内面: 指ナゲ。裾部横位造ナゲ。	

H-99 号住居跡

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器 杯	口径 (11.5)	①酸化焼 ②橙 ③黒色鉱物・ 白色石・細砂粒 ④口縁~ 体部1/7	外面: 口縁部横ナゲ。体部踏ケズリ。 内面: 口縁~体部横ナゲ。	
2	土師器 杯	口径 (11.8) 器高 3.1	①酸化焼 ②橙 ③チャート・ 黒色粒・白色粒 ④口縁~ 底部1/3	外面: 口縁部横ナゲ。体~底部踏ケズリ。 内面: 口縁~体部横ナゲ。底部ナゲ	

Tab. 19 出土遺物観察表 (14)

W-1号溝

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	軟質陶器 内耳鍋	口径 (36.0) 底径 (26.0) 器高 14.2	①酸化塩気味 ②にぶい橙 ③白色粒・雲母 ④口縁～底部1/8	外面：軸轆成形、口縁部横ナデ。体部横位露ナデ。体部下端横位ミガキ。底部ナデ。 内面：軸轆成形、口縁部横ナデ。体部横位露ナデ。	

W-2号溝

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	軟質陶器 甕	口径 (20.4)	①普通 ②灰 ③白色粒・黒色粒 ④口縁～体部上位片	外面：軸轆成形。内面：口縁部横ナデ。体部横位露ナデ。	
2	陶器 大甕	口径 (26.2)	①彫削 ②灰黄 ③白色粒・チャート ④口縁～体部上位片	外面：軸轆成形。内面：軸轆成形。	常備。
3	軟質陶器 鉢	口径 (29.3)	①普通 ②灰 ③白色粒・黒色粒 ④口縁～体部片	外面：軸轆成形。体部斜位ナデ。内面：口縁部横ナデ。体部横位露ナデ。	
4	陶器 鉢	口径 (27.4)	①彫削 ②灰黄 ③白色粒 ④口縁部片	外面：軸轆成形。全面に鉄粒。内面：軸轆成形。全面に鉄粒。	
5	軟質陶器 内耳鍋	口径 (233.2)	①普通 ②灰黄 ③白色粒・チャート ④口縁部片	外面：軸轆成形。内面：軸轆成形。	
6	軟質陶器 鉢	底径 (12.0)	①普通 ②灰黄 ③白色粒・チャート ④体部下位～底部1/4	外面：体部下位斜位露ナデ。体部下端横位露ナデ。底部糸切り。内面：体部下位横位露ナデ。	
番号	器種	法量 (cm)、成・整形技法の特徴		備考	
7	銅製品 古銭	直径 2.4 孔幅 0.7 厚さ 0.1	重さ 2.75 開元通宝。唐 621年。		

W-3号溝

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器 鉢?	直径 (15.2)	①酸化塩気味 ②にぶい黄橙 ③白色粒・チャート ④体部下位～底部1/8	外面：体部縦位露(木口状工具)ナデ(ミガキ)。体部下端横位露(木口状工具)ナデ(ミガキ)。 内面：横位露(木口状工具)ナデ(ミガキ) 後黄色処理。	

W-9・11号溝

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器 甕	直径 (8.6)	①酸化塩気味 ②にぶい黄橙 ③白色粒・チャート・角閃石 ④体部下位～底部2/3	外面：軸轆成形。底部回転ナデ。高台貼付。内面：軸轆成形。	
番号	器種	法量 (cm)、成・整形技法の特徴		備考	
2	石製品 白玉	長さ 1.7 幅 1.7 厚さ 0.8	重さ 0.25 澄石製。一部欠損。削り・研磨による成形。		

W-15号溝①

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	弥生土器 甕	—	①普通 ②橙 ③白色粒・チャート・片岩 ④体部片	外面：体部上位単節LR編文施文後葉状文。体部下位露ナデ。内面：ナデ。	後刷。
2	土師器 坏	口径 11.5 器高 3.8	①酸化塩気味 ②橙 ③細砂粒・白色粒 ④口縁～底部4/5	外面：口縁部横ナデ。体～底部露ケズリ。内面：口縁～体部横ナデ。底部ナデ。	
3	土師器 蓋	口径 (13.1) 器高 4.9	①還元塩 ②灰 ③細砂粒・白色粒・チャート ④口縁～天井部1/3	外面：軸轆成形。天井部回転露ケズリ。内面：軸轆成形。	
4	弥生土師器 甕	口径 (16.4)	①酸化塩 ②にぶい黄橙 ③黒色炭粉・チャート ④口縁部片	外面：折返し口縁。口縁部に連続する指頭輪。頸部斜位露ナデ。内面：刷毛状工具によるナデ。	
5	埴輪 内筒埴輪	厚さ 2.2	①還元塩 ②明赤褐 ③チャート・角閃石 ④体部片	外面：刷毛目。突部端部横位ナデ。刷毛木取 2cm 11本。内面：斜位刷毛目後一部ナデ。刷毛木取 2cm 12本。	
6	須恵器 坏	口径 (10.2) 底径 (5.4) 器高 1.6	①還元塩 ②灰 ③細砂粒・白色粒 ④口縁～底部1/6	外面：軸轆成形。底部回転糸切り。一部口縁端部に割と推測される溶解物が付着。 内面：軸轆成形。残存部分に限り、全体的に割と推測される溶解物が付着。	取版として利用されたものと推測される。
7	須恵器 甕	口径 (15.2) 底径 (9.0) 器高 5.5	①酸化塩 ②明褐 ③白色粒・チャート・片岩 ④口縁～底部1/5	外面：軸轆成形。底部回転糸切り。高台貼付。内面：軸轆成形。	
8	灰輪陶器 甕	直径 (7.7)	①彫削 ②灰白 ③白色粒 ④体部下位～底部2/3	外面：軸轆成形。底部回転ナデ。高台貼付。内面：軸轆成形。足込み部重ね焼き痕。	
9	須恵器 長頸甕	—	①還元塩 ②灰白 ③白色粒・黒色粒・チャート ④頸部2/3、口縁部欠	外面：軸轆成形。自然釉。内面：軸轆成形。頸部のみ自然釉。	

Tab. 20 出土遺物観察表 (15)

W-15号溝②

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
10	羽蓋	口径 (22.6)	①還元焰気味 ②灰灰 ③細砂粒・チャート・黒色鉱物 ④口縁～体部上位1/4	外面：輪轆整形、鈔貼付。 内面：輪轆整形。	

D-1号土坑

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	灰釉陶器 碗	底径 (7.6)	①灰釉 ②灰白 ③黒色粒 ④体部下位～底部1/3	外面：輪轆整形、鈔貼付。 内面：輪轆整形。	

D-39号土坑

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器 杯	口径 (11.5)	①酸化焰 ②灰白・黒色粒 ③口縁～体部1/5	外面：口縁部横ナデ。体～底部踏ケズリ。 内面：口縁～体部横ナデ。	
2	土師器 杯	口径 (13.1)	①酸化焰 ②橙 ③細砂粒・白色粒・黒色粒 ④口縁～体部1/4	外面：口縁部横ナデ。体部踏ケズリ。 内面：口縁～体部横ナデ。	
3	土師器 杯	口径 (14.2)	①酸化焰 ②橙 ③白色粒・黒色粒 ④口縁～体部1/5	外面：口縁部横ナデ。体部踏ケズリ。 内面：口縁～体部横ナデ。	

D-45号土坑

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器 杯	口径 11.3 器高 3.6	①酸化焰 ②明橙 ③白色粒・黒色鉱物 ④ほぼ完形	外面：口縁部横ナデ。体～底部踏ケズリ。 内面：口縁～体部横ナデ。底部ナデ。	

D-67号土坑

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器 壺	—	①酸化焰 ②橙 ③細砂粒・黒色鉱物・チャート ④口縁部片	外面：折返し口縁。口縁部横ナデ。頸部刷毛目。 内面：横位クガキ。	

D-69号土坑

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	灰釉陶器 碗	口径 (13.6) 底径 (7.3) 器高 4.1	①灰釉 ②灰白 ③白色粒・黒色粒 ④口縁～底部1/3	外面：輪轆整形。底部回転削切り。高台貼付。 内面：輪轆整形。	袖漬け掛け。

T-1号竪穴状遺構

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	青灰 染付皿	底径 (10.0)	①灰釉 ②灰白 ③黒色粒 ④底面片	外面：高台上端部横位圍繞。底面・足付無軸。 内面：見込み部圍繞・蓮花唐草文。	中国。
2	褐釉陶器 壺	—	①灰釉 ②灰白 ③黒色鉱物 ④体部上位片	外面：輪轆整形。鉄軸。 内面：輪轆整形。鉄軸。	古瀬戸？
3	軟質陶器 漆鉢	底径 (12.0)	①酸化焰 ②赤褐 ③白色粒・赤色粒・黒色粒 ④体部下位～底部1/4	外面：体部横位ナデ。底部ナデ。 内面：ナデ。	
番号	器種	法量 (cm)、成・整形技法の特徴		備考	
4	石製品 砥石	長さ (6.2) 幅 (2.6) 厚さ (2.2)	重さ 74.99 流紋岩製。欠損品。4面使用。砥ぎ面は平滑。縫製・磨削あり。		
5	石製品 板碑	長さ (41.4) 幅 19.5 厚さ 3.4	重さ 3,650 緑泥片岩製。二次的な被熱痕が認められる。		
6	石製品 宝篋印塔	長さ (10.0) 幅 (19.2) 厚さ (8.5)	重さ 2,050 安山岩製。笠部。被熱痕が認められる。		
7	石製品 宝篋印塔	長さ 17.5 幅 28.0 厚さ 12.900	輝石安山岩製。笠部。被熱痕が認められる。		
8	石製品 宝篋印塔	長さ 22.7 幅 27.7 厚さ 16.860	安山岩製。笠部。被熱痕が認められる。		
9	石製品 五輪塔	長さ (18.6) 幅 (27.1) 厚さ 13.8	重さ 4,600 輝石安山岩製。水輪。二次的に平面方形、断面台形状の窪みが掘り込まれる。		
10	石製品 五輪塔	長さ 19.0 幅 (27.9) 厚さ (15.6)	重さ 6,400 輝石安山岩製。水輪。二次的に平面方形、断面台形状の窪みが掘り込まれる。		
11	石製品 五輪塔	長さ 13.0 幅 28.2 厚さ (26.4)	重さ 11,220 安山岩製。水輪。被熱痕が認められる。		
12	石製品 五輪塔	長さ 17.0 幅 23.1 厚さ (17.0)	重さ 10,750 安山岩製。地輪。被熱痕が認められる。		
13	石製品 五輪塔	長さ 15.9 幅 22.5 厚さ 22.4	重さ 11,600 安山岩製。地輪。		
14	石製品 石鉢	口径 (16.5) 底径 (17.9) 器高 15.7	重さ 2,960 安山岩製。口唇部及び底部接面に磨減痕が認められる。被熱痕が認められる。		
15	石製品 不明品	長さ 16.7 幅 41.5 厚さ (22.5)	重さ 13,600 角閃石安山岩製。正面・上面・下面に鑿状の工具痕が顕著に残る (整形途中か?)。側面に研磨により整形。被熱痕が認められる。未成品か?		

Tab. 21 出土遺物観察表 (16)

T-2号竪穴状遺構

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	瓦 丸瓦	厚さ 2.6	①酸化塩気味 ②にぶい黄褐色 ③白色粒・チャート ④両端部欠、左側	凸面：縦位露ナゲ。端面面取り。 凹面：布目圧痕・糸切り痕。端面面取り。 側面：露ナゲ。	

遺構外出土遺物①

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	縄文土器 深鉢	—	①普通 ②にぶい黄褐色 ③白色粒・チャート・黒色鉱物 ④体部片	横位浮線文貼付後単節R L 縄文を横位に施文。	諸磯 b 式
2	縄文土器 深鉢	—	①良好 ②にぶい黄褐色 ③チャート・片岩 ④口縁部片	筒状口縁と想定される。口縁部文様帯に横位・弧状の結節浮線文が施される。	諸磯 c 式
3	縄文土器 深鉢	—	①良好 ②明褐色 ③白色粒・チャート・黒色鉱物 ④体部片	体部文様帯に0段多条R L 縄文を縦位に施文後丸棒状工具による2本1組の縦位沈線・縦位蛇行沈線が施される。2本1組の沈線は磨消縄文。	加賀利EⅢ式
4	縄文土器 深鉢	—	①普通 ②橙 ③白色粒・黒色鉱物 ④体部片	体部文様帯に単節L R 縄文を縦位に施文後丸棒状工具による2本1組の縦位沈線が施される。2本1組の沈線は磨消縄文。	加賀利EⅣ式
5	縄文土器 注口土器	—	①良好 ②にぶい黄褐色 ③細砂粒・チャート ④体部片	体部文様帯に単節L R 縄文を横位に施文後丸棒状工具による横位・斜位沈線が施される。斜位沈線間には孔が穿たれる。	加賀利B 2式
6	縄文土器 鉢	—	①普通 ②にぶい黄褐色 ③石英・灰黄 ④体部片	体部文様帯に丸棒状工具による横位沈線で区画。上位区画無文。下位区画には単節L R 縄文施文後丸棒状工具による2本1組の斜位沈線が施される。	加賀利B 2式
7	縄文土器 土製円盤	長径 3.0 短径 2.9 厚さ 0.7	①普通 ②灰黄 ③細砂粒・チャート ④完形	斜位条線が施される。	中期後半?
8	縄文へ 弥生土器 鉢	—	①良好 ②にぶい黄褐色 ③白色粒・チャート ④体部下位片	外面：条直文。 内面：横位露ナゲ。	縄文時代後期末～弥生時代前期
9	弥生土器 壺	—	①普通 ②橙 ③細砂粒・黒色粒・雲母 ④口縁～頭部片	外面：口縁部磨削状工具による筒状文。頭部縦・斜位刷毛目。口縁部と頭部間は横位露ナゲ。 内面：口縁部横ナゲ。頭部横位刷毛目後一部露ナゲ。	後期
10	弥生土器 壺	—	①普通 ②にぶい黄褐色 ③黒色鉱物・チャート ④唇部片	外面：筒状工具による山形文施文後筒状工具による多条の横線文。横線文の最上位のみ丸棒状工具による施文。山形文内は無文。 内面：磨面莞れる。	中期?
11	弥生土器 壺	口径 8.3 底径 4.7 器高 10.6	①良好 ②橙、赤彩；赤 ③細砂粒・チャート ④完形	外面：口唇部に角棒状工具による連続する磨み。口縁～頭部横ナゲ。体部露ナゲ後ミガキ。底部露ナゲ。 内面：口縁～頭部横位ミガキ・赤彩。体～底部露ナゲ。	後期。
12	弥生土器 壺	—	①良好 ②暗灰黄 ③白色粒・黒色鉱物・片岩 ④頭～唇部片	外面：頭部横位露ナゲ。肩部単節L R 縄文を横位施文後一部ナゲ。 内面：横位露ナゲ。	後期。 吉ヶ谷式。
13	土師器 壺	口径 (15.4)	①酸化塩 ②明赤褐色 ③細砂粒・黒色粒・チャート ④口縁～頭部1/5	外面：折返し口縁。口縁部に連続する指頭痕。頭部縦位刷毛目。 内面：ミガキ後横位露ナゲ。	
14	土師器 壺	—	①酸化塩 ②にぶい黄褐色 ③細砂粒・チャート ④口縁部片	外面：折返し口縁。口縁頂部より棒状工具による縦位沈線を連続して施す。口縁下部部横位ミガキ。 内面：横位ミガキ。	
15	土師器 壺	—	①酸化塩 ②にぶい黄褐色 ③白色粒・黒色粒・透明粒 ④口縁部片	外面：縦位刷毛目。 内面：横位刷毛目。	有段口縁蓋。
16	土師器 直口壺	口径 (14.1)	①酸化塩 ②橙 ③細砂粒・白色粒・黒色粒 ④口縁～体部1/4	外面：口縁部横位露ナゲ後縦位ミガキ。肩部横位露ナゲ後斜位ミガキ。体部横位露ナゲ。 内面：口縁部横・斜位露ナゲ後斜位ミガキ。肩～体部横・斜位露ナゲ。	
17	土師器 埴	底径 3.2	①酸化塩 ②にぶい黄褐色 ③黒色鉱物・チャート ④口縁下部～底部	外面：口縁部斜位刷毛目。体部斜位ミガキ。底部ミガキ。 内面：口縁～底部ミガキ。	
18	土師器 埴	口径 12.3	①酸化塩 ②にぶい赤褐色 ③白色粒・赤色粒 ④口縁～体部1/8	外面：口縁部横ナゲ。体部露ナゲ。 内面：口縁部横ナゲ。体部横ナゲ後斜位ミガキ。	
19	須恵器 高弁?	—	①還元層 ②灰 ③白色粒・チャート ④脚部片?	外面：軸轆整形。円形の透孔及び方形ないし三角形の透孔が穿たれる。 内面：円形透孔付近のみナゲ。その他は剥落。	
20	須恵器 短須壺	口径 (13.2)	①還元層 ②灰 ③白色粒・チャート ④口縁～体部1/6	外面：軸轆整形。体部上位に簾状文。肩部に自然軸。 内面：軸轆整形。体部に横位露ナゲ。	
21	須恵器 壺	口径 (10.0) 器高 1.9	①還元層 ②灰 ③白色粒・黒色粒 ④口縁～天井部1/4	外面：定珠磨み。天井部右側露ナゲ。口縁部軸轆ナゲ。 内面：軸轆整形。塗り貼付。	
22	輪軸 円筒埴輪	厚さ 1.3	①酸化塩 ②にぶい黄褐色 ③細砂粒・チャート・角閃石 ④体部片	外面：刷毛目。実帯部部横位ナゲ。刷毛本数2cm 11～13本。 内面：斜位刷毛目後一部ナゲ。刷毛本数2cm 7～11本。	

Tab. 22 出土遺物観察表 (17)

遺構外出土遺物②

番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
23	土師器 杯	口径 (12.0)	①焼成 ②橙 ③白色粒・チャート ④口縁～底部1/4	外面：口縁部横ナゲ。体～底部路ケズリ。 内面：口縁～体部横ナゲ。	
24	土師器 杯	口径 (11.8) 器高 (3.8)	①焼成 ②橙 ③白色粒・チャート ④口縁～底部1/5	外面：口縁部横ナゲ。体～底部路ケズリ。 内面：口縁～底部横ナゲ。	
25	須恵器 杯	口径 (14.7)	①焼成 ②橙 ③白色粒・黒色粒 ④口縁～体部片	外面：輪轆整形。磨面「十六」。 内面：輪轆整形。	
26	須恵器 黒色処理 碗	底径 8.6	①還元焼成 ②成黄 ③細砂粒・黒色粒・チャート ④体部下位～底部	外面：輪轆整形。底部回転ナゲ。高台貼付。 内面：ミガキ後黒色処理。	
27	須恵器 壺	底径 (7.8)	①焼成 ②明黄褐色 ③白色粒・チャート ④体部下位～手負い部1/4	外面：体部斜位器ナゲ。底部ナゲ・器打工具による「×」線刻。 内面：輪轆整形。	
28	須恵器 杯	口径 8.3 底径 4.8 器高 2.3	①焼成 ②橙 ③細砂粒・チャート・雲母 ④口縁～底部1/2	外面：輪轆整形。底部右回転糸切り。 内面：輪轆整形。	
29	須恵器 杯	口径 9.0 底径 5.2 器高 1.7	①焼成 ②明黄褐色 ③黒色粒・赤色粒・チャート・片岩 ④口縁～底部3/4	外面：輪轆整形。底部右回転糸切り。 内面：輪轆整形。	
30	須恵器 杯	口径 8.8 底径 4.4 器高 2.2	①焼成 ②橙 ③細砂粒 ④完形	外面：輪轆整形。底部右回転糸切り。 内面：輪轆整形。	
31	須恵器 杯	口径 8.3 底径 4.1 器高 2.1	①焼成 ②橙 ③細砂粒・黒色粒 ④完形	外面：輪轆整形。底部右回転糸切り。 内面：輪轆整形。	
32	灰釉陶器 碗	口径 (13.6) 底径 7.6 器高 4.2	①焼成 ②黄灰 ③白色粒 ④口縁～底部1/6	外面：輪轆整形。底部回転器切り。高台貼付。 内面：輪轆整形。重ね焼き痕。	
33	緑釉陶器 碗	口径 (12.0)	①取焼 ②にぶい焼 ③細砂粒 ④口縁～体部片	外面：輪轆整形。 内面：輪轆整形。	
34	緑釉陶器 長頸壺	—	①取焼 ②黄灰 ③細砂粒・白色粒 ④頸部片	外面：輪轆整形。 内面：輪轆整形。	
35	陶器 壺	—	①取焼 ②灰白 ③白色粒・黒色粒 (灰釉陶器に胎土似) ④胴部片	外面：灰釉。器刻による唐草文。貫入。 内面：輪轆整形。	古瀬戸。
36	瓦 軒丸瓦	厚さ 2.4	①還元焼成 ②灰 ③白色粒・チャート ④1/4	単弁。葉蓮華文と想定される。外区重畳文。内面布目瓦痕。	笠懸。
37	瓦 平瓦	厚さ 2.7	①還元焼成 ②明焼 ③細砂粒・チャート ④両端部欠、左側	前面：布目瓦痕・糸切り直後一部ナゲ。端部面取り。 凸面：縦位器ナゲ。「富」の刻印。 側面：器ナゲ。	
番号	器種	法量 (cm)	成・整形技法の特徴	備考	
38	石製品 釘	長さ 6.2 幅 1.4 厚さ 1.1 重さ 38.33	角釘。		
39	石器 打製石斧	長さ (10.1) 幅 5.4 厚さ 1.9 重さ 119.3	安山岩。短冊形。基部欠損。破皮を持つ剥片を素材とし、両縁に直接打撃を施す。両面調整。全体に磨耗が認められ、刃部周辺に磨着。刃部周辺はリダクションしている。		
40	石器 打製石斧	長さ (10.4) 幅 6.7 厚さ 3.3 重さ 258.7	ホルンフェルス製。短冊形。基部欠損。破皮を持つ剥片を素材とし、両縁に直接打撃を施す。両面調整。磨耗はほとんど認められない。		
41	石器 打製石斧	長さ 8.0 幅 4.8 厚さ 1.4 重さ 55.8	頁岩製。扇形。基部欠損。破皮を持つ剥片を素材とし、両縁に直接打撃を施す。披熟により部分的に熱成砕が認められる。刃部周辺に磨耗が認められる。		
42	石器 打製石斧	長さ 8.15 幅 3.4 厚さ 1.0 重さ 35.8	安山岩製。短冊形。刃部欠損。破皮を持つ薄型剥片を素材とし、両縁に直接打撃を施す。両面調整。磨耗はほとんど認められない。		
43	石器 石鏃	長さ (1.9) 幅 (1.6) 厚さ 0.5 重さ 0.81	チャート製。両基無茎。形定欠損。		
44	石器 石鏃	長さ (3.1) 幅 2.0 厚さ 0.4 重さ 1.42	頁岩製。両基無茎。先端部欠損。		
45	石製品 不明品	長さ 6.7 幅 3.0 厚さ 2.7 重さ 27.5	角閃石安山岩。砥ぎ面と考えられる磨耗範囲が18度認められる。上部は角錐状にやや欠。磨耗は認められない。		
46	石製品 砥石	長さ 6.1 幅 6.1 厚さ 2.7 重さ 62.6	角閃石安山岩製。不整円形に調整加工を施し、表・裏面に磨屑・線刻が認められる。		
47	石製品 砥石	長さ (5.9) 幅 3.9 厚さ 3.5 重さ 113.0	流紋岩製。上部欠損 (下端部は新しい欠損)。砥ぎ面は8面使用。各砥ぎ面には、縦・横・斜位の線刻が認められる。		
48	石器 リタツダドフ レタテ	長さ 4.5 幅 7.9 厚さ 1.3 重さ 54.2	頁岩。破皮を持つ横長剥片を素材とし、両側縁部に直接打撃 (片面加工) を施す。		
49	石器 スクレイパー	長さ 8.5 幅 10.1 厚さ 2.5 重さ 268.2	黒色安山岩製。剥片を素材とし、一側縁に小型剥離を施す。刃部周辺には磨耗痕が認められる (両面調整)。刃部にはリダクションが認められる。		
50	石器 敲石 (磨)	長さ 13.2 幅 5.4 厚さ 3.0 重さ 306.0	砂岩製。楕円形の扁平碾を素材とし、敲打痕・磨耗痕が認められる。敲打痕は上・下端面・両側面に集中する。磨耗痕は左側面を除き認められる。磨耗範囲内には、縦・斜位の磨痕あり。裏面の磨耗範囲には濃い変色も認められる。		
51	石製品 砥石	長さ 19.3 幅 7.5 厚さ 5.4 重さ 1,206.0	閃緑岩製。長楕円形の碾を素材とし、表・裏面の2箇所は顕著な磨耗により平滑。磨耗範囲は黒褐色に変色している (砥分の充塞か?)。		
52	石器 磨石	長さ 11.6 幅 12.6 厚さ 3.6 重さ 892.0	安山岩製。円形の扁平碾を素材とし、表・裏面が磨耗により平滑。表面～右側面は黒褐色に変色している。		

VI まとめ (Fig. 88)

蒼海城堀跡について

近年、平成 11 年 (1999) から継続して進められている区画整理事業や都市化により、元総社地内における発掘調査事例が増加してきている。蒼海城が築城された上野国府想定範囲内においてもその数は 15 ヶ所を超え、各時代における土地利用の変遷が明らかになりつつある。

蒼海城関連の遺構は、元総社蒼海遺跡群及び元総社小見内Ⅲ・Ⅳ遺跡から、堀跡、井戸、竪穴状遺構、土坑、ピット (掘立柱建物跡の存在を示唆) などが検出されており、その様相が明らかになりつつある。さらに、平成 20 年度 (2008) に発掘調査された元総社蒼海遺跡群 (21)・(23) においては、本丸周辺の堀跡が検出され、その形状や埋没過程、出土遺物の観察などから、平安時代 (上野国府)・15 世紀後半・15 世紀後半以降の 3 時期に渡る溝 (堀含む) が確認され、城郭化に伴う改修が行われたことを裏付ける調査事例として着目される。

ここではまず 9・24・27 地点の調査成果に絞り、蒼海城の改修前 (平安～室町時代) と修築後 (15 世紀後半以降) の縄張り (堀) について、絵図と対比しながらその変遷について概観するものである。

蒼海城の縄張り

蒼海城の縄張りについてはいくつかの絵図があるが、その代表例に現在の地形から描かれた絵図 (縄張り図) (山崎 1978) がある。県内でも最古級の城郭を誇る蒼海城は、古代・上野国府跡の地割りを利用して築城しているということと相まって、地形の制約を受けた複雑な列郭式をとる。現在もなお、所々で上野国府や蒼海城の地割りが取られる。

蒼海城は、永享元年 (1429) に上野国守護代長尾忠房によって改修され、その後総社長尾氏の本拠地となったとされる。世は戦乱の渦中にあり、上野国も例外ではなく、防備力を高める必要があったと考えられる。乱世において、城館はその重要度と情勢に応じて改修され、城郭化する。例えば、鎌倉～室町時代の在地領主等の居館が戦国時代になって城郭化した例や、本遺跡地周辺において鎌倉時代末期から室町時代初期に成立したとされる環濠屋敷が連結し、列郭式の城館となった例が中尾城などに見られる。

元総社地域から検出された蒼海城の堀跡

ここでは、縄張り図と照合しながら、元総社蒼海遺跡群 9・23～27 地点から検出された堀について概観する。

元総社蒼海遺跡群 (以下、省略) 9 地点 W-1 は「鎌田屋敷」西側を南北方向に走行する堀に位置する。規模は、上端幅 10.15 m を測り、深さは 3.31 m である。断面形態は逆台形を呈する。断面の観察により、覆土には 3 時期に渡る人為的な埋め戻しの痕跡が見られ、最終期の埋め戻しは近代以降と想定されている。遺物は軟質陶器内耳鍋片が出土した程度だが、帰属時期は 15 世紀～17 世紀前半と想定されるため、新段階の堀と考えられる。そして、同調査区内から検出された W-3 は、W-1 と隣接して並走する状態にある。規模は、上端幅 4.56 m を測り、深さは 2.98 m である。断面は V 字状を呈する。埋没土は、地山層である総社砂層 (11,000 年前～5,000 年に堆積と推測される) によって人為的に埋め戻されており、その総社砂層のブロックには時間的風化現象が見られていない。W-1 との関係を考えれば、古段階に属する堀跡と想定される。

23 地点から検出された W-1 は、北方に位置する 27 地点 1 区 W-1 及び小見内Ⅲ遺跡 6 区 W-3 と同一遺構で、蒼海城本丸西側を南北方向に走行する堀の延長線上に位置する。規模は、残存で上端幅 4.87～5.65 m を測る。断面は西側にテラスを有する逆台形状を呈し、深さは 2.64 m である。出土遺物の観察等から、新段階の堀と考えられる。

これと垂直方向に走行する W-2 がある。両溝は接続せずに、W-1 から約 80 cm 程度空けて構築されている。本丸の北東位にある諏訪屋敷に延び、牛池川へと流れる堀割とも考えられる。覆土中から 14～15 世紀代の軟質陶器片が出土していることから、古段階の堀跡と考えられる。同溝西側 60 m の延長線上に、元総社蒼海遺跡群

14 地点1号トレンチ内からW-1が位置し、同一遺構と推測される。

24 地点W-5と27 地点W-2は同遺構である。「本丸」と「二の丸」との間を東西方向に走行する堀の南側に位置する。規模は、上端幅2.45～3.30 mを測り、深さは1.80 mである。南・西壁は底面に向けて直線的に落ち込み、箱状を呈す。覆土中から大半が二次焼成を受けた多量のカワラケ・貿易陶磁・在地陶器・古瀬戸などの遺物と焼失した廃材が、土塁の土と共に埋め戻されたと考えられる堆積状況である。遺物等の観察から、所属時期は15世紀後半と想定され、古段階の堀と考えられる。

24 地点のW-1は25・26 地点W-1と同一遺構である。「本丸」と「二の丸」との間を東西方向に走行する堀に位置する。規模は残存で上端幅が3.25 mで、断面は南壁面のみが検出され、堀底までは至っていない。堀底に向かって直線的に落ち込む。埋没土には人為的に埋め戻された痕跡が見られる。所属時期は、15世紀後半から17世紀前半と想定されることから、新段階の堀跡と考えられる。

24 地点W-6は27 地点W-3と同一遺構である。平面形態は半月状を呈する。規模は上端幅1.00～1.38 mを測り、深さは1.15 mである。断面は逆台形を呈する。所属時期は15世紀後半～17世紀前半と想定されることから、新段階の堀跡と考えられる。

27 地点2区W-2は、近接する28 地点W-2及び小見内Ⅲ遺跡4区W-1と同一遺構である。規模は上端幅が3.01～4.45 mを測る。断面形態は逆台形状を呈し、深さは1.08 mである。出土遺物の観察等から、古段階の堀と考えられる。

跡跡の検討

これまでの発掘調査により、上野国府想定地内からは蒼海城の堀跡と想定される溝跡が21条に確認された。このうち、新段階に比定される9地点W-1、24 地点のW-1、25・26 地点W-1の堀は、絵図に記載されている縄張りとは概ね整合する。対して、古段階の堀と考えられる9地点W-3、23 地点W-2、24 地点W-5、27 地点W-2・2区W-2の堀は縄張り（絵図）に符合しないことから、絵図は改修後の廃城時のものであると考えられる。対して、古段階の堀は総社長尾氏によって改修される以前の、上野国府の地割りを利用して築かれたものと推測される。

これらの二時期に渡る堀を対比すると、規模は、古段階では上幅の平均値が2.7～4.6 mであったものが、新段階では3.3（残存）～10.2 mとなり、深さは0.5～3.0（残存）mから1.2～3.9 mとなっている。単純に数値を見るだけでも防備力の強化が見て取れる。堀の形態については一概に変化するわけではないため一概に言えないが、大まかな流れとしてはU～V字状の葉研堀であったものから、逆台形の箱葉研や二段堀への変化が見受けられる。こうした動きをみると城郭化への改修が全体に及んだかのように思われるが、9地点のW-3と23地点のW-1とを対比すると、旧段階と新段階の堀であるにも係らず、規模や形状が類似している。このことは、改修が全体に及んでいたのではなく、必要に応じて行われたことを示唆するものではないかと推測される。

9 地点W-1（新段階）とW-3（旧段階）をみると、W-3はW-1掘削時の排土で埋め戻されており、両堀間の16.5 m南では盛土状遺構の一部がトレンチ断面より確認されている。その制限された範囲から版築状に積み上げられた痕跡を見て取ることは難しいが、おそらくはW-1の東側には土塁が伴っていたと考えられる。

前述したように、蒼海城の改修がどの程度行われたのかは不明だが、堀を拡張するなどの旧段階の区画地割を踏襲した改修を行いつつ、新たな区割りを伴う主郭周辺の拠点整備は、鎌田屋敷にまで及ぶことが確認された。

24 地点W-5及び27 地点W-2では、埋没土に二次焼成を受けた多量の土器類が、建物の材や家財などとともに混入していることが確認された。その堆積状況は南側の二の丸（郭）から流れ込んだ状態にあり、人為的な埋没と考えられる。そうした状況は郭内北西寄りにあるD-1（井戸）でも見受けられる。おそらく郭内で火災が起きたものと考えられるが、埋没土に含まれる土器類の質をみても自発的な火災とは考えにくい。戦火を受けて郭内の建物家財が焼失したことによるものと推測される。また、同郭内では地面が削られて造成されてい

ることが確認されており、これは古段階の堀を埋め立てて、新たな縄張りが形成された痕跡といえる。なお、この郭内では井戸の他に、600基を超えるピット群が検出されており、建物の存在を示唆している。今後、ピットの検出を行えば、それぞれの堀に伴う建物の変遷を想定することができよう。

24地点のW-6及び27地点W-3はその形状から、丸馬出しに伴う三日月状の堀である可能性を有す。西側方は調査区外であるため不明だが、東側方は本丸とを区画する内堀との間に約5.5mの空間があり、土橋となろうか。内堀には本丸への出入り口が想定されるが、これにあたるであろうW-1は跡切れることなく東西方向へ走行しているため、検出を要する。なお、この堀は縄張り図には記載されていないことから、新段階の蒼海城を考える上で、貴重な調査結果と言える。一般的に、丸馬出し（三日月堀）は戦国時代において甲斐武田氏が多用した城館の築城技法の一つとして著名である。これは、武田領国内外にも広く用いられおり、近世においても受け継がれている。ただし、県内の例をみても、新田金山城や上杉謙信が築城したとされる旧赤城村の榎下城といった、甲斐武田氏と関連の見られない城においてもこの技法が使用されているため、一概には言えないようである。蒼海城と武田氏の関連についてみると、永禄9年（1566）、武田軍の侵攻により長野氏が滅亡され、その際に蒼海城も焼失したとも落城したとも言われるが、その後、武田氏が蒼海城を利用したという史料は現段階では見られない。今後、関連資料が新たに発見される可能性がないとは言えないが、武田氏支配下の名胡桃城などと規模等の相違を鑑みると、この三日月状の堀跡が丸馬出しであった場合の考え方としては、後者に属するものと推測される。

課題

上野国守護代総社長尾氏が、蒼海城に拠点を構えて以来、上野国でも享徳の乱や長尾景春の乱、長享の乱などが次々に勃発し、次第に城域の改修及び防衛強化につながったことは想像に難しくない。どの程度の普請が行われたかは定かではないが、改修の背景にはそれなりの情勢を伴う。

蒼海城の研究に関しては、文献史料から見る歴史的背景と共に、発掘調査によって確認された堀を縄張り図と比較・検討されている段階である。例に漏れず、今回は狭い視野での部分的な考察となってしまったため、様々な検討課題が残る。今後、発掘調査事例の増加と共に、堀を中心とした縄張りの変遷や、郭内の施設の検討などの多角的な視野による城郭研究が発展することを期待する。

【引用・参考文献】

- 山崎 一 1987『群馬県古城遺址の研究 上巻』群馬県文化事業振興会
前橋市史編さん委員会 1989『群馬県史 通史編3 中世』群馬県
前橋市史編さん委員会 1971『前橋市史 第一巻』前橋市
群馬県教育委員会 1988『群馬県の中世城館跡』
近世城郭研究会 2002『中世城郭研究 第16号』
東国中世考古学研究会 2010『小田原北条氏の城郭—発掘調査から見るその築城技術—』
山武考古学研究所 2001『元総社蒼海道跡群 元総社小見内Ⅲ遺跡』前橋市埋蔵文化財発掘調査団
近藤雅則ほか 2003『元総社蒼海道跡群 元総社小見内Ⅴ遺跡・総社甲稲荷塚大西道Ⅳ遺跡』前橋市埋蔵文化財発掘調査団
梅澤克典ほか 2006『元総社蒼海道跡群（1）』前橋市埋蔵文化財発掘調査団
大崎和久ほか 2006『元総社蒼海道跡群（6）』前橋市埋蔵文化財発掘調査団
日神剛史ほか 2009『元総社蒼海道跡群（21）』前橋市埋蔵文化財発掘調査団
日神剛史ほか 2009『元総社蒼海道跡群（23）』前橋市埋蔵文化財発掘調査団
佐野良平 2010『元総社蒼海道跡群（30）』前橋市埋蔵文化財発掘調査団
佐野良平 2010『元総社蒼海道跡群（31）』前橋市埋蔵文化財発掘調査団



Fig. 88 蒼海城における新段階・古段階の堀

写 真 图 版



道跡遠景（東から）



1区全景（上が西）



2区全景 (上が北)



H-1・100号住居跡1住側全景 (南から)



H-1・100号住居跡1住側遺物出土状態 (南東から)



H-1・100号住居跡100住側全景 (北から)



H-2号住居跡全景 (南東から)



H-3号住居跡全景（南から）



H-4号住居跡全景（南東から）



H-5号住居跡全景（北西から）



H-5号住居跡カマド全景（北西から）



H-7号住居跡全景（南東から）



H-7号住居跡カマド土層断面（南東から）



H-8号住居跡全景（南から）



H-9号住居跡全景（西から）



H-9号住居跡カマド全景 (西から)



H-10号住居跡全景 (西から)



H-10号住居跡カマド全景 (西から)



H-11号住居跡全景 (西から)



H-11号住居跡カマド全景 (西から)



H-12号住居跡全景 (南西から)



H-12号住居跡カマド全景 (南西から)



H-12号住居跡遺物出土状態 (西から)



H-13号住居跡全景（西から）



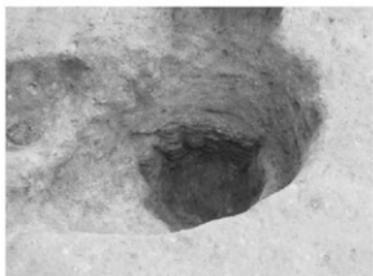
H-13号住居跡カマド全景（西から）



H-14号住居跡全景（西から）



H-15号住居跡全景（西から）



H-15号住居跡工具痕確認状態（北から）



H-16号住居跡全景（西から）



H-16号住居跡カマド全景（西から）



H-17号住居跡全景（西から）



H-17号住居跡カマド全景（西から）



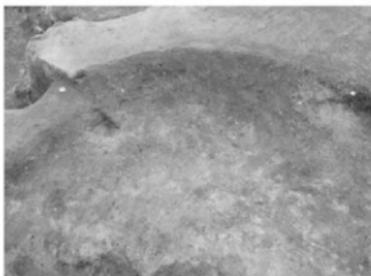
H-18号住居跡全景（北西から）



H-19号住居跡全景（南西から）



H-20号住居跡全景（西から）



H-20号住居跡カマド全景（北西から）



H-21号住居跡全景（北西から）



H-21号住居跡カマド全景（北西から）



H-22号住居跡全景（西から）



H-23号住居跡全景（西から）



H-23号住居跡カマド全景（西から）



H-24号住居跡全景（西から）



H-25号住居跡全景（西から）



H-25号住居跡カマド全景（西から）



H-26号住居跡全景（西から）



H-27号住居跡全景（西から）



H-28号住居跡全景（西から）



H-28 号住居跡カマド全景 (西から)



H-29 号住居跡全景 (西から)



H-29 号住居跡旧カマド全景 (西から)



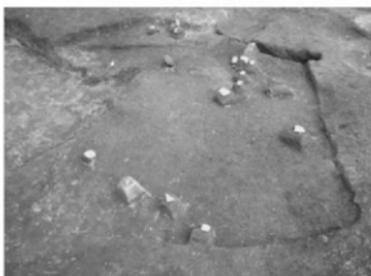
H-29 号住居跡新カマド全景 (西から)



H-30 号住居跡全景 (南西から)



H-33 号住居跡全景 (南東から)



H-66 号住居跡全景 (南西から)



H-66 号住居跡カマド全景 (南西から)



H-68号住居跡全景（西から）



H-68号住居跡カマド全景（西から）



H-71号住居跡全景（南西から）



H-71号住居跡カマド全景（南西から）



H-74号住居跡全景（西から）



H-75号住居跡全景（北西から）



H-76号住居跡全景（北西から）



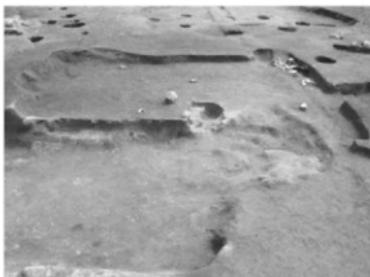
H-76号住居跡カマド全景（西から）



H-77号住居跡全景（北西から）



H-77号住居跡カマド全景（北西から）



H-78号住居跡全景（西から）



H-78号住居跡カマド全景（西から）



H-86号住居跡全景（西から）



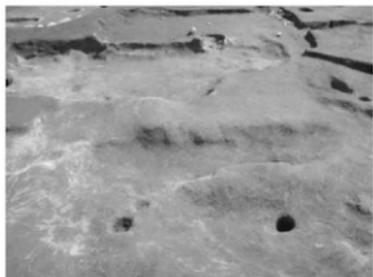
H-86号住居跡カマド全景（西から）



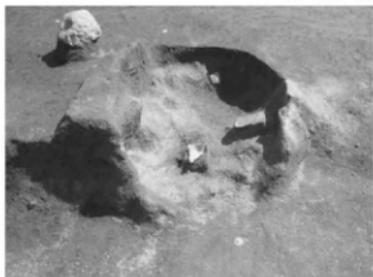
H-88号住居跡全景（北西から）



H-88号住居跡カマド全景（西から）



H-89号住居跡全景（西から）



H-89号住居跡カマド全景（西から）



H-90号住居跡全景（西から）



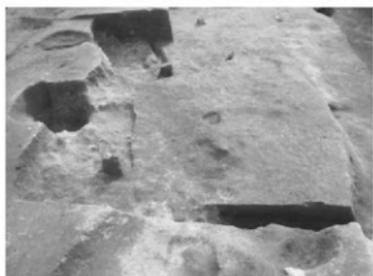
H-90号住居跡カマド全景（北西から）



H-91号住居跡全景（北西から）



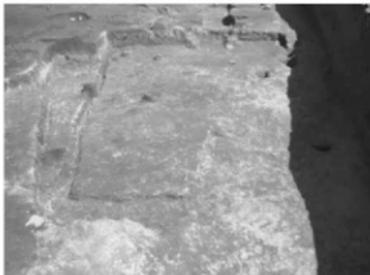
H-91号住居跡カマド全景（北西から）



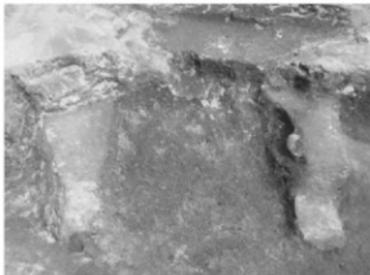
H-92号住居跡全景（北西から）



H-92号住居跡カマド全景（北西から）



H-93・98号住居跡全景（西から）



H-93号住居跡カマド全景（西から）



H-94号住居跡全景（北西から）



H-94号住居跡カマド全景（北西から）



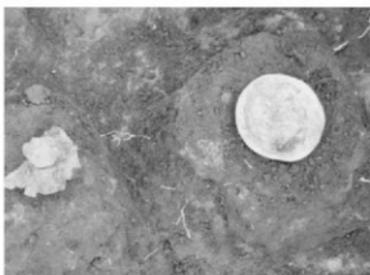
H-95・97号住居跡全景（北西から）



H-96号住居跡全景（南西から）



H-96号住居跡カマド全景（南西から）



H-97号住居跡遺物出土状態（西から）



H-99号住居跡全景（北西から）



W-1号溝土層断面（北から）



W-2号溝土層断面（東から）



W-1号溝全景（北から）



W-2号溝全景（西から）



W-3号溝全景（北西から）



D-2号土坑全景(北西から)



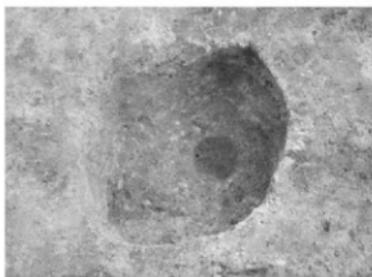
T-1号竪穴状遺構検出状態(北から)



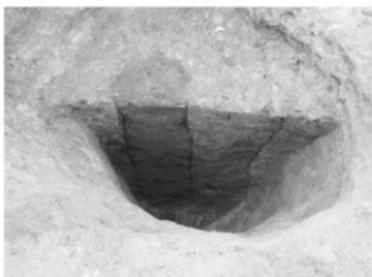
T-1号竪穴状遺構検出状態(南西から)



T-1号竪穴状遺構全景(西から)



T-1号竪穴状遺構P2柱痕確認状態(北から)



T-1号竪穴状遺構P2土層断面(東から)



T-6号竪穴状遺構全景(東から)



1号焼土路確認状態(東から)



B-1号独立柱建物跡全景



B-2号独立柱建物跡全景

H-1・100号住居跡



H 1・100 住-1



H 1・100 住-2



H 1・100 住-3

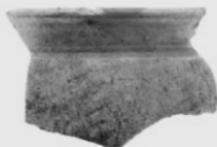
H-2号住居跡



H 2 住-1



H 2 住-2



H 2 住-3

H-3号住居跡



H 3 住-1



H 3 住-2



H 3 住-3



H 3 住-4

H-4号住居跡



H 4 住-1



H 4 住-2



H 4 住-3



H 4 住-4



H 4 住-5

H-5号住居跡



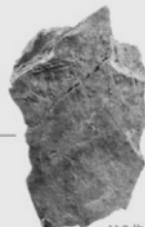
H 5 住-1



H 5 住-2

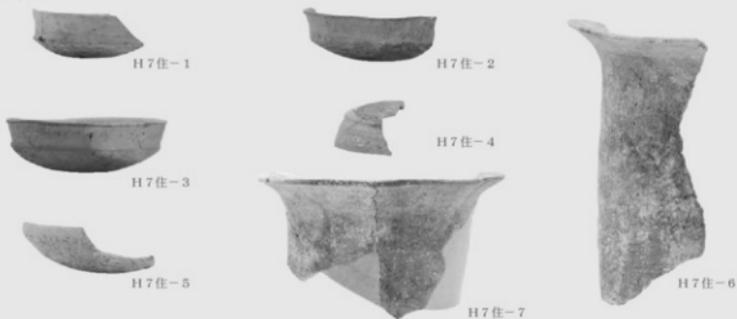


H 5 住-3

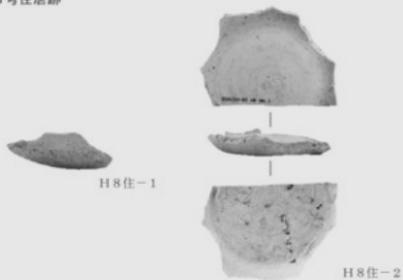


H 5 住-4

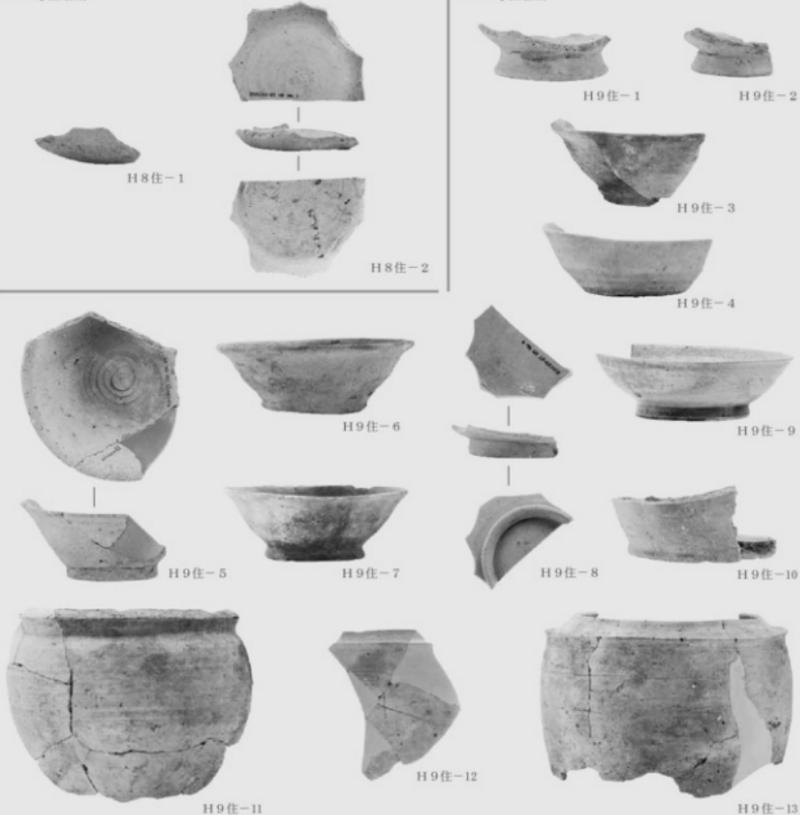
H-7号住居跡



H-8号住居跡



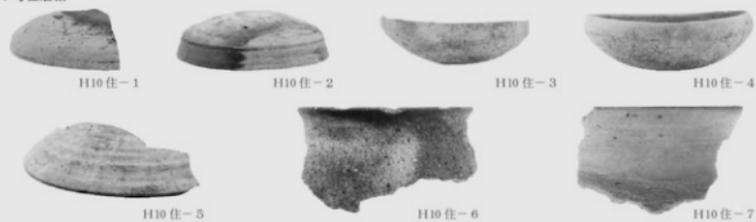
H-9号住居跡



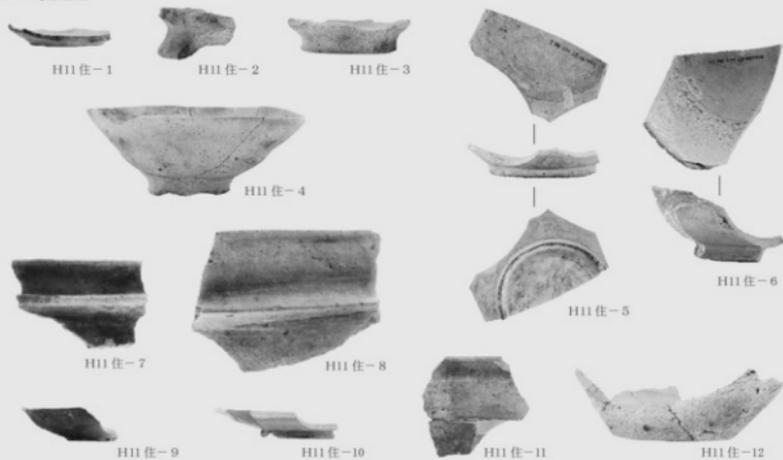
H-9号住居跡



H-10号住居跡



H-11号住居跡



H-12号住居跡



H12住-1



H12住-2



H12住-3



H12住-5



H12住-4

H-13号住居跡



H13住-1

H-14号住居跡



H14住-1



H14住-2

H-15号住居跡



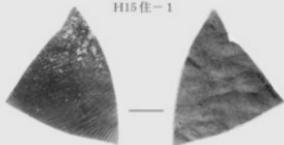
H15住-1



H15住-2



H15住-3



H15住-4

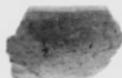
H-16号住居跡



H16住-1



H16住-2



H16住-3

H-17号住居跡



H17住-1



H17住-2



H17住-3



H17住-4

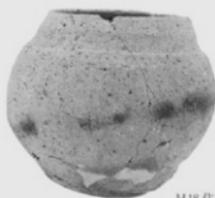


H17住-5

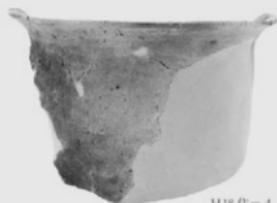
H-18 号住居跡



H18 住-1



H18 住-3



H18 住-4



H18 住-2

H-19 号住居跡



H19 住-1



H19 住-2



H19 住-3



H19 住-4

H-20 号住居跡



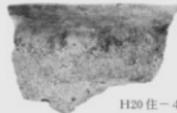
H20 住-1



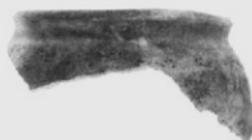
H20 住-2



H20 住-3



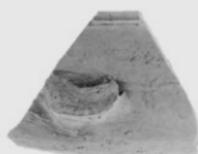
H20 住-4



H20 住-5



H20 住-6



H20 住-7

H-21 号住居跡



H21 住-1



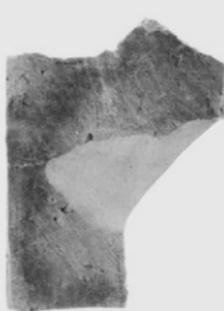
H21 住-2



H21 住-3



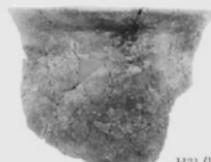
H21 住-4



H20 住-8

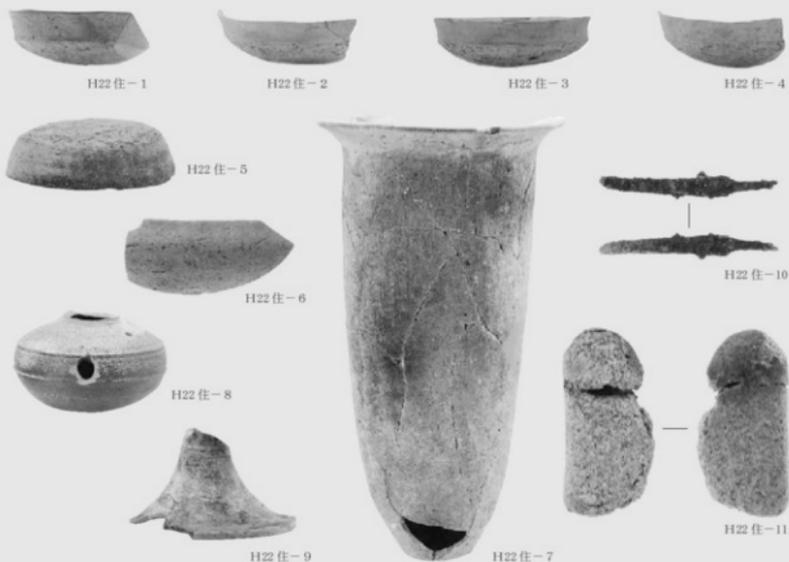


H21 住-5



H21 住-6

H-22 号住居跡



H-23 号住居跡



H-24 号住居跡



H-25 号住居跡



H-27号住居跡



H27住-1



H27住-2



H27住-3

H-28号住居跡



H28住-1



H28住-2



H28住-3



H28住-4



H28住-5



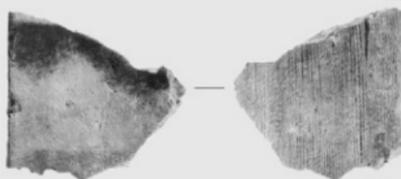
H28住-6



H28住-7



H28住-8



H28住-9

H-29号住居跡



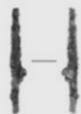
H29住-1



H29住-2



H29住-3



H29住-4

H-30号住居跡



H30住-1



H30住-2

H-33号住居跡



H33住-1



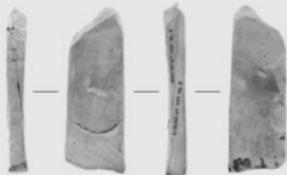
H33住-2



H33住-3



H33住-4



H33住-6



H33住-7



H33住-5



H33住-8

H-66 号住居跡



H66 住-1



H66 住-2



H66 住-3



H66 住-4



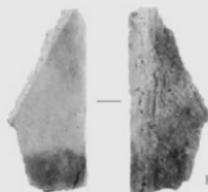
H66 住-5



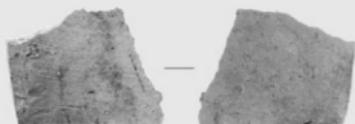
H66 住-6



H66 住-7



H66 住-8



H66 住-9

H-68 号住居跡



H68 住-1



H68 住-2



H68 住-3



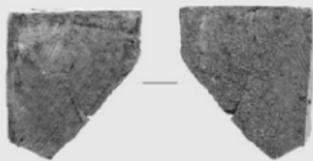
H68 住-5



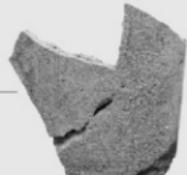
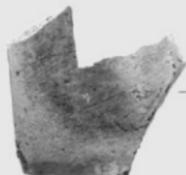
H68 住-4



H68 住-6

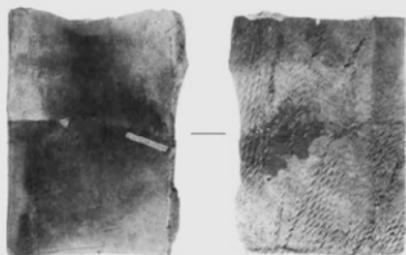


H68 住-7

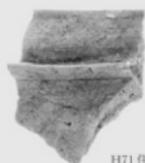


H68 住-8

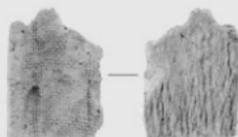
H-68 号住居跡



H68 住-9



H71 住-5



H71 住-6

H-71 号住居跡



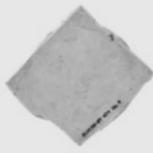
H71 住-1



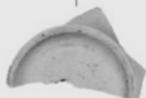
H71 住-2



H71 住-3



H71 住-4



H71 住-7

H-75 号住居跡



H75 住-1



H75 住-2

H-76 号住居跡



H76 住-1



H76 住-2

H-77 号住居跡



H77 住-1



H77 住-2



H77 住-5



H77 住-3



H77 住-4



H77 住-6

H-78 号住居跡



H78 住-1



H78 住-2



H78 住-3



H78 住-4

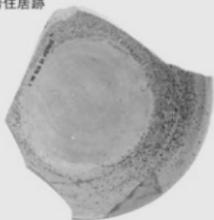


H78 住-5

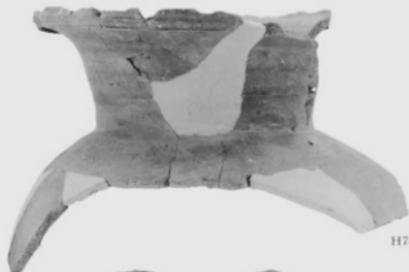


H78 住-6

H-78 号住居跡



H78 住-7



H78 住-8



H78 住-9

H-86 号住居跡



H86 住-1



H86 住-2



H86 住-3



H86 住-4



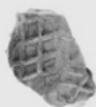
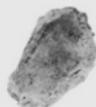
H86 住-5



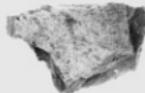
H86 住-6



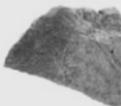
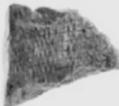
H86 住-7



H86 住-8



H86 住-9



H86 住-10



H86 住-11

H-88 号住居跡



H88 住-1



H88 住-2

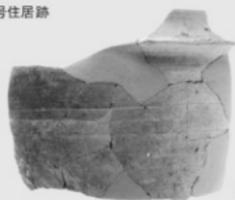


H88 住-3

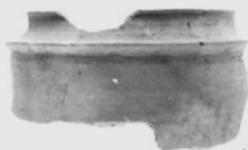


H88 住-4

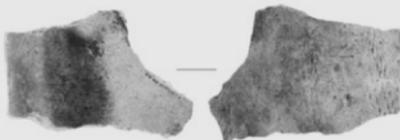
H-88 号住居跡



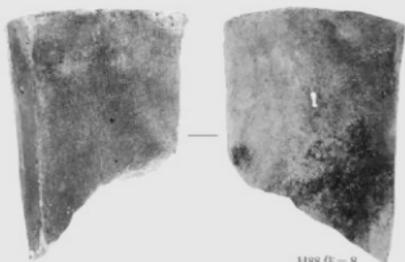
H88住-5



H88住-6



H88住-7



H88住-8



H88住-9

H-89 号住居跡



H89住-1

H-90 号住居跡



H90住-1



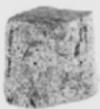
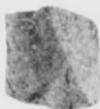
H90住-2



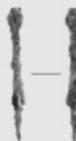
H90住-3



H90住-4



H90住-5



H90住-6



H90住-7



H90住-8

H-91 号住居跡



H91住-1



H91住-2

H-92 号住居跡



H92住-1

H-93 号住居跡



H93住-1

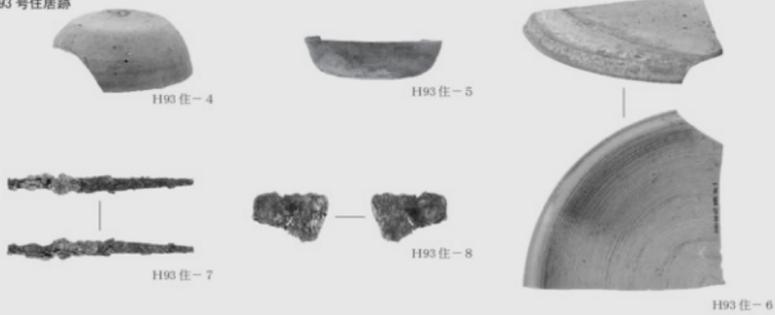


H93住-2

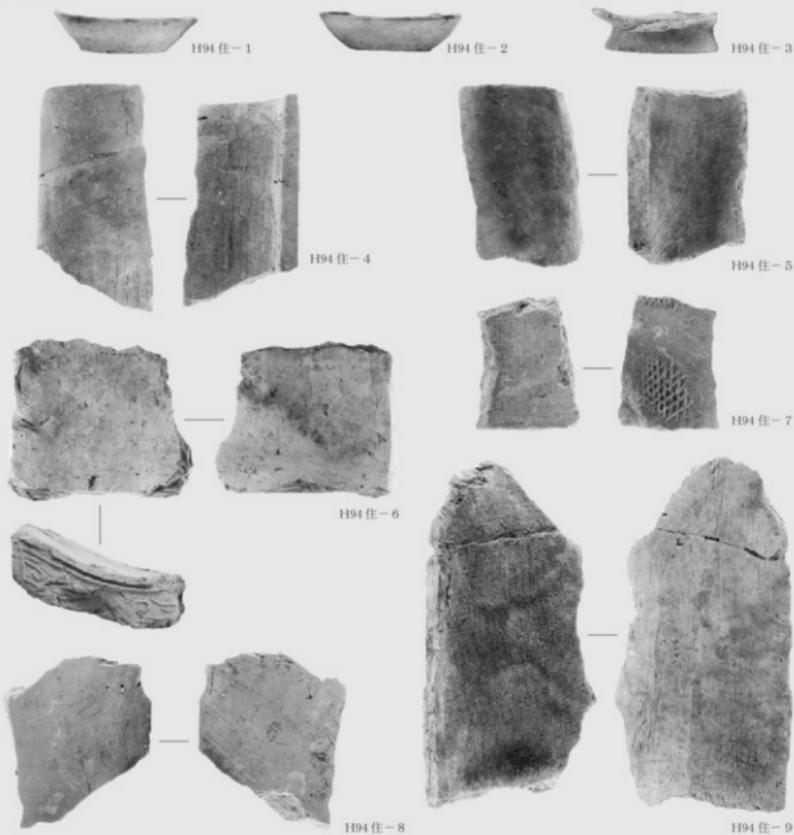


H93住-3

H-93号住居跡



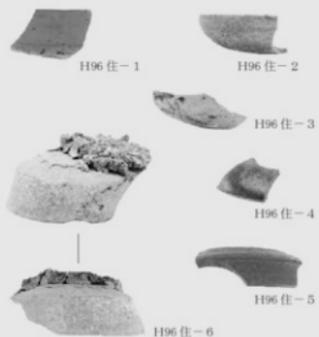
H-94号住居跡



H-94号住居跡



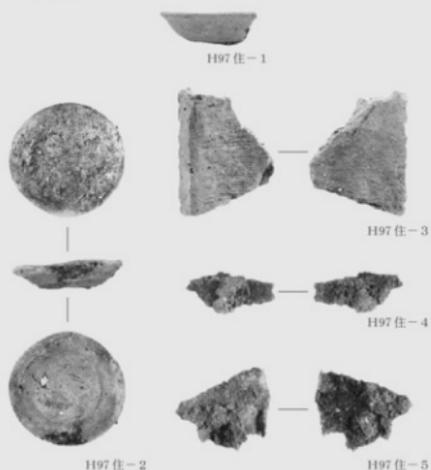
H-96号住居跡



H-95号住居跡



H-97号住居跡



H-98号住居跡



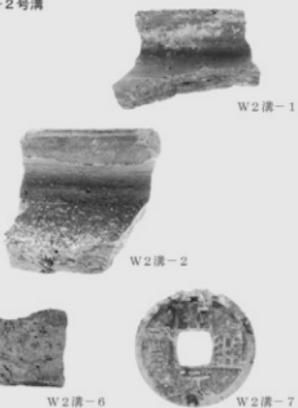
H-99号住居跡



W-1号溝



W-2号溝



W-3号溝



W3溝-1

W-9・11号溝



W9・11溝-1



W9・11溝-2

W-15号溝



W15溝-1



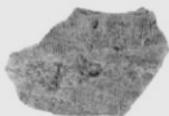
W15溝-2



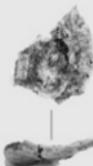
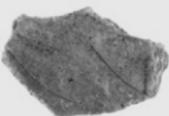
W15溝-3



W15溝-4



W15溝-5



W15溝-6



W15溝-7



W15溝-8



W15溝-9



W15溝-10

D-1号土坑



D1土-1

D-39号土坑



D39土-1



D39土-2



D39土-3

D-45号土坑



D45土-1

D-67号土坑



D67土-1

D-69号土坑



D67土-2

T-1号竪穴状遺構



T1-1



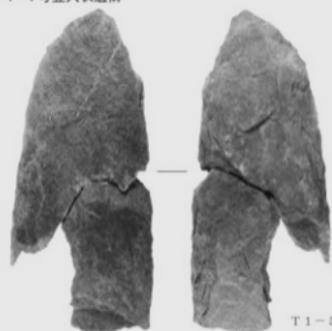
T1-2



T1-3



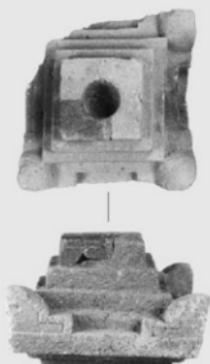
T1-4



T1-5



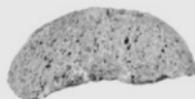
T1-6



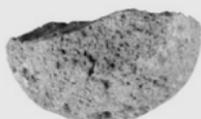
T1-7



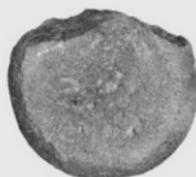
T1-8



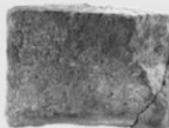
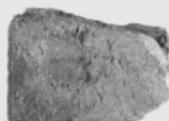
T1-9



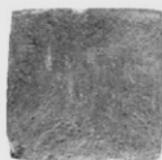
T1-10



T1-11

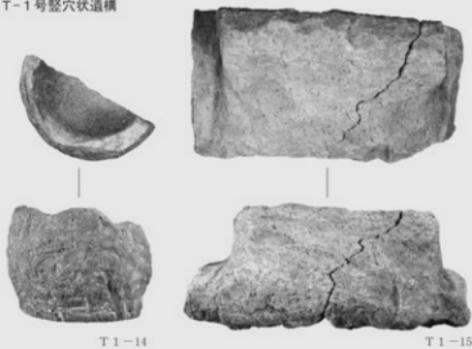


T1-12

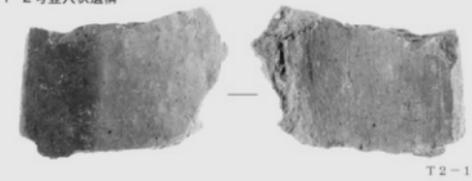


T1-13

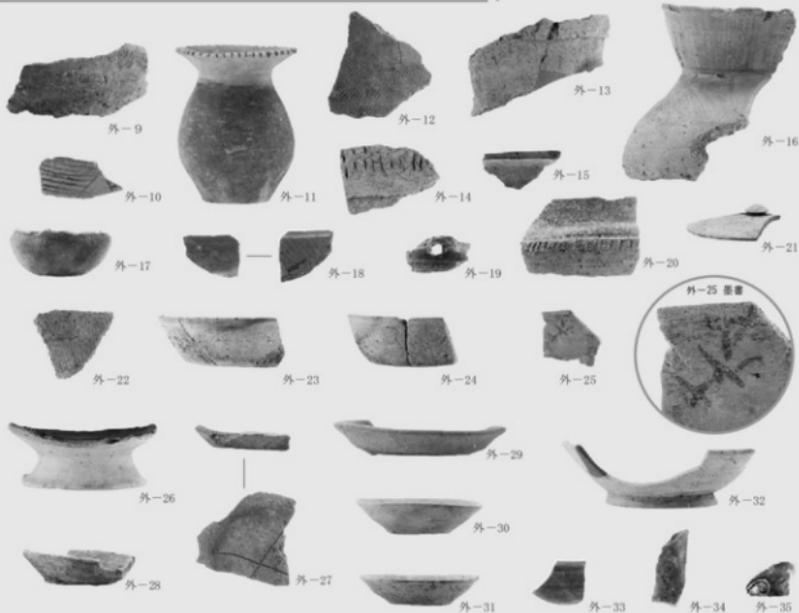
T-1号整穴状遺構



T-2号整穴状遺構

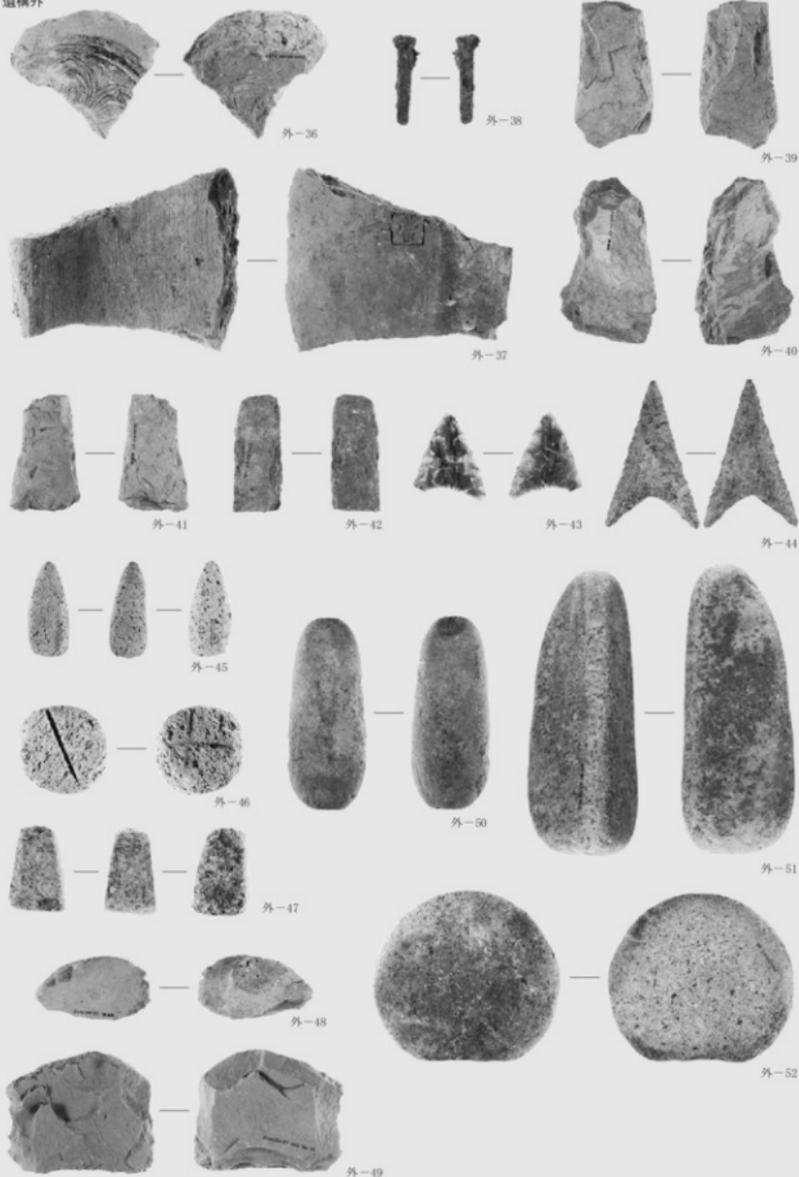


遺構外



出土遺物⑤

遺構外



抄 録

フリガナ	モトソウジャオウミイセキグン 27
書名	元総社蒼海遺跡群 (27)
副書名	前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
巻次	
シリーズ名	
編著者名	神宮聡・小出拓磨・山本千春・柴田洋孝・日神剛史
編集機関	前橋市埋蔵文化財発掘調査団
発行機関	前橋市埋蔵文化財発掘調査団
発行機関所在地	〒 371-0018 群馬県前橋市三俣町二丁目 10-2 ℡ 027-231-9531
発行年月日	西暦 2010 年 3 月 12 日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 (日本測地系)	東経	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
		市町村	遺跡番号					
元総社蒼海 遺跡群 (27)	群馬県前橋市元総社町 1813、1814-1番、1814-2番、1815-5番、1817-1番、1817-2番	10201	21 A 130-27	36°	139°	20091024	1,572	前橋都市計画事業 元総社蒼海土地区 画整理事業
				23°	02′	～		
				21°	10″	20100129		

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物	特記事項
元総社蒼海 遺跡群 (27)	集落 上野国府関連遺構 蒼海城関連遺構	古墳	堅穴住居跡	51 軒	土師器	古墳時代前期
		奈良	溝	17 条	須恵器	から平安時代の
		平安	土坑	49 基	羽釜	集落を確認
		中世	ピット	3 基	灰軸陶器	
			堅穴状遺構	4 基	緑軸陶器	8世紀代と想定
			井戸	1 基	鉄製品	さされる掘立柱建
		焼土跡	1 基	石製模造品	物跡を確認	
掘立柱建物跡	2 棟	石製品	瓦			

元総社蒼海遺跡群 (27)

前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書

平成 22 年 3 月 9 日印刷

平成 22 年 3 月 12 日発行

編 集／前橋市埋蔵文化財発掘調査団

発 行／前橋市埋蔵文化財発掘調査団

前橋市三俣町二丁目 10-2

℡ 027-231-9531

印 刷／朝日印刷工業株式会社